

大台町男女共同参画
基本計画策定促進アンケート調査
報告書

平成22年12月

目 次

調査の概要及び回答者の属性	1
1 調査の目的	1
2 調査対象及び調査方法	1
3 回収の結果	1
4 分析上の留意点	1
5 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	3
(3) 家族構成	4
(4) 居住地区	6
(5) 職業	8
(6) 婚姻状況	10
調査結果	12
1 男女平等について	12
(1) 各分野での男女の地位	12
(2) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について	30
2 家庭生活について	33
(1) 男女のしつけや教育	33
(2) 子育てについて	35
(3) 乳児や就学前の幼児について	50
(4) 手助けが必要な高齢者の有無	52
(5) 介護が必要になった場合の介護者	54
(6) 家庭生活の現実と希望	56
(7) 家庭内の仕事の分担	62
3 職業生活について	89
(1) 女性の職業で望ましい形態	89
(2) 女性は働きやすい状況にあるか	91
(3) 働きやすすくない理由	94
(4) 制度の認知状況及び取得状況	95
(5) 職場での男女の地位	105
(6) 男女平等だと思わない理由	107
4 社会活動等について	108
(1) 地域活動の参加状況	108
(2) 男性の参加促進に必要なこと	109
5 女性の人権、DVなどの男女間の暴力について	110
(1) DV防止法の認知	110
(2) 発見した際の通報の認知	112
(3) 男女間の暴力を受けた経験の有無及び暴力の内容	114
(4) 暴力を受けた際の相談先	141
(5) 暴力を受けた際に相談しなかった理由	142
(6) 知っているDV相談窓口	143
6 自由意見	144

調査の概要及び回答者の属性

1 調査の目的

本調査は、大台町の男女共同参画社会の形成に関する住民の考え等を把握し、大台町の男女共同参画基本計画策定等の基礎資料とするために実施した。

2 調査対象及び調査方法

調査方法：平成 22 年 6 月現在、大台町に居住する 20 歳以上の男女 1,500 名

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法

調査方法：郵送により配布・回収

調査期間：平成 22 年 8 月

3 回収の結果

配布数：1,500 件

有効回収数：813 件

回収率：54.2%

4 分析上の留意点

回答は全て百分率で表し、小数点第二位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100% にならない場合がある。

表作成において、無回答の処理により、性合計と性年齢別の合計が合致しない箇所がある。

「複数回答」の設問は回答比率の合計が 100% を超える。

集計結果の表やグラフでは、スペース等の都合上、回答の選択肢の言葉を簡略化して表現している場合がある。

今回の調査は、標本調査であるため、回答者のデータが町民の意識として充分信頼のおけるものであるかどうかをみる。

調査精度として、比率の推定の標本誤差をみるが、信頼度 95% レベルにおいた場合、これは統計学理論から次のように与えられる。

$$E = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

E：標本誤差

N：母集団の大きさ

n：標本の大きさ

P：あるカテゴリについての、母集団での回答率

この式の意味は、求める母集団におけるあるカテゴリ（注目した特性、多くの場合、調査項目と一致）の比率 P が、標本調査で得られた比率 P の前後 ±E の範囲に入っていると判断して 95% 間違いがないということである。

主な標本における比率の標本誤差 E（信頼度 95% レベル）

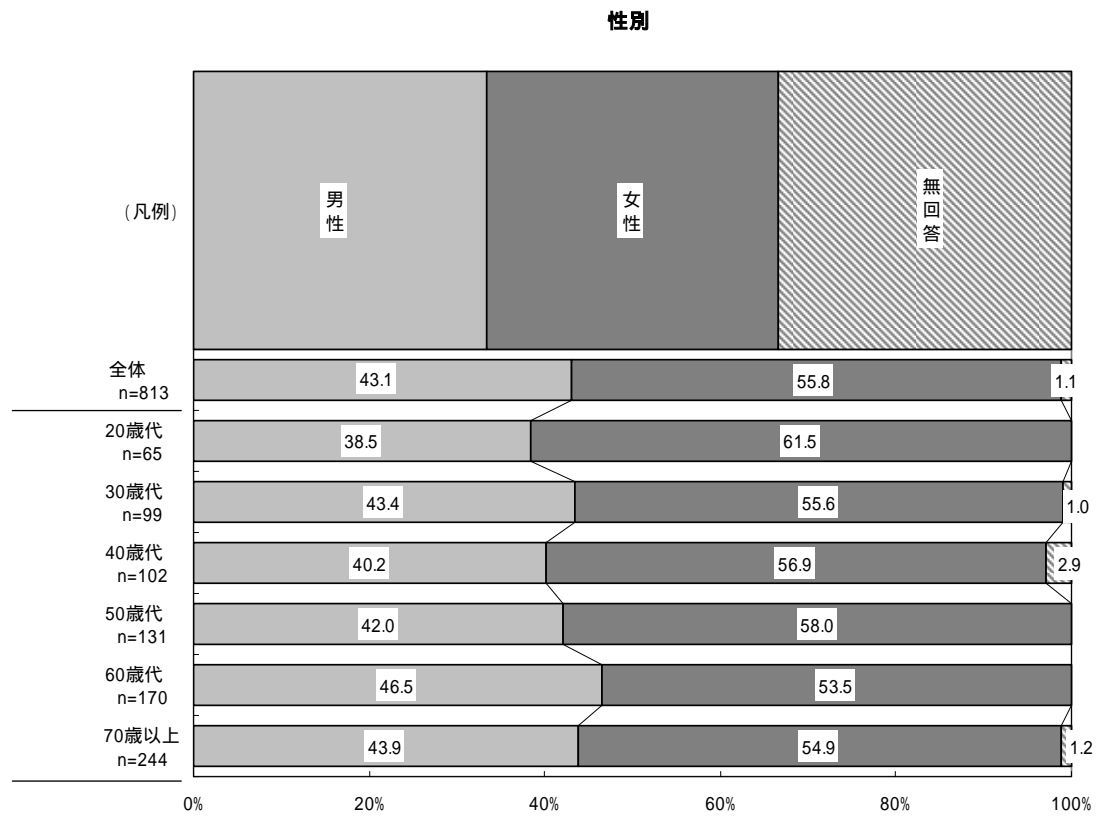
回答比率(p) 標本数(n)	5.0% (95.0%)	10.0% (90.0%)	15.0% (85.0%)	20.0% (80.0%)	25.0% (75.0%)	30.0% (70.0%)	35.0% (65.0%)	40.0% (60.0%)	45.0% (55.0%)	50.0%
813	± 1.5	± 2.1	± 2.5	± 2.8	± 3.0	± 3.2	± 3.3	± 3.4	± 3.5	± 3.5

5 回答者の属性

あなたご自身のことについておたずねします。

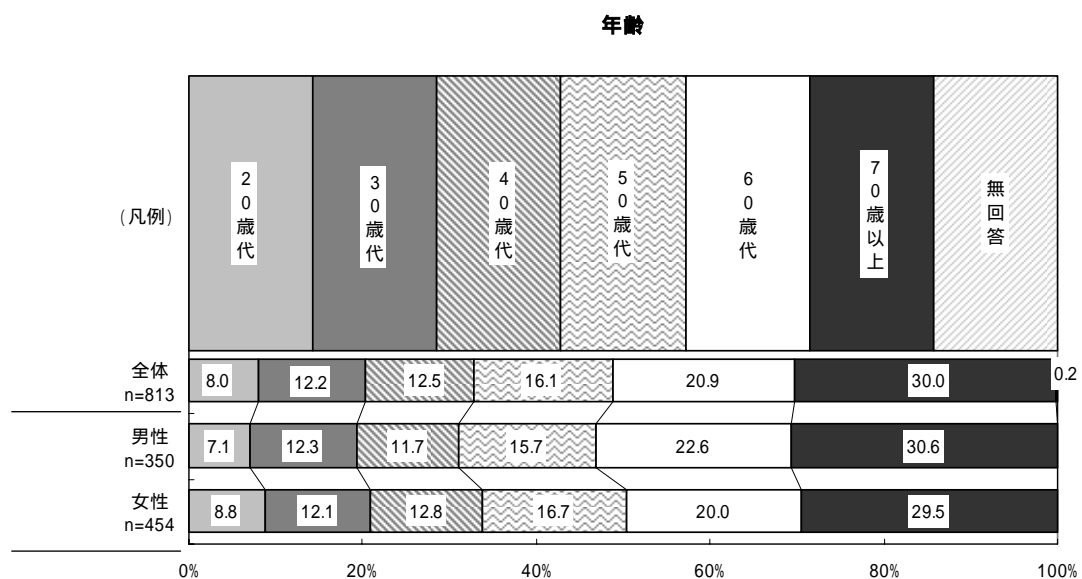
(1) 性別

- 「女性」が55.8%、「男性」が43.1%である。



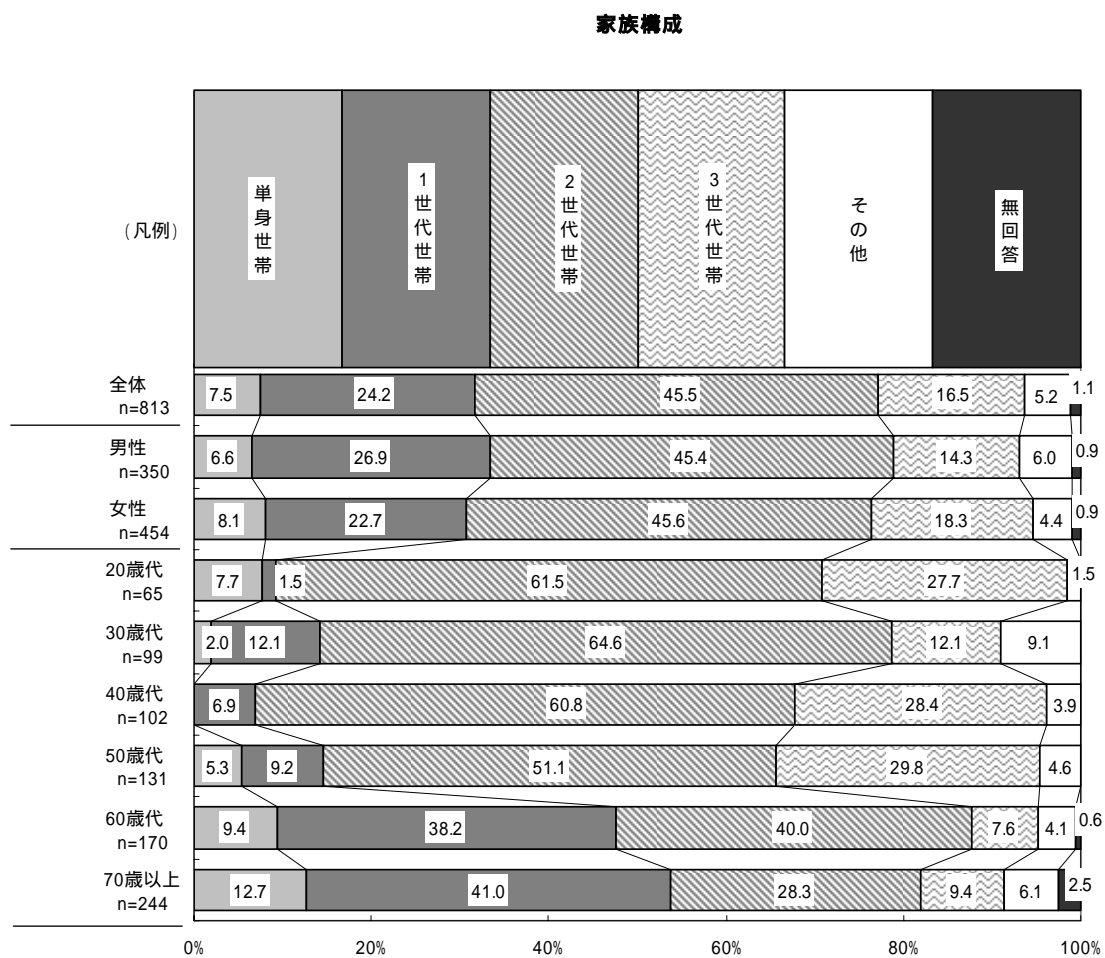
(2) 年齢

- 「70歳以上」が30.0%と最も高く、以下「60歳代」(20.9%)、「50歳代」(16.1%)、「40歳代」(12.5%)、「30歳代」(12.2%)、「20歳代」(8.0%)である。



(3) 家族構成

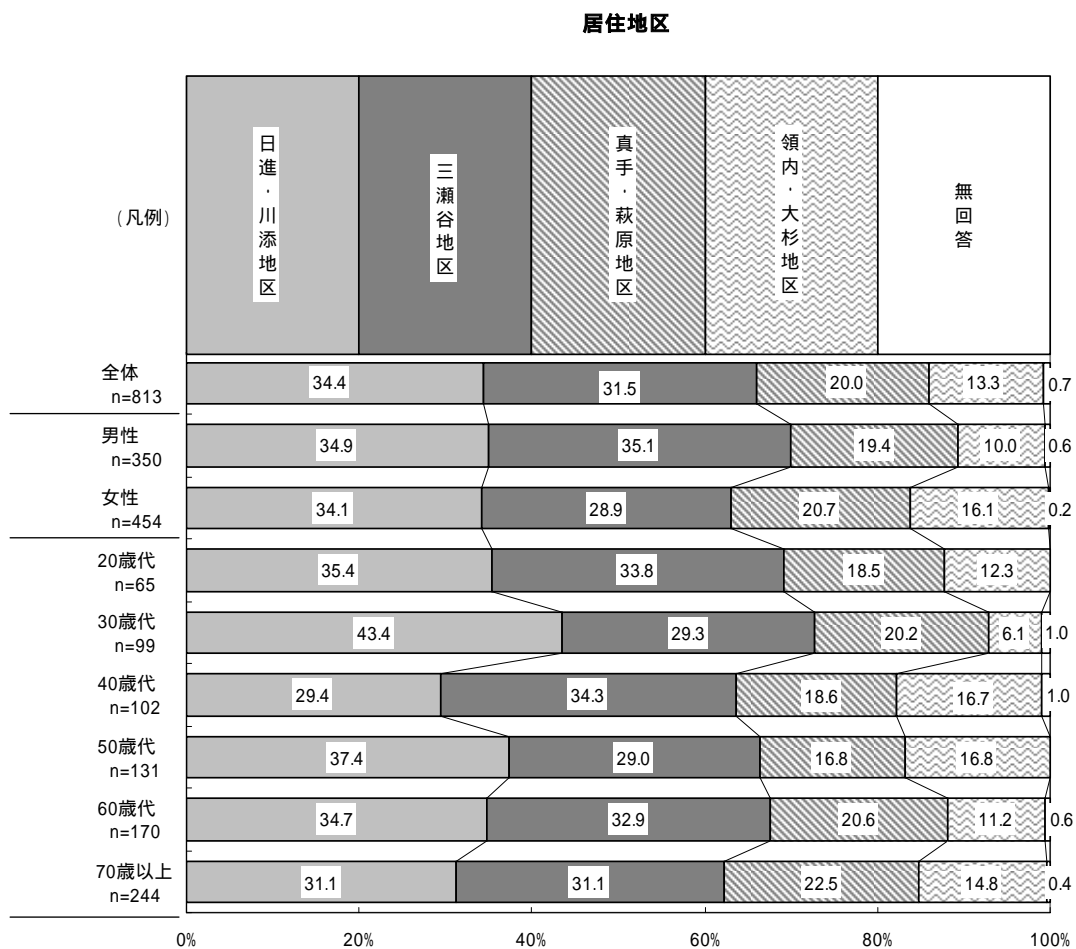
- 「2世代世帯」が45.5%と最も高く、以下「1世代世帯」(24.2%)、「3世代世帯」(16.5%)、「単身世帯」(7.5%)である。



		家族構成 (%)						
		全体	単身世帯	1世代世帯	2世代世帯	3世代世帯	その他	無回答
全体		813	61	197	370	134	42	9
		100.0	7.5	24.2	45.5	16.5	5.2	1.1
男性計		350	23	94	159	50	21	3
		100.0	6.6	26.9	45.4	14.3	6.0	0.9
20歳代		25	2	-	16	7	-	-
		100.0	8.0	-	64.0	28.0	-	-
30歳代		43	1	10	25	3	4	-
		100.0	2.3	23.3	58.1	7.0	9.3	-
40歳代		41	-	3	29	6	3	-
		100.0	-	7.3	70.7	14.6	7.3	-
50歳代		55	6	5	24	17	3	-
		100.0	10.9	9.1	43.6	30.9	5.5	-
60歳代		79	5	26	39	6	2	1
		100.0	6.3	32.9	49.4	7.6	2.5	1.3
70歳以上		107	9	50	26	11	9	2
		100.0	8.4	46.7	24.3	10.3	8.4	1.9
女性計		454	37	103	207	83	20	4
		100.0	8.1	22.7	45.6	18.3	4.4	0.9
20歳代		40	3	1	24	11	1	-
		100.0	7.5	2.5	60.0	27.5	2.5	-
30歳代		55	1	2	38	9	5	-
		100.0	1.8	3.6	69.1	16.4	9.1	-
40歳代		58	-	4	31	22	1	-
		100.0	-	6.9	53.4	37.9	1.7	-
50歳代		76	1	7	43	22	3	-
		100.0	1.3	9.2	56.6	28.9	3.9	-
60歳代		91	11	39	29	7	5	-
		100.0	12.1	42.9	31.9	7.7	5.5	-
70歳以上		134	21	50	42	12	5	4
		100.0	15.7	37.3	31.3	9.0	3.7	3.0

(4) 居住地区

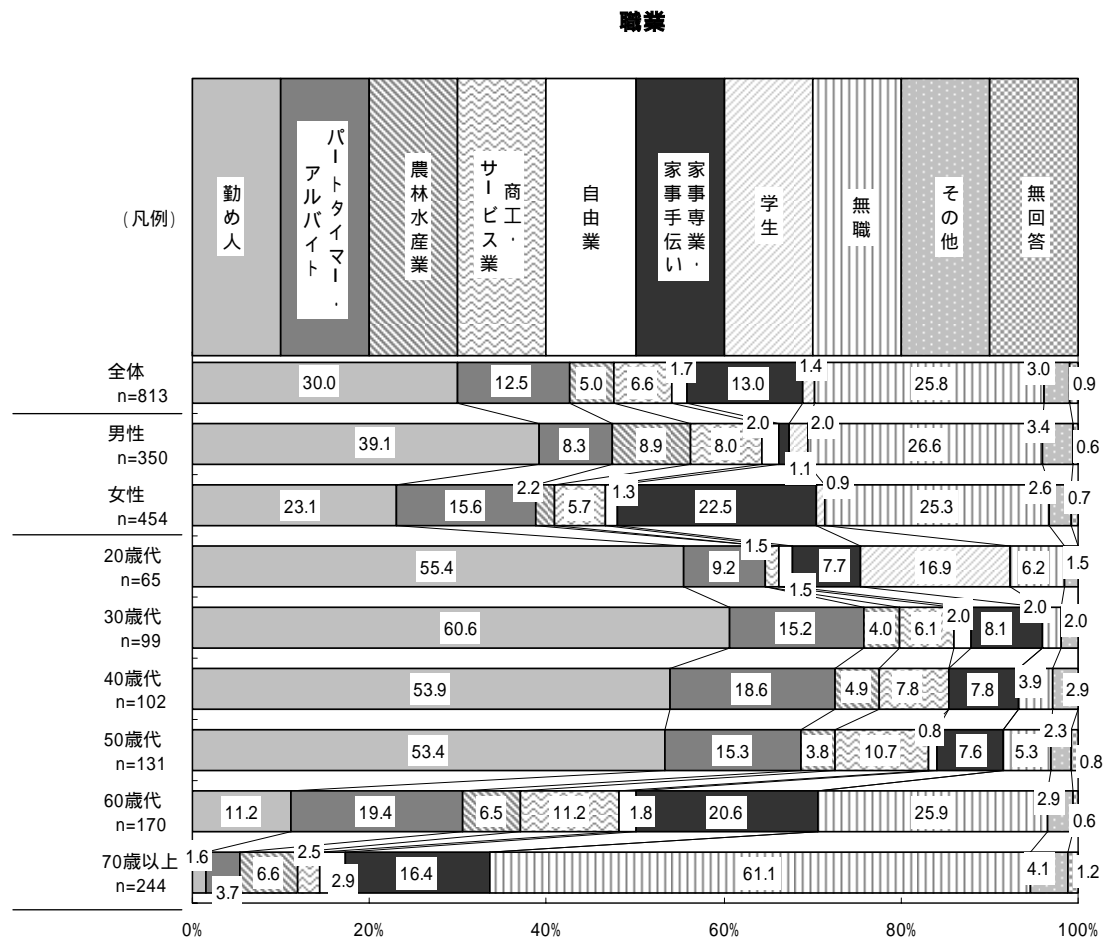
- 「日進・川添地区」が34.4%と最も高く、以下「三瀬谷地区」(31.5%)、「真手・萩原地区」(20.0%)、「領内・大杉地区」(13.3%)である。



		居住地区 [%]					無回答
		全体	日進・川添地区	三瀬谷地区	真手・萩原地区	領内・大杉地区	
全体		813	280	256	163	108	6
		100.0	34.4	31.5	20.0	13.3	0.7
性 年 齢 別	男性計	350	122	123	68	35	2
		100.0	34.9	35.1	19.4	10.0	0.6
	20歳代	25	11	7	4	3	-
		100.0	44.0	28.0	16.0	12.0	-
	30歳代	43	23	12	6	2	-
		100.0	53.5	27.9	14.0	4.7	-
	40歳代	41	12	14	6	9	-
		100.0	29.3	34.1	14.6	22.0	-
	50歳代	55	24	17	8	6	-
		100.0	43.6	30.9	14.5	10.9	-
	60歳代	79	24	30	19	5	1
		100.0	30.4	38.0	24.1	6.3	1.3
	70歳以上	107	28	43	25	10	1
		100.0	26.2	40.2	23.4	9.3	0.9
	女性計	454	155	131	94	73	1
		100.0	34.1	28.9	20.7	16.1	0.2
	20歳代	40	12	15	8	5	-
		100.0	30.0	37.5	20.0	12.5	-
	30歳代	55	20	17	14	4	-
		100.0	36.4	30.9	25.5	7.3	-
40歳代	58	15	21	13	8	1	
	100.0	25.9	36.2	22.4	13.8	1.7	
50歳代	76	25	21	14	16	-	
	100.0	32.9	27.6	18.4	21.1	-	
60歳代	91	35	26	16	14	-	
	100.0	38.5	28.6	17.6	15.4	-	
70歳以上	134	48	31	29	26	-	
	100.0	35.8	23.1	21.6	19.4	-	

(5) 職業

- 「勤め人」が30.0%と最も高く、以下「無職」(25.8%)、「家事専業・家事手伝い」(13.0%)、「パートタイマー・アルバイト」(12.5%)、「商工・サービス業」(6.6%)である。
- 性別では、男性は「勤め人」が39.1%と最も高く、以下「無職」(26.6%)、「農林水産業」(8.9%)である。女性は「無職」が25.3%と最も高く、「勤め人」(23.1%)、「家事専業・家事手伝い」(22.5%)となっている。また、男性は「勤め人」の割合が女性よりも16.0ポイント高くなっており、女性は「パートタイマー・アルバイト」が15.6%と男性(8.3%)よりも7.3ポイント高くなっている。
- 年齢別では、20歳代から50歳代は「勤め人」の割合が最も高く、60歳代以上は「無職」の割合が最も高い。

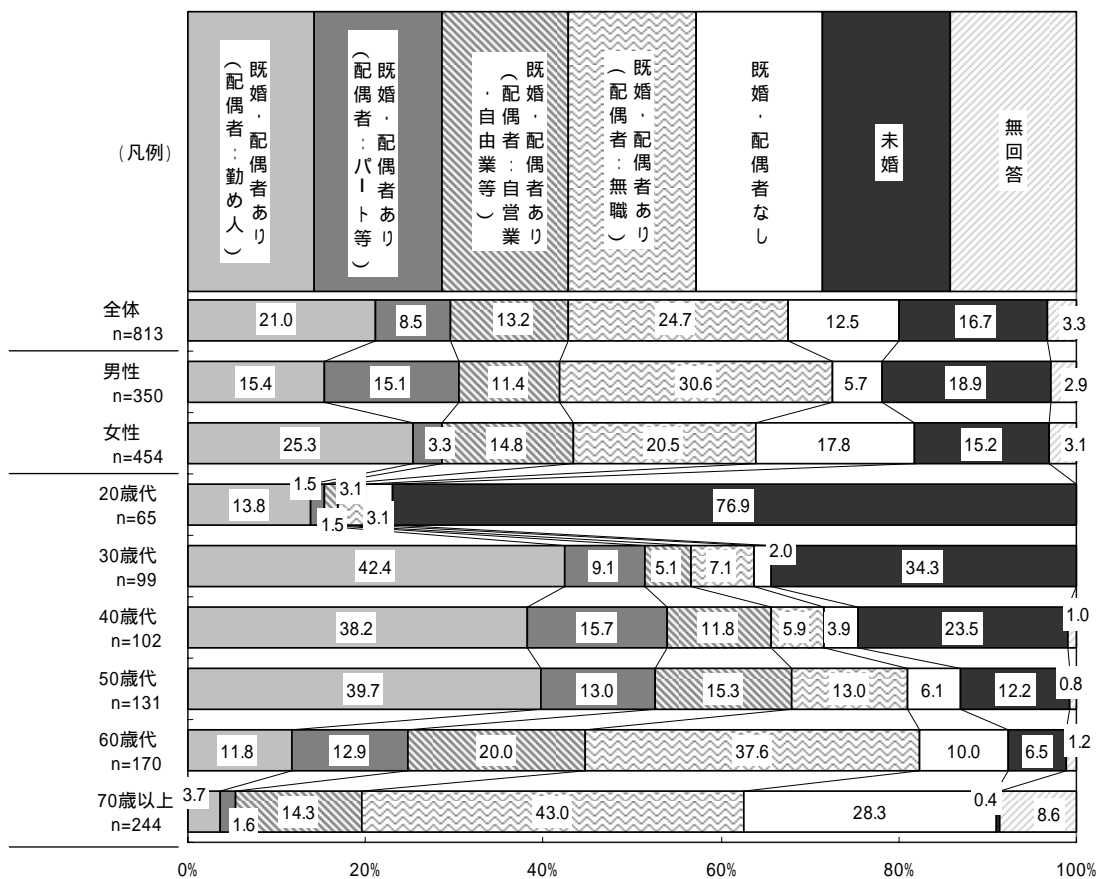


		職業 [%]										
		全体	勤め人	パートタイム・ マージナル バイト	農林水産業	商工・サー ビス業	自由業	家事専業・ 家事手伝い	学生	無職	その他	無回答
全体		813	244	102	41	54	14	106	11	210	24	7
		100.0	30.0	12.5	5.0	6.6	1.7	13.0	1.4	25.8	3.0	0.9
男性計		350	137	29	31	28	7	4	7	93	12	2
		100.0	39.1	8.3	8.9	8.0	2.0	1.1	2.0	26.6	3.4	0.6
20歳代		25	12	3	-	1	-	-	7	2	-	-
		100.0	48.0	12.0	-	4.0	-	-	28.0	8.0	-	-
30歳代		43	34	-	2	4	2	-	-	-	1	-
		100.0	79.1	-	4.7	9.3	4.7	-	-	-	2.3	-
40歳代		41	29	2	4	3	-	-	-	1	2	-
		100.0	70.7	4.9	9.8	7.3	-	-	-	2.4	4.9	-
50歳代		55	43	2	1	4	-	-	-	3	2	-
		100.0	78.2	3.6	1.8	7.3	-	-	-	5.5	3.6	-
60歳代		79	15	17	10	12	1	2	-	19	2	1
		100.0	19.0	21.5	12.7	15.2	1.3	2.5	-	24.1	2.5	1.3
70歳以上		107	4	5	14	4	4	2	-	68	5	1
		100.0	3.7	4.7	13.1	3.7	3.7	1.9	-	63.6	4.7	0.9
女性計		454	105	71	10	26	6	102	4	115	12	3
		100.0	23.1	15.6	2.2	5.7	1.3	22.5	0.9	25.3	2.6	0.7
20歳代		40	24	3	-	-	1	5	4	2	1	-
		100.0	60.0	7.5	-	-	2.5	12.5	10.0	5.0	2.5	-
30歳代		55	25	15	2	2	-	8	-	2	1	-
		100.0	45.5	27.3	3.6	3.6	-	14.5	-	3.6	1.8	-
40歳代		58	25	16	1	5	-	8	-	2	1	-
		100.0	43.1	27.6	1.7	8.6	-	13.8	-	3.4	1.7	-
50歳代		76	27	18	4	10	1	10	-	4	1	1
		100.0	35.5	23.7	5.3	13.2	1.3	13.2	-	5.3	1.3	1.3
60歳代		91	4	16	1	7	2	33	-	25	3	-
		100.0	4.4	17.6	1.1	7.7	2.2	36.3	-	27.5	3.3	-
70歳以上		134	-	3	2	2	2	38	-	80	5	2
		100.0	-	2.2	1.5	1.5	1.5	28.4	-	59.7	3.7	1.5

(6) 婚姻状況

- 「既婚・配偶者あり(配偶者：無職)」が24.7%と最も高く、以下「既婚・配偶者あり(配偶者：勤め人)」(21.0%)、「未婚」(16.7%)である。
- 性別では、男性は「既婚・配偶者あり(配偶者：無職)」が30.6%と最も高く、女性は「既婚・配偶者あり(配偶者：勤め人)」(25.3%)、「既婚・配偶者あり(配偶者：無職)」(20.5%)の割合が高くなっている。
- 年齢別では、「既婚・配偶者あり(配偶者：勤め人)」は30歳代(42.4%)、40歳代(38.2%)、50歳代(39.7%)で高くっており、60歳代以上では「既婚・配偶者あり(配偶者：無職)」が高くなっている。

婚姻状況



		婚姻状況 (%)							無回答
		全体	既婚・配偶者あり(配偶者:勤め人)	既婚・配偶者あり(配偶者:パート等)	既婚・配偶者あり(配偶者:自営業・自由業等)	既婚・配偶者あり(配偶者:無職)	既婚・配偶者なし	未婚	
全体		813	171	69	107	201	102	136	27
		100.0	21.0	8.5	13.2	24.7	12.5	16.7	3.3
性 年 齢 別	男性計	350	54	53	40	107	20	66	10
		100.0	15.4	15.1	11.4	30.6	5.7	18.9	2.9
	20歳代	25	-	1	-	2	1	21	-
		100.0	-	4.0	-	8.0	4.0	84.0	-
	30歳代	43	14	7	1	6	-	15	-
		100.0	32.6	16.3	2.3	14.0	-	34.9	-
	40歳代	41	5	12	4	4	1	15	-
		100.0	12.2	29.3	9.8	9.8	2.4	36.6	-
	50歳代	55	17	15	3	7	2	10	1
		100.0	30.9	27.3	5.5	12.7	3.6	18.2	1.8
	60歳代	79	11	16	15	28	3	5	1
		100.0	13.9	20.3	19.0	35.4	3.8	6.3	1.3
	70歳以上	107	7	2	17	60	13	-	8
		100.0	6.5	1.9	15.9	56.1	12.1	-	7.5
	女性計	454	115	15	67	93	81	69	14
		100.0	25.3	3.3	14.8	20.5	17.8	15.2	3.1
	20歳代	40	9	-	1	-	1	29	-
		100.0	22.5	-	2.5	-	2.5	72.5	-
	30歳代	55	27	2	4	1	2	19	-
		100.0	49.1	3.6	7.3	1.8	3.6	34.5	-
40歳代	58	33	3	8	2	3	8	1	
	100.0	56.9	5.2	13.8	3.4	5.2	13.8	1.7	
50歳代	76	35	2	17	10	6	6	-	
	100.0	46.1	2.6	22.4	13.2	7.9	7.9	-	
60歳代	91	9	6	19	36	14	6	1	
	100.0	9.9	6.6	20.9	39.6	15.4	6.6	1.1	
70歳以上	134	2	2	18	44	55	1	12	
	100.0	1.5	1.5	13.4	32.8	41.0	0.7	9.0	

調査結果

1 男女平等について

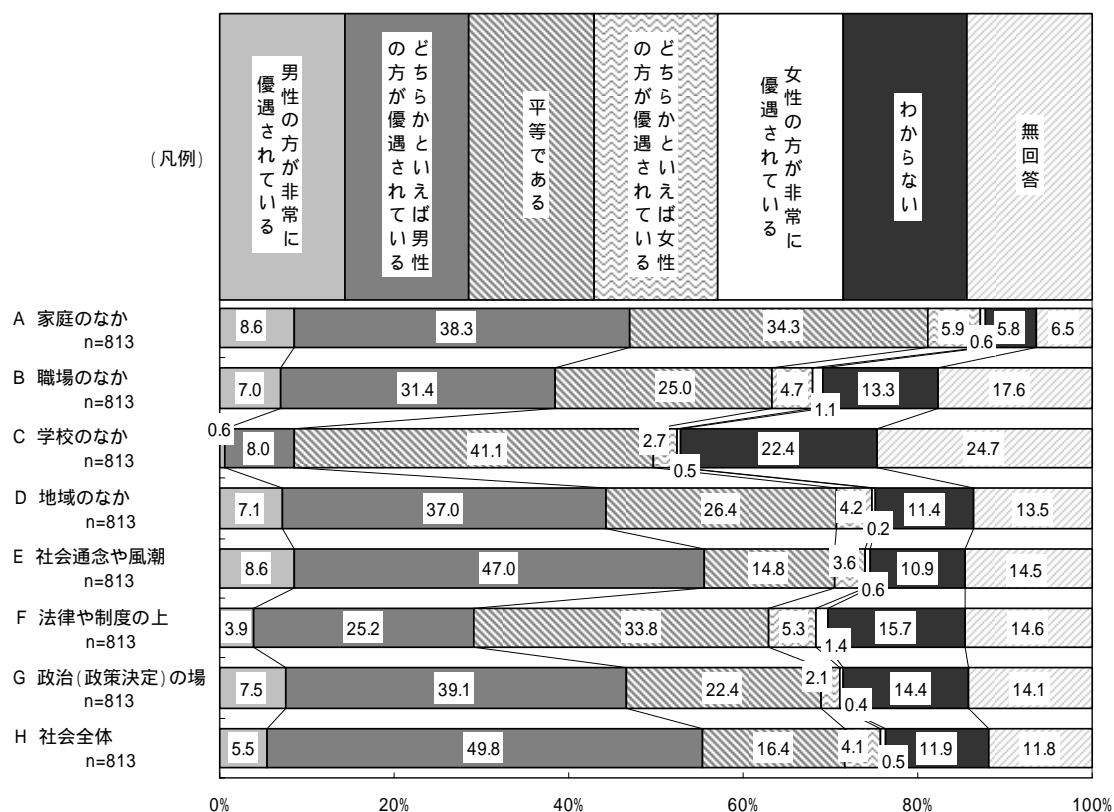
問1. あなたは、次にあげるA～Hの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。

(1) 各分野での男女の地位

【全体】(A～H)

- 「平等である」は、「C 学校のなか」が41.1%と最も高く、「A 家庭のなか」(34.3%)、「F 法律や制度の上」(33.8%)と続いている。一方、「E 社会通念や風潮」(14.8%)や「H 社会全体」(16.4%)では低くなっており、『男性の方が優遇されている』が5割を超えている。

各分野での男女の地位【全体】(A～H)

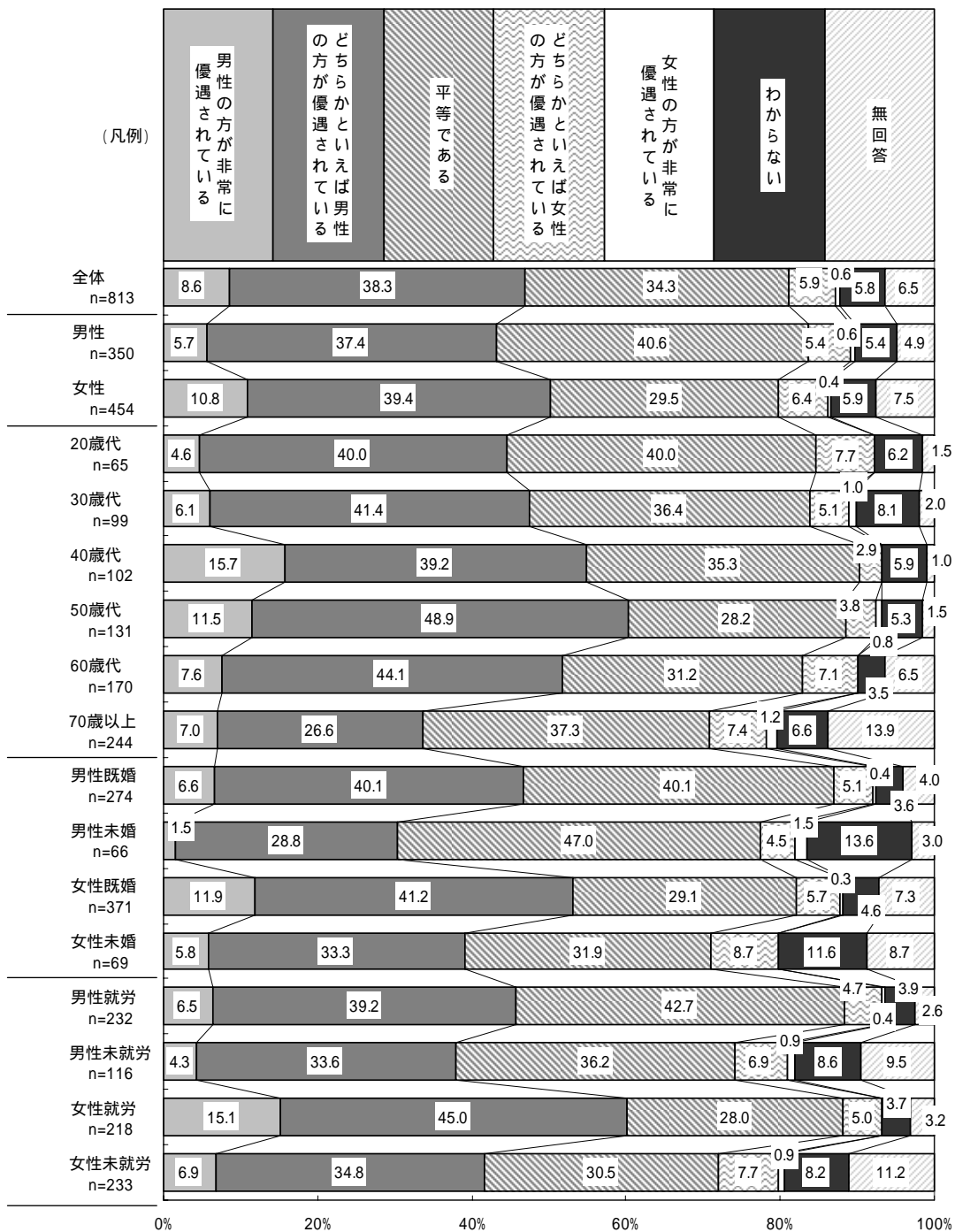


『男性の方が優遇されている』は、本来の選択肢の「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合を合計している。『女性の方が優遇されている』は、本来の選択肢の「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 家庭のなか】

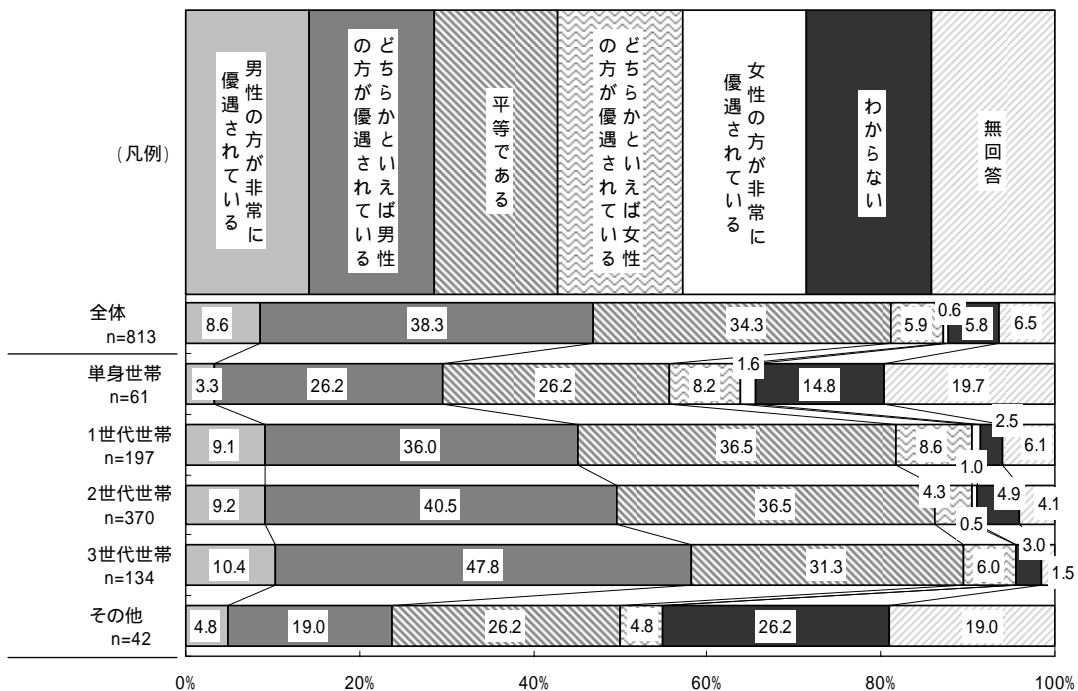
- 「平等である」が34.3%となり、『男性の方が優遇されている』は46.9%である。
- 性別では、男性は「平等である」が40.6%と女性（29.5%）よりも11.1ポイント高い。
- 年齢別では、20歳代は「平等である」の割合が40.0%と高い。50歳代では、『男性の方が優遇されている』が60.4%に上る。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は『男性の方が優遇されている』が53.1%と高く、「平等である」が29.1%と低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』の割合が60.1%と高い。
- 世帯別では、『男性の方が優遇されている』は、3世代世帯が58.2%と最も高い。

A 家庭のなか



		A 家庭のなか[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		813	70	311	279	48	5	47	53
		100.0	8.6	38.3	34.3	5.9	0.6	5.8	6.5
男性計		350	20	131	142	19	2	19	17
		100.0	5.7	37.4	40.6	5.4	0.6	5.4	4.9
20歳代		25	-	9	13	1	-	2	-
		100.0	-	36.0	52.0	4.0	-	8.0	-
30歳代		43	1	18	16	2	1	4	1
		100.0	2.3	41.9	37.2	4.7	2.3	9.3	2.3
40歳代		41	5	14	19	-	-	2	1
		100.0	12.2	34.1	46.3	-	-	4.9	2.4
50歳代		55	4	23	20	2	1	4	1
		100.0	7.3	41.8	36.4	3.6	1.8	7.3	1.8
60歳代		79	5	33	29	6	-	2	4
		100.0	6.3	41.8	36.7	7.6	-	2.5	5.1
70歳以上		107	5	34	45	8	-	5	10
		100.0	4.7	31.8	42.1	7.5	-	4.7	9.3
女性計		454	49	179	134	29	2	27	34
		100.0	10.8	39.4	29.5	6.4	0.4	5.9	7.5
20歳代		40	3	17	13	4	-	2	1
		100.0	7.5	42.5	32.5	10.0	-	5.0	2.5
30歳代		55	5	23	19	3	-	4	1
		100.0	9.1	41.8	34.5	5.5	-	7.3	1.8
40歳代		58	10	25	16	3	-	4	-
		100.0	17.2	43.1	27.6	5.2	-	6.9	-
50歳代		76	11	41	17	3	-	3	1
		100.0	14.5	53.9	22.4	3.9	-	3.9	1.3
60歳代		91	8	42	24	6	-	4	7
		100.0	8.8	46.2	26.4	6.6	-	4.4	7.7
70歳以上		134	12	31	45	10	2	10	24
		100.0	9.0	23.1	33.6	7.5	1.5	7.5	17.9

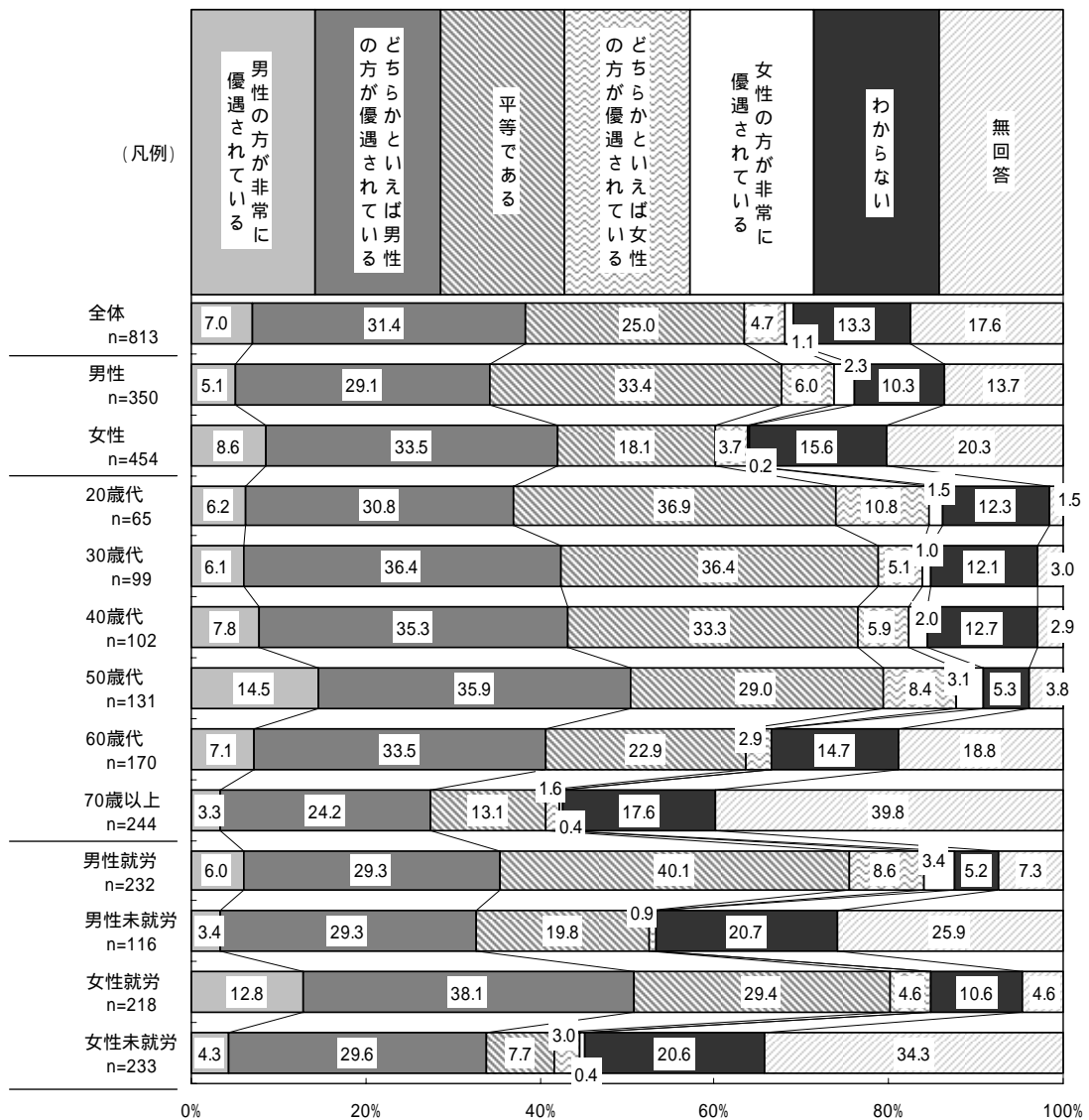
A 家庭のなか



【B 職場のなか】

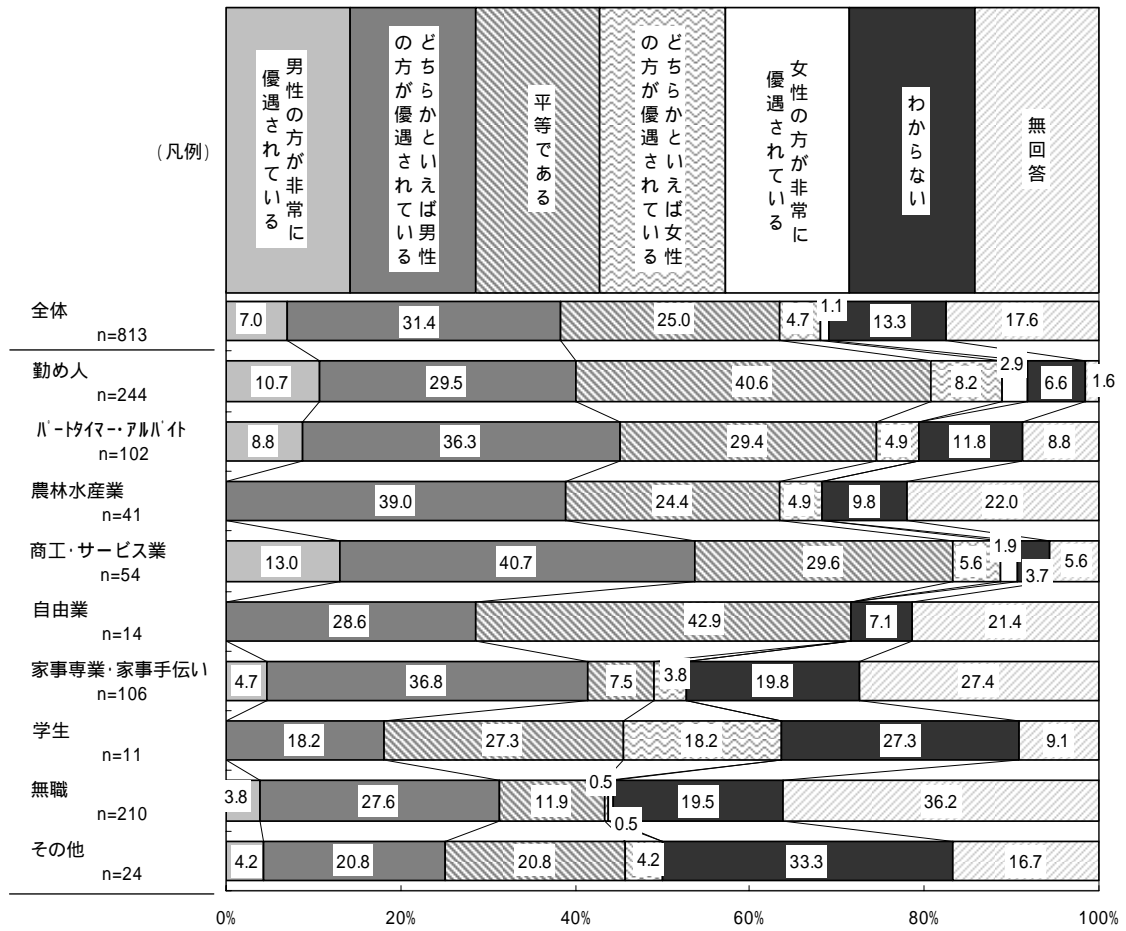
- 「平等である」が25.0%となり、『男性の方が優遇されている』は38.4%である。
- 性別では、「平等である」と回答した割合の男女差が質問項目の中で最も大きく、男性は33.4%と女性（18.1%）を15.3ポイント上回っている。
- 年齢別では、『男性の方が優遇されている』は50歳代で50.4%と高くなっており、「平等である」は若い世代ほど高くなっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が50.9%と高い。
- 職業別では、「平等である」は勤め人が40.6%と最も高くなっている。商工・サービス業では、『男性の方が優遇されている』が53.7%と特に高くなっている。

B 職場のなか



		B 職場のなか[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		813	57	255	203	38	9	108	143
		100.0	7.0	31.4	25.0	4.7	1.1	13.3	17.6
男性計		350	18	102	117	21	8	36	48
		100.0	5.1	29.1	33.4	6.0	2.3	10.3	13.7
20歳代		25	-	6	12	3	1	3	-
		100.0	-	24.0	48.0	12.0	4.0	12.0	-
30歳代		43	2	13	20	4	1	3	-
		100.0	4.7	30.2	46.5	9.3	2.3	7.0	-
40歳代		41	1	8	19	4	2	5	2
		100.0	2.4	19.5	46.3	9.8	4.9	12.2	4.9
50歳代		55	6	18	17	5	4	3	2
		100.0	10.9	32.7	30.9	9.1	7.3	5.5	3.6
60歳代		79	6	26	25	3	-	7	12
		100.0	7.6	32.9	31.6	3.8	-	8.9	15.2
70歳以上		107	3	31	24	2	-	15	32
		100.0	2.8	29.0	22.4	1.9	-	14.0	29.9
女性計		454	39	152	82	17	1	71	92
		100.0	8.6	33.5	18.1	3.7	0.2	15.6	20.3
20歳代		40	4	14	12	4	-	5	1
		100.0	10.0	35.0	30.0	10.0	-	12.5	2.5
30歳代		55	4	23	15	1	-	9	3
		100.0	7.3	41.8	27.3	1.8	-	16.4	5.5
40歳代		58	7	27	13	2	-	8	1
		100.0	12.1	46.6	22.4	3.4	-	13.8	1.7
50歳代		76	13	29	21	6	-	4	3
		100.0	17.1	38.2	27.6	7.9	-	5.3	3.9
60歳代		91	6	31	14	2	-	18	20
		100.0	6.6	34.1	15.4	2.2	-	19.8	22.0
70歳以上		134	5	28	7	2	1	27	64
		100.0	3.7	20.9	5.2	1.5	0.7	20.1	47.8

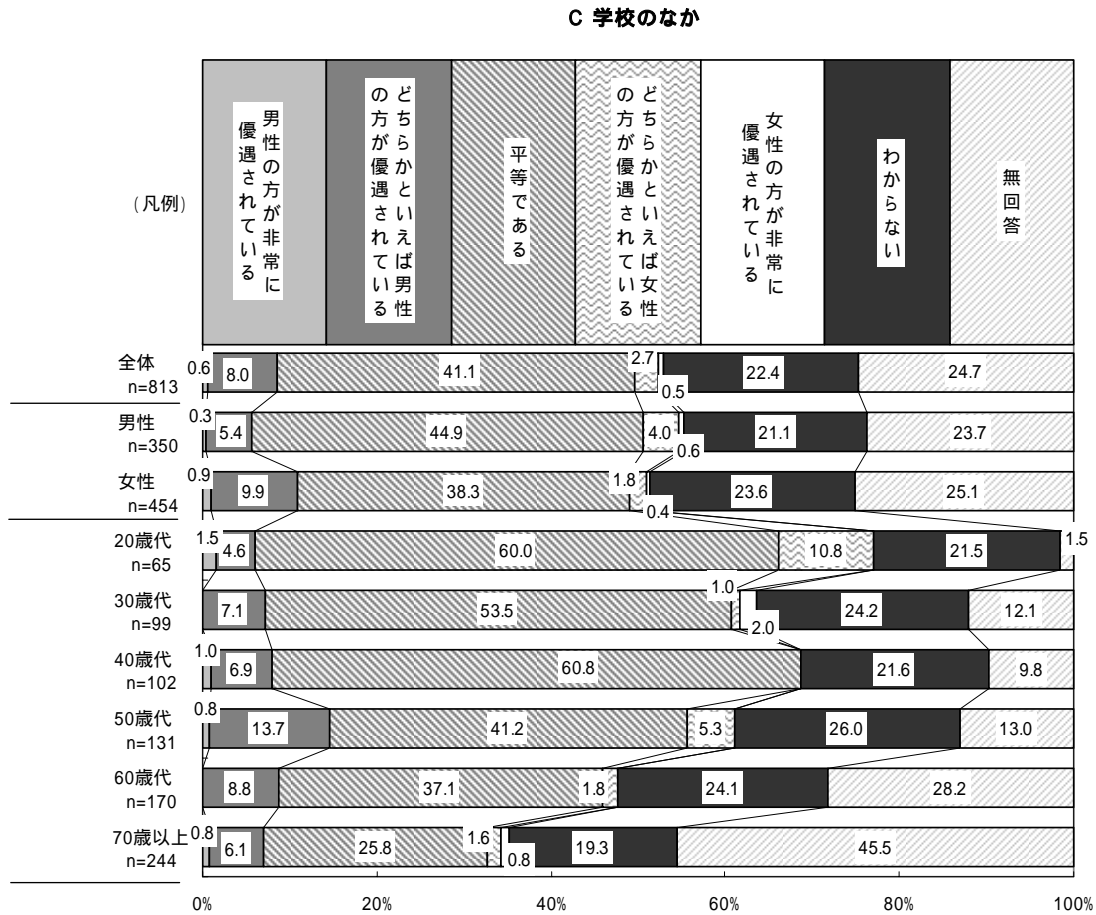
B 職場のなか



自由業、学生、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。

【C 学校のなか】

- 「平等である」が41.1%と最も高く、『男性の方が優遇されている』は8.6%である。
- 性別では、男性は「平等である」が44.9%と女性（38.3%）よりも高い。
- 年齢別では、「平等である」は40歳代（60.8%）、20歳代（60.0%）で高くなっている。また、20歳代は「どちらかといえば女性の方が優遇されている」（10.8%）の割合が他の年代に比べやや高い。

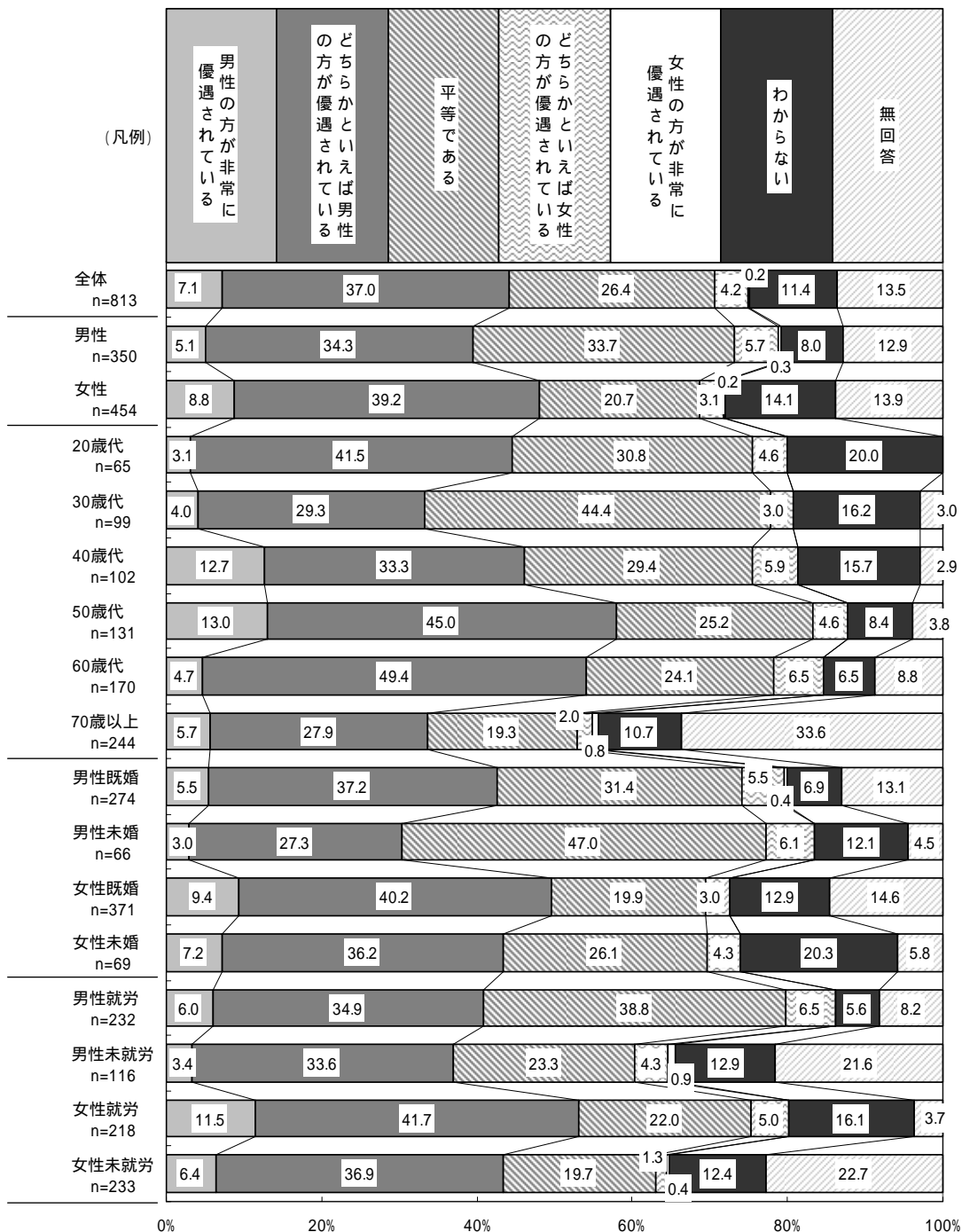


		C 学校のなか(%)							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		813	5	65	334	22	4	182	201
		100.0	0.6	8.0	41.1	2.7	0.5	22.4	24.7
性 年 齢 別	男性計	350	1	19	157	14	2	74	83
		100.0	0.3	5.4	44.9	4.0	0.6	21.1	23.7
	20歳代	25	-	1	17	4	-	3	-
		100.0	-	4.0	68.0	16.0	-	12.0	-
	30歳代	43	-	2	25	1	1	11	3
		100.0	-	4.7	58.1	2.3	2.3	25.6	7.0
	40歳代	41	-	2	25	-	-	9	5
		100.0	-	4.9	61.0	-	-	22.0	12.2
	50歳代	55	1	3	19	5	-	18	9
		100.0	1.8	5.5	34.5	9.1	-	32.7	16.4
	60歳代	79	-	5	33	2	-	15	24
		100.0	-	6.3	41.8	2.5	-	19.0	30.4
	70歳以上	107	-	6	38	2	1	18	42
		100.0	-	5.6	35.5	1.9	0.9	16.8	39.3
	女性計	454	4	45	174	8	2	107	114
		100.0	0.9	9.9	38.3	1.8	0.4	23.6	25.1
	20歳代	40	1	2	22	3	-	11	1
		100.0	2.5	5.0	55.0	7.5	-	27.5	2.5
	30歳代	55	-	5	28	-	1	13	8
		100.0	-	9.1	50.9	-	1.8	23.6	14.5
40歳代	58	1	4	35	-	-	13	5	
	100.0	1.7	6.9	60.3	-	-	22.4	8.6	
50歳代	76	-	15	35	2	-	16	8	
	100.0	-	19.7	46.1	2.6	-	21.1	10.5	
60歳代	91	-	10	30	1	-	26	24	
	100.0	-	11.0	33.0	1.1	-	28.6	26.4	
70歳以上	134	2	9	24	2	1	28	68	
	100.0	1.5	6.7	17.9	1.5	0.7	20.9	50.7	

【D 地域のなか】

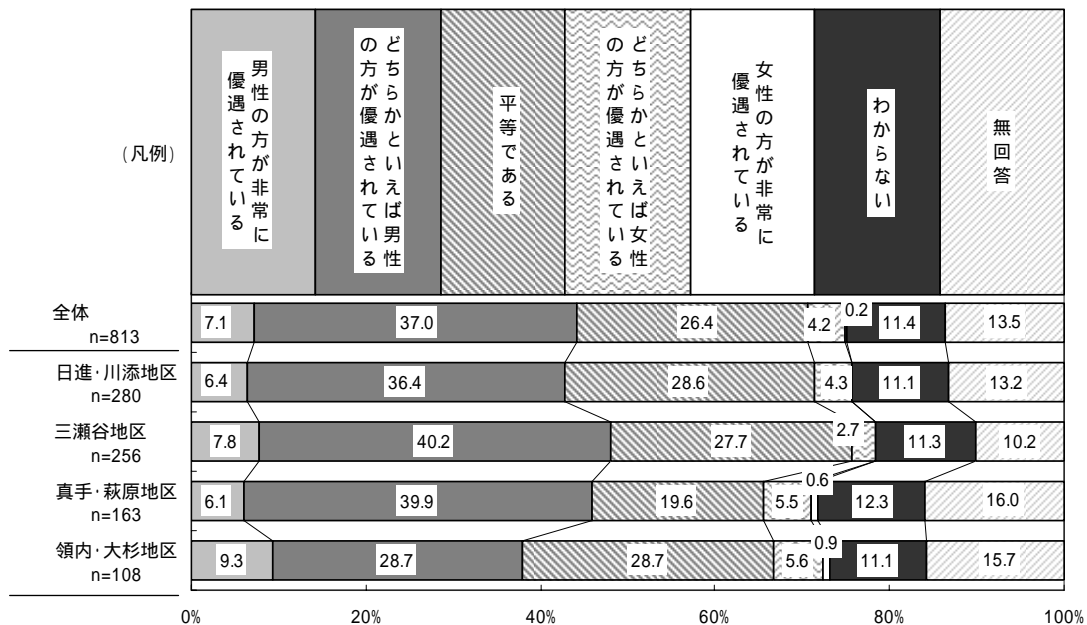
- 「平等である」が26.4%となり、『男性の方が優遇されている』は44.1%である。
- 性別では、男性は「平等である」が33.7%と女性（20.7%）よりも13.0ポイント高い。
- 年齢別では、「平等である」は30歳代が44.4%と最も高い。50歳代は『男性の方が優遇されている』が58.0%に上る。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』の割合が53.2%に上る。また、男性就労者は「平等である」が38.8%と高い。
- 居住地区別では、領内・大杉地区は『男性の方が優遇されている』の割合が38.0%と他の地区に比べやや低い。

D 地域のなか



		D 地域のなか[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		813	58	301	215	34	2	93	110
		100.0	7.1	37.0	26.4	4.2	0.2	11.4	13.5
男性計		350	18	120	118	20	1	28	45
		100.0	5.1	34.3	33.7	5.7	0.3	8.0	12.9
20歳代		25	1	8	10	1	-	5	-
		100.0	4.0	32.0	40.0	4.0	-	20.0	-
30歳代		43	-	11	24	2	-	5	1
		100.0	-	25.6	55.8	4.7	-	11.6	2.3
40歳代		41	2	10	18	3	-	5	3
		100.0	4.9	24.4	43.9	7.3	-	12.2	7.3
50歳代		55	4	25	18	2	-	4	2
		100.0	7.3	45.5	32.7	3.6	-	7.3	3.6
60歳代		79	5	37	22	9	-	-	6
		100.0	6.3	46.8	27.8	11.4	-	-	7.6
70歳以上		107	6	29	26	3	1	9	33
		100.0	5.6	27.1	24.3	2.8	0.9	8.4	30.8
女性計		454	40	178	94	14	1	64	63
		100.0	8.8	39.2	20.7	3.1	0.2	14.1	13.9
20歳代		40	1	19	10	2	-	8	-
		100.0	2.5	47.5	25.0	5.0	-	20.0	-
30歳代		55	4	18	19	1	-	11	2
		100.0	7.3	32.7	34.5	1.8	-	20.0	3.6
40歳代		58	11	21	12	3	-	11	-
		100.0	19.0	36.2	20.7	5.2	-	19.0	-
50歳代		76	13	34	15	4	-	7	3
		100.0	17.1	44.7	19.7	5.3	-	9.2	3.9
60歳代		91	3	47	19	2	-	11	9
		100.0	3.3	51.6	20.9	2.2	-	12.1	9.9
70歳以上		134	8	39	19	2	1	16	49
		100.0	6.0	29.1	14.2	1.5	0.7	11.9	36.6

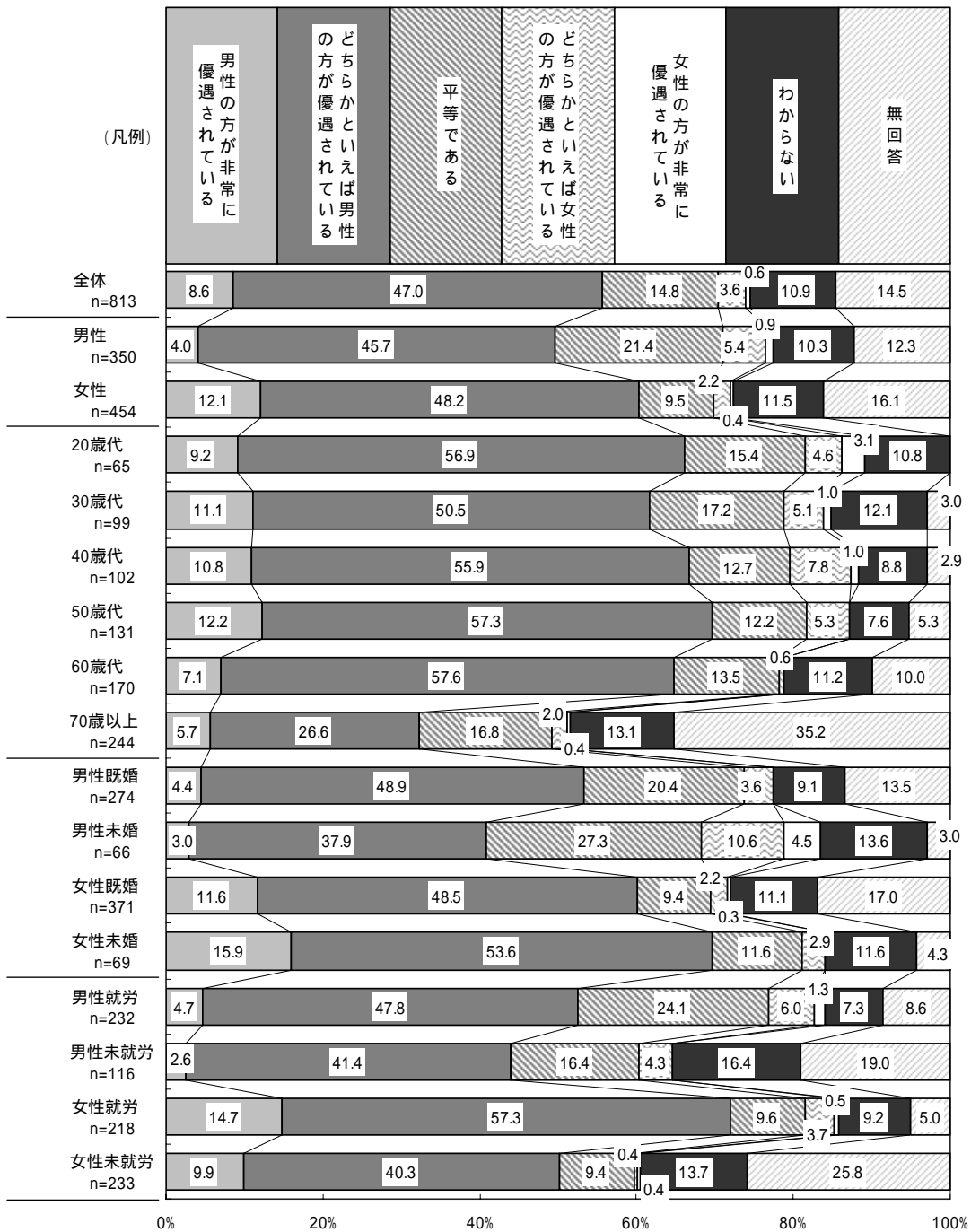
D 地域のなか



【E 社会通念や風潮】

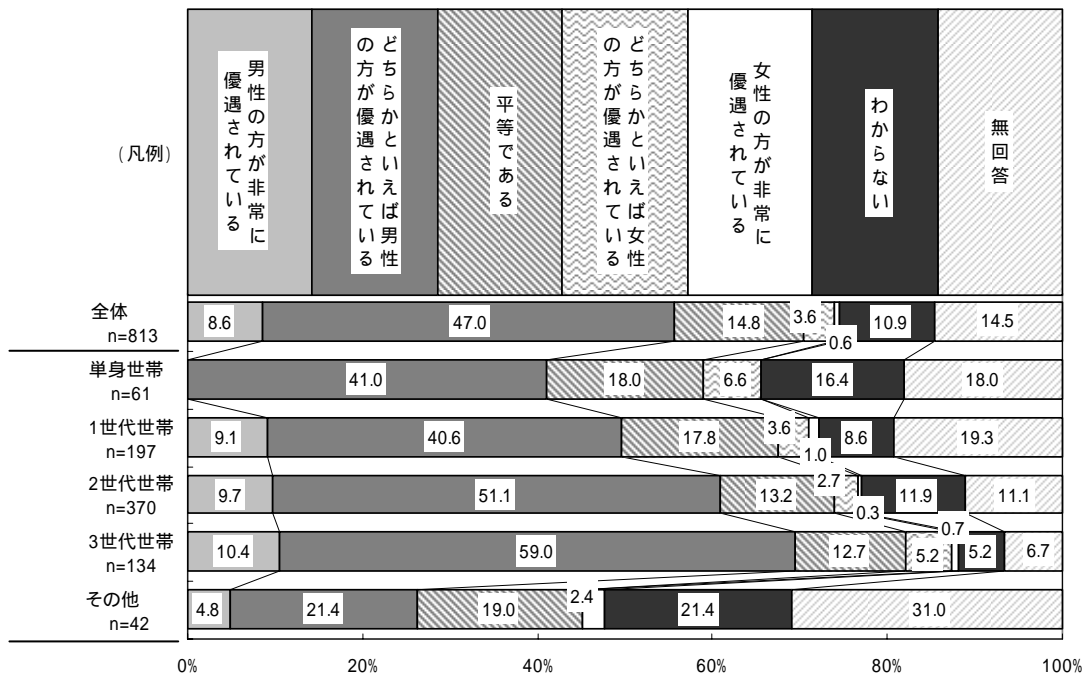
- 「平等である」が14.8%となり、『男性の方が優遇されている』は55.6%である。
- 性別では、男性は「平等である」が21.4%と女性（9.5%）よりも11.9ポイント高い。
- 年齢別では、30歳代は「平等である」が17.2%と比較的高くなっている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は『男性の方が優遇されている』が69.5%と特に高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が72.0%に上る。一方、男性就労者は「平等である」の割合が24.1%とやや高い。
- 世帯別では、3世代世帯で『男性の方が優遇されている』が69.4%とやや高い。

E 社会通念や風潮



		E 社会通念や風潮(%)							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		813	70	382	120	29	5	89	118
		100.0	8.6	47.0	14.8	3.6	0.6	10.9	14.5
男性計		350	14	160	75	19	3	36	43
		100.0	4.0	45.7	21.4	5.4	0.9	10.3	12.3
20歳代		25	1	11	6	2	2	3	-
		100.0	4.0	44.0	24.0	8.0	8.0	12.0	-
30歳代		43	2	17	10	4	1	7	2
		100.0	4.7	39.5	23.3	9.3	2.3	16.3	4.7
40歳代		41	1	22	9	4	-	2	3
		100.0	2.4	53.7	22.0	9.8	-	4.9	7.3
50歳代		55	2	33	10	5	-	3	2
		100.0	3.6	60.0	18.2	9.1	-	5.5	3.6
60歳代		79	5	45	17	-	-	8	4
		100.0	6.3	57.0	21.5	-	-	10.1	5.1
70歳以上		107	3	32	23	4	-	13	32
		100.0	2.8	29.9	21.5	3.7	-	12.1	29.9
女性計		454	55	219	43	10	2	52	73
		100.0	12.1	48.2	9.5	2.2	0.4	11.5	16.1
20歳代		40	5	26	4	1	-	4	-
		100.0	12.5	65.0	10.0	2.5	-	10.0	-
30歳代		55	8	33	7	1	-	5	1
		100.0	14.5	60.0	12.7	1.8	-	9.1	1.8
40歳代		58	10	32	4	4	1	7	-
		100.0	17.2	55.2	6.9	6.9	1.7	12.1	-
50歳代		76	14	42	6	2	-	7	5
		100.0	18.4	55.3	7.9	2.6	-	9.2	6.6
60歳代		91	7	53	6	1	-	11	13
		100.0	7.7	58.2	6.6	1.1	-	12.1	14.3
70歳以上		134	11	33	16	1	1	18	54
		100.0	8.2	24.6	11.9	0.7	0.7	13.4	40.3

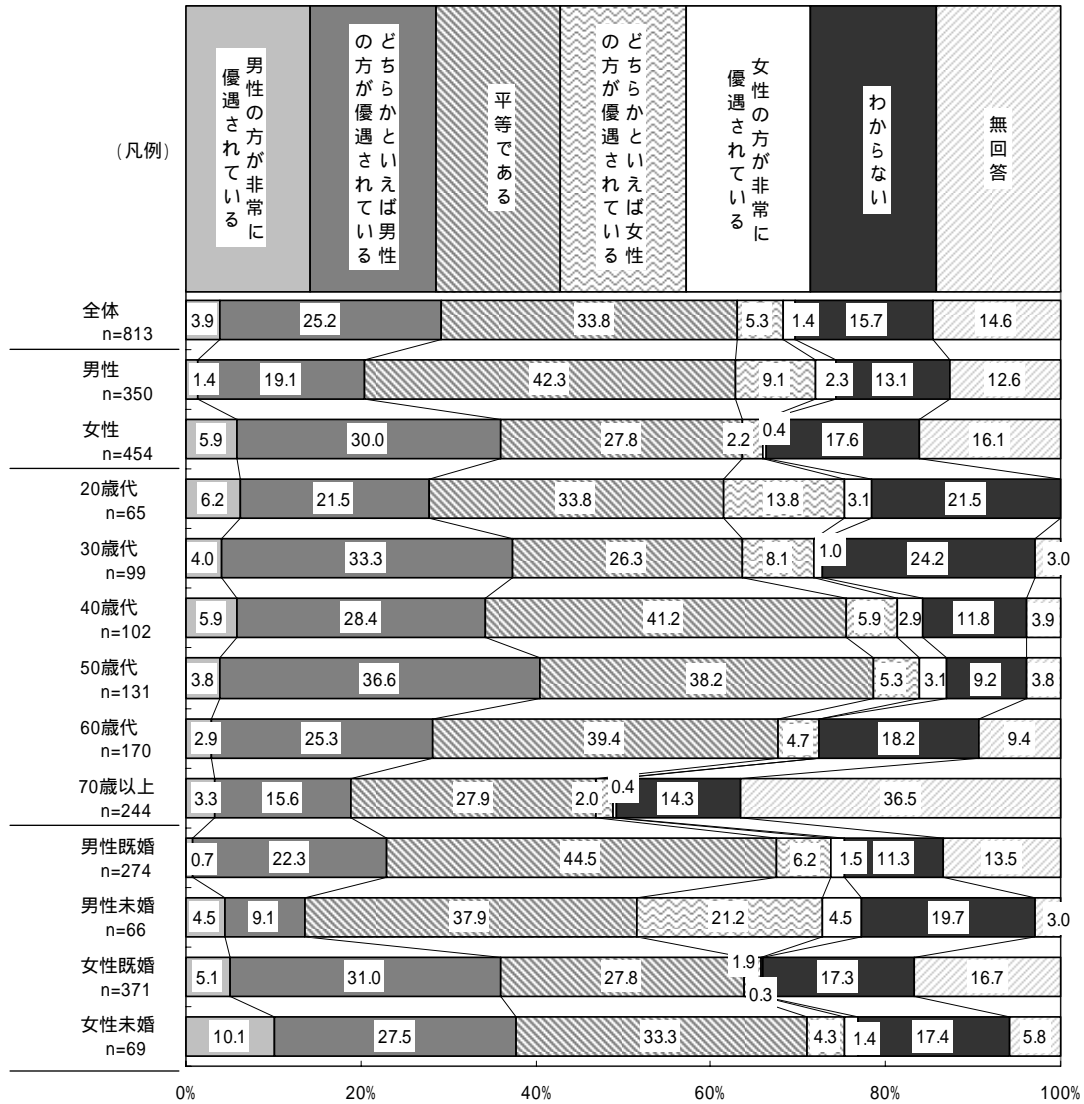
E 社会通念や風潮



【 F 法律や制度の上】

- 「平等である」が33.8%と最も高く、『男性の方が優遇されている』は29.1%となっている。
- 性別では、男性は「平等である」が42.3%と女性（27.8%）よりも14.5ポイント高い。
- 年齢別では、30歳代は「平等である」が26.3%とやや低くなっている。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は「平等である」が44.5%と、女性既婚者（27.8%）より、16.7ポイント高くなっている。

F 法律や制度の上

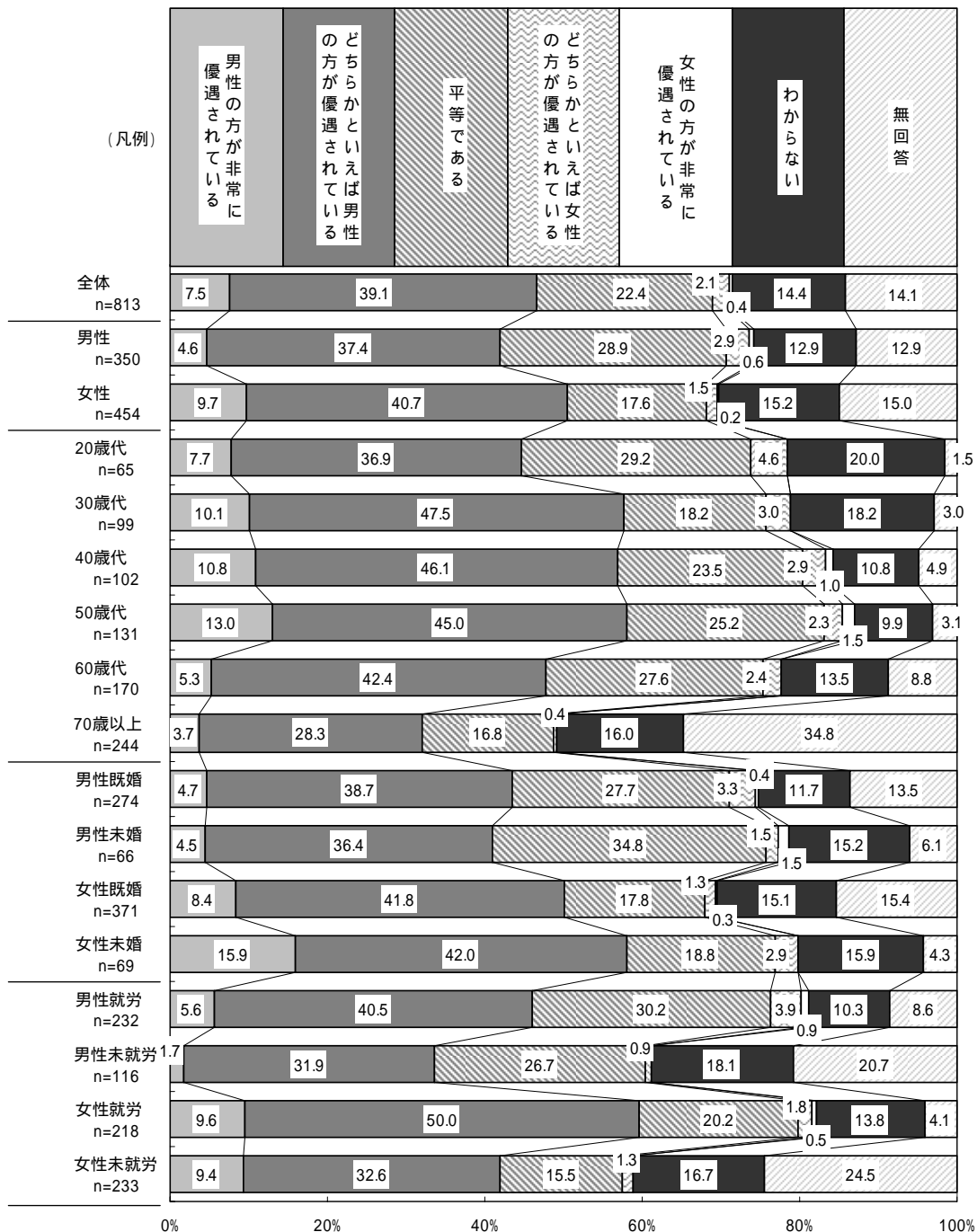


		F 法律や制度の上(%)							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		813	32	205	275	43	11	128	119
		100.0	3.9	25.2	33.8	5.3	1.4	15.7	14.6
男性計		350	5	67	148	32	8	46	44
		100.0	1.4	19.1	42.3	9.1	2.3	13.1	12.6
20歳代		25	2	2	7	6	1	7	-
		100.0	8.0	8.0	28.0	24.0	4.0	28.0	-
30歳代		43	1	7	15	8	1	9	2
		100.0	2.3	16.3	34.9	18.6	2.3	20.9	4.7
40歳代		41	-	9	20	4	2	2	4
		100.0	-	22.0	48.8	9.8	4.9	4.9	9.8
50歳代		55	1	13	27	5	4	4	1
		100.0	1.8	23.6	49.1	9.1	7.3	7.3	1.8
60歳代		79	1	20	40	5	-	9	4
		100.0	1.3	25.3	50.6	6.3	-	11.4	5.1
70歳以上		107	-	16	39	4	-	15	33
		100.0	-	15.0	36.4	3.7	-	14.0	30.8
女性計		454	27	136	126	10	2	80	73
		100.0	5.9	30.0	27.8	2.2	0.4	17.6	16.1
20歳代		40	2	12	15	3	1	7	-
		100.0	5.0	30.0	37.5	7.5	2.5	17.5	-
30歳代		55	3	25	11	-	-	15	1
		100.0	5.5	45.5	20.0	-	-	27.3	1.8
40歳代		58	6	19	22	1	1	9	-
		100.0	10.3	32.8	37.9	1.7	1.7	15.5	-
50歳代		76	4	35	23	2	-	8	4
		100.0	5.3	46.1	30.3	2.6	-	10.5	5.3
60歳代		91	4	23	27	3	-	22	12
		100.0	4.4	25.3	29.7	3.3	-	24.2	13.2
70歳以上		134	8	22	28	1	-	19	56
		100.0	6.0	16.4	20.9	0.7	-	14.2	41.8

【G 政治（政策決定）の場合】

- 「平等である」が22.4%となり、『男性の方が優遇されている』は46.6%である。
- 性別では、男性は「平等である」が28.9%と女性（17.6%）よりも11.3ポイント高い。
- 年齢別では、『男性の方が優遇されている』は50歳代が58.0%と最も高く、30歳代（57.6%）、40歳代（56.9%）でも5割を超えている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は『男性の方が優遇されている』が57.9%とやや高い。また、「平等である」は女性既婚者（17.8%）、女性未婚者（18.8%）で低くなっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が59.6%と特に高い。一方、男性就労者は「平等である」が30.2%と高い。

G 政治（政策決定）の場合

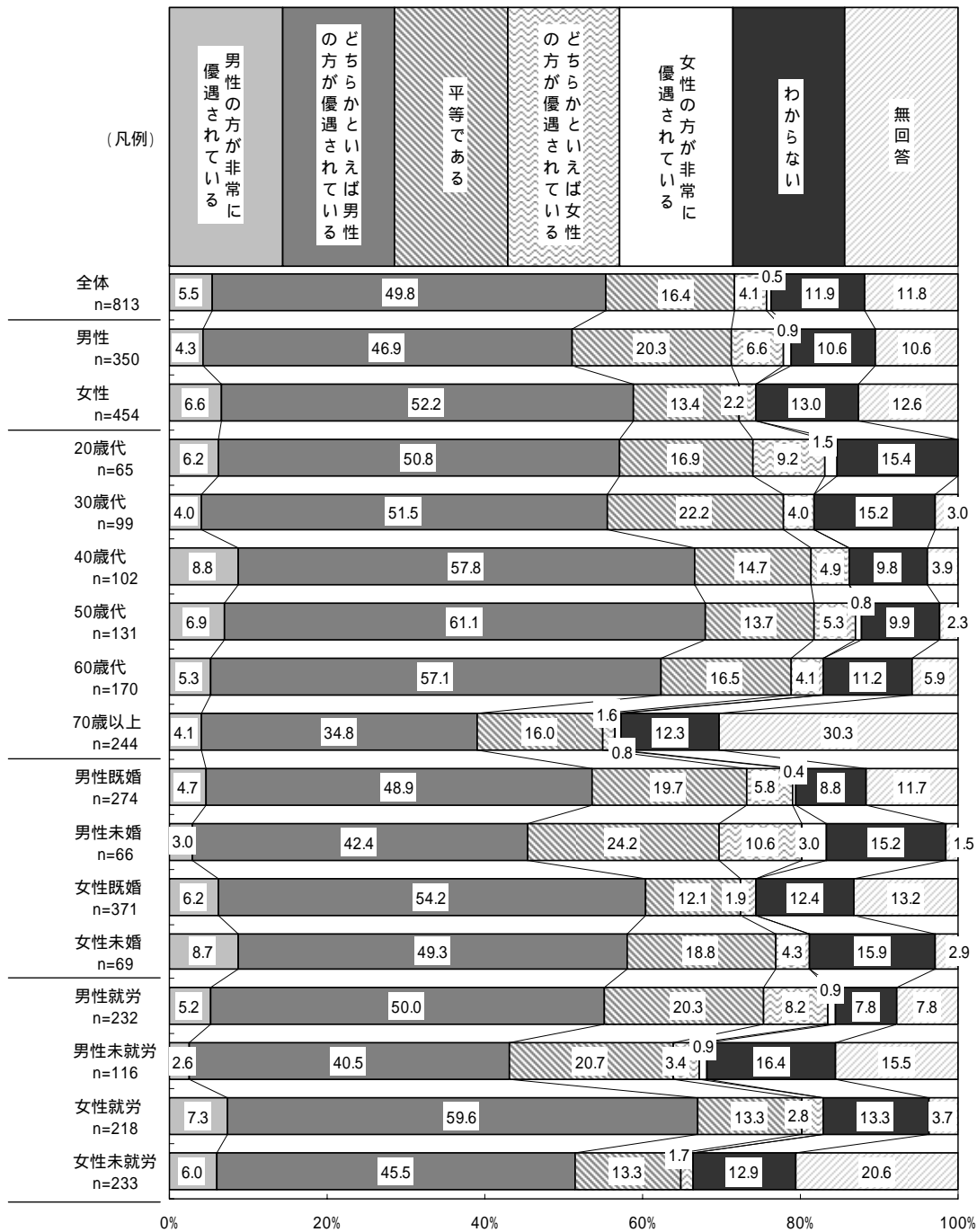


		G 政治(政策決定)の場[%]							
		全体	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらか といえば男性 の方が優遇 されている	平等である	どちらか といえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない	無回答
全体		813	61	318	182	17	3	117	115
		100.0	7.5	39.1	22.4	2.1	0.4	14.4	14.1
男性計		350	16	131	101	10	2	45	45
		100.0	4.6	37.4	28.9	2.9	0.6	12.9	12.9
20歳代		25	2	8	9	-	-	5	1
		100.0	8.0	32.0	36.0	-	-	20.0	4.0
30歳代		43	2	17	13	3	-	6	2
		100.0	4.7	39.5	30.2	7.0	-	14.0	4.7
40歳代		41	3	13	15	3	-	2	5
		100.0	7.3	31.7	36.6	7.3	-	4.9	12.2
50歳代		55	3	23	17	2	2	7	1
		100.0	5.5	41.8	30.9	3.6	3.6	12.7	1.8
60歳代		79	5	35	26	2	-	7	4
		100.0	6.3	44.3	32.9	2.5	-	8.9	5.1
70歳以上		107	1	35	21	-	-	18	32
		100.0	0.9	32.7	19.6	-	-	16.8	29.9
女性計		454	44	185	80	7	1	69	68
		100.0	9.7	40.7	17.6	1.5	0.2	15.2	15.0
20歳代		40	3	16	10	3	-	8	-
		100.0	7.5	40.0	25.0	7.5	-	20.0	-
30歳代		55	8	29	5	-	-	12	1
		100.0	14.5	52.7	9.1	-	-	21.8	1.8
40歳代		58	7	33	9	-	1	8	-
		100.0	12.1	56.9	15.5	-	1.7	13.8	-
50歳代		76	14	36	16	1	-	6	3
		100.0	18.4	47.4	21.1	1.3	-	7.9	3.9
60歳代		91	4	37	21	2	-	16	11
		100.0	4.4	40.7	23.1	2.2	-	17.6	12.1
70歳以上		134	8	34	19	1	-	19	53
		100.0	6.0	25.4	14.2	0.7	-	14.2	39.6

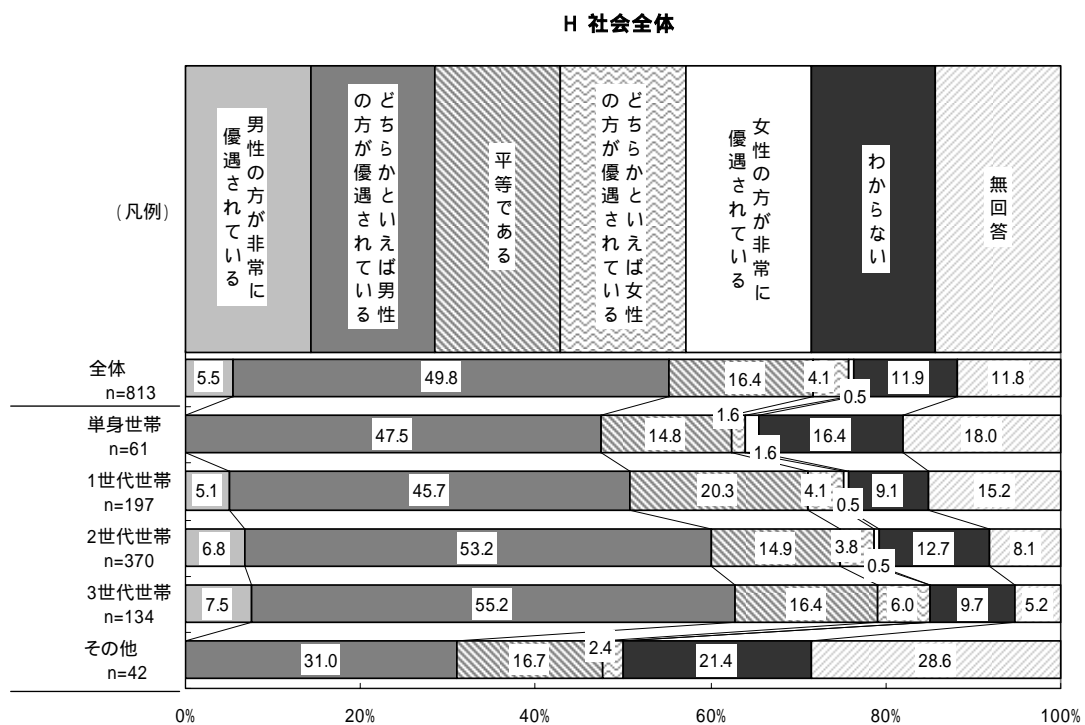
【H 社会全体】

- 「平等である」が16.4%となり、『男性の方が優遇されている』は55.3%である。
- 性別では、男性は「平等である」が20.3%と女性（13.4%）よりも高い。
- 年齢別では、70歳以上を除くいずれの年齢層でも『男性の方が優遇されている』が5割を超えている。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』が66.9%と特に高い。
- 世帯別では、「平等である」と回答した割合が最も高いのは1世代世帯（20.3%）である。また、3世代世帯では『男性の方が優遇されている』が62.7%と他の世帯に比べやや高い。

H 社会全体



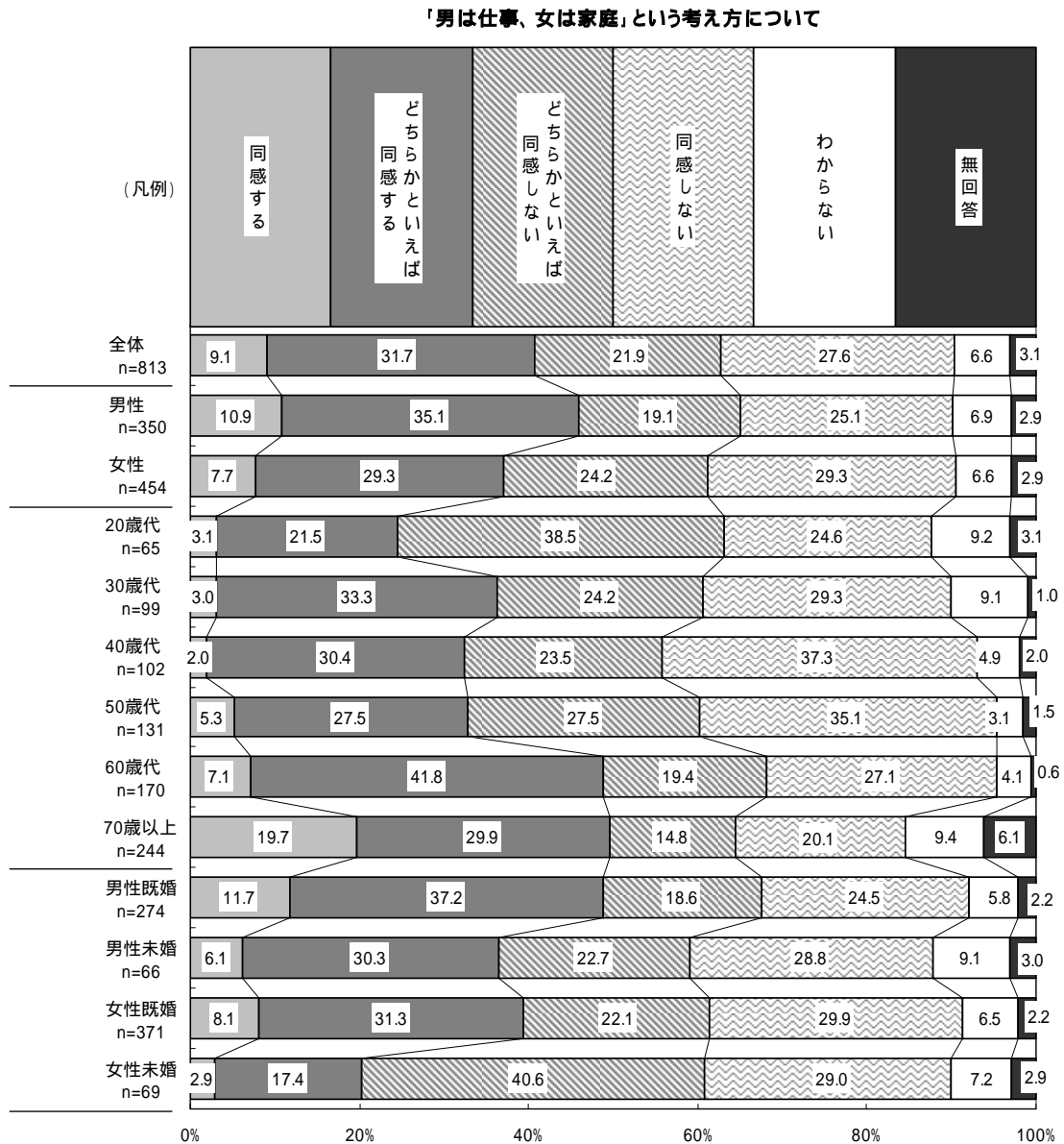
		H 社会全体[%]							
		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		813	45	405	133	33	4	97	96
		100.0	5.5	49.8	16.4	4.1	0.5	11.9	11.8
男性計		350	15	164	71	23	3	37	37
		100.0	4.3	46.9	20.3	6.6	0.9	10.6	10.6
20歳代		25	2	10	5	3	1	4	-
		100.0	8.0	40.0	20.0	12.0	4.0	16.0	-
30歳代		43	1	14	16	4	-	6	2
		100.0	2.3	32.6	37.2	9.3	-	14.0	4.7
40歳代		41	1	22	7	5	-	2	4
		100.0	2.4	53.7	17.1	12.2	-	4.9	9.8
50歳代		55	2	32	8	6	1	6	-
		100.0	3.6	58.2	14.5	10.9	1.8	10.9	-
60歳代		79	7	45	14	4	-	6	3
		100.0	8.9	57.0	17.7	5.1	-	7.6	3.8
70歳以上		107	2	41	21	1	1	13	28
		100.0	1.9	38.3	19.6	0.9	0.9	12.1	26.2
女性計		454	30	237	61	10	-	59	57
		100.0	6.6	52.2	13.4	2.2	-	13.0	12.6
20歳代		40	2	23	6	3	-	6	-
		100.0	5.0	57.5	15.0	7.5	-	15.0	-
30歳代		55	3	36	6	-	-	9	1
		100.0	5.5	65.5	10.9	-	-	16.4	1.8
40歳代		58	8	34	8	-	-	8	-
		100.0	13.8	58.6	13.8	-	-	13.8	-
50歳代		76	7	48	10	1	-	7	3
		100.0	9.2	63.2	13.2	1.3	-	9.2	3.9
60歳代		91	2	52	14	3	-	13	7
		100.0	2.2	57.1	15.4	3.3	-	14.3	7.7
70歳以上		134	8	44	17	3	-	16	46
		100.0	6.0	32.8	12.7	2.2	-	11.9	34.3



(2)「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問2.「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。

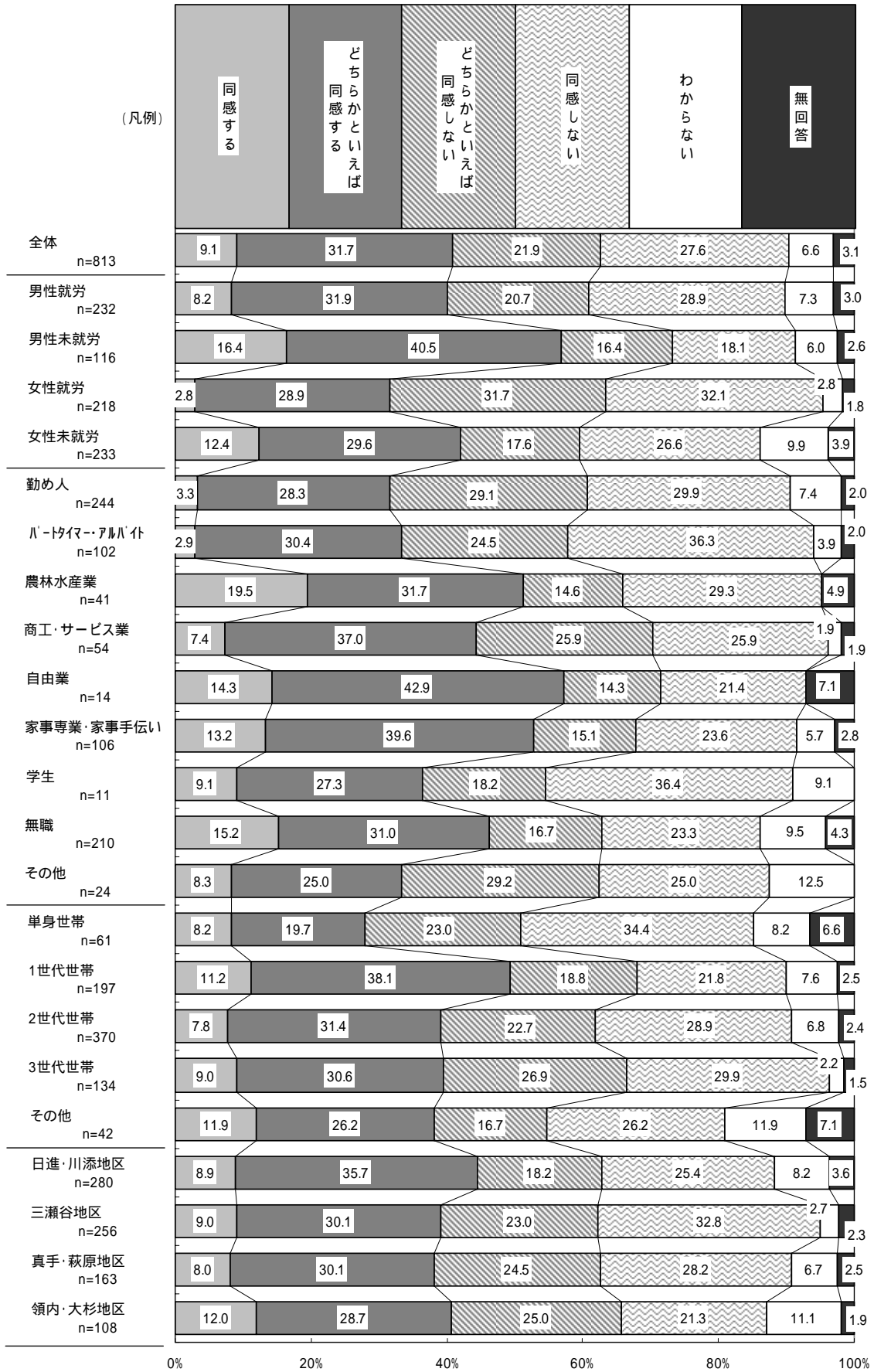
- 「どちらかといえば同感する」が31.7%と最も高く、「同感する」(9.1%)と合わせた『同感する』は40.8%となる。一方、『同感しない』は49.5%である。
- 性別では、女性は『同感しない』が53.5%と男性(44.2%)よりも高い。
- 年齢別では、60歳代以上は『同感する』が他の年代に比べて高い。一方、20歳代(63.1%)、50歳代(62.6%)、40歳代(60.8%)では『同感しない』が6割を超えている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は『同感しない』が69.6%と特に高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『同感しない』が63.8%と高い。一方、男性未就労者は『同感する』が56.9%と高い。
- 職業別では、『同感する』は勤め人(31.6%)、パートタイマー・アルバイト(33.3%)で低い。
- 世帯別では、1世代世帯で『同感する』が49.3%と最も高く、単身世帯で27.9%と低い。
- 居住地区別では、日進・川添地区で『同感する』が44.6%と最も高い。



『同感する』は、本来の選択肢の「同感する」と「どちらかといえば同感する」の割合を合計したものである。『同感しない』は、本来の選択肢の「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

		「男は仕事、女は家庭」という考え方について〔%〕						
		全体	同感する	どちらかといえは同感する	どちらかといえは同感しない	同感しない	わからない	無回答
全体		813	74	258	178	224	54	25
		100.0	9.1	31.7	21.9	27.6	6.6	3.1
性 年 齢 別	男性計	350	38	123	67	88	24	10
		100.0	10.9	35.1	19.1	25.1	6.9	2.9
	20歳代	25	1	9	4	7	2	2
		100.0	4.0	36.0	16.0	28.0	8.0	8.0
	30歳代	43	1	12	8	13	8	1
		100.0	2.3	27.9	18.6	30.2	18.6	2.3
	40歳代	41	2	17	8	11	3	-
		100.0	4.9	41.5	19.5	26.8	7.3	-
	50歳代	55	4	17	12	18	2	2
		100.0	7.3	30.9	21.8	32.7	3.6	3.6
	60歳代	79	6	34	16	22	1	-
		100.0	7.6	43.0	20.3	27.8	1.3	-
	70歳以上	107	24	34	19	17	8	5
		100.0	22.4	31.8	17.8	15.9	7.5	4.7
	女性計	454	35	133	110	133	30	13
		100.0	7.7	29.3	24.2	29.3	6.6	2.9
	20歳代	40	1	5	21	9	4	-
		100.0	2.5	12.5	52.5	22.5	10.0	-
	30歳代	55	2	21	15	16	1	-
		100.0	3.6	38.2	27.3	29.1	1.8	-
40歳代	58	-	13	16	25	2	2	
	100.0	-	22.4	27.6	43.1	3.4	3.4	
50歳代	76	3	19	24	28	2	-	
	100.0	3.9	25.0	31.6	36.8	2.6	-	
60歳代	91	6	37	17	24	6	1	
	100.0	6.6	40.7	18.7	26.4	6.6	1.1	
70歳以上	134	23	38	17	31	15	10	
	100.0	17.2	28.4	12.7	23.1	11.2	7.5	

「男は仕事、女は家庭」という考え方について



自由業、学生、その他（職業）の回答者は少数のため、分析から除いている。

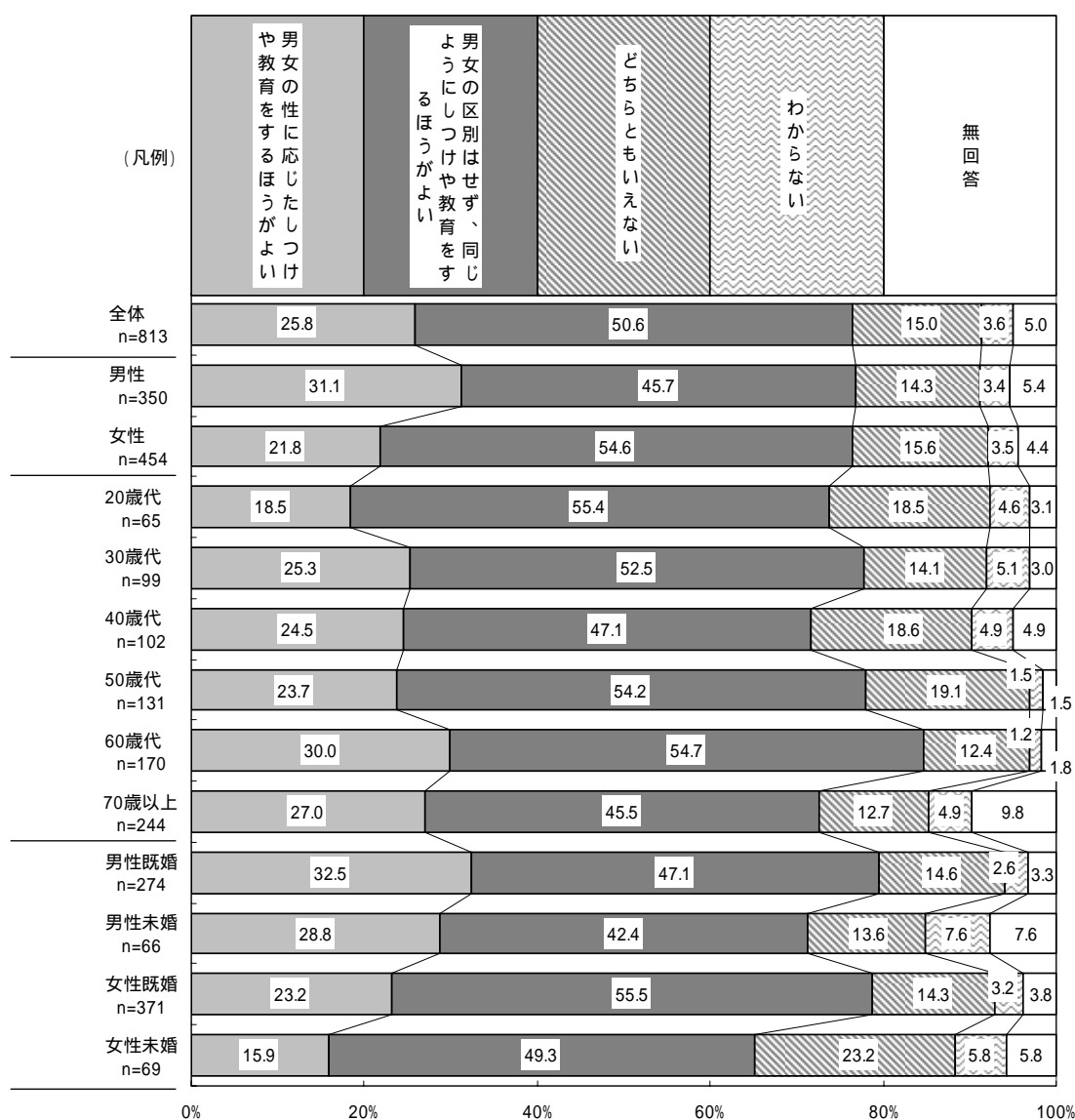
2 家庭生活について

(1) 男女のしつけや教育

問3. あなたは、男の子と女の子のしつけや教育についてどう思いますか。

- 「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をするほうがよい」が50.6%と最も高く、以下「男女の性に応じたしつけや教育をするほうがよい」(25.8%)、「どちらともいえない」(15.0%)である。
- 性別では、女性は「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をするほうがよい」が54.6%と男性(45.7%)よりも高い。
- 年齢別では、60歳代は「男女の性に応じたしつけや教育をするほうがよい」が30.0%とやや高く、最も低い20歳代(18.5%)よりも11.5ポイント高い。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をするほうがよい」が55.5%と高くなっている。男性既婚者は「男女の性に応じたしつけや教育をするほうがよい」が32.5%と高い。

男女のしつけや教育



		男女のしつけや教育 [%]					
		全体	男女の性に 応じたしつ けや教育を するほうが よい	男女の区別 はせず、同 じようにしつ けや教育を するほうが よい	どちらともい えない	わからない	無回答
全体		813	210	411	122	29	41
		100.0	25.8	50.6	15.0	3.6	5.0
性 年 齢 別	男性計	350	109	160	50	12	19
		100.0	31.1	45.7	14.3	3.4	5.4
	20歳代	25	6	13	3	1	2
		100.0	24.0	52.0	12.0	4.0	8.0
	30歳代	43	14	20	5	4	-
		100.0	32.6	46.5	11.6	9.3	-
	40歳代	41	11	16	9	2	3
		100.0	26.8	39.0	22.0	4.9	7.3
	50歳代	55	19	25	8	1	2
		100.0	34.5	45.5	14.5	1.8	3.6
	60歳代	79	25	41	11	1	1
		100.0	31.6	51.9	13.9	1.3	1.3
	70歳以上	107	34	45	14	3	11
		100.0	31.8	42.1	13.1	2.8	10.3
	女性計	454	99	248	71	16	20
		100.0	21.8	54.6	15.6	3.5	4.4
	20歳代	40	6	23	9	2	-
		100.0	15.0	57.5	22.5	5.0	-
	30歳代	55	11	31	9	1	3
		100.0	20.0	56.4	16.4	1.8	5.5
40歳代	58	13	31	10	2	2	
	100.0	22.4	53.4	17.2	3.4	3.4	
50歳代	76	12	46	17	1	-	
	100.0	15.8	60.5	22.4	1.3	-	
60歳代	91	26	52	10	1	2	
	100.0	28.6	57.1	11.0	1.1	2.2	
70歳以上	134	31	65	16	9	13	
	100.0	23.1	48.5	11.9	6.7	9.7	

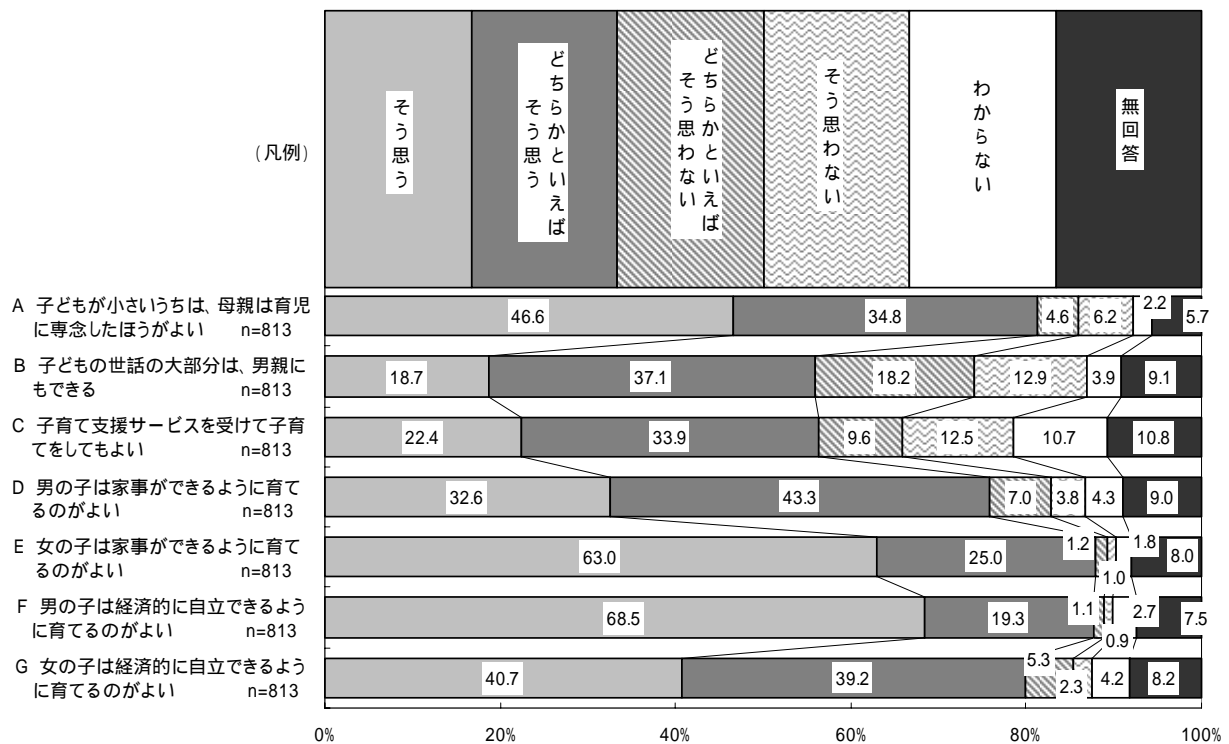
(2) 子育てについて

問4. 子育てについて、あなたのご意見に近いものはどれですか。

【全体】(A～G)

- 「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」、 「F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」は「そう思う」がそれぞれ 63.0%、68.5%と特に高く、「どちらかといえばそう思う」を加えるとそれぞれ 88.0%、87.8%に上る。また、「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」の「そう思う」(63.0%)は、「D 男の子は家事ができるように育てるのがよい」の「そう思う」(32.6%)に比べ 30.4ポイント高く、大きな差がみられる。「B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる」と「C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」は『そう思う』がそれぞれ 55.8%、56.3%となり、他の項目に比べて低い。

子育てについて【全体】(A～G)

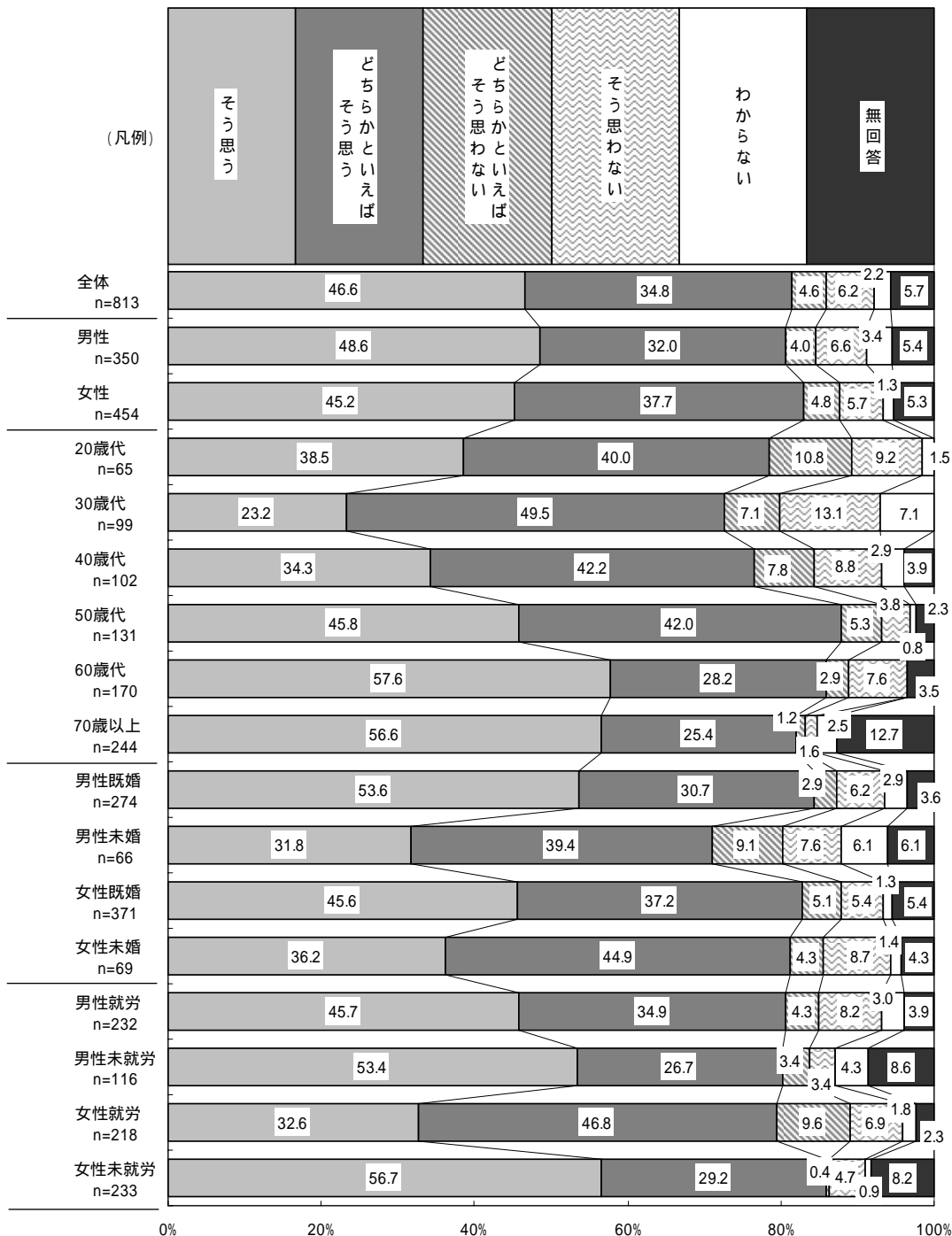


『そう思う』は、本来の選択肢の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を合計したものである。また、『そう思わない』は、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい】

- 『そう思う』が81.4%と高く、『そう思わない』は10.8%である。
- 性別では、女性は『そう思う』が82.9%と男性（80.6%）よりも高い。
- 年齢別では、全ての年齢層で『そう思う』が大きな割合を占めている。また、「そう思う」は30歳代（23.2%）が特に低く、60歳代以上では5割を超えて高くなっている。
- 婚姻状況別では、男性未婚者は『そう思う』が71.2%とやや低い。一方、男性既婚者は「そう思う」が53.6%と高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』が79.4%となっているが、そのうち「そう思う」の割合は32.6%と低い。

A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい

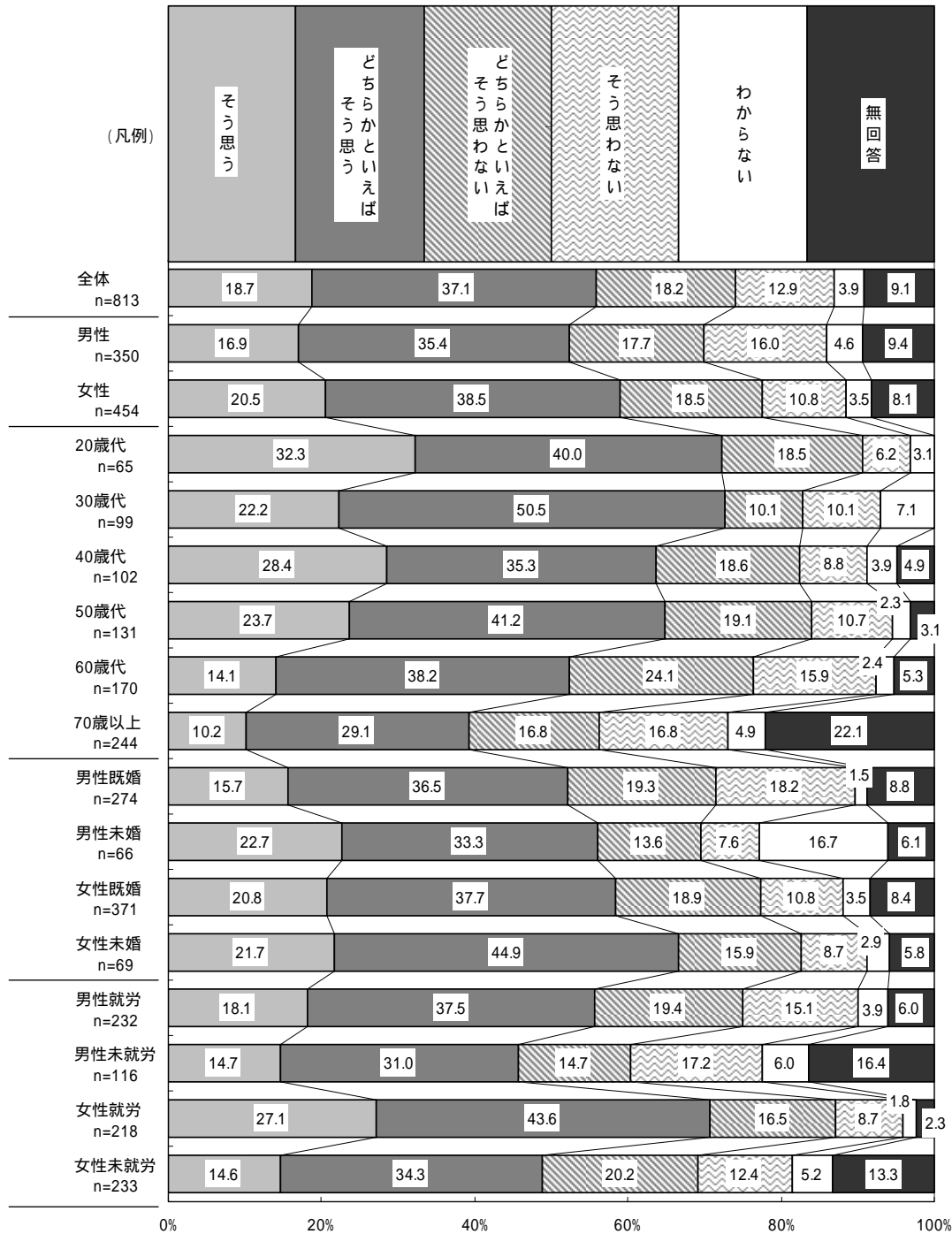


		A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい(%)						無回答
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	
全体		813	379	283	37	50	18	46
		100.0	46.6	34.8	4.6	6.2	2.2	5.7
性 年 齢 別	男性計	350	170	112	14	23	12	19
		100.0	48.6	32.0	4.0	6.6	3.4	5.4
	20歳代	25	10	9	4	1	1	-
		100.0	40.0	36.0	16.0	4.0	4.0	-
	30歳代	43	7	20	2	9	5	-
		100.0	16.3	46.5	4.7	20.9	11.6	-
	40歳代	41	15	20	1	1	1	3
		100.0	36.6	48.8	2.4	2.4	2.4	7.3
	50歳代	55	31	18	1	2	1	2
		100.0	56.4	32.7	1.8	3.6	1.8	3.6
	60歳代	79	47	18	3	7	-	4
		100.0	59.5	22.8	3.8	8.9	-	5.1
	70歳以上	107	60	27	3	3	4	10
		100.0	56.1	25.2	2.8	2.8	3.7	9.3
	女性計	454	205	171	22	26	6	24
		100.0	45.2	37.7	4.8	5.7	1.3	5.3
	20歳代	40	15	17	3	5	-	-
		100.0	37.5	42.5	7.5	12.5	-	-
	30歳代	55	16	29	5	3	2	-
		100.0	29.1	52.7	9.1	5.5	3.6	-
40歳代	58	18	23	6	8	2	1	
	100.0	31.0	39.7	10.3	13.8	3.4	1.7	
50歳代	76	29	37	6	3	-	1	
	100.0	38.2	48.7	7.9	3.9	-	1.3	
60歳代	91	51	30	2	6	-	2	
	100.0	56.0	33.0	2.2	6.6	-	2.2	
70歳以上	134	76	35	-	1	2	20	
	100.0	56.7	26.1	-	0.7	1.5	14.9	

【B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる】

- 『そう思う』が55.8%と過半数を占め、『そう思わない』は31.1%である。
- 性別では、女性は『そう思う』が59.0%と男性(52.3%)よりも高い。
- 年齢別では、『そう思う』は30歳代(72.7%)、20歳代(72.3%)で7割を超えている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は『そう思う』が66.6%と高い。一方、男性既婚者は『そう思わない』が37.5%と高く、そのうち「そう思わない」が18.2%となっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』の割合が70.7%と特に高い。

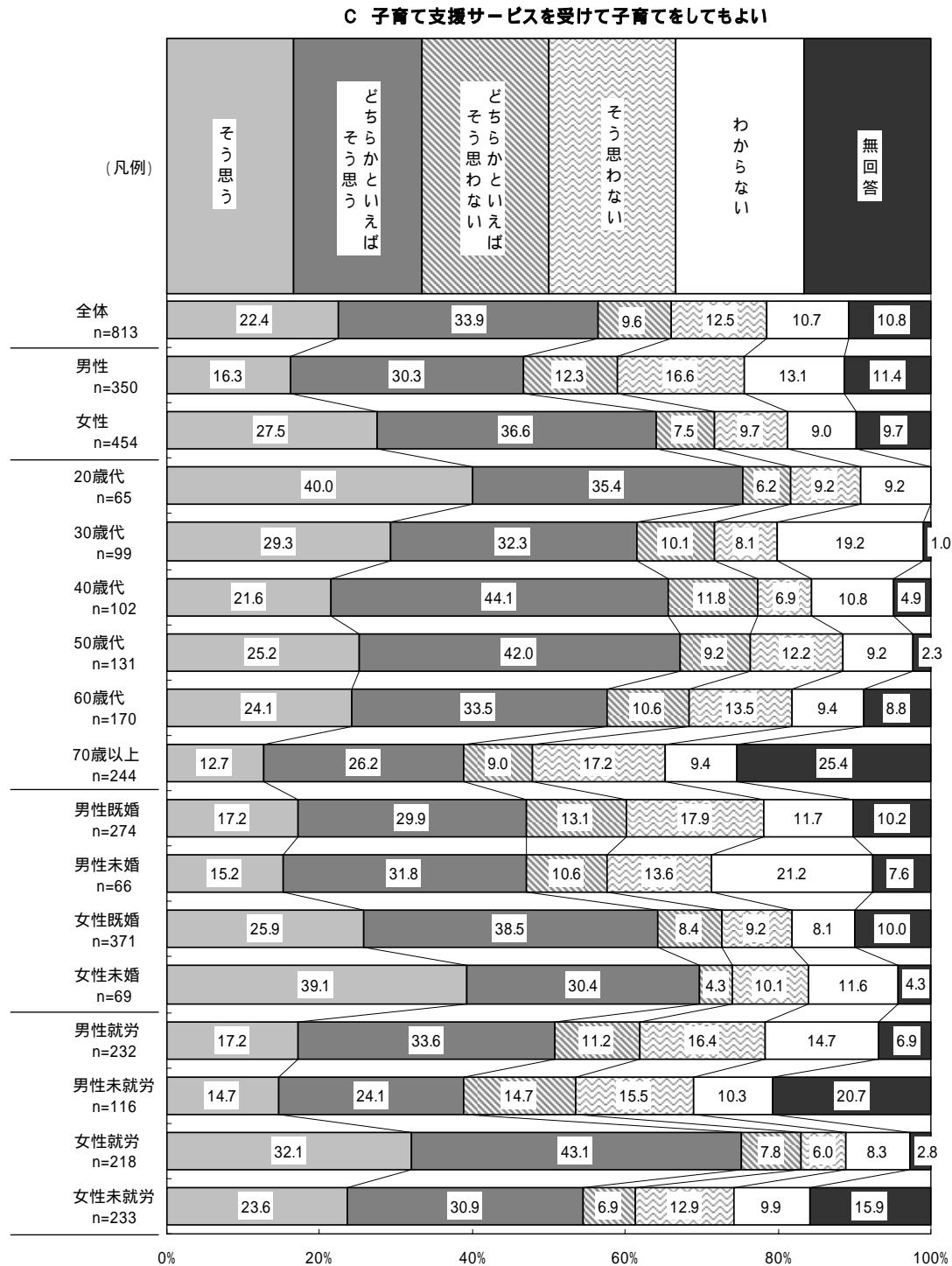
B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる



		B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる〔%〕						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		813	152	302	148	105	32	74
		100.0	18.7	37.1	18.2	12.9	3.9	9.1
性 年 齢 別	男性計	350	59	124	62	56	16	33
		100.0	16.9	35.4	17.7	16.0	4.6	9.4
	20歳代	25	9	8	4	2	2	-
		100.0	36.0	32.0	16.0	8.0	8.0	-
	30歳代	43	10	16	7	5	5	-
		100.0	23.3	37.2	16.3	11.6	11.6	-
	40歳代	41	7	11	11	5	3	4
		100.0	17.1	26.8	26.8	12.2	7.3	9.8
	50歳代	55	12	26	7	8	-	2
		100.0	21.8	47.3	12.7	14.5	-	3.6
	60歳代	79	12	30	16	13	3	5
		100.0	15.2	38.0	20.3	16.5	3.8	6.3
	70歳以上	107	9	33	17	23	3	22
		100.0	8.4	30.8	15.9	21.5	2.8	20.6
	女性計	454	93	175	84	49	16	37
		100.0	20.5	38.5	18.5	10.8	3.5	8.1
	20歳代	40	12	18	8	2	-	-
		100.0	30.0	45.0	20.0	5.0	-	-
	30歳代	55	12	33	3	5	2	-
		100.0	21.8	60.0	5.5	9.1	3.6	-
40歳代	58	22	24	6	4	1	1	
	100.0	37.9	41.4	10.3	6.9	1.7	1.7	
50歳代	76	19	28	18	6	3	2	
	100.0	25.0	36.8	23.7	7.9	3.9	2.6	
60歳代	91	12	35	25	14	1	4	
	100.0	13.2	38.5	27.5	15.4	1.1	4.4	
70歳以上	134	16	37	24	18	9	30	
	100.0	11.9	27.6	17.9	13.4	6.7	22.4	

【C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい】

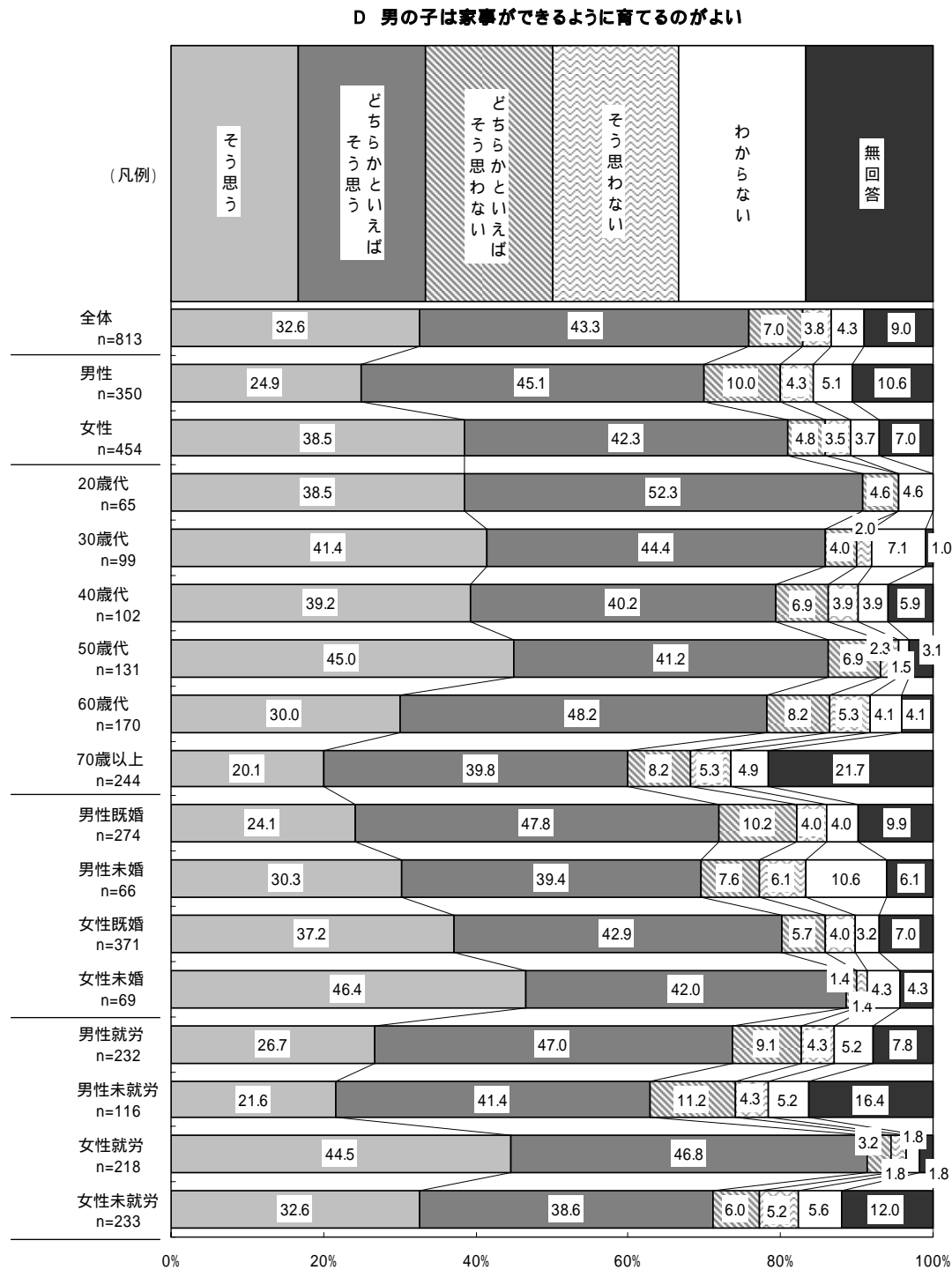
- 『そう思う』が56.3%と過半数を占め、『そう思わない』は22.1%である。
- 性別では、女性は『そう思う』が64.1%と男性（46.6%）よりも17.5ポイント高い。
- 年齢別では、『そう思う』は20歳代（75.4%）で特に高くなっている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「そう思う」の割合が39.1%と高くなっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』が75.2%と特に高い。一方、男性未就労者は『そう思わない』の割合が30.2%とやや高い。



		C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい[%]						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		813	182	276	78	102	87	88
		100.0	22.4	33.9	9.6	12.5	10.7	10.8
性 年 齢 別	男性計	350	57	106	43	58	46	40
		100.0	16.3	30.3	12.3	16.6	13.1	11.4
	20歳代	25	5	10	2	3	5	-
		100.0	20.0	40.0	8.0	12.0	20.0	-
	30歳代	43	10	10	4	6	12	1
		100.0	23.3	23.3	9.3	14.0	27.9	2.3
	40歳代	41	4	17	6	2	8	4
		100.0	9.8	41.5	14.6	4.9	19.5	9.8
	50歳代	55	11	17	7	13	4	3
		100.0	20.0	30.9	12.7	23.6	7.3	5.5
	60歳代	79	13	27	13	14	6	6
		100.0	16.5	34.2	16.5	17.7	7.6	7.6
	70歳以上	107	14	25	11	20	11	26
		100.0	13.1	23.4	10.3	18.7	10.3	24.3
	女性計	454	125	166	34	44	41	44
		100.0	27.5	36.6	7.5	9.7	9.0	9.7
	20歳代	40	21	13	2	3	1	-
		100.0	52.5	32.5	5.0	7.5	2.5	-
	30歳代	55	19	21	6	2	7	-
		100.0	34.5	38.2	10.9	3.6	12.7	-
40歳代	58	18	25	6	5	3	1	
	100.0	31.0	43.1	10.3	8.6	5.2	1.7	
50歳代	76	22	38	5	3	8	-	
	100.0	28.9	50.0	6.6	3.9	10.5	-	
60歳代	91	28	30	5	9	10	9	
	100.0	30.8	33.0	5.5	9.9	11.0	9.9	
70歳以上	134	17	39	10	22	12	34	
	100.0	12.7	29.1	7.5	16.4	9.0	25.4	

【D 男の子は家事ができるように育てるのがよい】

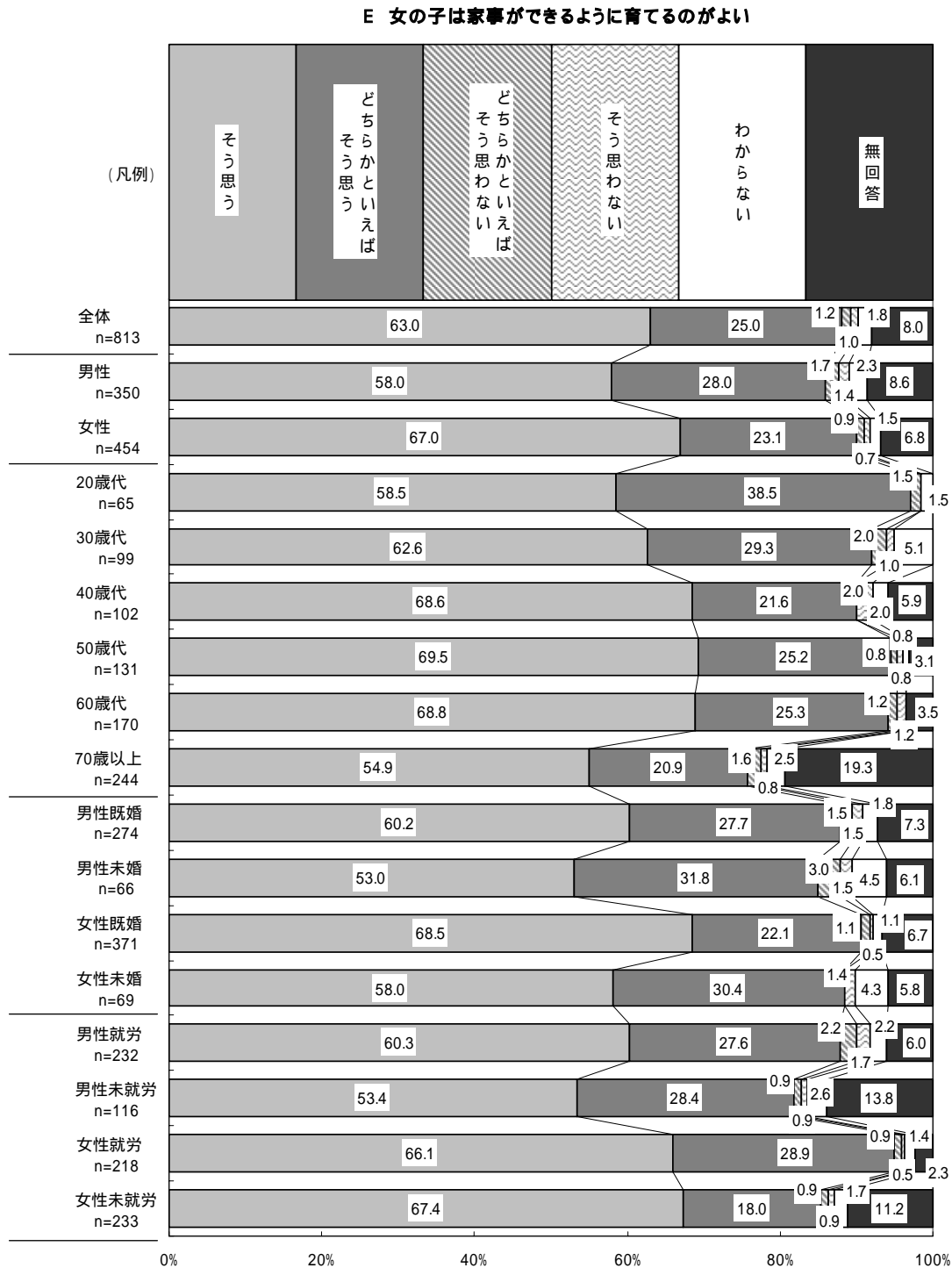
- 『そう思う』が75.9%と高く、『そう思わない』は10.8%である。
- 性別では、女性は『そう思う』が80.8%と男性（70.0%）よりも10.8ポイント高い。
- 年齢別では、『そう思う』は20歳代が90.8%と最も高く、30歳代、50歳代でも8割を超える。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は『そう思う』が88.4%とやや高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』が91.3%と特に高く、そのうち「そう思う」は44.5%と高い。



		D 男の子は家事ができるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		813	265	352	57	31	35	73
		100.0	32.6	43.3	7.0	3.8	4.3	9.0
性 年 齢 別	男性計	350	87	158	35	15	18	37
		100.0	24.9	45.1	10.0	4.3	5.1	10.6
	20歳代	25	9	11	2	-	3	-
		100.0	36.0	44.0	8.0	-	12.0	-
	30歳代	43	16	16	3	2	5	1
		100.0	37.2	37.2	7.0	4.7	11.6	2.3
	40歳代	41	5	20	5	3	3	5
		100.0	12.2	48.8	12.2	7.3	7.3	12.2
	50歳代	55	21	22	7	2	-	3
		100.0	38.2	40.0	12.7	3.6	-	5.5
	60歳代	79	18	41	9	3	2	6
		100.0	22.8	51.9	11.4	3.8	2.5	7.6
	70歳以上	107	18	48	9	5	5	22
		100.0	16.8	44.9	8.4	4.7	4.7	20.6
	女性計	454	175	192	22	16	17	32
		100.0	38.5	42.3	4.8	3.5	3.7	7.0
	20歳代	40	16	23	1	-	-	-
		100.0	40.0	57.5	2.5	-	-	-
	30歳代	55	24	28	1	-	2	-
		100.0	43.6	50.9	1.8	-	3.6	-
40歳代	58	33	20	2	1	1	1	
	100.0	56.9	34.5	3.4	1.7	1.7	1.7	
50歳代	76	38	32	2	1	2	1	
	100.0	50.0	42.1	2.6	1.3	2.6	1.3	
60歳代	91	33	41	5	6	5	1	
	100.0	36.3	45.1	5.5	6.6	5.5	1.1	
70歳以上	134	31	48	11	8	7	29	
	100.0	23.1	35.8	8.2	6.0	5.2	21.6	

【E 女の子は家事ができるように育てるのがよい】

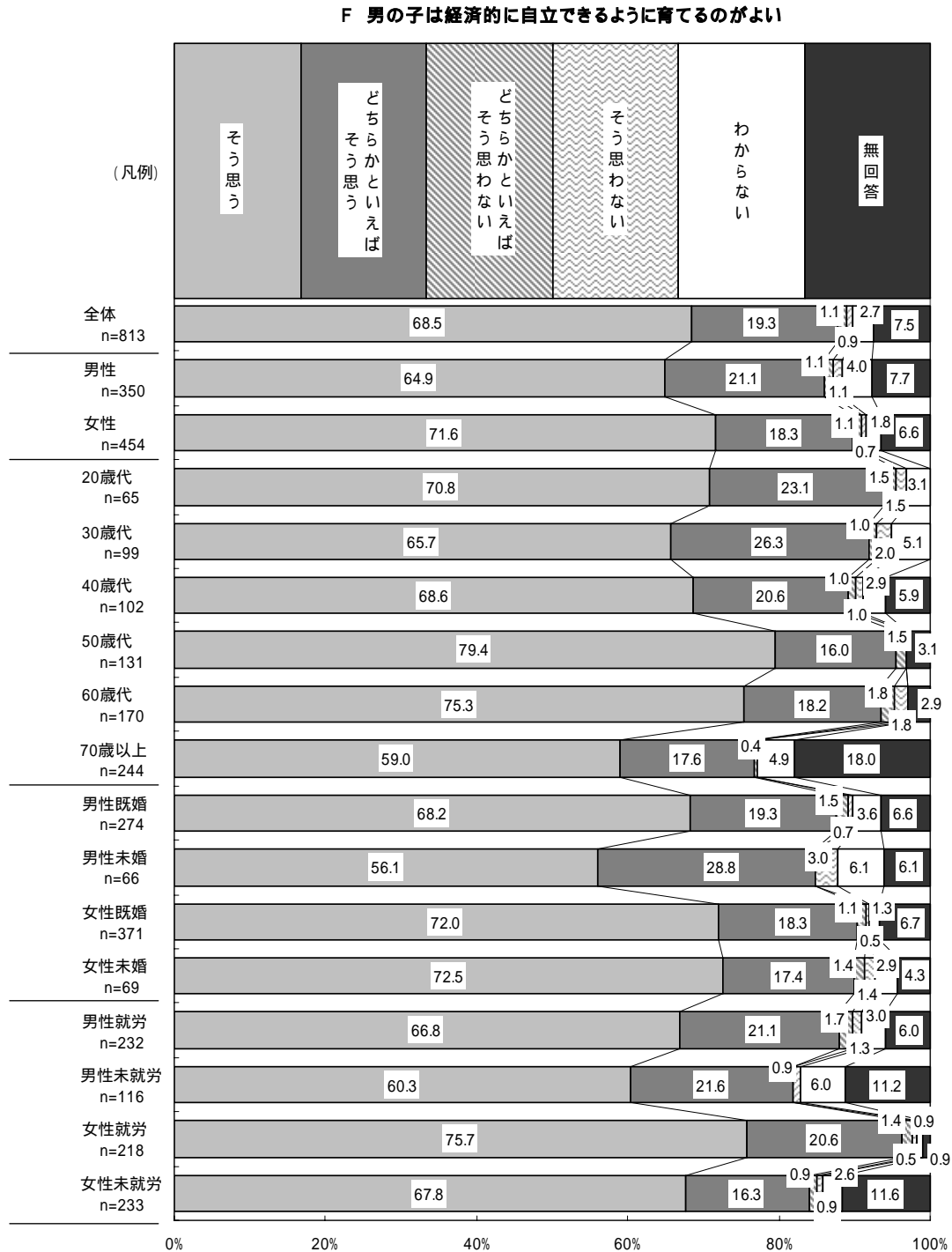
- 『そう思う』が88.0%を占め、『そう思わない』は2.2%にとどまっている。
- 性別では、女性は「そう思う」が67.0%と男性（58.0%）よりも高い。
- 年齢別では、『そう思う』は20歳代が97.0%と最も高く、70歳以上が75.8%と最も低い。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「そう思う」が68.5%と高い。
- 性別・就労別では、『そう思う』は女性就労者が95.0%、男性就労者が87.9%となっており、就労者が未就労者に比べやや高くなっている。



		E 女の子は家事ができるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		813	512	203	10	8	15	65
		100.0	63.0	25.0	1.2	1.0	1.8	8.0
性 年 齢 別	男性計	350	203	98	6	5	8	30
		100.0	58.0	28.0	1.7	1.4	2.3	8.6
	20歳代	25	13	10	1	-	1	-
		100.0	52.0	40.0	4.0	-	4.0	-
	30歳代	43	26	13	1	-	3	-
		100.0	60.5	30.2	2.3	-	7.0	-
	40歳代	41	25	9	-	2	1	4
		100.0	61.0	22.0	-	4.9	2.4	9.8
	50歳代	55	35	15	1	1	-	3
		100.0	63.6	27.3	1.8	1.8	-	5.5
	60歳代	79	53	20	1	1	-	4
		100.0	67.1	25.3	1.3	1.3	-	5.1
	70歳以上	107	51	31	2	1	3	19
		100.0	47.7	29.0	1.9	0.9	2.8	17.8
	女性計	454	304	105	4	3	7	31
		100.0	67.0	23.1	0.9	0.7	1.5	6.8
	20歳代	40	25	15	-	-	-	-
		100.0	62.5	37.5	-	-	-	-
	30歳代	55	35	16	1	1	2	-
		100.0	63.6	29.1	1.8	1.8	3.6	-
40歳代	58	42	13	-	-	1	2	
	100.0	72.4	22.4	-	-	1.7	3.4	
50歳代	76	56	18	-	-	1	1	
	100.0	73.7	23.7	-	-	1.3	1.3	
60歳代	91	64	23	1	1	-	2	
	100.0	70.3	25.3	1.1	1.1	-	2.2	
70歳以上	134	82	20	2	1	3	26	
	100.0	61.2	14.9	1.5	0.7	2.2	19.4	

【 F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい】

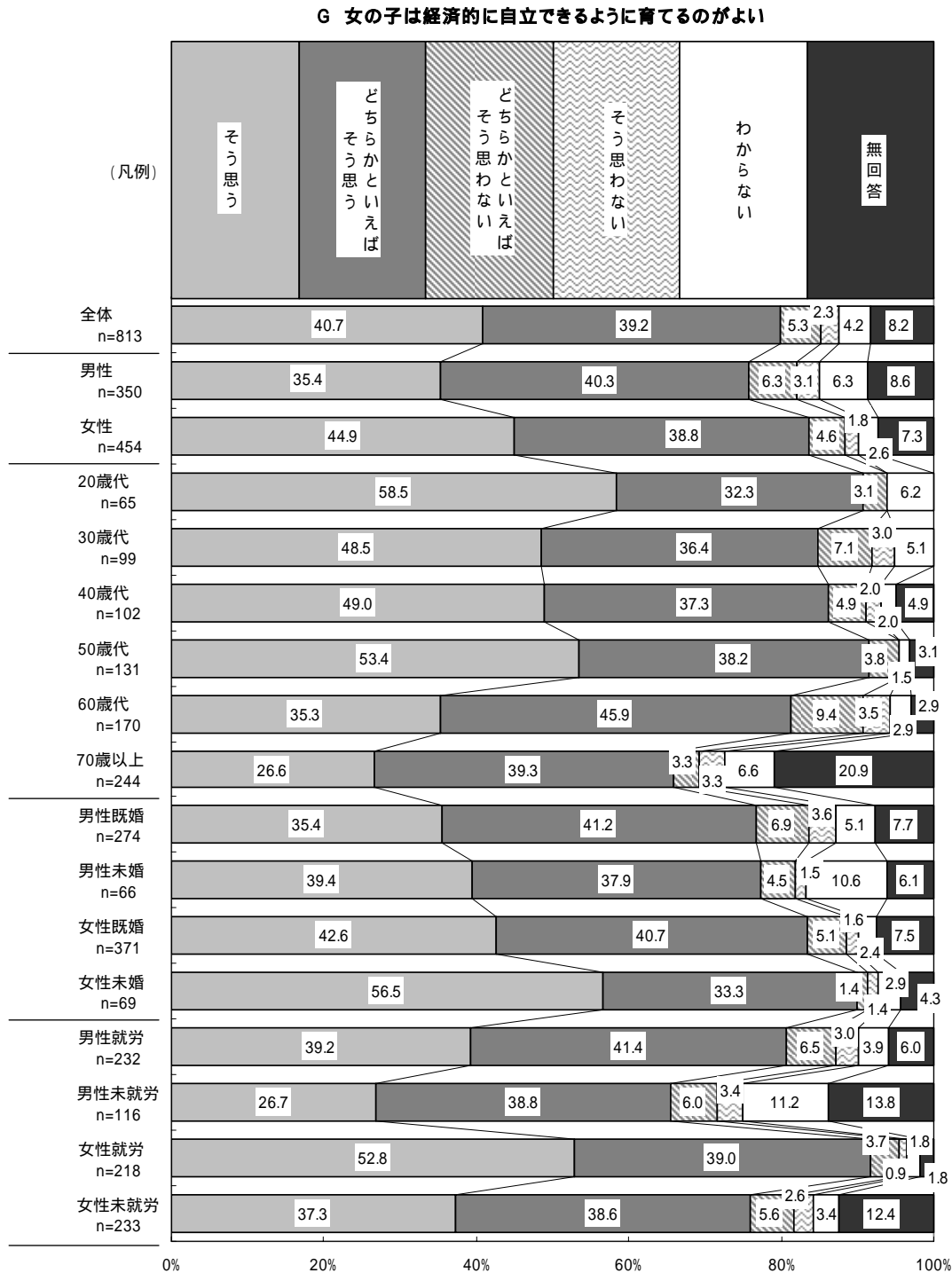
- 『そう思う』が87.8%を占め、『そう思わない』は2.0%にとどまっている。
- 性別では、女性は『そう思う』が89.9%と男性（86.0%）よりも高い。
- 年齢別では、70歳以上を除く全ての年齢層で『そう思う』が8割以上を占めており、特に、50歳代、60歳代では「そう思う」が7割を超えている。
- 婚姻状況別では、男性未婚者は「そう思う」が56.1%とやや低くなっている。
- 性別・就労別では、『そう思う』は女性就労者が96.3%、男性就労者が87.9%となっており、就労者が未就労者を上回っている。



		F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		813	557	157	9	7	22	61
		100.0	68.5	19.3	1.1	0.9	2.7	7.5
性 年 齢 別	男性計	350	227	74	4	4	14	27
		100.0	64.9	21.1	1.1	1.1	4.0	7.7
	20歳代	25	16	6	-	1	2	-
		100.0	64.0	24.0	-	4.0	8.0	-
	30歳代	43	28	11	-	1	3	-
		100.0	65.1	25.6	-	2.3	7.0	-
	40歳代	41	21	12	-	1	2	5
		100.0	51.2	29.3	-	2.4	4.9	12.2
	50歳代	55	41	9	2	-	-	3
		100.0	74.5	16.4	3.6	-	-	5.5
	60歳代	79	59	13	2	1	-	4
		100.0	74.7	16.5	2.5	1.3	-	5.1
	70歳以上	107	62	23	-	-	7	15
		100.0	57.9	21.5	-	-	6.5	14.0
	女性計	454	325	83	5	3	8	30
		100.0	71.6	18.3	1.1	0.7	1.8	6.6
	20歳代	40	30	9	1	-	-	-
		100.0	75.0	22.5	2.5	-	-	-
	30歳代	55	36	15	1	1	2	-
		100.0	65.5	27.3	1.8	1.8	3.6	-
40歳代	58	46	9	1	-	1	1	
	100.0	79.3	15.5	1.7	-	1.7	1.7	
50歳代	76	63	12	-	-	-	1	
	100.0	82.9	15.8	-	-	-	1.3	
60歳代	91	69	18	1	2	-	1	
	100.0	75.8	19.8	1.1	2.2	-	1.1	
70歳以上	134	81	20	1	-	5	27	
	100.0	60.4	14.9	0.7	-	3.7	20.1	

【G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい】

- 『そう思う』が79.9%を占め、『そう思わない』は7.6%である。
- 年齢別では、70歳以上を除く全ての年齢層で『そう思う』が8割以上を占めており、50歳代は91.6%と特に高い。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「そう思う」が56.5%と高い。
- 性別・就労別では、就労者は男女ともに『そう思う』が8割以上であり、女性就労者は「そう思う」の割合が52.8%と特に高い。

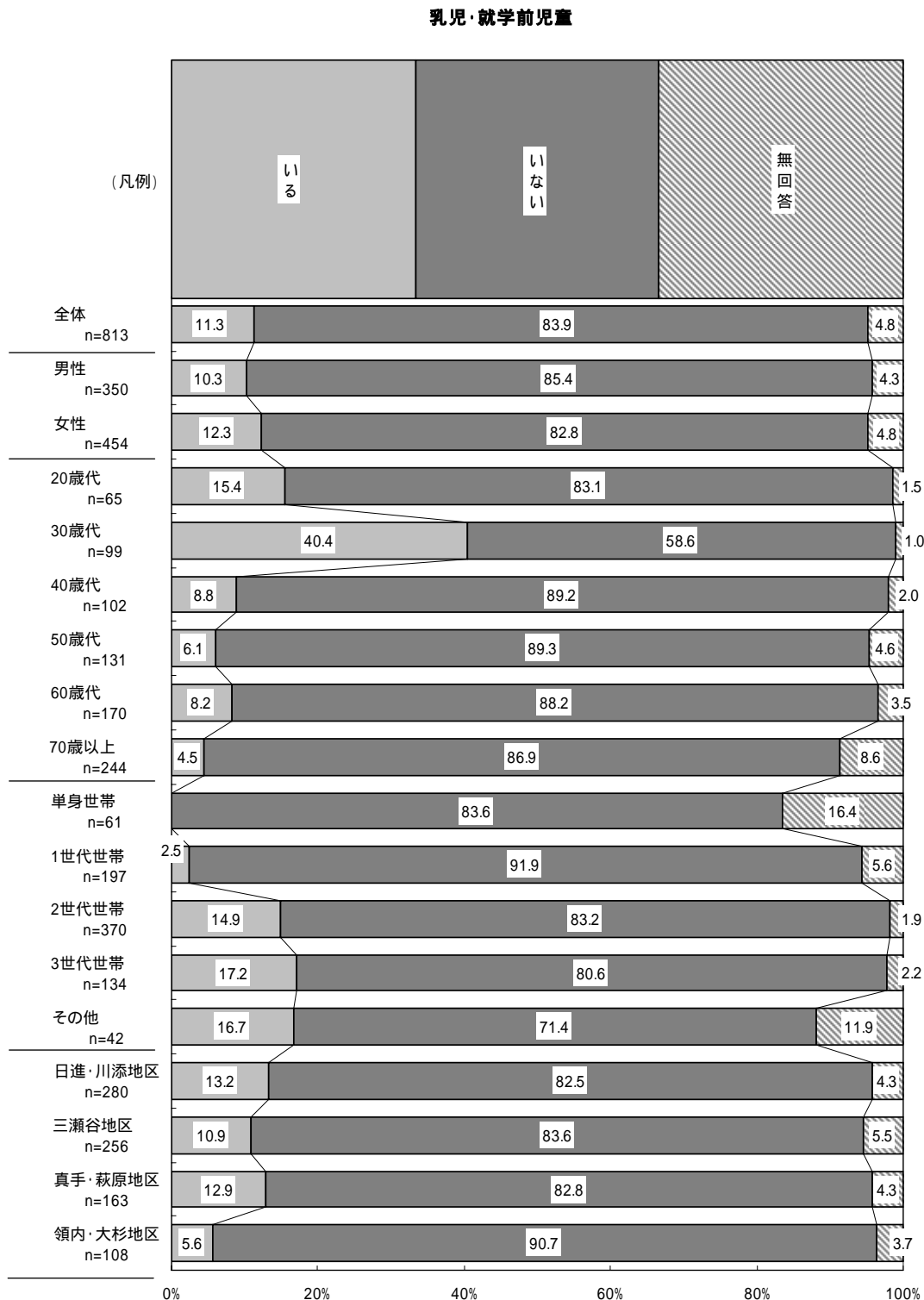


		G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい(%)						
		全体	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		813	331	319	43	19	34	67
		100.0	40.7	39.2	5.3	2.3	4.2	8.2
性 年 齢 別	男性計	350	124	141	22	11	22	30
		100.0	35.4	40.3	6.3	3.1	6.3	8.6
	20歳代	25	13	7	1	-	4	-
		100.0	52.0	28.0	4.0	-	16.0	-
	30歳代	43	21	14	3	2	3	-
		100.0	48.8	32.6	7.0	4.7	7.0	-
	40歳代	41	10	20	4	2	1	4
		100.0	24.4	48.8	9.8	4.9	2.4	9.8
	50歳代	55	27	20	4	-	1	3
		100.0	49.1	36.4	7.3	-	1.8	5.5
	60歳代	79	26	38	7	2	2	4
		100.0	32.9	48.1	8.9	2.5	2.5	5.1
	70歳以上	107	27	42	3	5	11	19
		100.0	25.2	39.3	2.8	4.7	10.3	17.8
	女性計	454	204	176	21	8	12	33
		100.0	44.9	38.8	4.6	1.8	2.6	7.3
	20歳代	40	25	14	1	-	-	-
		100.0	62.5	35.0	2.5	-	-	-
	30歳代	55	27	21	4	1	2	-
		100.0	49.1	38.2	7.3	1.8	3.6	-
40歳代	58	38	17	1	-	1	1	
	100.0	65.5	29.3	1.7	-	1.7	1.7	
50歳代	76	43	30	1	-	1	1	
	100.0	56.6	39.5	1.3	-	1.3	1.3	
60歳代	91	34	40	9	4	3	1	
	100.0	37.4	44.0	9.9	4.4	3.3	1.1	
70歳以上	134	37	54	5	3	5	30	
	100.0	27.6	40.3	3.7	2.2	3.7	22.4	

(3) 乳児や就学前の幼児について

問5. あなたの家庭には、乳児や就学前の幼児がいますか。

- 「いない」が83.9%を占め、「いる」は11.3%となっている。
- 年齢別では、「いる」は30歳代が40.4%と最も高い。
- 世帯別では、「いる」は3世代世帯が17.2%と最も高く、その他(16.7%)、2世代世帯(14.9%)となっている。
- 居住地区別では、「いる」は日進・川添地区が13.2%と最も高く、領内・大杉地区が5.6%と最も低い。

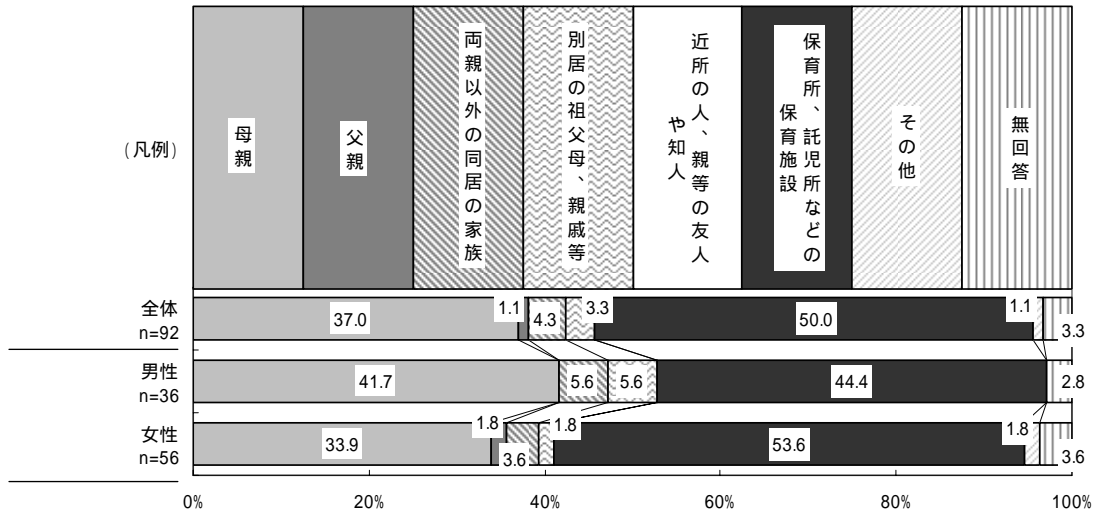


前問で「いる」と回答した方を対象

問5 - 1. 平日の日中、その乳幼児の世話は主に誰がしていますか。

- 「保育所、託児所などの保育施設」が 50.0%と最も高く、以下「母親」(37.0%)、「両親以外の同居の家族」(4.3%)と続く。

乳幼児の主な育児者



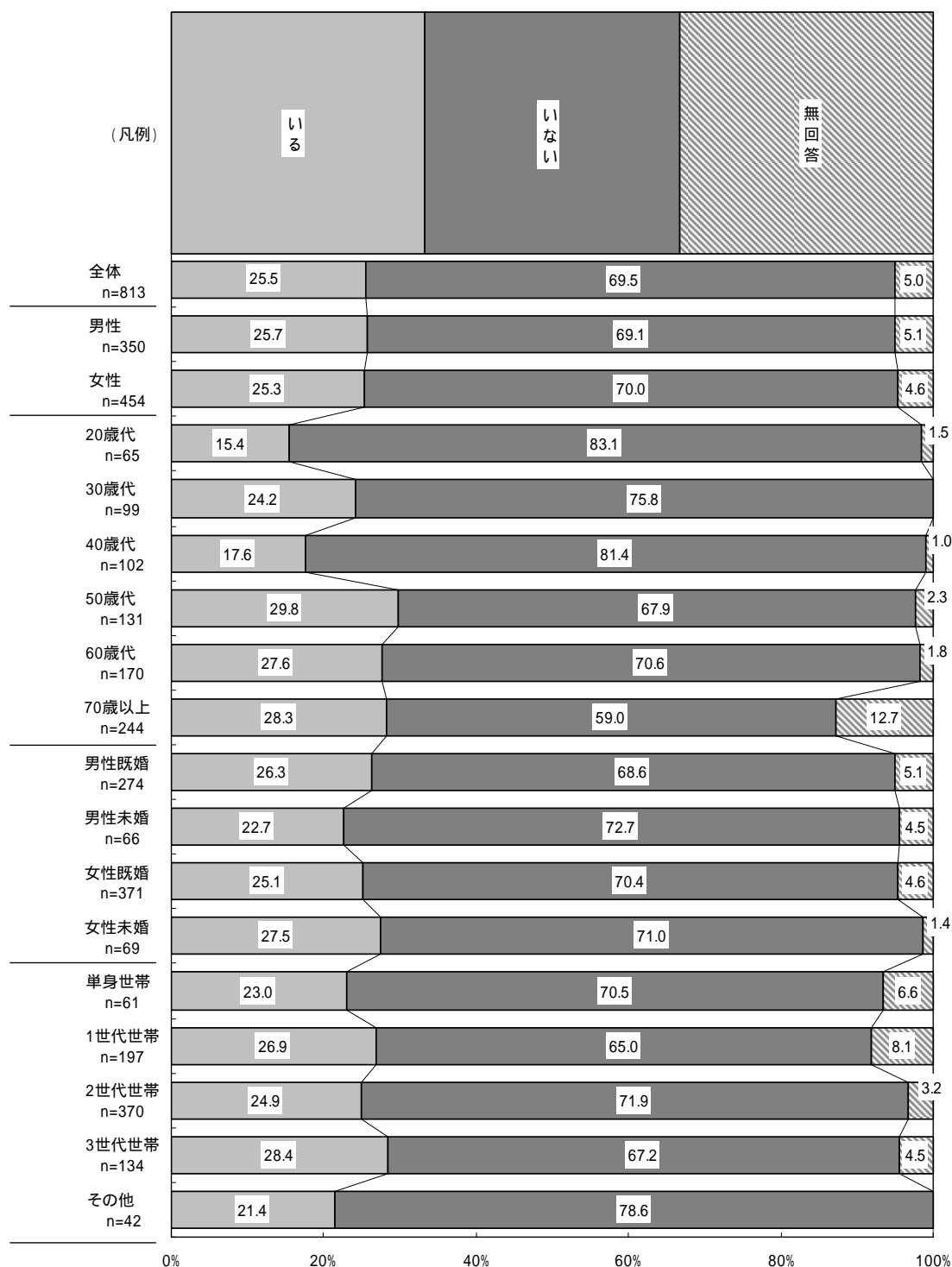
		乳幼児の主な育児者 (%)								
		全体	母親	父親	両親以外の同居の家族	別居の祖父母、親戚等	近所の人、親等の友人や知人	保育所、託児所などの保育施設	その他	無回答
全体	全体	92	34	1	4	3	0	46	1	3
		100.0	37.0	1.1	4.3	3.3	0.0	50.0	1.1	3.3
性年齢別	男性計	36	15	-	2	2	-	16	-	1
		100.0	41.7	-	5.6	5.6	-	44.4	-	2.8
	20歳代	3	2	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-
	30歳代	18	6	-	-	1	-	11	-	-
		100.0	33.3	-	-	5.6	-	61.1	-	-
	40歳代	3	2	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-
	50歳代	4	2	-	1	-	-	1	-	-
		100.0	50.0	-	25.0	-	-	25.0	-	-
	60歳代	2	1	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
	70歳以上	6	2	-	1	1	-	1	-	1
		100.0	33.3	-	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7
	女性計	56	19	1	2	1	-	30	1	2
		100.0	33.9	1.8	3.6	1.8	-	53.6	1.8	3.6
	20歳代	7	5	-	-	-	-	2	-	-
	100.0	71.4	-	-	-	-	28.6	-	-	
30歳代	22	6	-	-	1	-	14	1	-	
	100.0	27.3	-	-	4.5	-	63.6	4.5	-	
40歳代	6	2	-	-	-	-	4	-	-	
	100.0	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-	
50歳代	4	2	1	-	-	-	1	-	-	
	100.0	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	
60歳代	12	3	-	2	-	-	7	-	-	
	100.0	25.0	-	16.7	-	-	58.3	-	-	
70歳以上	5	1	-	-	-	-	2	-	2	
	100.0	20.0	-	-	-	-	40.0	-	40.0	

(4) 手助けが必要な高齢者の有無

問6. あなたの身近な身内に日常的に手助けが必要な高齢者等がいますか。

- 「いない」が69.5%となり、「いる」は25.5%となっている。
- 年齢別では、「いる」は50歳代が29.8%と最も高く、20歳代が15.4%と最も低くなっている。
- 世帯別では、「いる」はその他(21.4%)、単身世帯(23.0%)がやや低い。

手助けが必要な高齢者

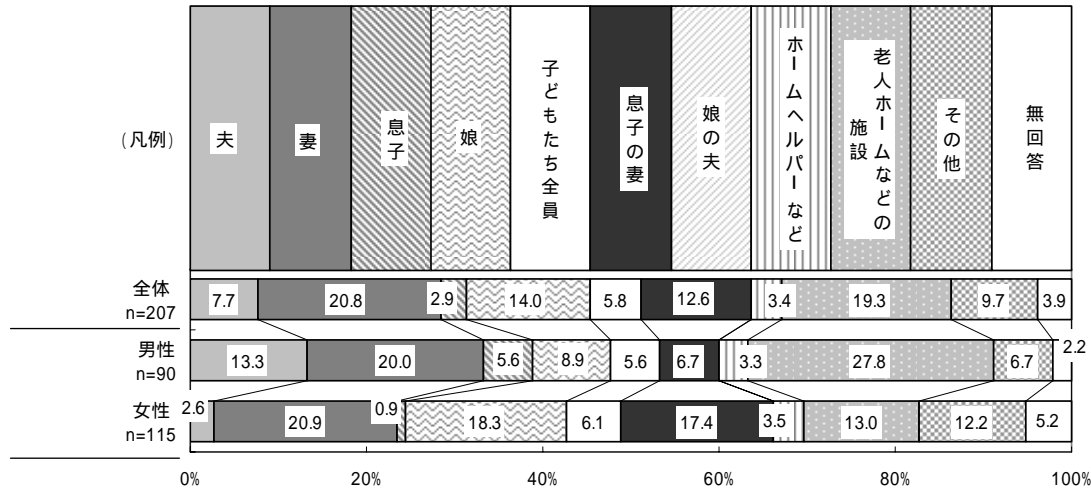


前問で「いる」と回答した方を対象

問6 - 1. その高齢者等の世話は、主に誰がしていますか。

- 「妻」が20.8%と最も高く、以下「老人ホームなどの施設」(19.3%)、「娘」(14.0%)、「息子の妻」(12.6%)と続く。

高齢者の主な介護者



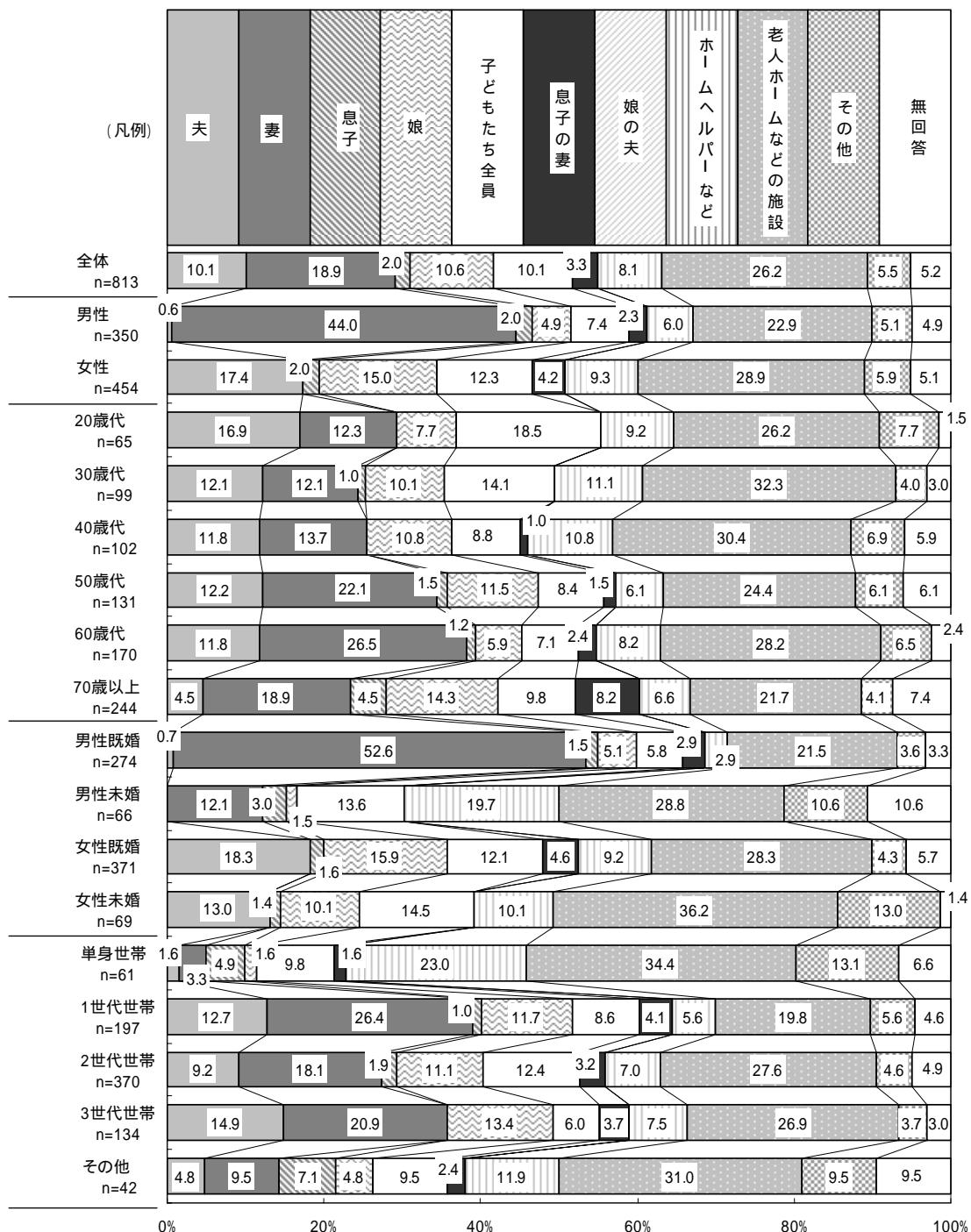
		高齢者の主な介護者 [%]											
		全体	夫	妻	息子	娘	子どもたち 全員	息子の妻	娘の夫	ホームヘル パーなど	老人ホーム などの施設	その他	無回答
性 年 齢 別	全体	207	16	43	6	29	12	26	0	7	40	20	8
		100.0	7.7	20.8	2.9	14.0	5.8	12.6	0.0	3.4	19.3	9.7	3.9
	男性計	90	12	18	5	8	5	6	-	3	25	6	2
		100.0	13.3	20.0	5.6	8.9	5.6	6.7	-	3.3	27.8	6.7	2.2
	20歳代	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		100.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0
	30歳代	10	1	1	-	2	-	2	-	-	3	1	-
		100.0	10.0	10.0	-	20.0	-	20.0	-	-	30.0	10.0	-
	40歳代	7	1	-	2	1	2	-	-	1	-	-	-
		100.0	14.3	-	28.6	14.3	28.6	-	-	14.3	-	-	-
	50歳代	12	1	3	1	-	2	-	-	-	3	2	-
		100.0	8.3	25.0	8.3	-	16.7	-	-	-	25.0	16.7	-
	60歳代	25	2	7	2	1	-	3	-	-	9	-	1
		100.0	8.0	28.0	8.0	4.0	-	12.0	-	-	36.0	-	4.0
	70歳以上	32	6	6	-	4	1	1	-	2	10	2	-
		100.0	18.8	18.8	-	12.5	3.1	3.1	-	6.3	31.3	6.3	-
	女性計	115	3	24	1	21	7	20	-	4	15	14	6
		100.0	2.6	20.9	0.9	18.3	6.1	17.4	-	3.5	13.0	12.2	5.2
	20歳代	6	1	-	-	-	1	2	-	-	2	-	-
	100.0	16.7	-	-	-	16.7	33.3	-	-	33.3	-	-	
30歳代	14	-	3	-	2	-	3	-	2	-	3	1	
	100.0	-	21.4	-	14.3	-	21.4	-	14.3	-	21.4	7.1	
40歳代	11	-	2	-	2	1	1	-	-	1	3	1	
	100.0	-	18.2	-	18.2	9.1	9.1	-	-	9.1	27.3	9.1	
50歳代	27	2	4	-	6	1	4	-	1	5	4	-	
	100.0	7.4	14.8	-	22.2	3.7	14.8	-	3.7	18.5	14.8	-	
60歳代	22	-	3	1	6	-	6	-	-	4	1	1	
	100.0	-	13.6	4.5	27.3	-	27.3	-	-	18.2	4.5	4.5	
70歳以上	35	-	12	-	5	4	4	-	1	3	3	3	
	100.0	-	34.3	-	14.3	11.4	11.4	-	2.9	8.6	8.6	8.6	

(5) 介護が必要になった場合の介護者

問7. あなたは将来、主に誰に介護をしてほしいと思いますか。

- 「老人ホームなどの施設」が26.2%と最も高く、以下「妻」(18.9%)、「娘」(10.6%)である。
- 性別では、男性は「妻」が44.0%を占めるのに対して、女性は「老人ホームなどの施設」(28.9%)、娘(15.0%)の割合が男性と比べて高い。
- 年齢別では、30歳代は「老人ホームなどの施設」が32.3%とやや高い。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は「妻」が52.6%を占めるが、男性未婚者は「老人ホームなどの施設」(28.8%)、「ホームヘルパーなど」(19.7%)が高い。
- 世帯別では、単身世帯は「老人ホームなどの施設」(34.4%)、ホームヘルパーなど(23.0%)がやや高い。また、1世代世帯では「妻」(26.4%)の割合もやや高くなっている。

介護が必要になった場合の介護者



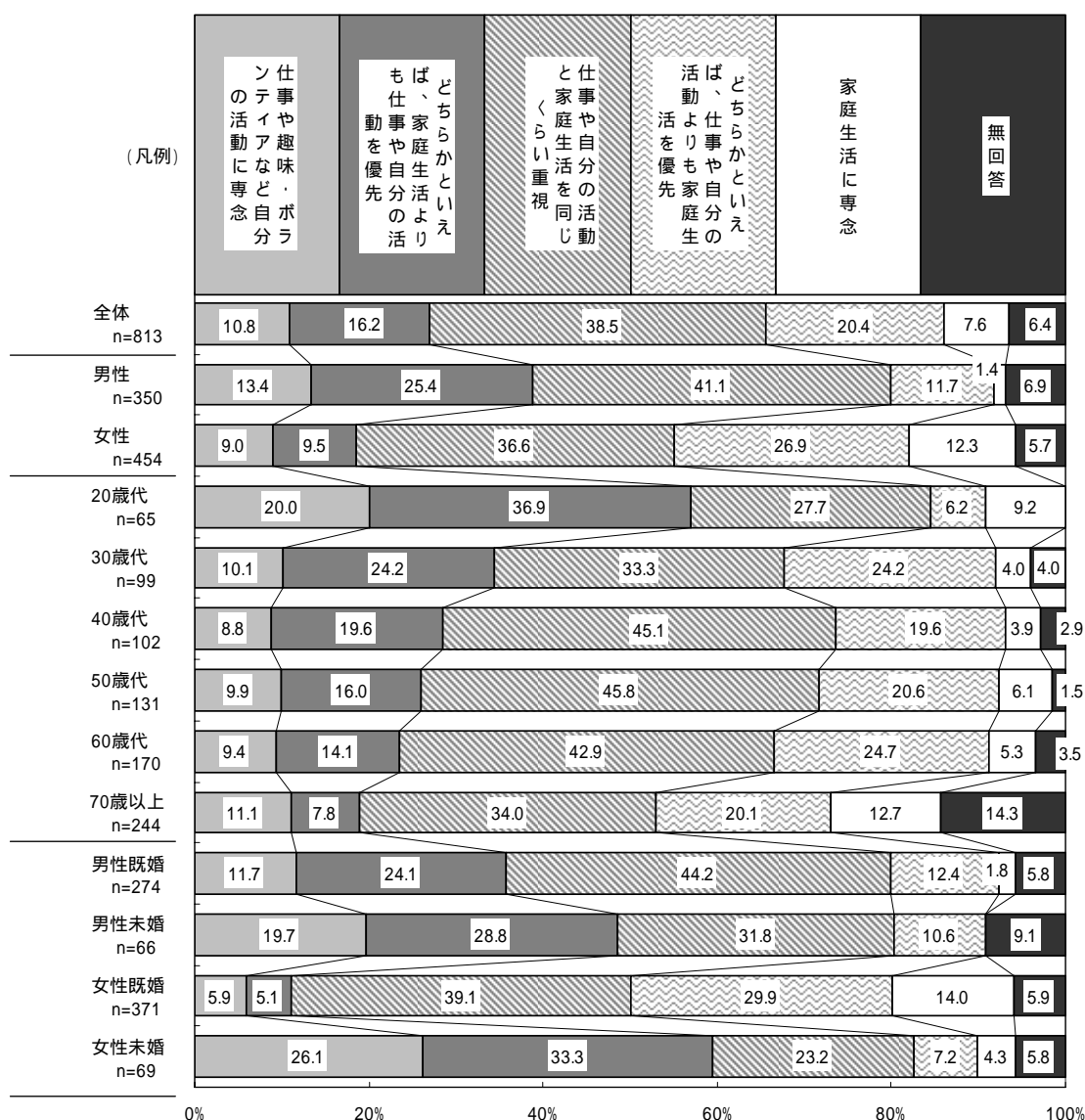
		介護が必要になった場合の介護者(%)											
		全体	夫	妻	息子	娘	子どもたち 全員	息子の妻	娘の夫	ホームヘル パーなど	老人ホーム などの施設	その他	無回答
全体		813	82	154	16	86	82	27	0	66	213	45	42
		100.0	10.1	18.9	2.0	10.6	10.1	3.3	0.0	8.1	26.2	5.5	5.2
性 年 齢 別	男性計	350	2	154	7	17	26	8	-	21	80	18	17
		100.0	0.6	44.0	2.0	4.9	7.4	2.3	-	6.0	22.9	5.1	4.9
	20歳代	25	-	8	-	-	5	-	-	3	5	3	1
		100.0	-	32.0	-	-	20.0	-	-	12.0	20.0	12.0	4.0
	30歳代	43	-	12	1	1	5	-	-	6	12	3	3
		100.0	-	27.9	2.3	2.3	11.6	-	-	14.0	27.9	7.0	7.0
	40歳代	41	-	14	-	4	3	-	-	4	11	2	3
		100.0	-	34.1	-	9.8	7.3	-	-	9.8	26.8	4.9	7.3
	50歳代	55	-	29	2	-	4	1	-	4	8	5	2
		100.0	-	52.7	3.6	-	7.3	1.8	-	7.3	14.5	9.1	3.6
	60歳代	79	1	45	1	3	3	2	-	2	19	2	1
		100.0	1.3	57.0	1.3	3.8	3.8	2.5	-	2.5	24.1	2.5	1.3
	70歳以上	107	1	46	3	9	6	5	-	2	25	3	7
		100.0	0.9	43.0	2.8	8.4	5.6	4.7	-	1.9	23.4	2.8	6.5
	女性計	454	79	-	9	68	56	19	-	42	131	27	23
		100.0	17.4	-	2.0	15.0	12.3	4.2	-	9.3	28.9	5.9	5.1
	20歳代	40	11	-	-	5	7	-	-	3	12	2	-
		100.0	27.5	-	-	12.5	17.5	-	-	7.5	30.0	5.0	-
	30歳代	55	11	-	-	9	9	-	-	5	20	1	-
		100.0	20.0	-	-	16.4	16.4	-	-	9.1	36.4	1.8	-
40歳代	58	12	-	-	6	6	1	-	6	19	5	3	
	100.0	20.7	-	-	10.3	10.3	1.7	-	10.3	32.8	8.6	5.2	
50歳代	76	16	-	-	15	7	1	-	4	24	3	6	
	100.0	21.1	-	-	19.7	9.2	1.3	-	5.3	31.6	3.9	7.9	
60歳代	91	19	-	1	7	9	2	-	12	29	9	3	
	100.0	20.9	-	1.1	7.7	9.9	2.2	-	13.2	31.9	9.9	3.3	
70歳以上	134	10	-	8	26	18	15	-	12	27	7	11	
	100.0	7.5	-	6.0	19.4	13.4	11.2	-	9.0	20.1	5.2	8.2	

(6) 家庭生活の現実と希望

問8. 家庭生活と自分の活動について、あなたの「現実」に最も近いものを選んでください。

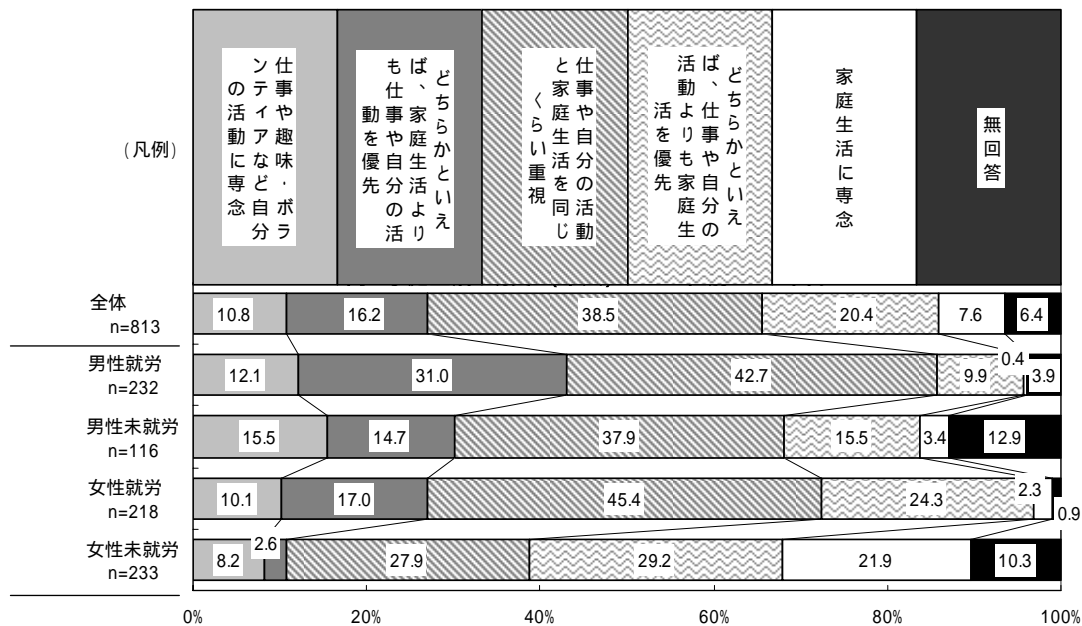
- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が38.5%と最も高く、以下「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(20.4%)、「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」(16.2%)である。
- 性別では、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が男女ともに最も高い。また、男性は「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」(25.4%)、「仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念」(13.4%)の割合が女性に比べ高く、一方、女性は「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(26.9%)「家庭生活に専念」(12.3%)の割合が男性に比べ高くなっている。
- 年齢別では、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」は、50歳代(45.8%)、40歳代(45.1%)、60歳代(42.9%)で高い。また、「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」は20歳代(36.9%)が高く、年齢層が高くなるほど低くなっている。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」が29.9%と高く、「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」が5.1%と低い。
- 性別・就労別では、女性未就労者は「家庭生活に専念」が21.9%と高く、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が27.9%と低い。

家庭生活 現実(本人)



		家庭生活 現実(本人) (%)						
		全体	仕事や趣味・ボランテニアなど自分の活動に専念	どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
全体		813	88	132	313	166	62	52
		100.0	10.8	16.2	38.5	20.4	7.6	6.4
男性計		350	47	89	144	41	5	24
		100.0	13.4	25.4	41.1	11.7	1.4	6.9
20歳代		25	4	9	9	3	-	-
		100.0	16.0	36.0	36.0	12.0	-	-
30歳代		43	6	15	15	5	-	2
		100.0	14.0	34.9	34.9	11.6	-	4.7
40歳代		41	5	11	19	4	-	2
		100.0	12.2	26.8	46.3	9.8	-	4.9
50歳代		55	8	16	25	4	-	2
		100.0	14.5	29.1	45.5	7.3	-	3.6
60歳代		79	8	24	30	13	1	3
		100.0	10.1	30.4	38.0	16.5	1.3	3.8
70歳以上		107	16	14	46	12	4	15
		100.0	15.0	13.1	43.0	11.2	3.7	14.0
女性計		454	41	43	166	122	56	26
		100.0	9.0	9.5	36.6	26.9	12.3	5.7
20歳代		40	9	15	9	1	6	-
		100.0	22.5	37.5	22.5	2.5	15.0	-
30歳代		55	4	9	17	19	4	2
		100.0	7.3	16.4	30.9	34.5	7.3	3.6
40歳代		58	4	9	27	13	4	1
		100.0	6.9	15.5	46.6	22.4	6.9	1.7
50歳代		76	5	5	35	23	8	-
		100.0	6.6	6.6	46.1	30.3	10.5	-
60歳代		91	8	-	43	29	8	3
		100.0	8.8	-	47.3	31.9	8.8	3.3
70歳以上		134	11	5	35	37	26	20
		100.0	8.2	3.7	26.1	27.6	19.4	14.9

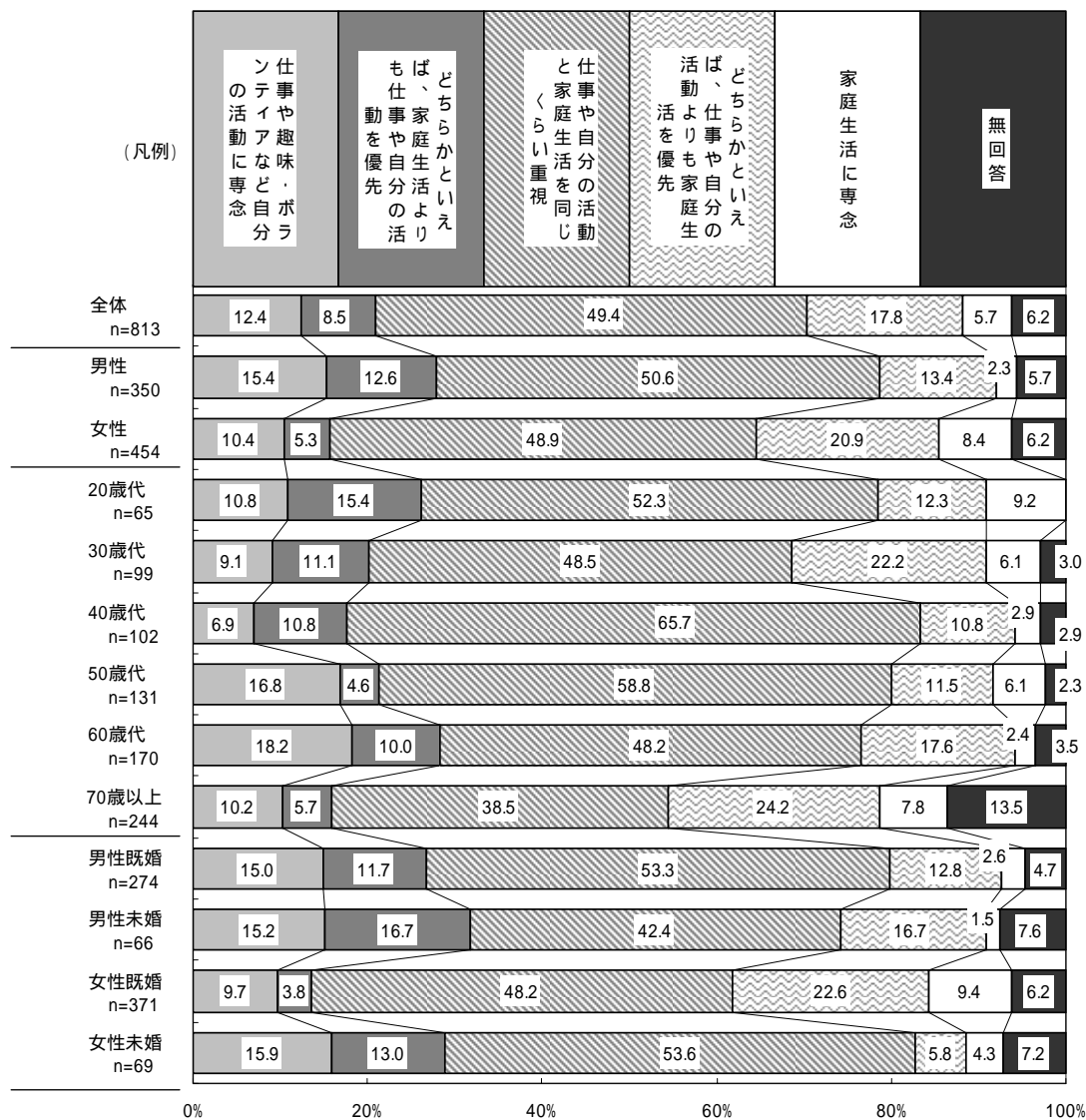
家庭生活 現実(本人)



問8 - 1. 家庭生活と自分の活動について、あなたの「希望」に最も近いものを選んでください。

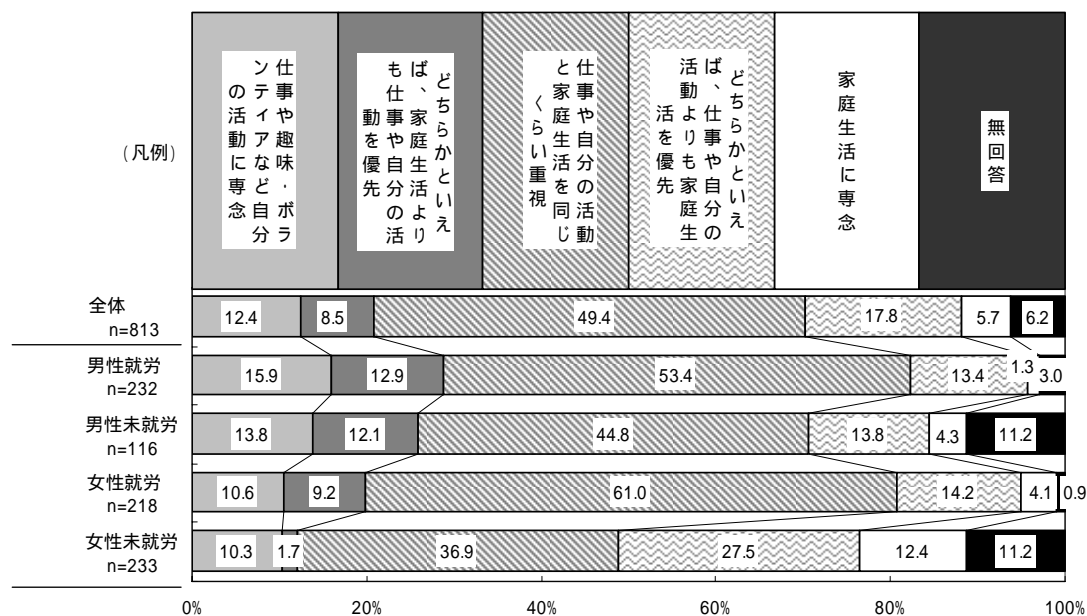
- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が49.4%と最も高く、前述の【問8 家庭生活の現実】と比べると、10.9ポイント高い。以下「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(17.8%)、「仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念」(12.4%)となっている。
- 年齢別では、20歳代は現実と大きく異なり、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」(52.3%)が【現実】より24.6ポイント高くなっている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は現実と大きく異なり、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」(53.6%)が【現実】より30.4ポイント高く、「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」(13.0%)が20.3ポイント低くなっている。
- 性別・就労別では、男性就労者は現実と大きく異なり、「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」(12.9%)が【現実】より18.1ポイント低く、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」(53.4%)が10.7ポイント高くなっている。

家庭生活 希望(本人)



		家庭生活 希望(本人) (%)						
		全体	仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念	どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
全体		813	101	69	402	145	46	50
		100.0	12.4	8.5	49.4	17.8	5.7	6.2
男性計		350	54	44	177	47	8	20
		100.0	15.4	12.6	50.6	13.4	2.3	5.7
20歳代		25	4	4	11	5	1	-
		100.0	16.0	16.0	44.0	20.0	4.0	-
30歳代		43	4	5	24	9	-	1
		100.0	9.3	11.6	55.8	20.9	-	2.3
40歳代		41	3	7	25	4	-	2
		100.0	7.3	17.1	61.0	9.8	-	4.9
50歳代		55	11	4	31	5	3	1
		100.0	20.0	7.3	56.4	9.1	5.5	1.8
60歳代		79	17	13	37	10	-	2
		100.0	21.5	16.5	46.8	12.7	-	2.5
70歳以上		107	15	11	49	14	4	14
		100.0	14.0	10.3	45.8	13.1	3.7	13.1
女性計		454	47	24	222	95	38	28
		100.0	10.4	5.3	48.9	20.9	8.4	6.2
20歳代		40	3	6	23	3	5	-
		100.0	7.5	15.0	57.5	7.5	12.5	-
30歳代		55	5	5	24	13	6	2
		100.0	9.1	9.1	43.6	23.6	10.9	3.6
40歳代		58	4	4	40	6	3	1
		100.0	6.9	6.9	69.0	10.3	5.2	1.7
50歳代		76	11	2	46	10	5	2
		100.0	14.5	2.6	60.5	13.2	6.6	2.6
60歳代		91	14	4	45	20	4	4
		100.0	15.4	4.4	49.5	22.0	4.4	4.4
70歳以上		134	10	3	44	43	15	19
		100.0	7.5	2.2	32.8	32.1	11.2	14.2

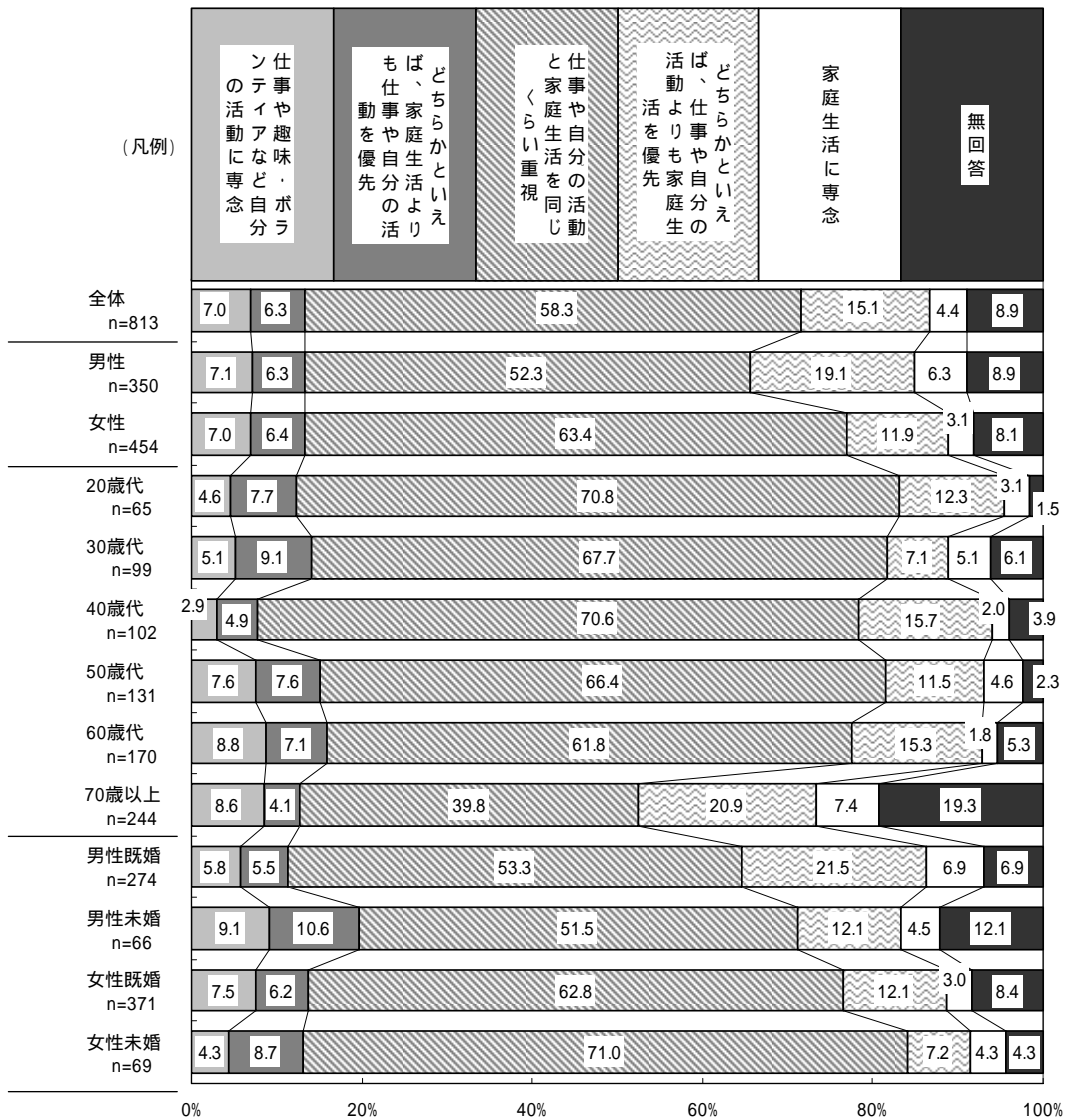
家庭生活 希望(本人)



問8 - 2. 配偶者・パートナーにどのような家庭生活を望むか、未婚・既婚にかかわらずお答えください。

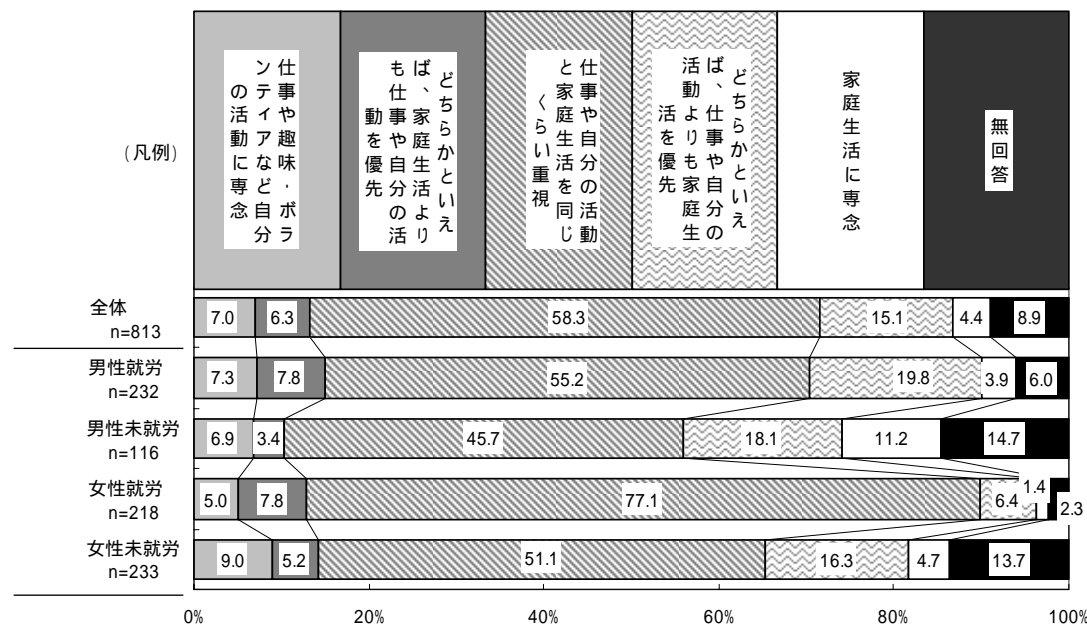
- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が58.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」(15.1%)である。
- 性別では、女性は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が63.4%と男性(52.3%)よりも11.1ポイント高い。一方、「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」は男性(19.1%)が女性(11.9%)よりも高い。
- 年齢別では、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」は20歳代(70.8%)、40歳代(70.6%)で7割を超えて高くなっている。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が71.0%と特に高い。また、男性既婚者は「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」の割合が21.5%と高くなっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が77.1%と特に高い。

家庭生活 希望(配偶者)



		家庭生活 希望(配偶者) (%)						
		全体	仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念	どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
全体		813	57	51	474	123	36	72
		100.0	7.0	6.3	58.3	15.1	4.4	8.9
男性計		350	25	22	183	67	22	31
		100.0	7.1	6.3	52.3	19.1	6.3	8.9
20歳代		25	2	2	15	4	1	1
		100.0	8.0	8.0	60.0	16.0	4.0	4.0
30歳代		43	1	5	26	4	3	4
		100.0	2.3	11.6	60.5	9.3	7.0	9.3
40歳代		41	3	1	20	13	1	3
		100.0	7.3	2.4	48.8	31.7	2.4	7.3
50歳代		55	5	3	28	13	4	2
		100.0	9.1	5.5	50.9	23.6	7.3	3.6
60歳代		79	5	7	47	15	2	3
		100.0	6.3	8.9	59.5	19.0	2.5	3.8
70歳以上		107	9	4	47	18	11	18
		100.0	8.4	3.7	43.9	16.8	10.3	16.8
女性計		454	32	29	288	54	14	37
		100.0	7.0	6.4	63.4	11.9	3.1	8.1
20歳代		40	1	3	31	4	1	-
		100.0	2.5	7.5	77.5	10.0	2.5	-
30歳代		55	4	4	41	3	2	1
		100.0	7.3	7.3	74.5	5.5	3.6	1.8
40歳代		58	-	4	50	2	1	1
		100.0	-	6.9	86.2	3.4	1.7	1.7
50歳代		76	5	7	59	2	2	1
		100.0	6.6	9.2	77.6	2.6	2.6	1.3
60歳代		91	10	5	58	11	1	6
		100.0	11.0	5.5	63.7	12.1	1.1	6.6
70歳以上		134	12	6	49	32	7	28
		100.0	9.0	4.5	36.6	23.9	5.2	20.9

家庭生活 希望(配偶者)



(7) 家庭内の仕事の分担

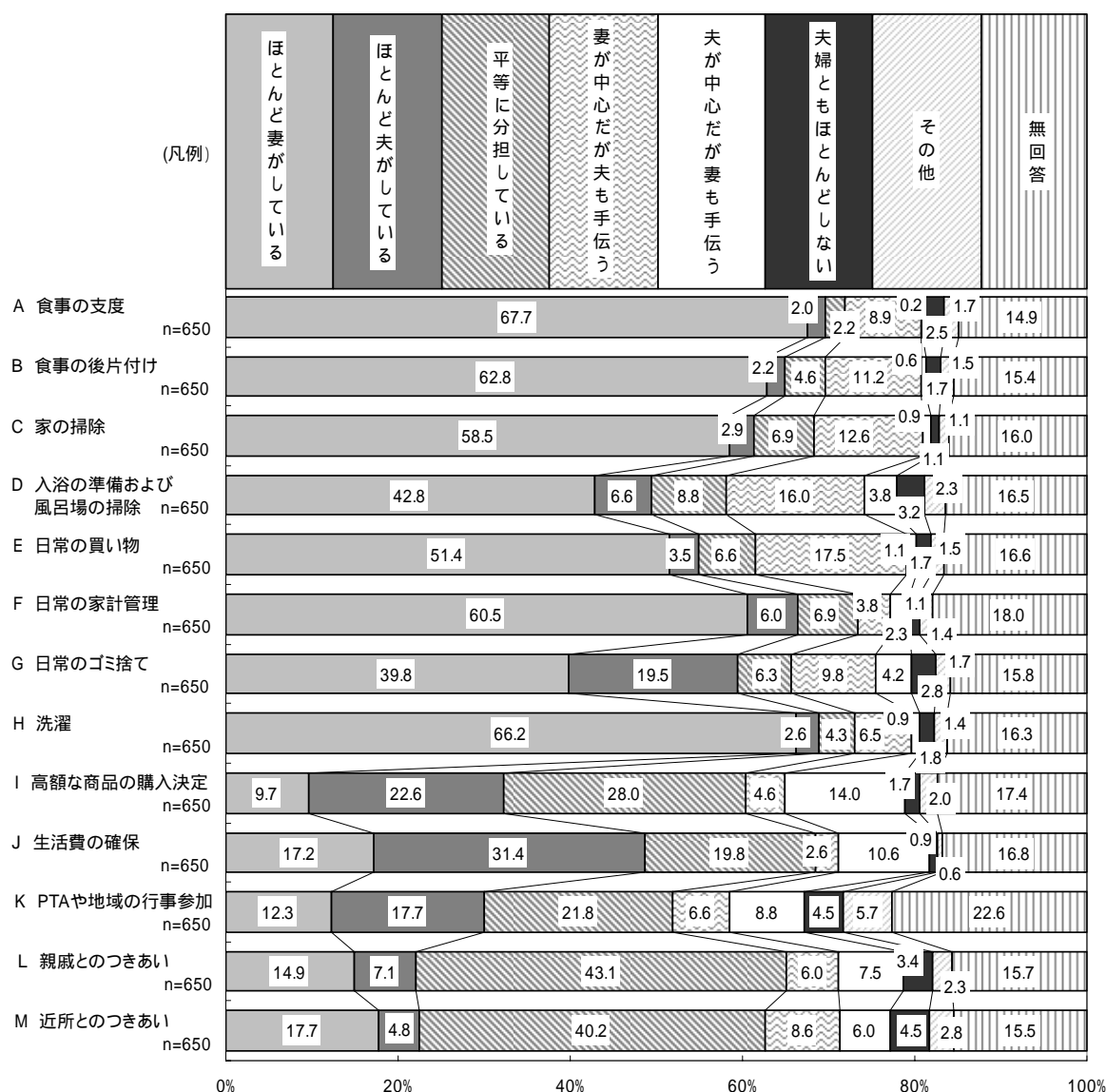
現在、結婚している方を対象

問9. あなたの家庭では、A～Mのそれぞれについて、夫婦の間でどのように行っていますか。

【全体】(A～M)

- A～Hの日常的な家事等の項目は「ほとんど妻がしている」の割合が高く、なかでも「A 食事の支度」(67.7%)、「H 洗濯」(66.2%)、「B 食事の後片付け」(62.8%)が高い。一方、「L 親戚とのつきあい」(43.1%)、「M 近所とのつきあい」(40.2%)は「平等に分担している」の割合が高い。また、「J 生活費の確保」(31.4%)、「I 高額な商品の購入決定」(22.6%)、「K PTAや地域の行事参加」(17.7%)では「ほとんど夫がしている」の割合が「ほとんど妻がしている」よりも高くなっている。

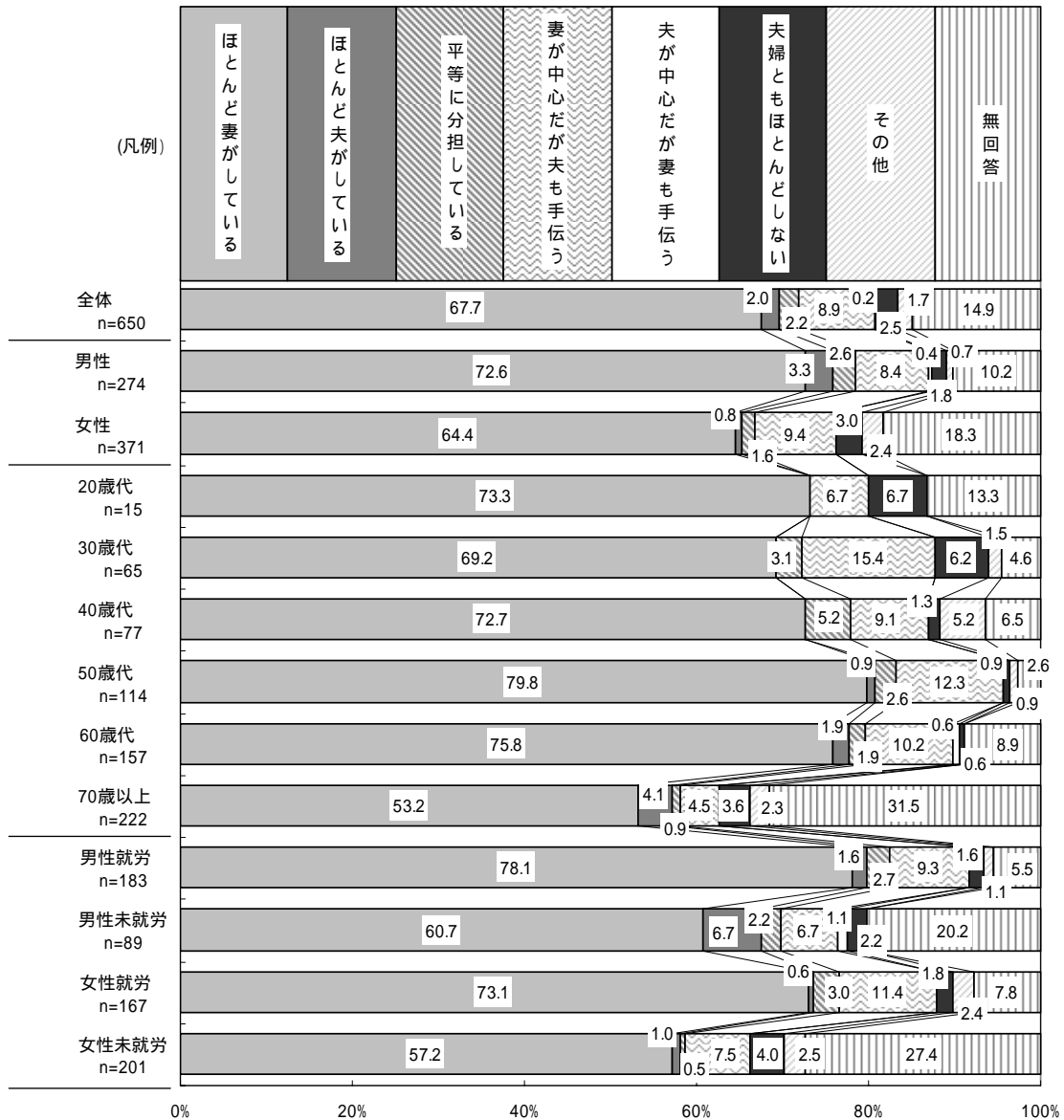
家庭内の仕事の分担【全体】(A～M)



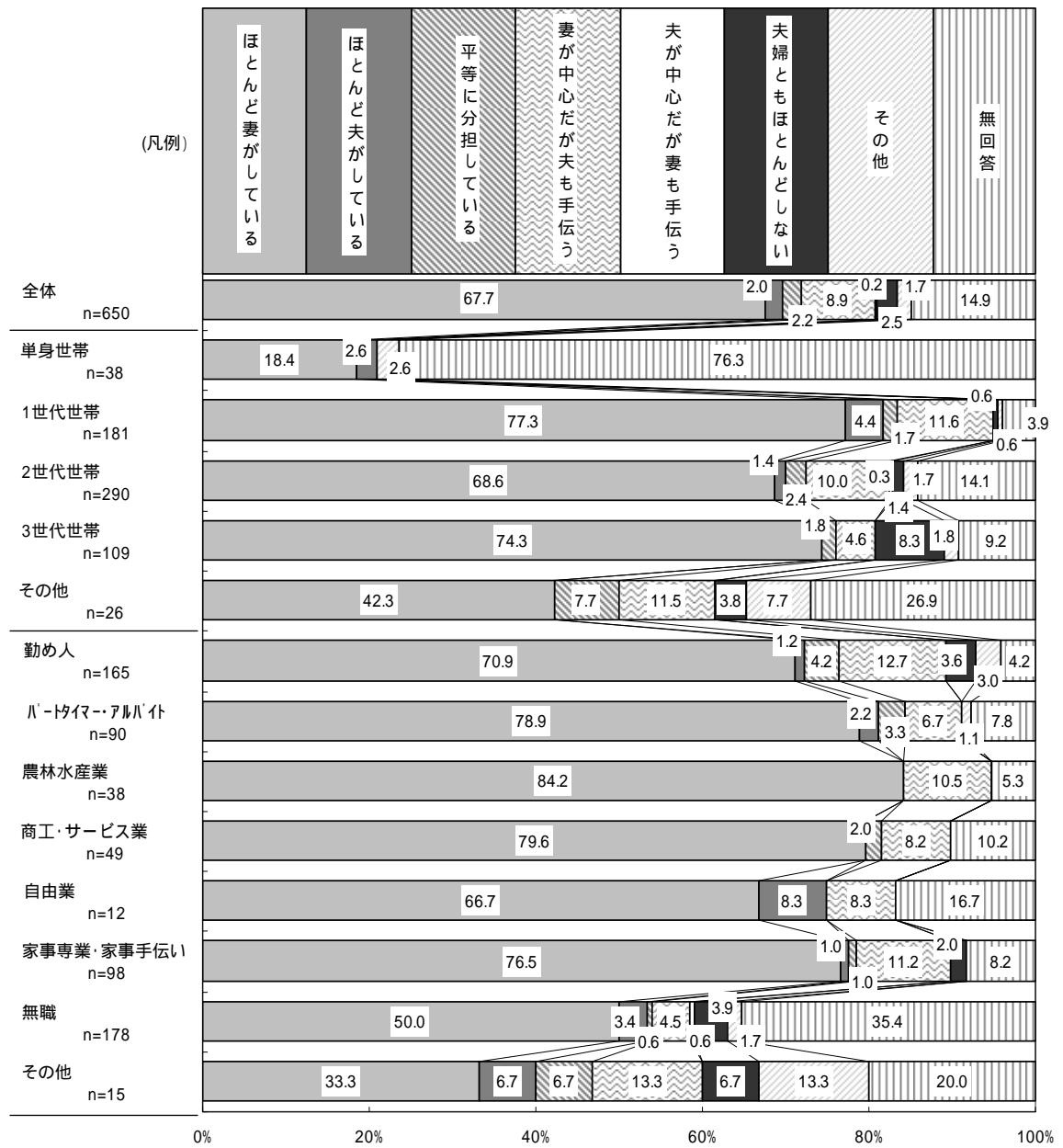
【A 食事の支度】

- 「ほとんど妻がしている」が67.7%と最も高く、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」(8.9%)である。
- 年齢別では、50歳代は「ほとんど妻がしている」が79.8%と高い。
- 性別・就労別では、男性就労者は「ほとんど妻がしている」が78.1%と高く、女性就労者(73.1%)も7割を超える。

A 食事の支度



A 食事の支度

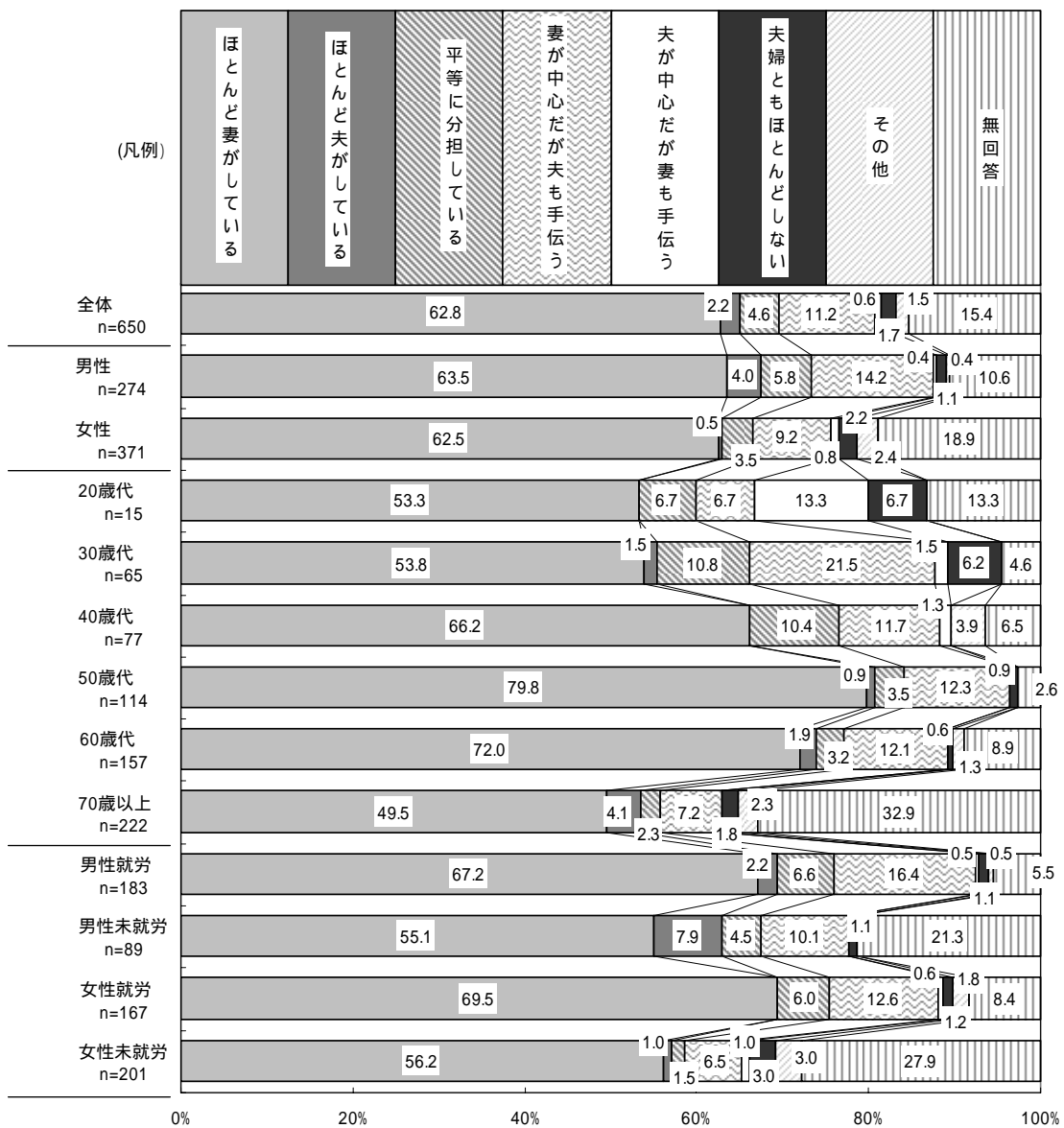


20歳代、その他(世帯)、自由業、その他(職業)の回答者は少数のため、分析から除いている。学生は回答数が0件のため、表記していない。以降のページも同様。

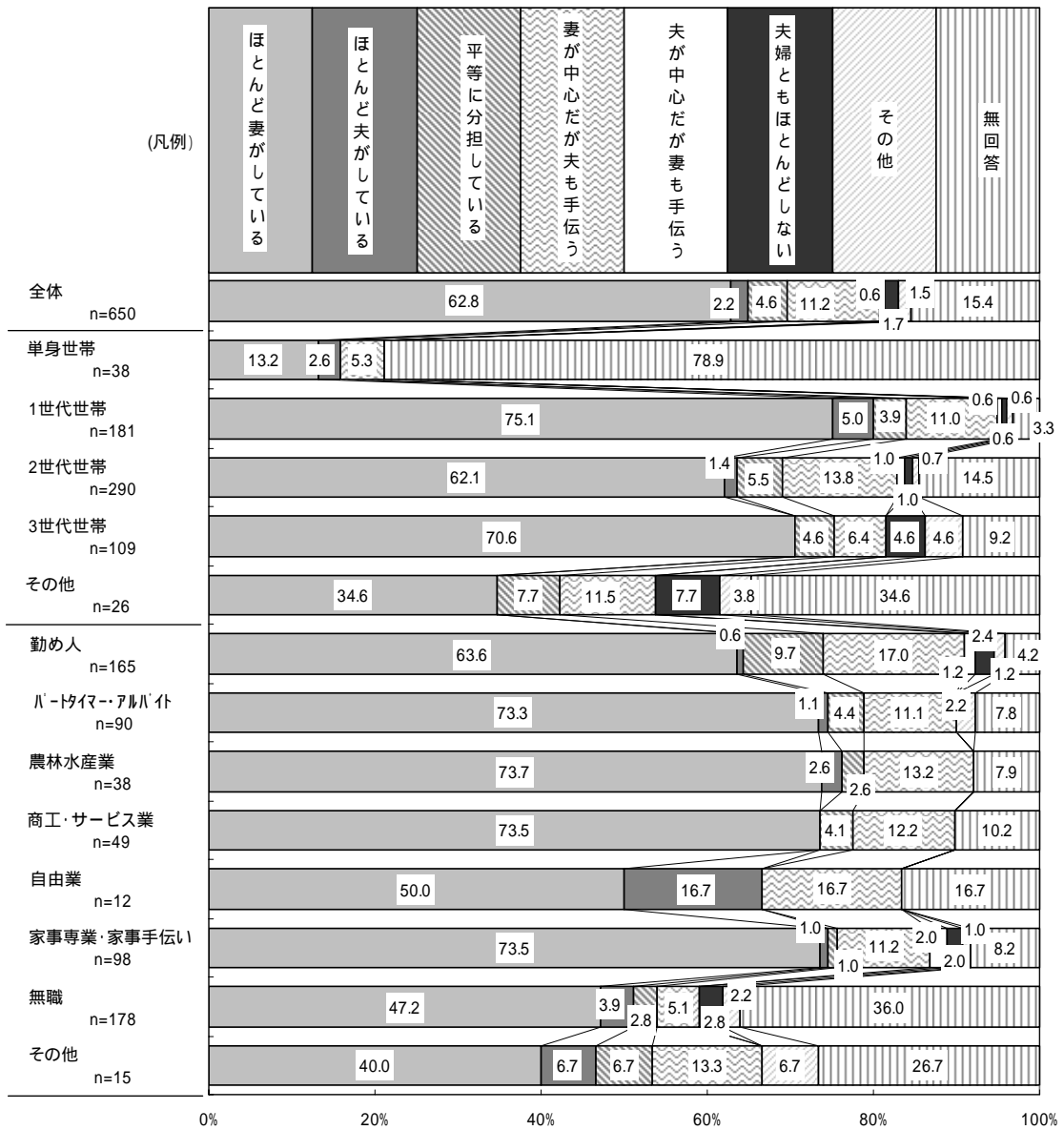
【B 食事の後片付け】

- 「ほとんど妻がしている」が62.8%と最も高く、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」(11.2%)である。
- 性別では、「ほとんど妻がしている」は男性が63.5%と女性(62.5%)をわずかに上回っている。一方、「妻が中心だが夫も手伝う」、「平等に分担している」は男性の割合がやや高い。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」の割合が49.5%とやや低い。また、30歳代では「妻が中心だが夫も手伝う」が21.5%とやや高い。
- 性別・就労別では、男女とも就労者は「ほとんど妻がしている」の割合が未就労者よりも高い。
- 職業別では、無職は「ほとんど妻がしている」が47.2%と低くなっているほか、勤め人も63.6%とやや低い。

B 食事の後片付け



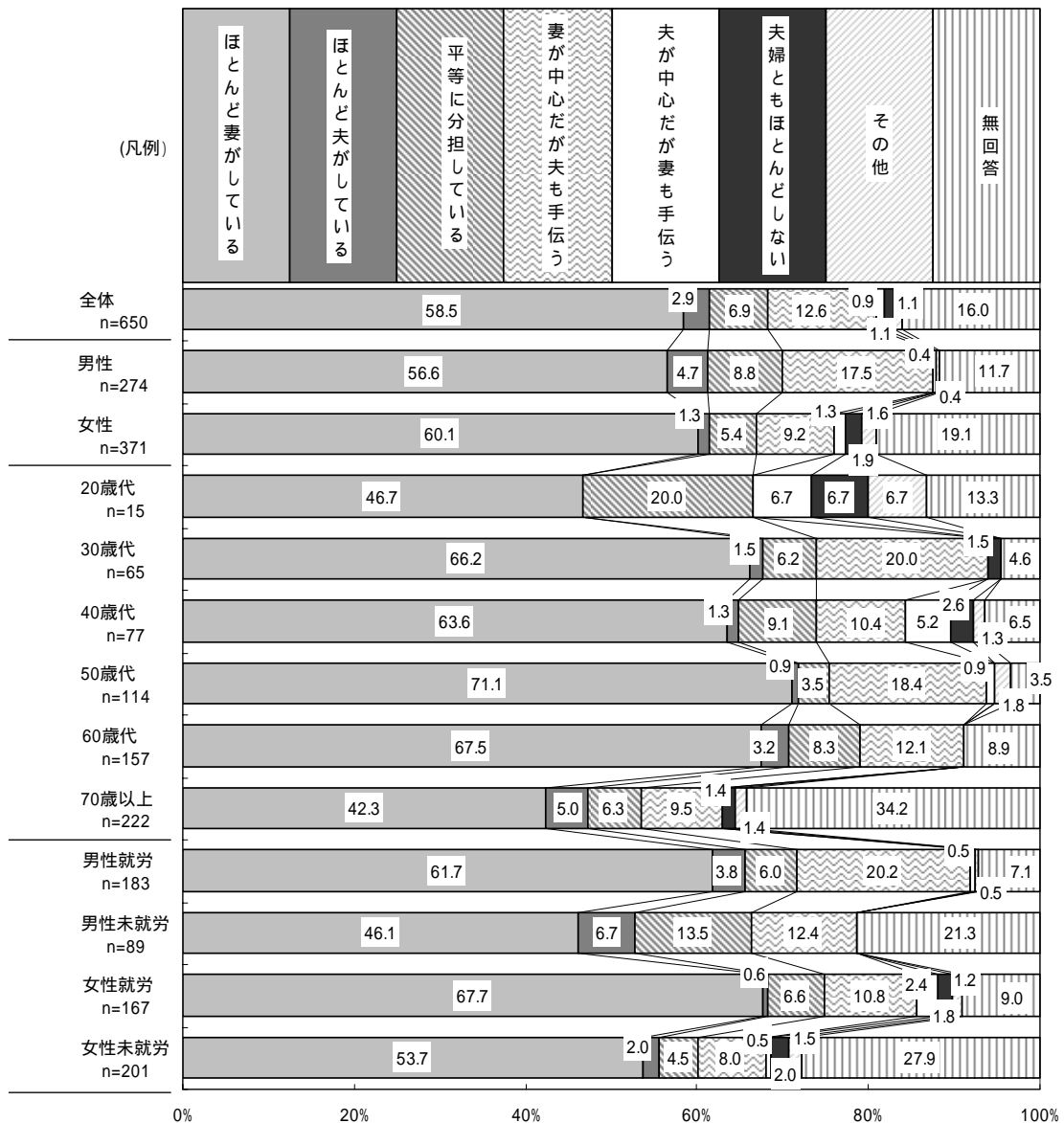
B 食事の後片付け



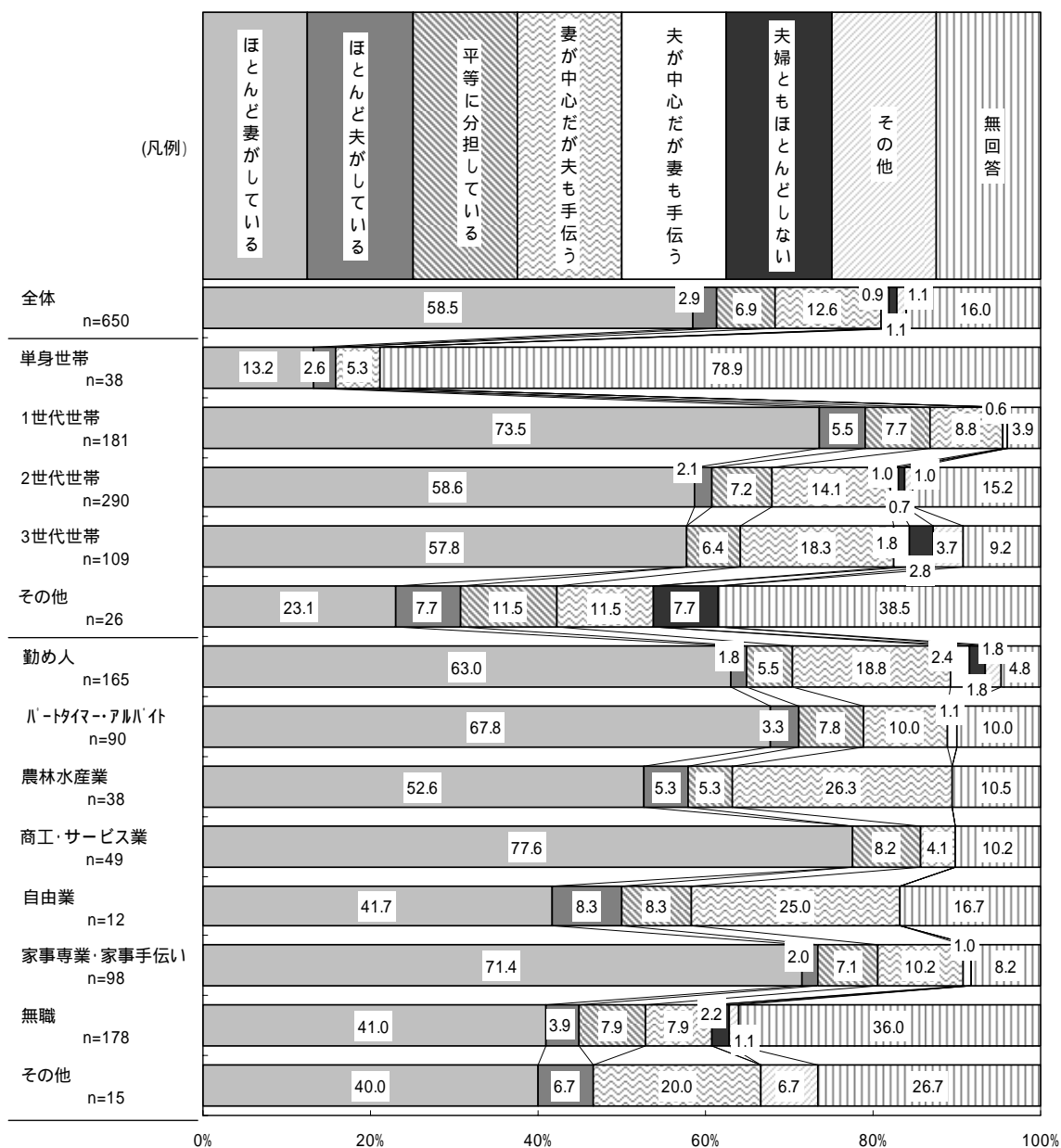
【C 家の掃除】

- 「ほとんど妻がしている」が58.5%と最も高く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(12.6%)、「平等に分担している」(6.9%)である。
- 性別では、男性は「妻が中心だが夫も手伝う」が17.5%、「平等に分担している」が8.8%となり、いずれも女性を上回っている。
- 年齢別では、「ほとんど妻がしている」の割合が50歳代で71.1%と高く、70歳以上で42.3%と低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「ほとんど妻がしている」が67.7%と特に高く、男性就労者は「妻が中心だが夫も手伝う」(20.2%)がやや高い。
- 職業別では、商工・サービス業と家事専業・家事手伝いは「ほとんど妻がしている」がそれぞれ77.6%、71.4%と高い。また、農林水産業では「妻が中心だが夫も手伝う」が26.3%とやや高い。

C 家の掃除



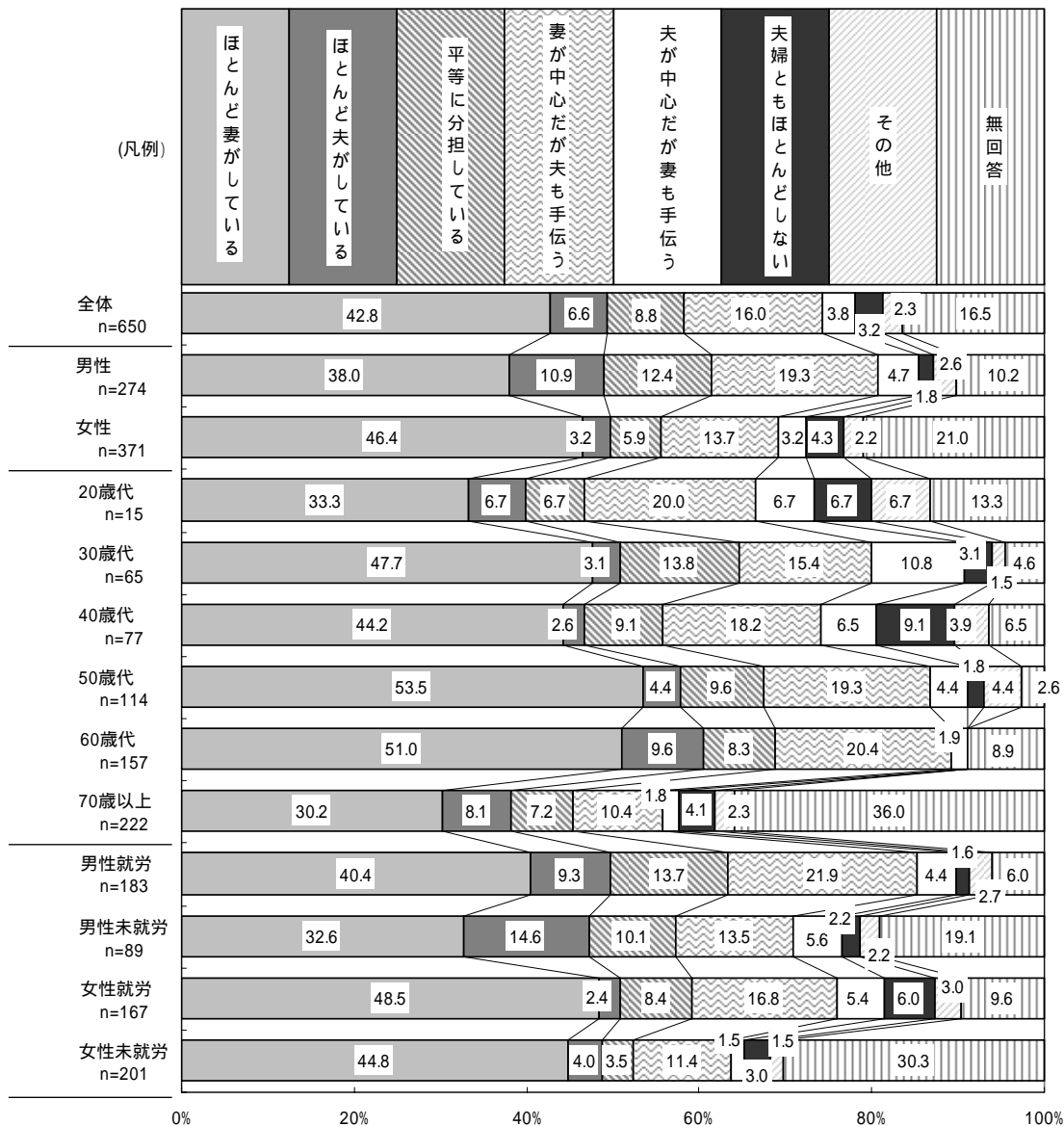
C 家の掃除



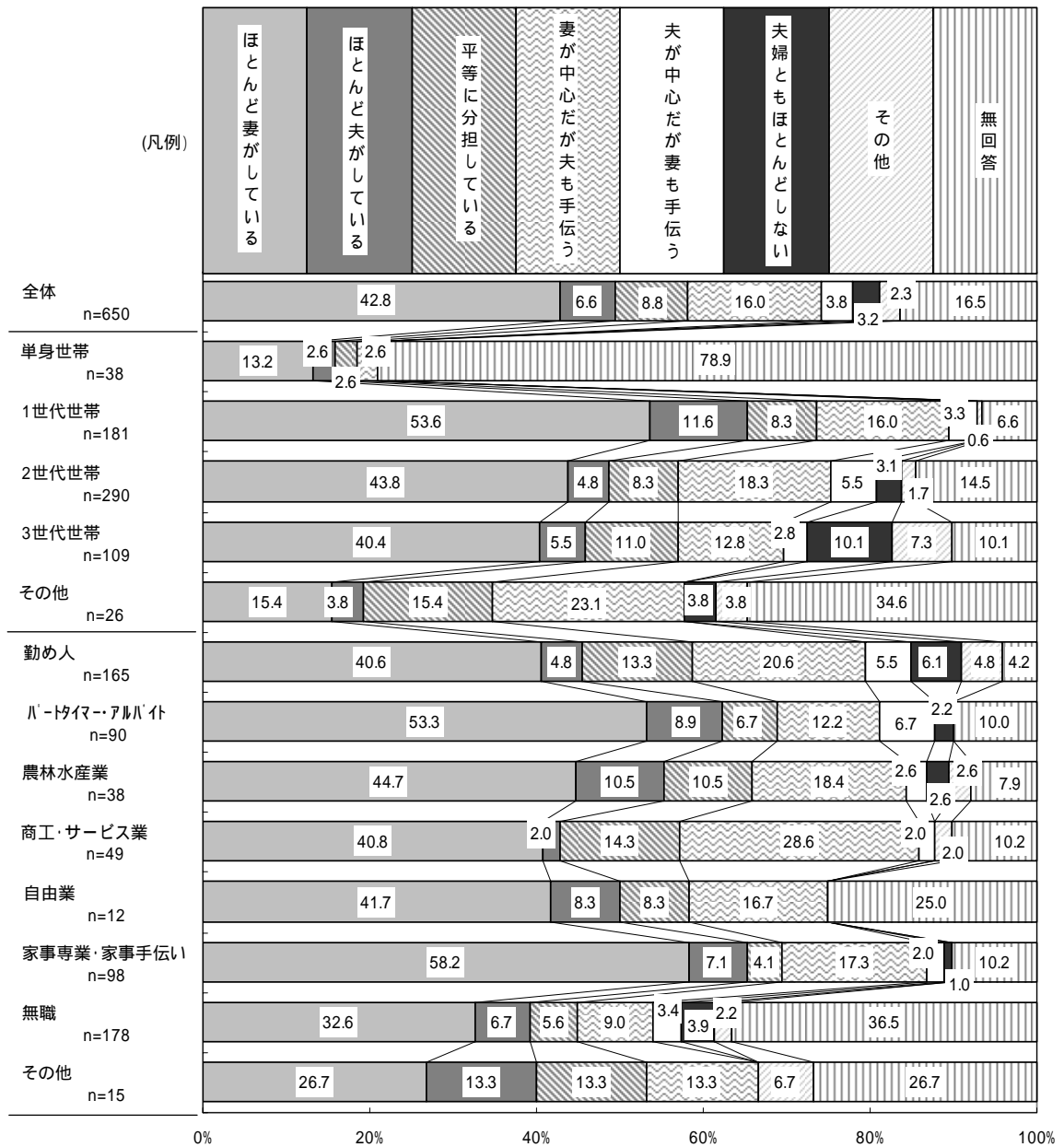
【D 入浴の準備および風呂場の掃除】

- 「ほとんど妻がしている」が42.8%と最も高く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(16.0%)、「平等に分担している」(8.8%)である。
- 性別では、男性は「ほとんど妻がしている」が38.0%と女性(46.4%)を下回っているが、「妻が中心だが夫も手伝う」、「平等に分担している」、「ほとんど夫がしている」、「夫が中心だが妻も手伝う」のいずれにおいても、女性を上回っている。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」(30.2%)、「妻が中心だが夫も手伝う」(10.4%)が他の年代に比べて低い。
- 性別・就労別では、男性就労者は「妻が中心だが夫も手伝う」が21.9%とやや高い。また、男性未就労者は「ほとんど妻がしている」が32.6%とやや低い。
- 職業別では、家事専業・家事手伝い、パートタイマー・アルバイトは「ほとんど妻がしている」がそれぞれ58.2%、53.3%と高くなっている。また、商工・サービス業では「妻が中心だが夫も手伝う」が28.6%とやや高い。

D 入浴の準備および風呂場の掃除



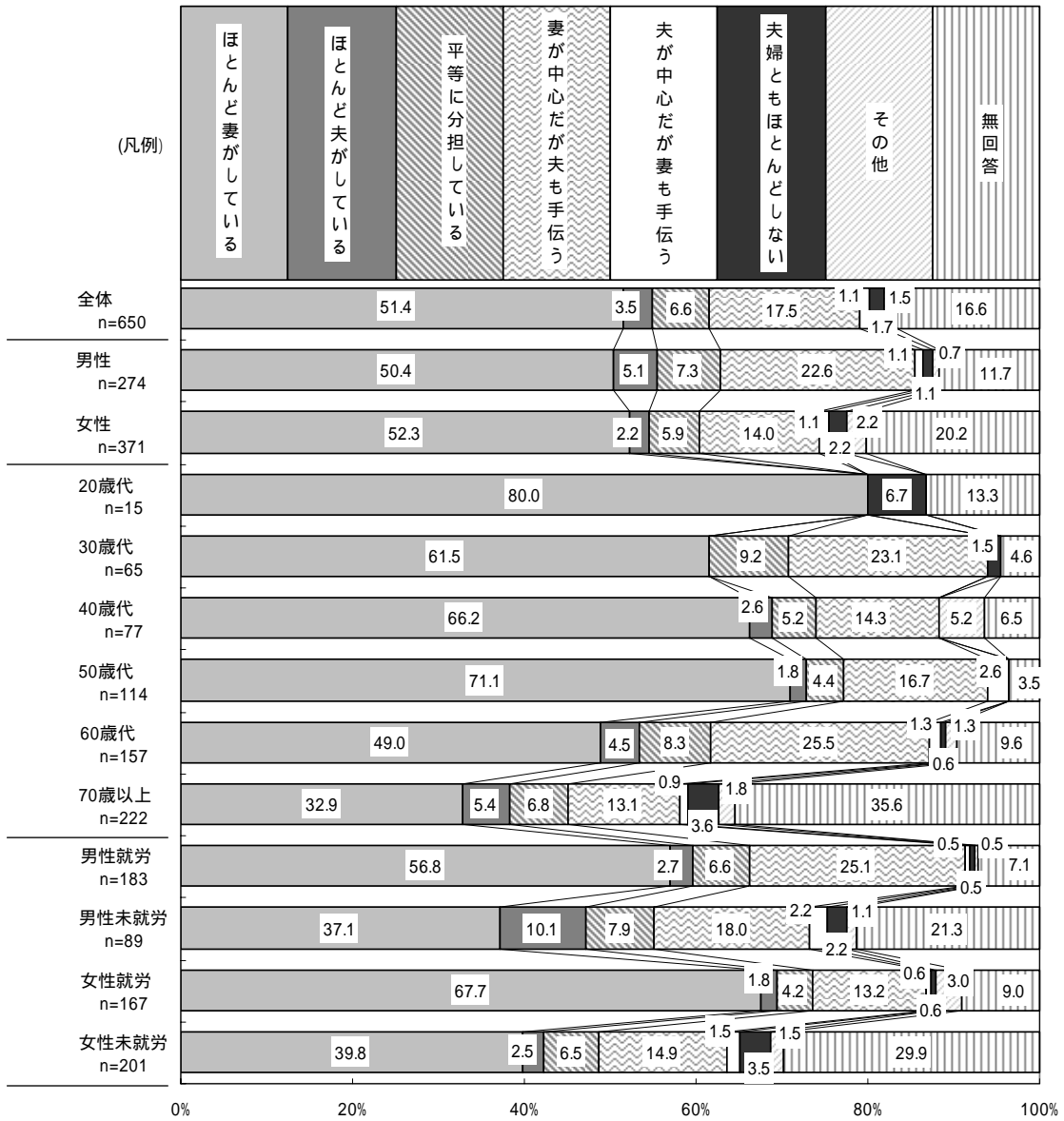
D 入浴の準備および風呂場の掃除



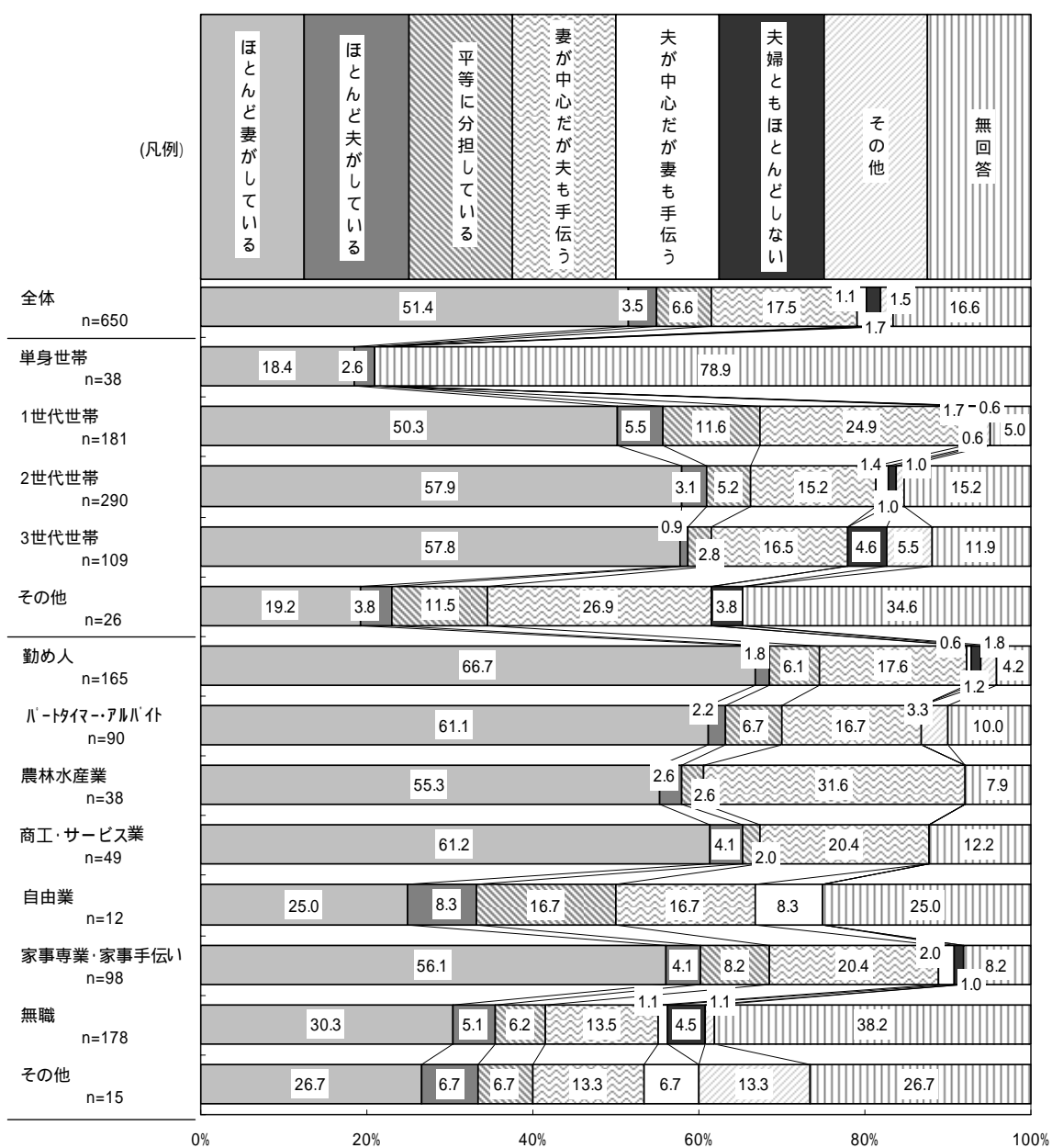
【E 日常の買い物】

- 「ほとんど妻がしている」が51.4%と最も高く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(17.5%)、「平等に分担している」(6.6%)である。
- 年齢別では、50歳代は「ほとんど妻がしている」が71.1%とやや高く、一方、60歳代(49.0%)、70歳以上(32.9%)は低くなっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は「ほとんど妻がしている」が67.7%と高い。

E 日常の買い物



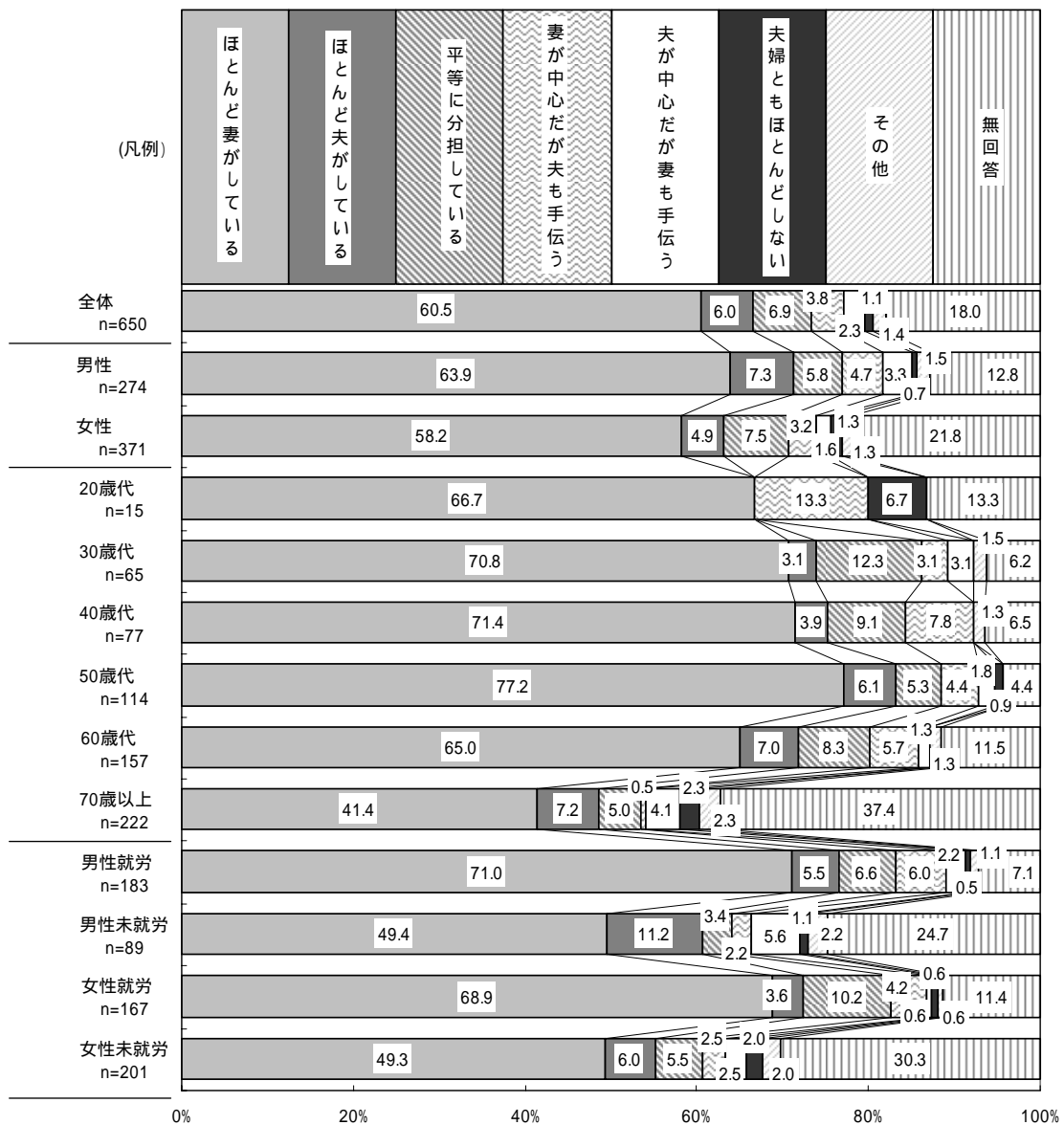
E 日常の買い物



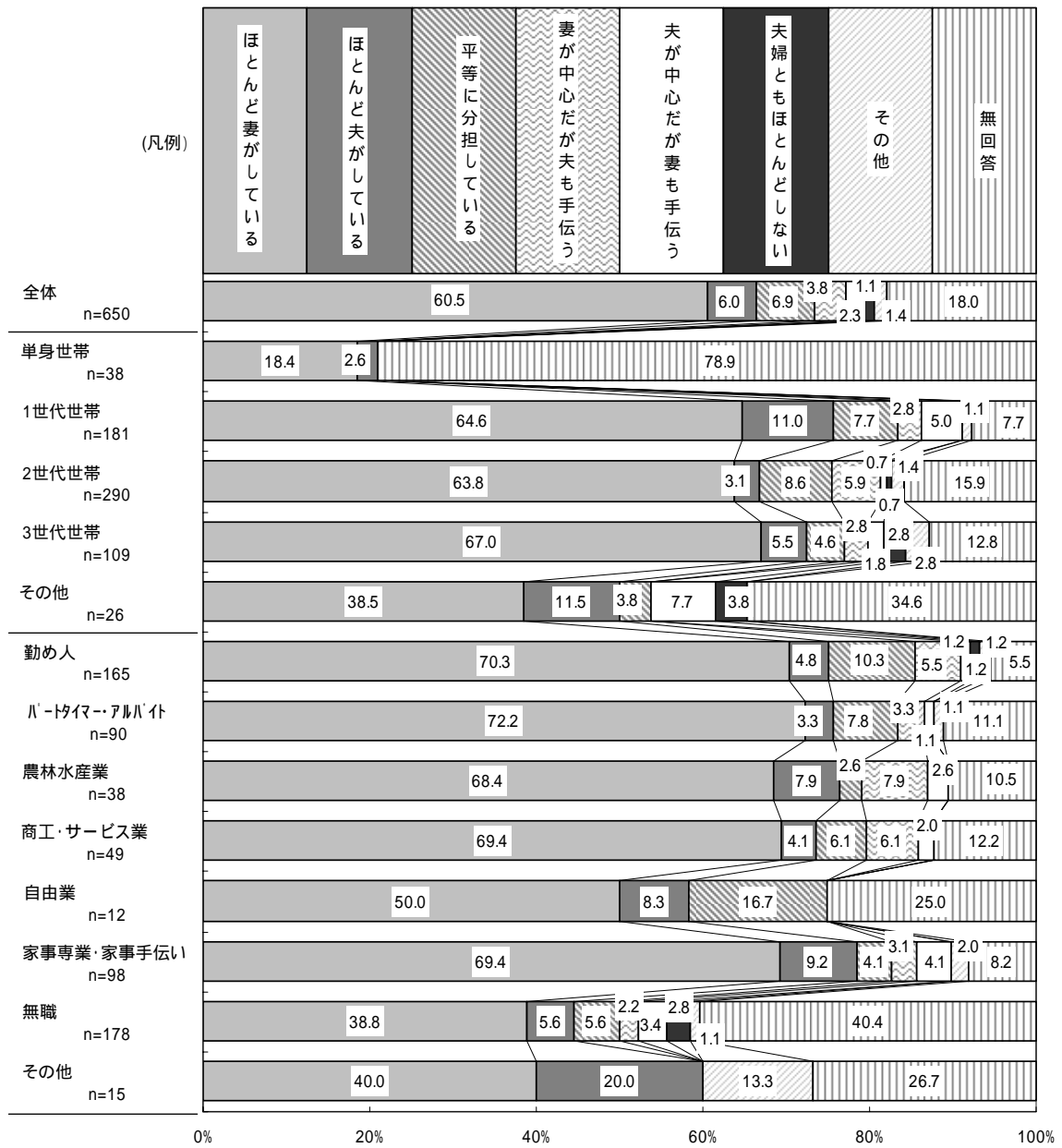
【F 日常の家計管理】

- 「ほとんど妻がしている」が60.5%と最も高く、以下「平等に分担している」(6.9%)、「ほとんど夫がしている」(6.0%)である。
- 年齢別では、「ほとんど妻がしている」が50歳代で77.2%と高く、70歳以上で41.4%と低い。
- 性別・就労別では、「ほとんど妻がしている」は男性就労者が71.0%、女性就労者が68.9%となっており、男女とも就労者が未就労者を上回っている。
- 職業別では、パートタイマー・アルバイト、勤め人は「ほとんど妻がしている」がそれぞれ72.2%、70.3%と7割を超えている。

F 日常の家計管理



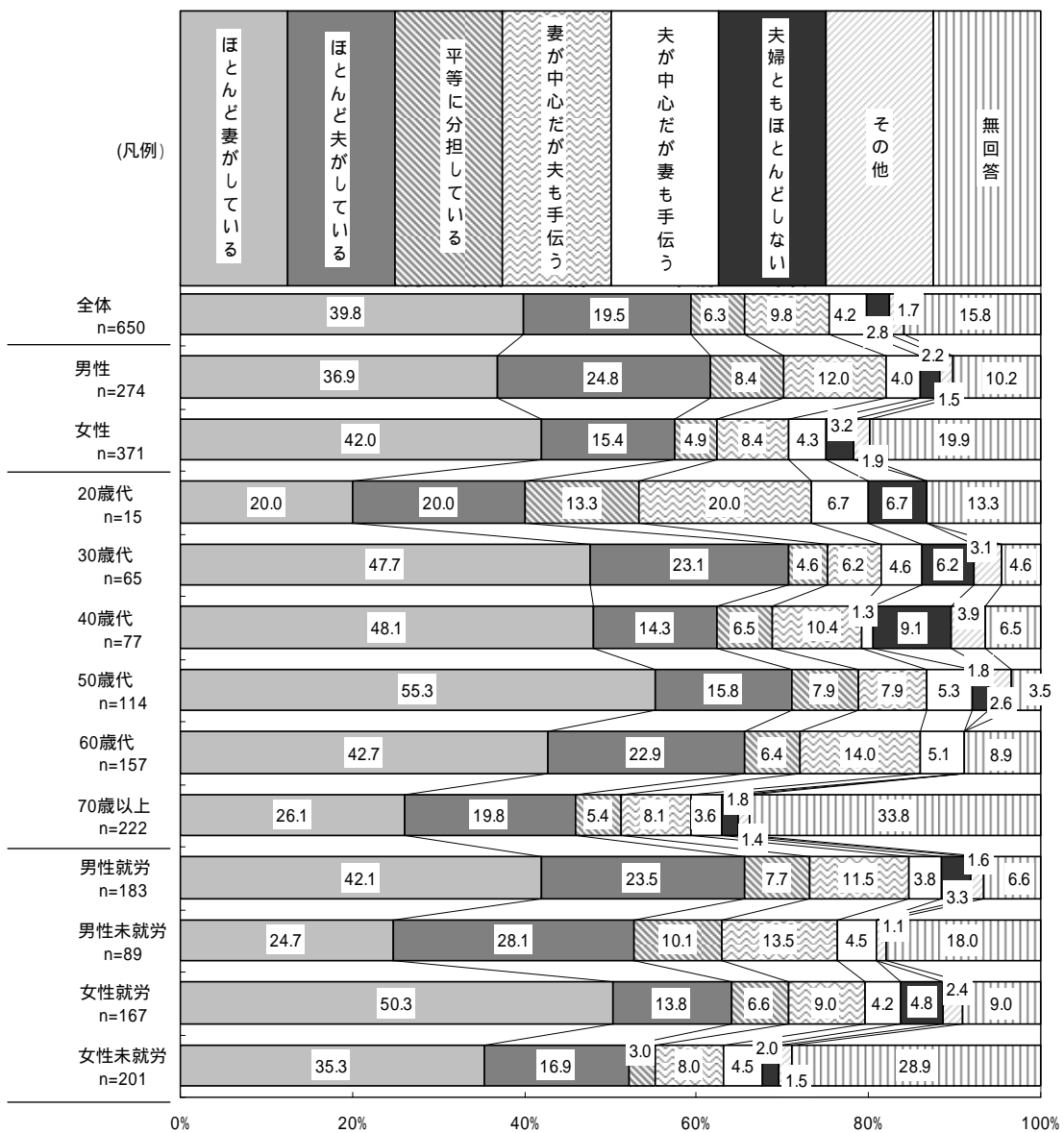
F 日常の家計管理



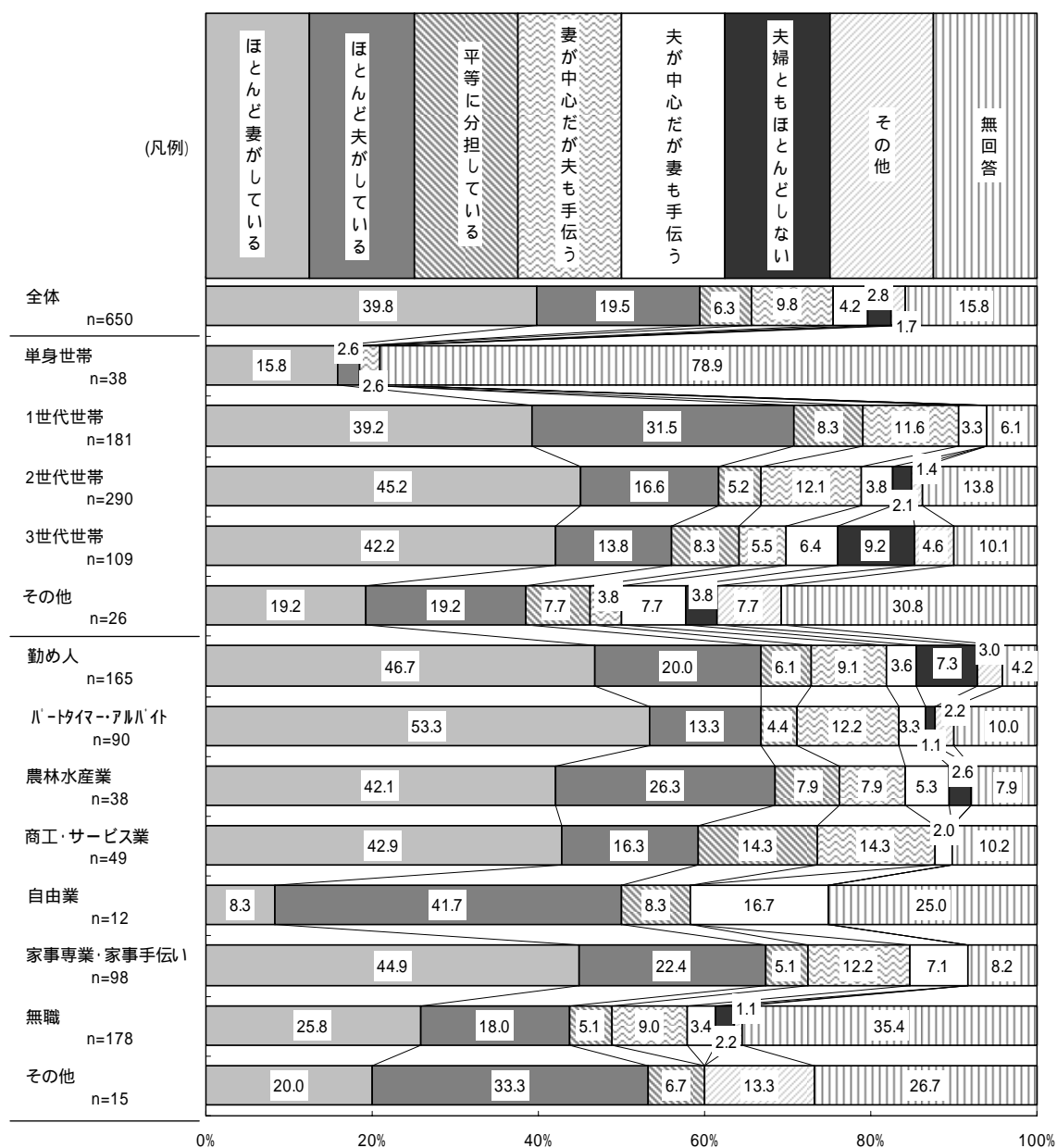
【G 日常のゴミ捨て】

- 「ほとんど妻がしている」が 39.8%と最も高く、以下「ほとんど夫がしている」(19.5%)、「妻が中心だが夫も手伝う」(9.8%)である。
- 性別では、女性は「ほとんど妻がしている」が 42.0%と男性(36.9%)よりも高い。一方、男性は「ほとんど夫がしている」が 24.8%と女性(15.4%)を上回っている。
- 年齢別では、50歳代は「ほとんど妻がしている」が 55.3%と、他の年代に比べるとやや高い。
- 性別・就労別では、「ほとんど妻がしている」は、女性就労者で 50.3%と高く、男性未就労者で 24.7%と低い。
- 職業別では、パートタイマー・アルバイトは「ほとんど妻がしている」が 53.3%とやや高くなっている。

G 日常のゴミ捨て



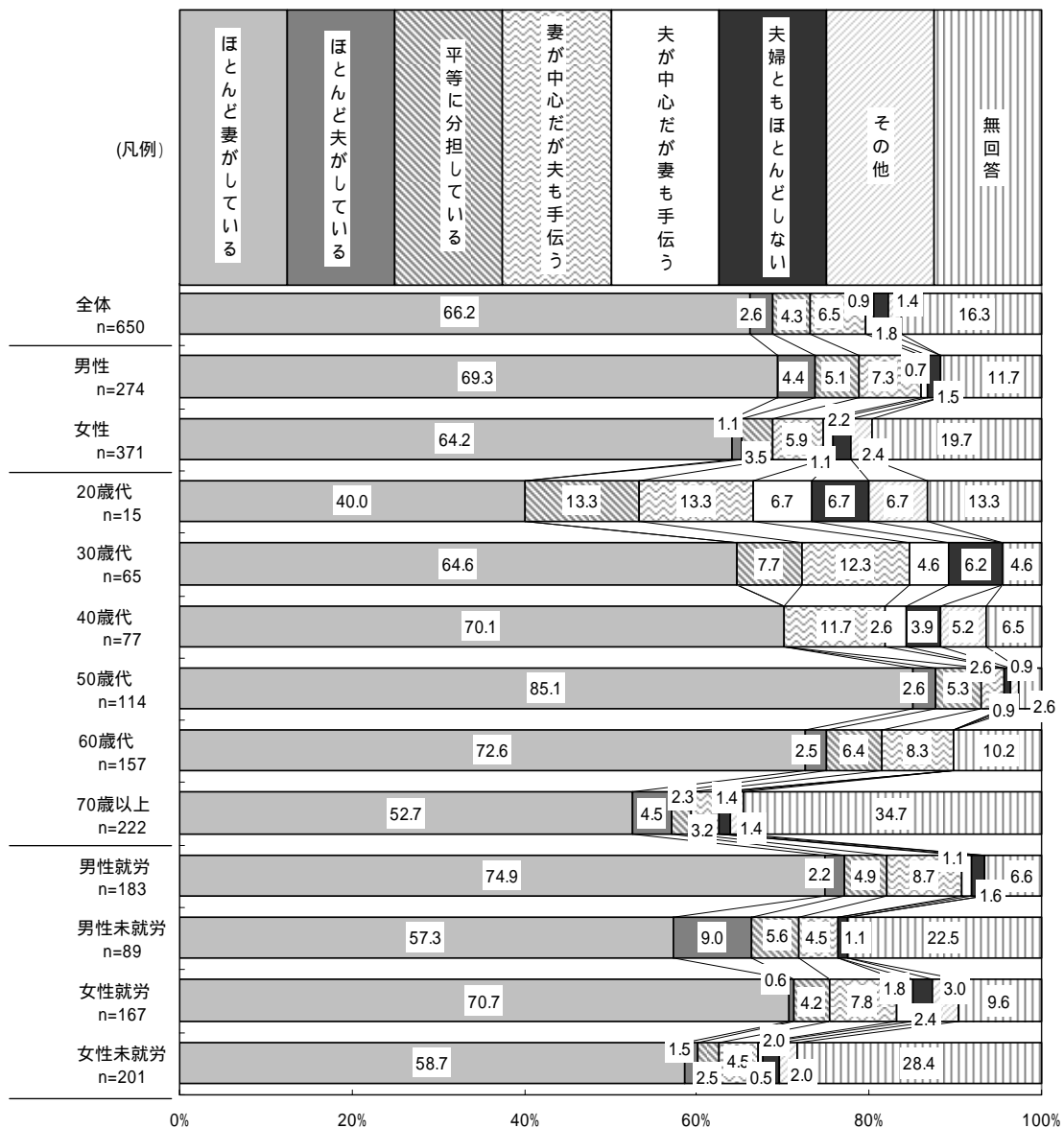
G 日常のゴミ捨て



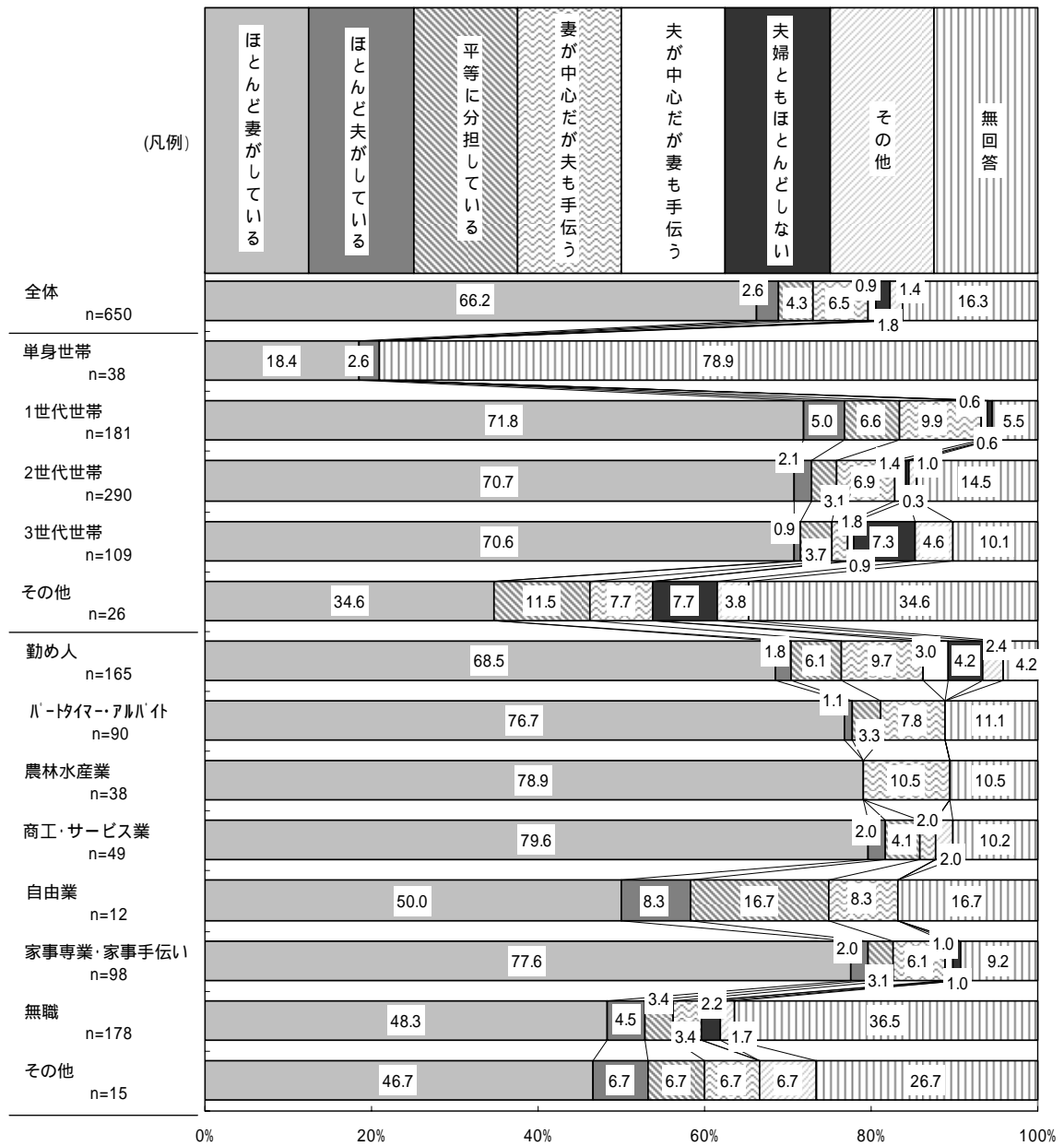
【H 洗濯】

- 「ほとんど妻がしている」が66.2%と最も高く、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」(6.5%)である。
- 性別では、男性は「ほとんど妻がしている」が69.3%と女性(64.2%)よりもやや高い。
- 年齢別では、「ほとんど妻がしている」は50歳代(85.1%)が特に高く、一方、70歳以上(52.7%)で低くなっている。
- 性別・就労別では、「ほとんど妻がしている」は、男性就労者が74.9%と最も高い。
- 職業別では、「ほとんど妻がしている」は無職で48.3%と最も低く、勤め人も68.5%と他と比べやや低くなっている。

H 洗濯



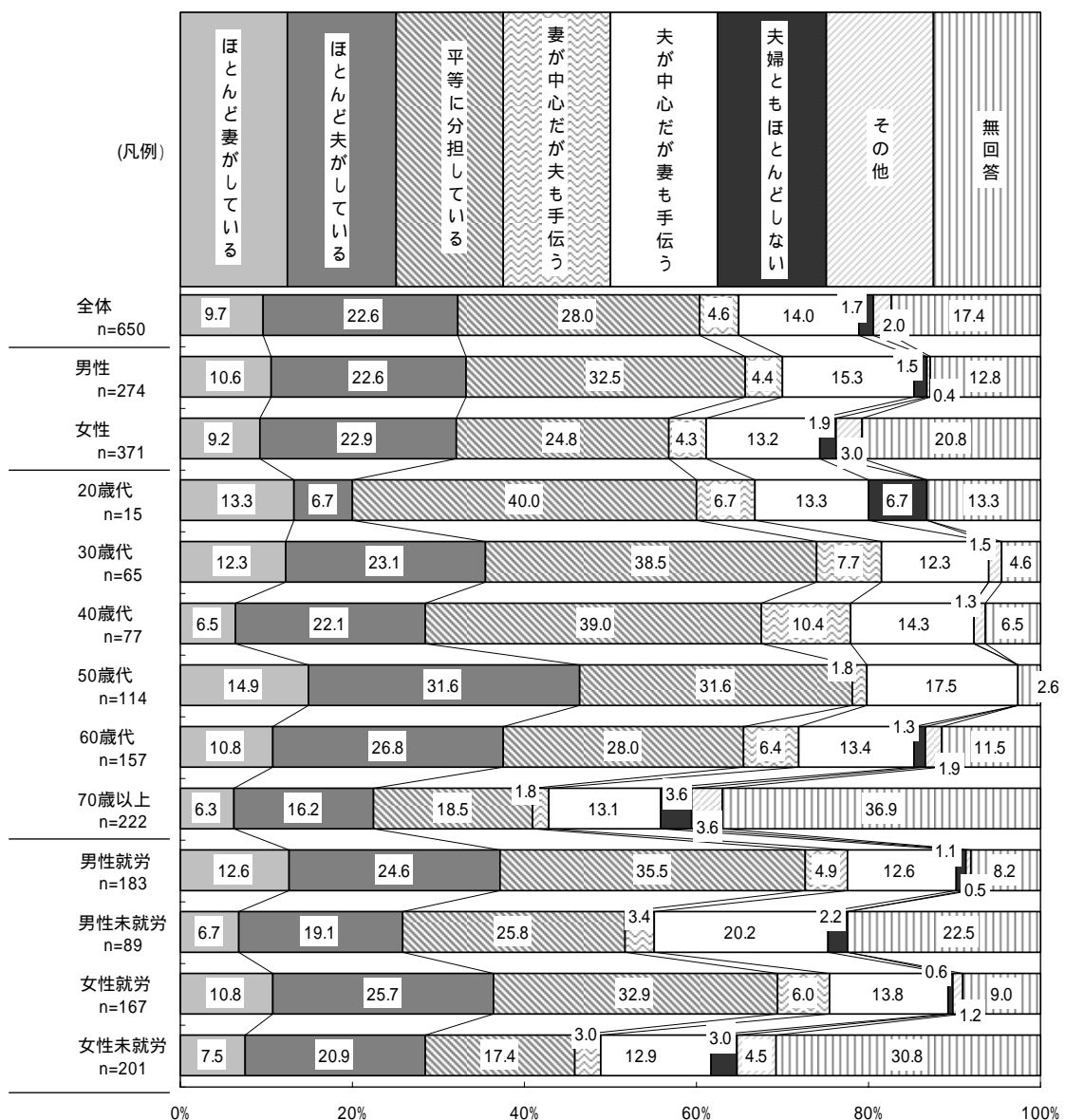
H 洗濯



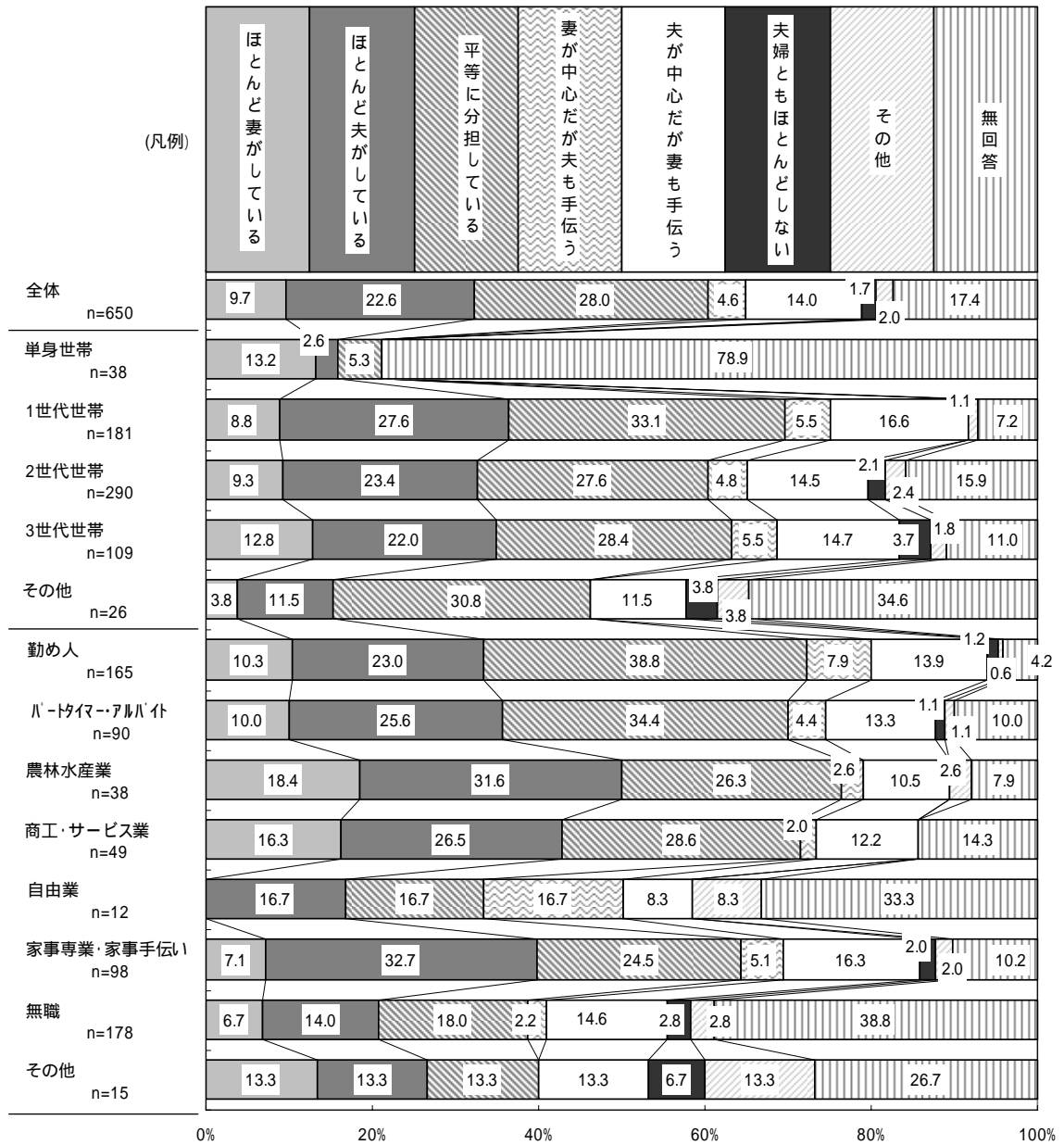
【 I 高額な商品の購入決定】

- 「平等に分担している」が28.0%と最も高く、以下「ほとんど夫がしている」(22.6%)「夫が中心だが妻も手伝う」(14.0%)である。
- 年齢別では、「平等に分担している」は40歳代(39.0%)、30歳代(38.5%)で高くなっている。また、50歳代では「ほとんど夫がしている」が31.6%とやや高い。
- 性別・就労別では、男性未就労者は「夫が中心だが妻も手伝う」(20.2%)がやや高い。
- 世帯別では、1世代世帯は「平等に分担している」(33.1%)「ほとんど夫がしている」(27.6%)の割合がやや高く、3世代世帯は「ほとんど妻がしている」がやや高くなっている。

I 高額な商品の購入決定



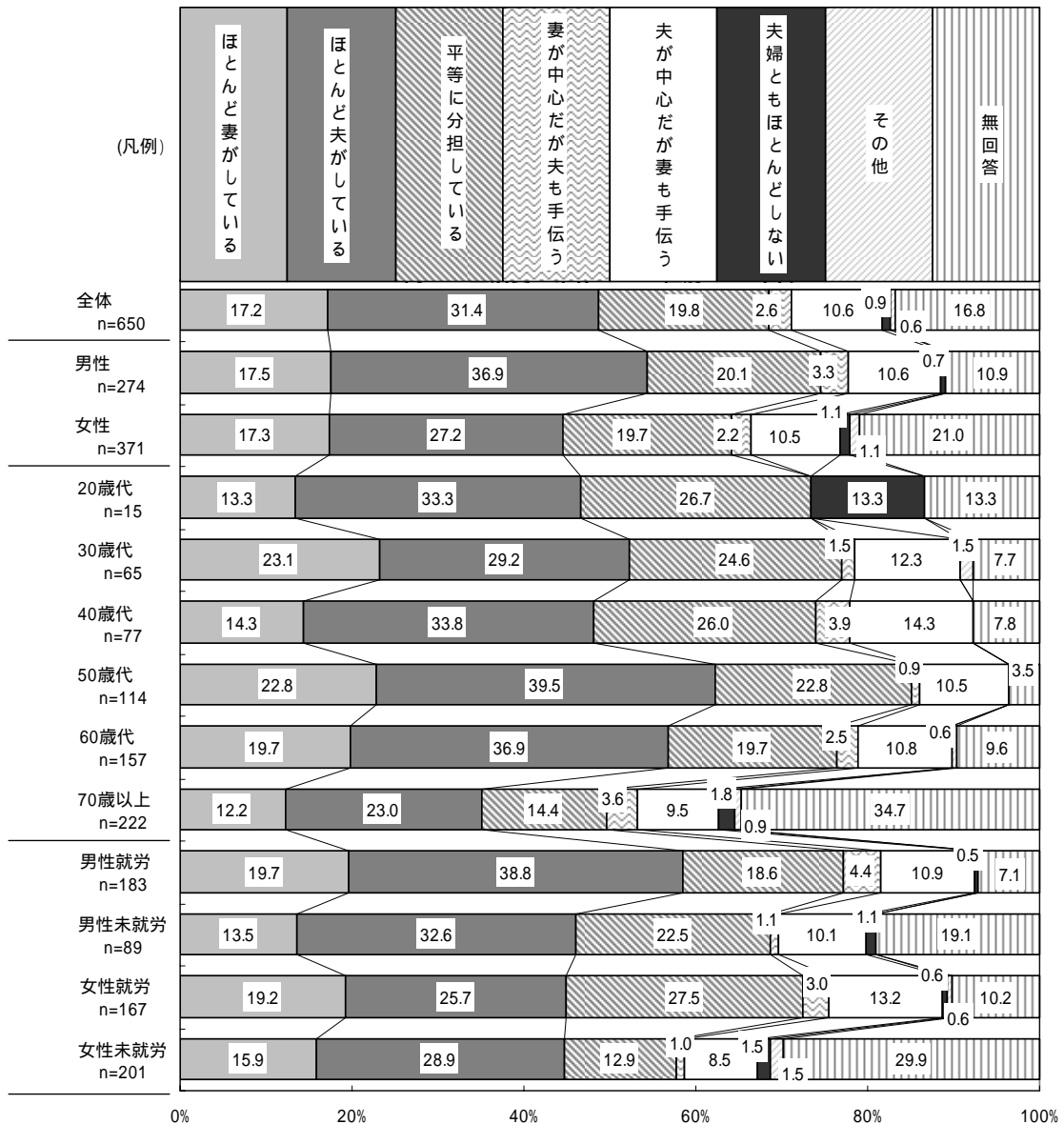
Ⅰ 高額な商品の購入決定



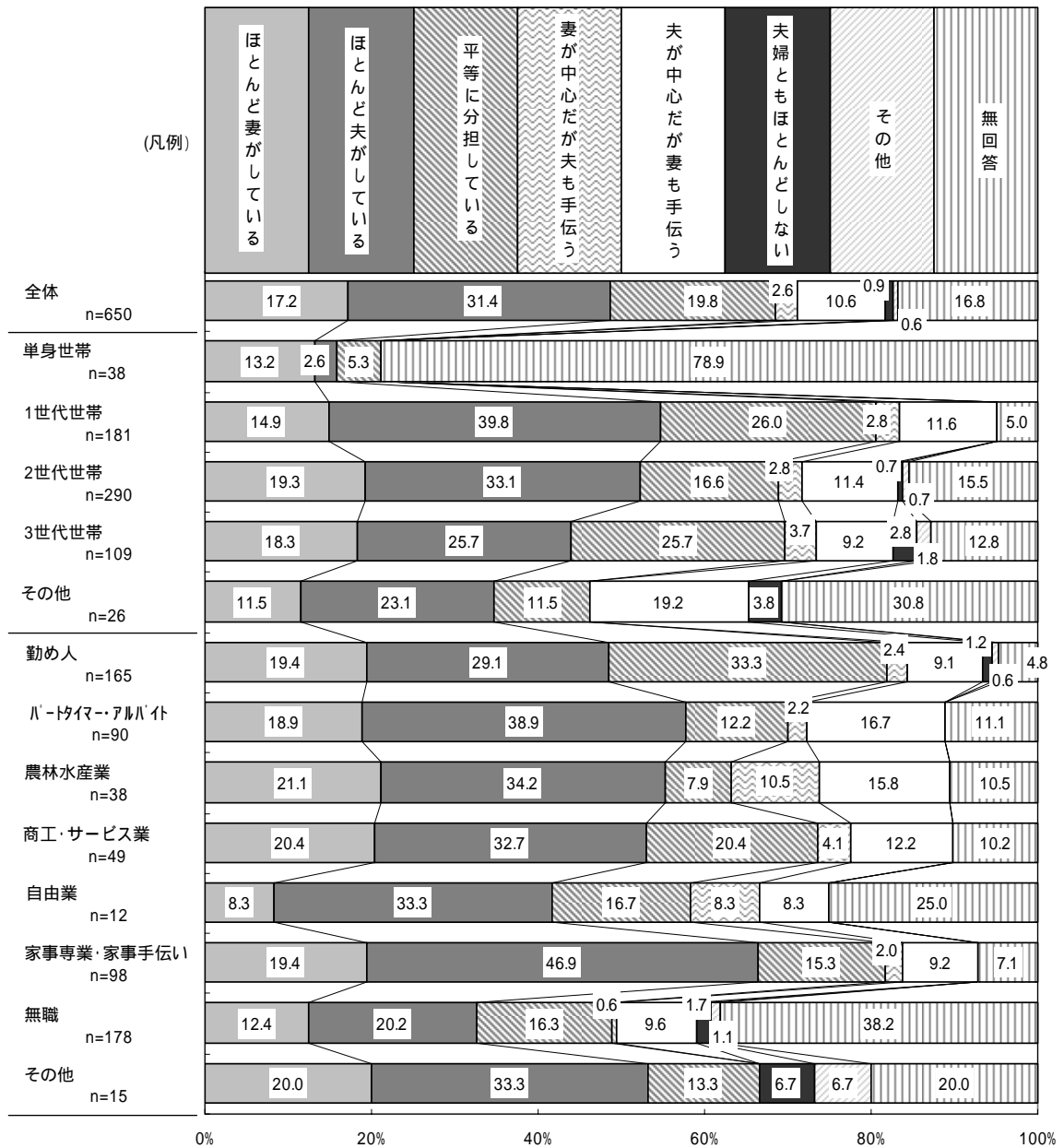
【J】生活費の確保

- 「ほとんど夫がしている」が31.4%と最も高く、以下「平等に分担している」(19.8%)、「ほとんど妻がしている」(17.2%)、「夫が中心だが妻も手伝う」(10.6%)となっている。
- 年齢別では、「ほとんど夫がしている」は50歳代(39.5%)がやや高くなっている。
- 世帯別では、1世代世帯は「ほとんど夫がしている」が39.8%とやや高い。
- 職業別では、勤め人は「平等に分担している」が33.3%と高く、一方、家事専業・家事手伝いは「ほとんど夫がしている」が46.9%と高くなっている。

J 生活費の確保



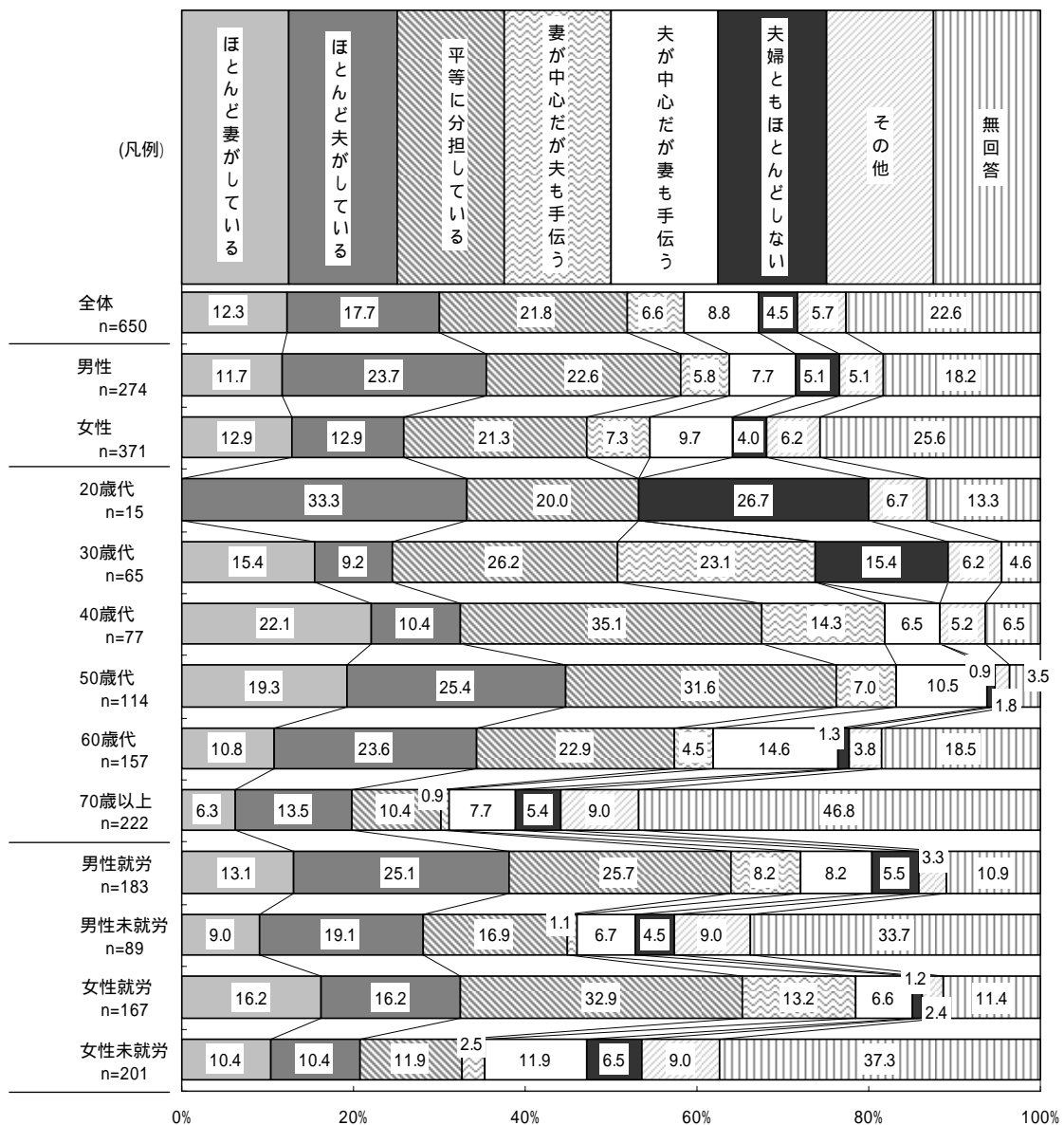
J 生活費の確保



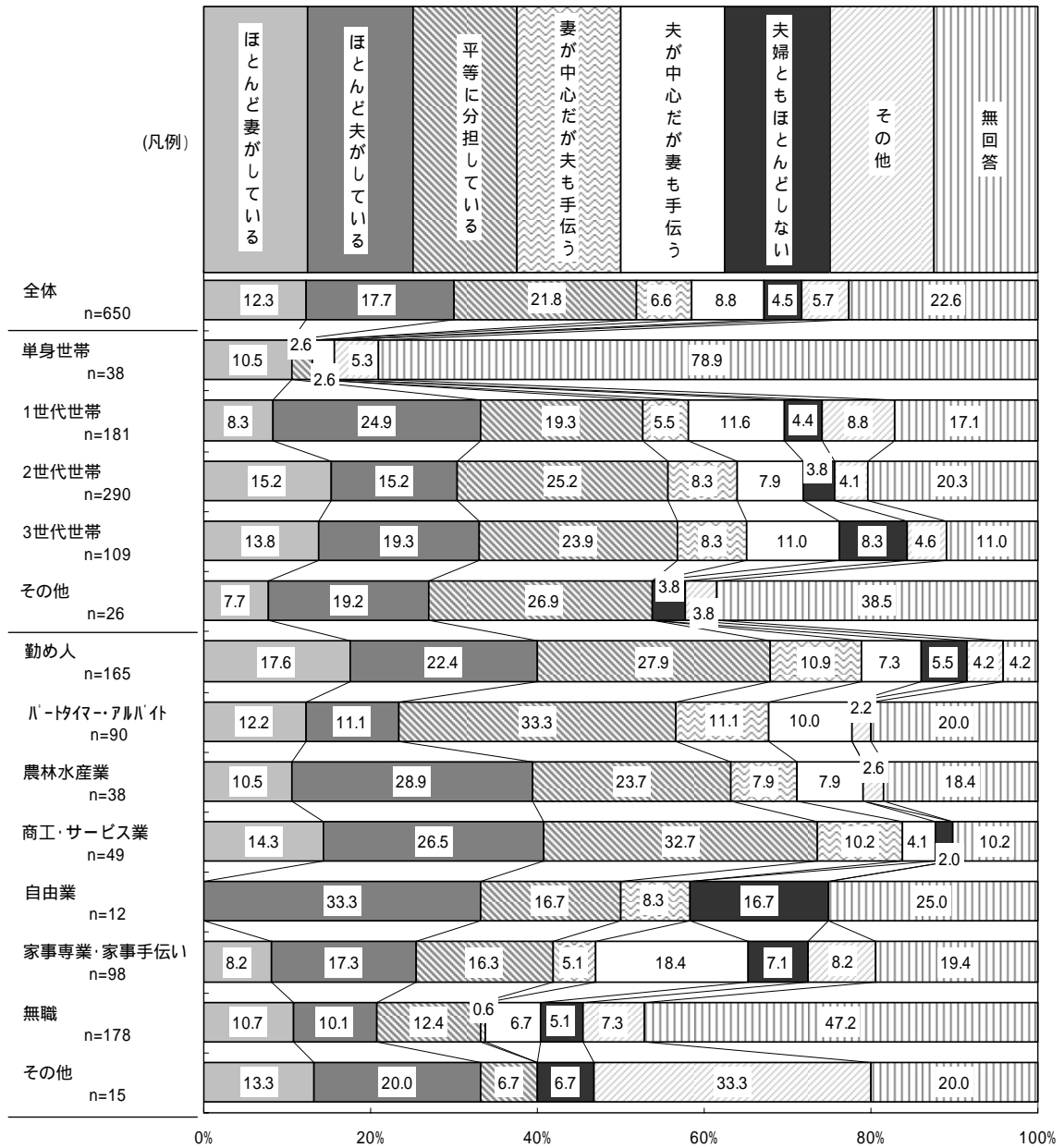
【K PTAや地域の行事参加】

- 「平等に分担している」が21.8%と最も高く、以下「ほとんど夫がしている」(17.7%)「ほとんど妻がしている」(12.3%)となっている。
- 年齢別では、「平等に分担している」は40歳代が35.1%と最も高い。また、50歳代、60歳代は、「ほとんど夫がしている」がそれぞれ25.4%、23.6%とやや高くなっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は「平等に分担している」が32.9%、また男性就労者は「ほとんど夫がしている」が25.1%とやや高い。
- 職業別では、無職、パートタイマー・アルバイトは「ほとんど夫がしている」がそれぞれ10.1%、11.1%と低くなっている。

K PTAや地域の行事参加



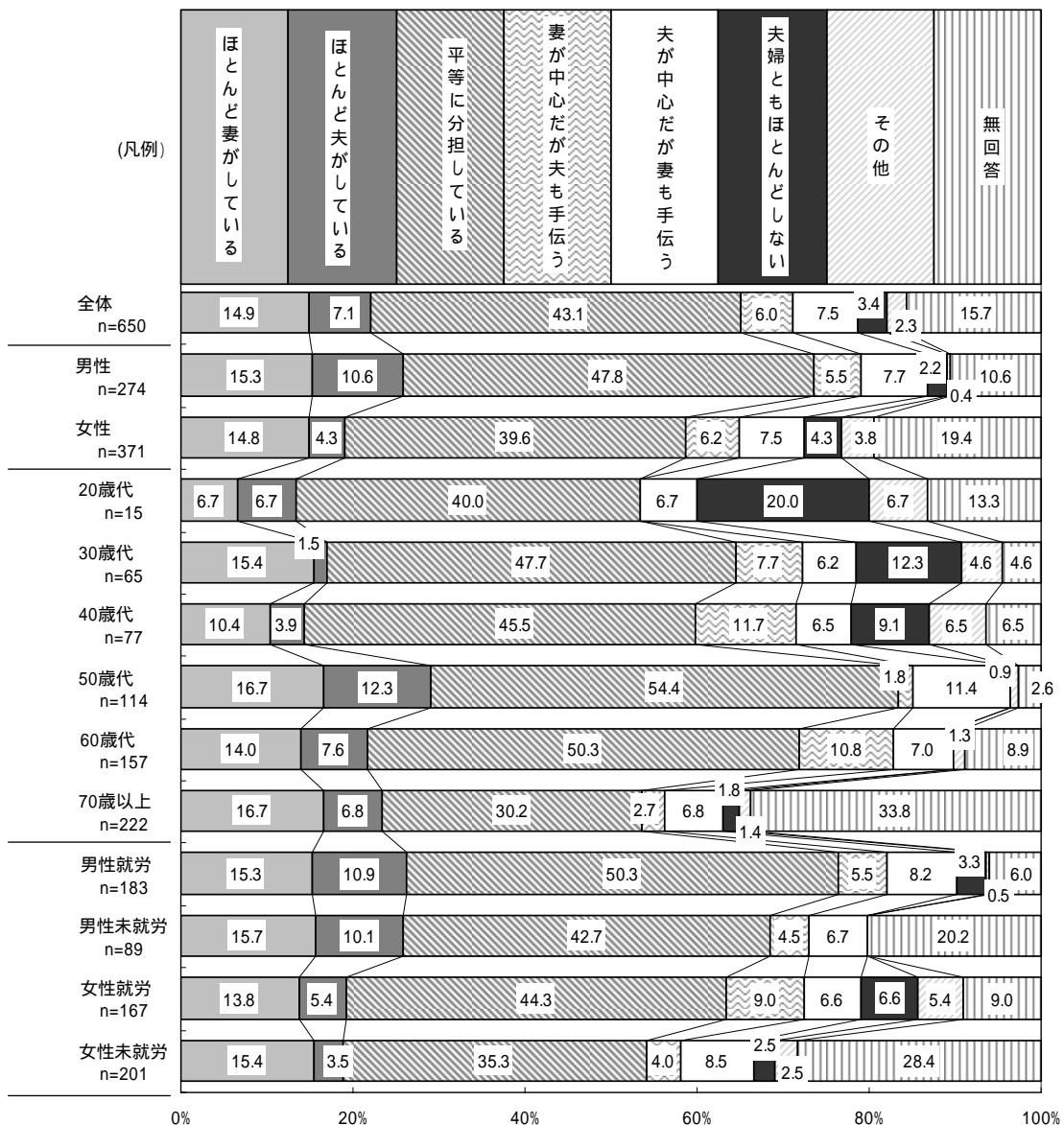
K PTAや地域の行事参加



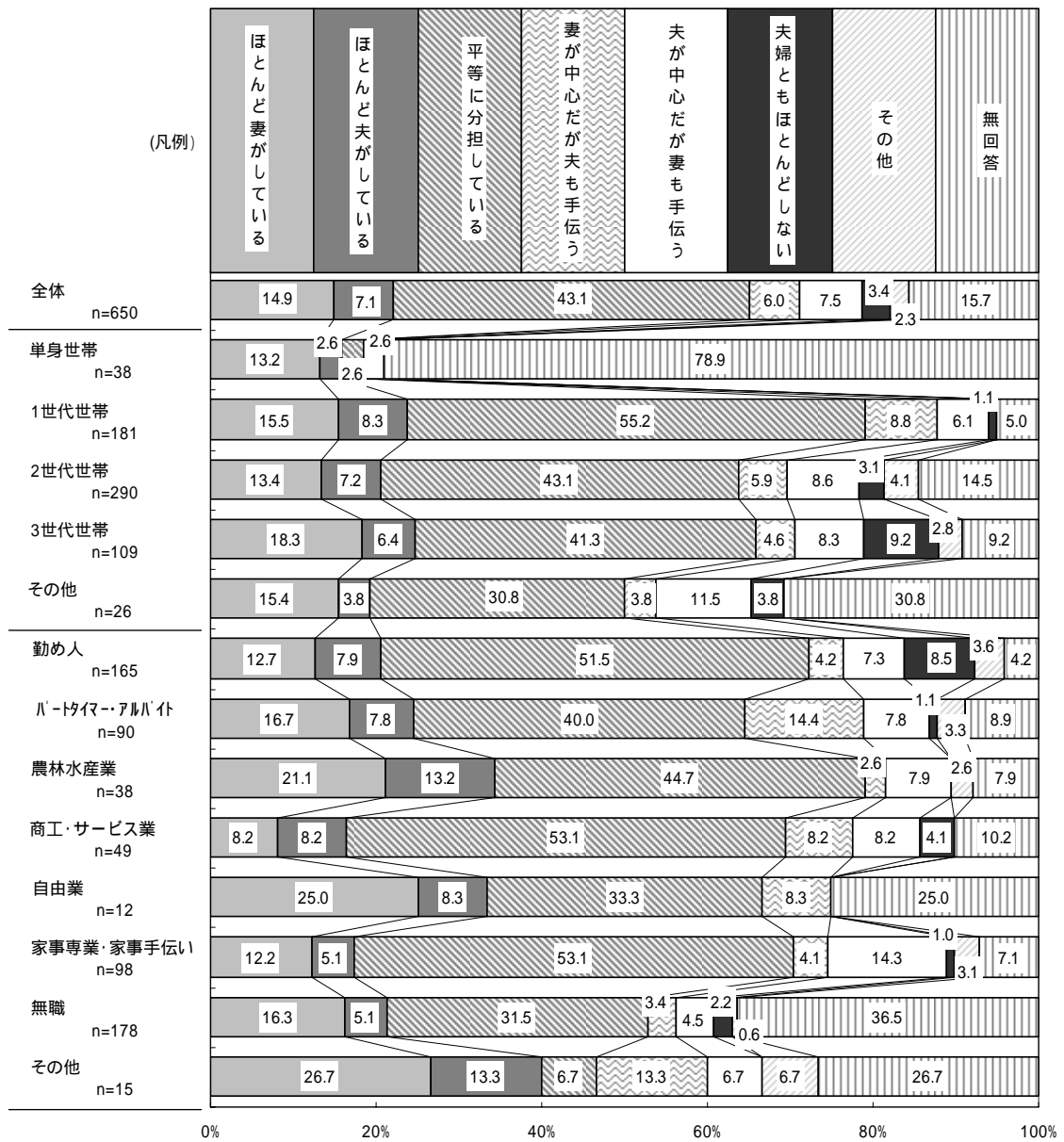
【L 親戚とのつきあい】

- 「平等に分担している」が43.1%と最も高く、以下「ほとんど妻がしている」(14.9%)「夫が中心だが妻も手伝う」(7.5%)である。
- 年齢別では、「平等に分担している」が50歳代(54.4%)、60歳代(50.3%)でやや高い。
- 性別・就労別では、女性未就労者は「平等に分担している」が35.3%とやや低くなっている。
- 世帯別では、1世代世帯は「平等に分担している」が55.2%と特に高い。
- 職業別では、農林水産業は「ほとんど妻がしている」が21.1%と高い。また、「平等に分担している」は家事専業・家事手伝い(53.1%)、商工・サービス業(53.1%)、勤め人(51.5%)で5割を超えて高くなっている。

L 親戚とのつきあい



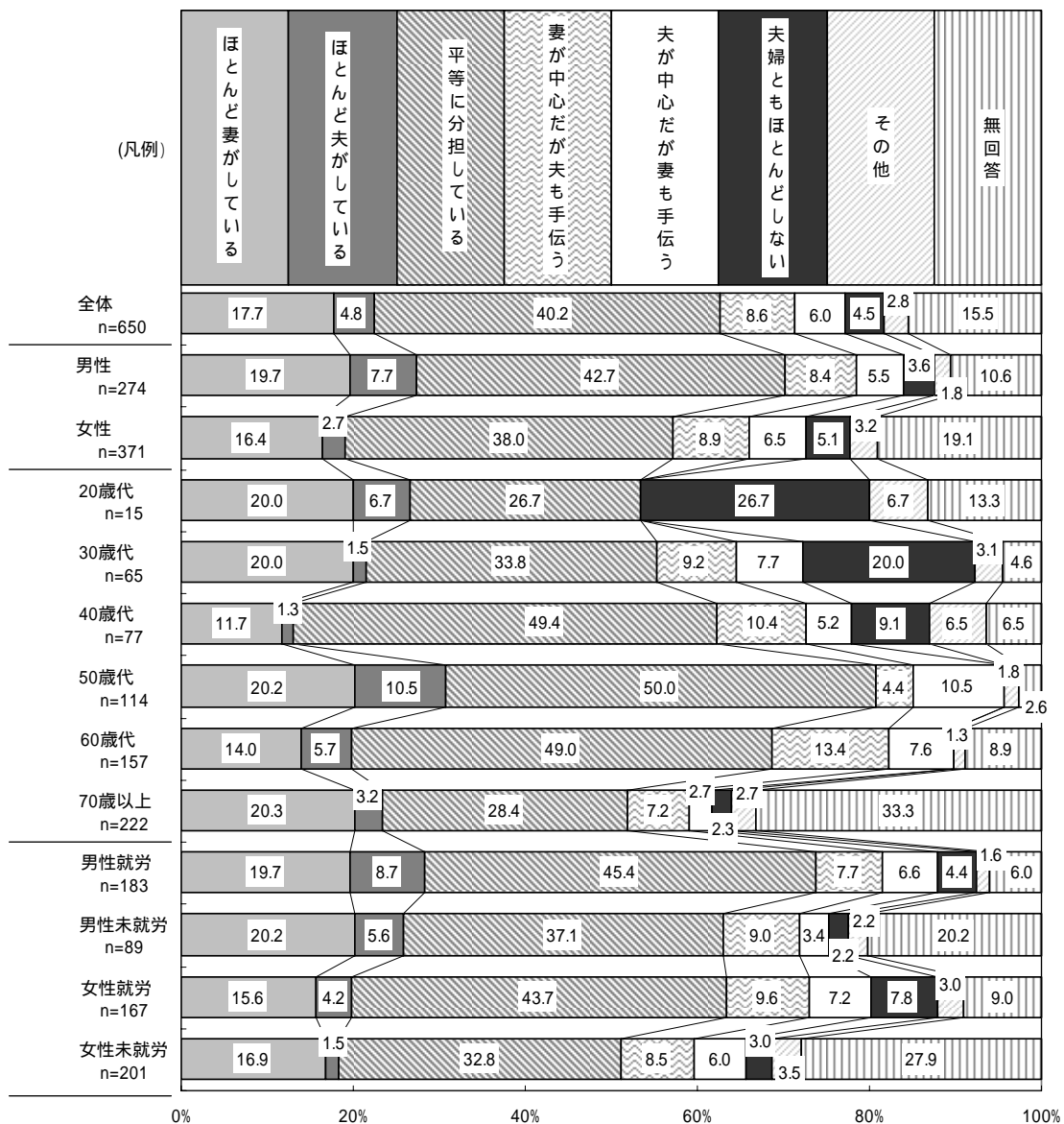
L 親戚とのつきあい



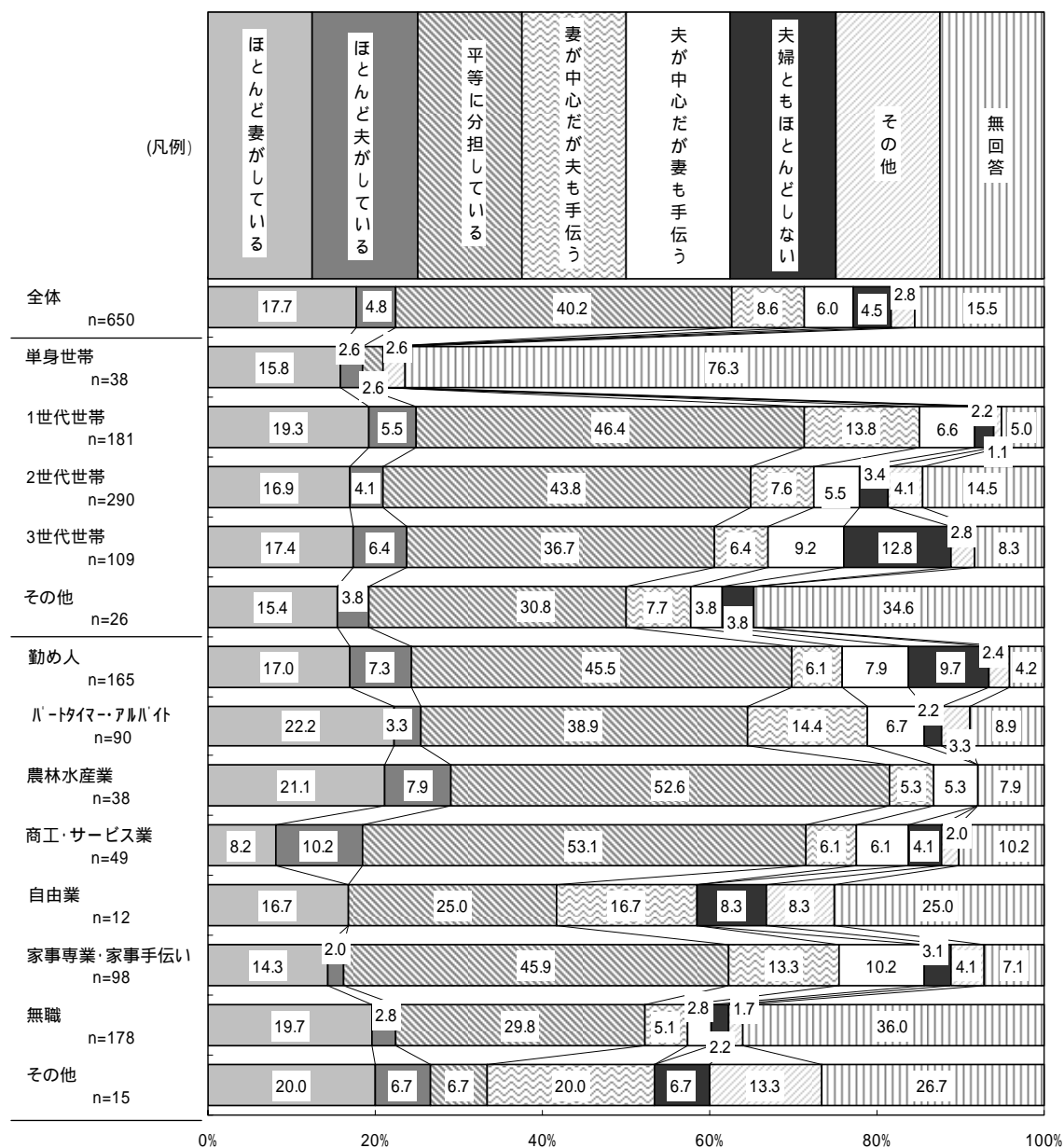
【M 近所とのつきあい】

- 「平等に分担している」が40.2%と最も高く、以下「ほとんど妻がしている」(17.7%)「妻が中心だが夫も手伝う」(8.6%)である。
- 性別では、男性は「平等に分担している」が42.7%と女性(38.0%)よりも高い。
- 年齢別では、「平等に分担している」は50歳代(50.0%)、40歳代(49.4%)、60歳代(49.0%)で高くなっている。
- 世帯別では、3世代世帯は「平等に分担している」が36.7%とやや低い。
- 職業別では、商工・サービス業、農林水産業は「平等に分担している」がそれぞれ53.1%、52.6%と高い。

M 近所とのつきあい



M 近所とのつきあい



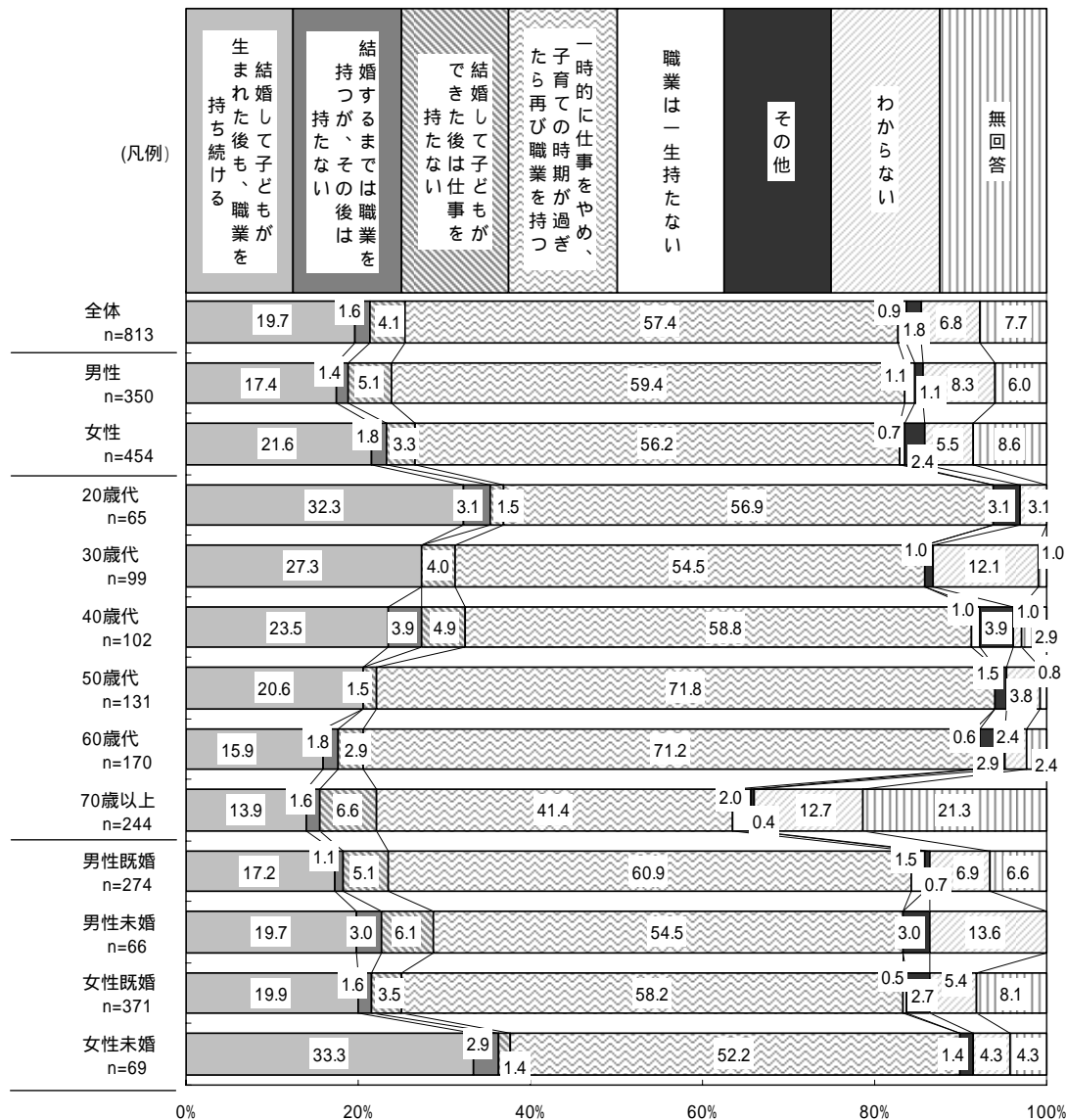
3 職業生活について

(1) 女性の職業で望ましい形態

問10. 女性の職業へのかかり方について、あなたはどのような形が最も望ましいと思いますか。

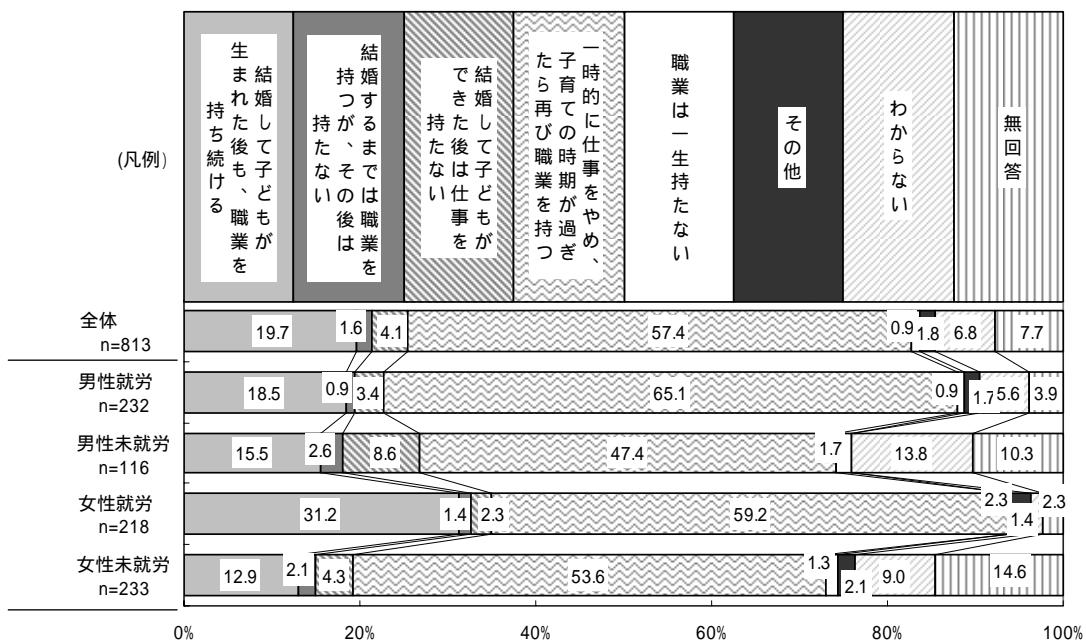
- 「一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が57.4%と過半数を占め、次いで「結婚して子どもが生まれた後も、職業を続ける」(19.7%)となっている。
- 年齢別では、50歳代、60歳代では「一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が7割を超える。また、20歳代は「結婚して子どもが生まれた後も、職業を続ける」が32.3%となり、年代が若いほど割合が高い。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「結婚して子どもが生まれた後も、職業を続ける」の割合が33.3%と高い。
- 性別・就労別では、男性就労者は「一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が65.1%と高い。また、女性就労者は「結婚して子どもが生まれた後も、職業を続ける」が31.2%と男性就労者(18.5%)よりも12.7ポイント高い。

女性の職業で望ましい形態



		女性の職業で望ましい形態(%)								
		全体	結婚して子どもが生まれた後も、職業を続ける	結婚するまでは職業を持つが、その後は持たない	結婚して子どもができた後は仕事を持たない	一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ	職業は一生持たない	その他	わからない	無回答
全体		813	160	13	33	467	7	15	55	63
		100.0	19.7	1.6	4.1	57.4	0.9	1.8	6.8	7.7
性別	男性計	350	61	5	18	208	4	4	29	21
		100.0	17.4	1.4	5.1	59.4	1.1	1.1	8.3	6.0
年齢別	20歳代	25	4	1	1	16	-	1	2	-
		100.0	16.0	4.0	4.0	64.0	-	4.0	8.0	-
30歳代	43	11	-	2	22	-	1	7	-	
		100.0	25.6	-	4.7	51.2	-	2.3	16.3	-
40歳代	41	7	2	4	24	1	1	-	2	
		100.0	17.1	4.9	9.8	58.5	2.4	2.4	-	4.9
50歳代	55	7	-	-	42	-	1	5	-	
		100.0	12.7	-	-	76.4	-	1.8	9.1	-
60歳代	79	16	1	2	55	-	-	3	2	
		100.0	20.3	1.3	2.5	69.6	-	-	3.8	2.5
70歳以上	107	16	1	9	49	3	-	12	17	
		100.0	15.0	0.9	8.4	45.8	2.8	-	11.2	15.9
性別	女性計	454	98	8	15	255	3	11	25	39
		100.0	21.6	1.8	3.3	56.2	0.7	2.4	5.5	8.6
年齢別	20歳代	40	17	1	-	21	-	1	-	-
		100.0	42.5	2.5	-	52.5	-	2.5	-	-
30歳代	55	16	-	2	32	-	-	5	-	
		100.0	29.1	-	3.6	58.2	-	-	9.1	-
40歳代	58	17	2	1	33	-	3	1	1	
		100.0	29.3	3.4	1.7	56.9	-	5.2	1.7	1.7
50歳代	76	20	-	2	52	-	1	-	1	
		100.0	26.3	-	2.6	68.4	-	1.3	-	1.3
60歳代	91	11	2	3	66	1	5	1	2	
		100.0	12.1	2.2	3.3	72.5	1.1	5.5	1.1	2.2
70歳以上	134	17	3	7	51	2	1	18	35	
		100.0	12.7	2.2	5.2	38.1	1.5	0.7	13.4	26.1

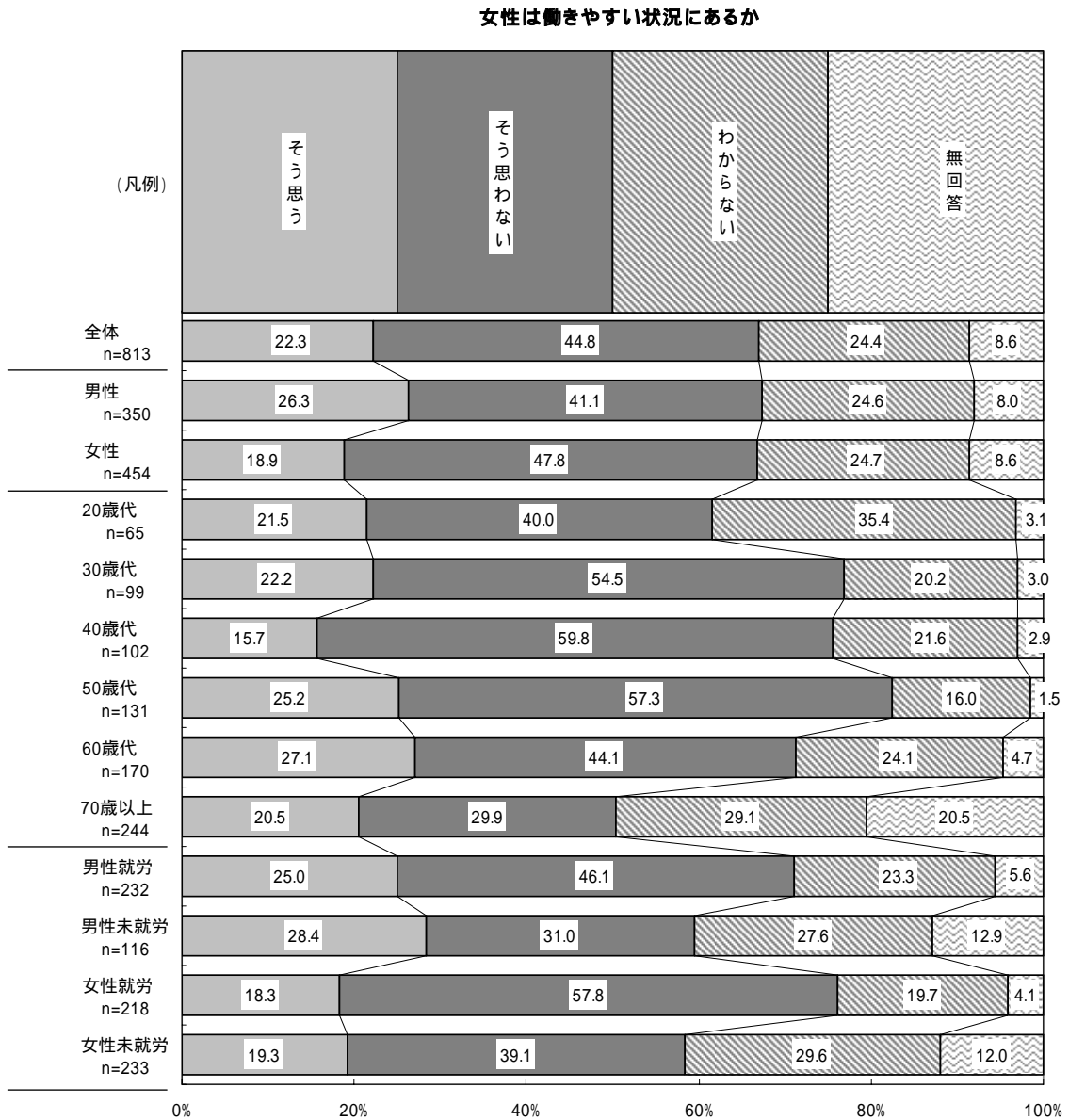
女性の職業で望ましい形態



(2) 女性は働きやすい状況にあるか

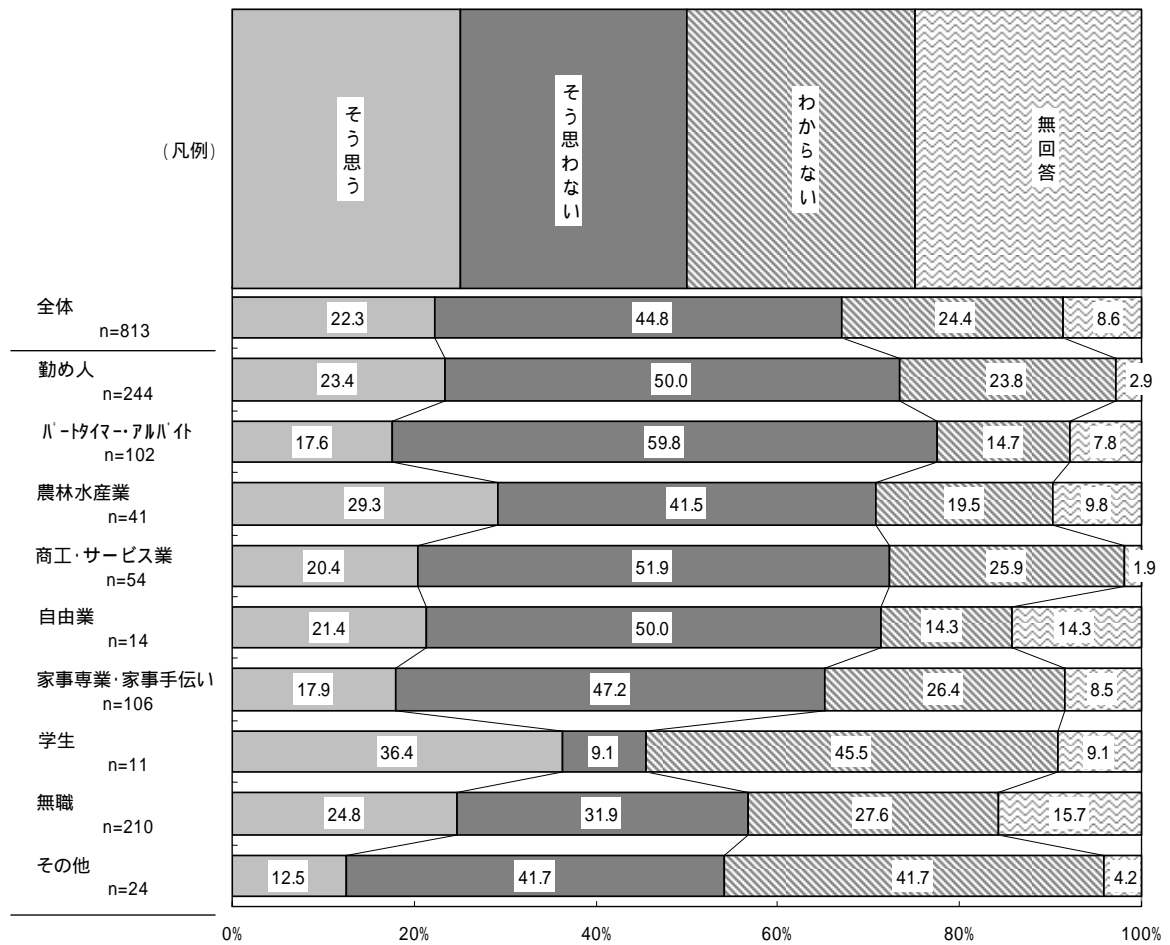
問11. あなたは、現在の女性は働きやすい状況にあると思いますか。

- 「そう思う」は22.3%にとどまり、「そう思わない」が44.8%となっている。
- 年齢別では、「そう思わない」は40歳代が59.8%と最も高く、30歳代(54.5%)、50歳代(57.3%)でも5割を超えている。また、「そう思う」は60歳代が27.1%となっている。
- 性別・就労別では、「そう思わない」が女性就労者は57.8%と特に高く、男性未就労者(31.0%)を26.8ポイント上回る。
- 職業別では、パートタイマー・アルバイトは「そう思わない」が59.8%と特に高い。



		女性は働きやすい状況にあるか(%)				
		全体	そう思う	そう思わない	わからない	無回答
全体		813	181	364	198	70
		100.0	22.3	44.8	24.4	8.6
性 年 齢 別	男性計	350	92	144	86	28
		100.0	26.3	41.1	24.6	8.0
	20歳代	25	7	9	7	2
		100.0	28.0	36.0	28.0	8.0
	30歳代	43	13	17	12	1
		100.0	30.2	39.5	27.9	2.3
	40歳代	41	7	19	13	2
		100.0	17.1	46.3	31.7	4.9
	50歳代	55	17	25	11	2
		100.0	30.9	45.5	20.0	3.6
	60歳代	79	29	33	15	2
		100.0	36.7	41.8	19.0	2.5
	70歳以上	107	19	41	28	19
		100.0	17.8	38.3	26.2	17.8
	女性計	454	86	217	112	39
		100.0	18.9	47.8	24.7	8.6
	20歳代	40	7	17	16	-
		100.0	17.5	42.5	40.0	-
	30歳代	55	8	37	8	2
		100.0	14.5	67.3	14.5	3.6
40歳代	58	9	39	9	1	
	100.0	15.5	67.2	15.5	1.7	
50歳代	76	16	50	10	-	
	100.0	21.1	65.8	13.2	-	
60歳代	91	17	42	26	6	
	100.0	18.7	46.2	28.6	6.6	
70歳以上	134	29	32	43	30	
	100.0	21.6	23.9	32.1	22.4	

女性は働きやすい状況にあるか



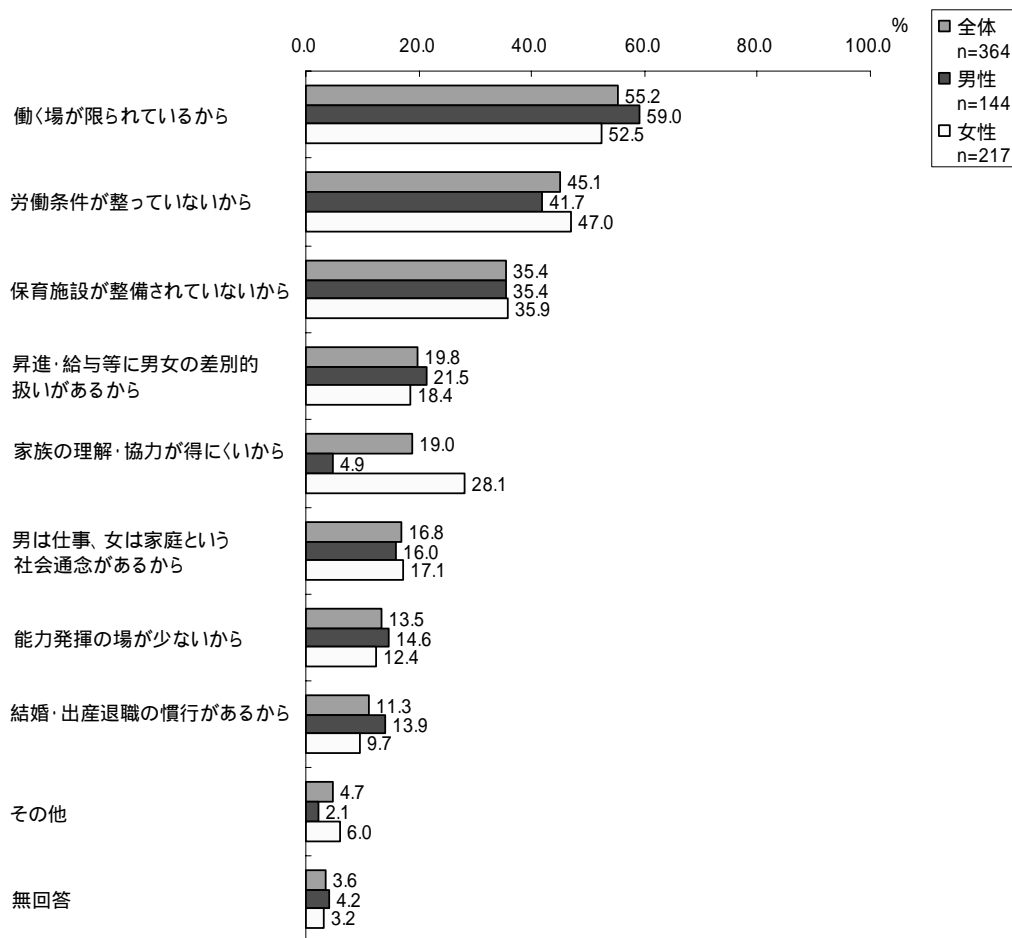
自由業、学生、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。

(3) 働きやすい理由

問11-1. そう思わない理由はなんですか。

- 「働く場が限られているから」が55.2%と最も高く、以下「労働条件が整っていないから」(45.1%)、「保育施設が整備されていないから」(35.4%)、「昇進・給与等に男女の差別的扱いがあるから」(19.8%)である。
- 性別では、「家庭の理解・協力が得にくいから」は女性が28.1%と男性(4.9%)を23.2ポイント上回る。一方、「働く場が限られているから」は男性(59.0%)が女性(52.5%)を上回っている。

働きやすい理由(複数回答)

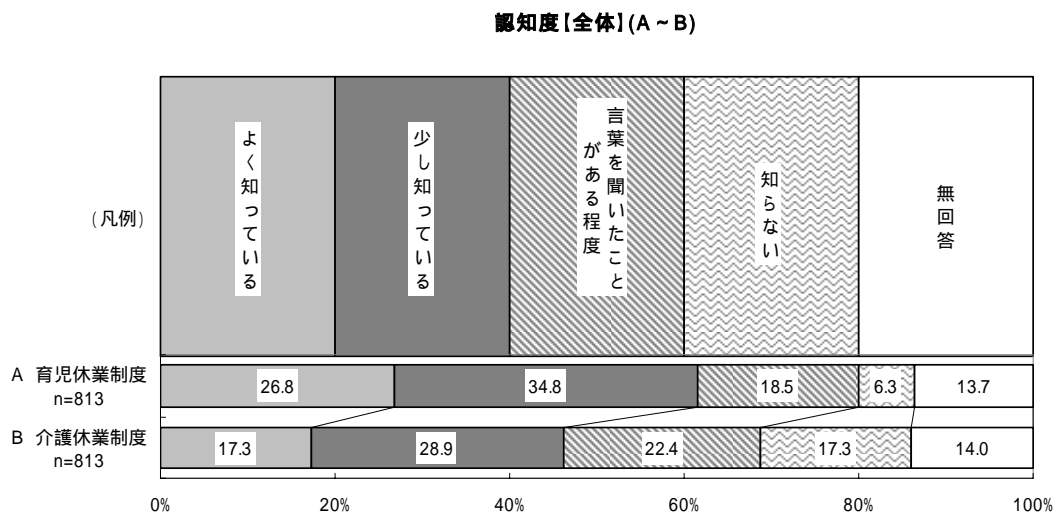


(4) 制度の認知状況及び取得状況

問12. あなたは、次の制度の内容についてご存知ですか。

【全体】(A・B 認知度)

- 『知っている』は「A 育児休業制度」が61.6%、「B 介護休業制度」が46.2%である。

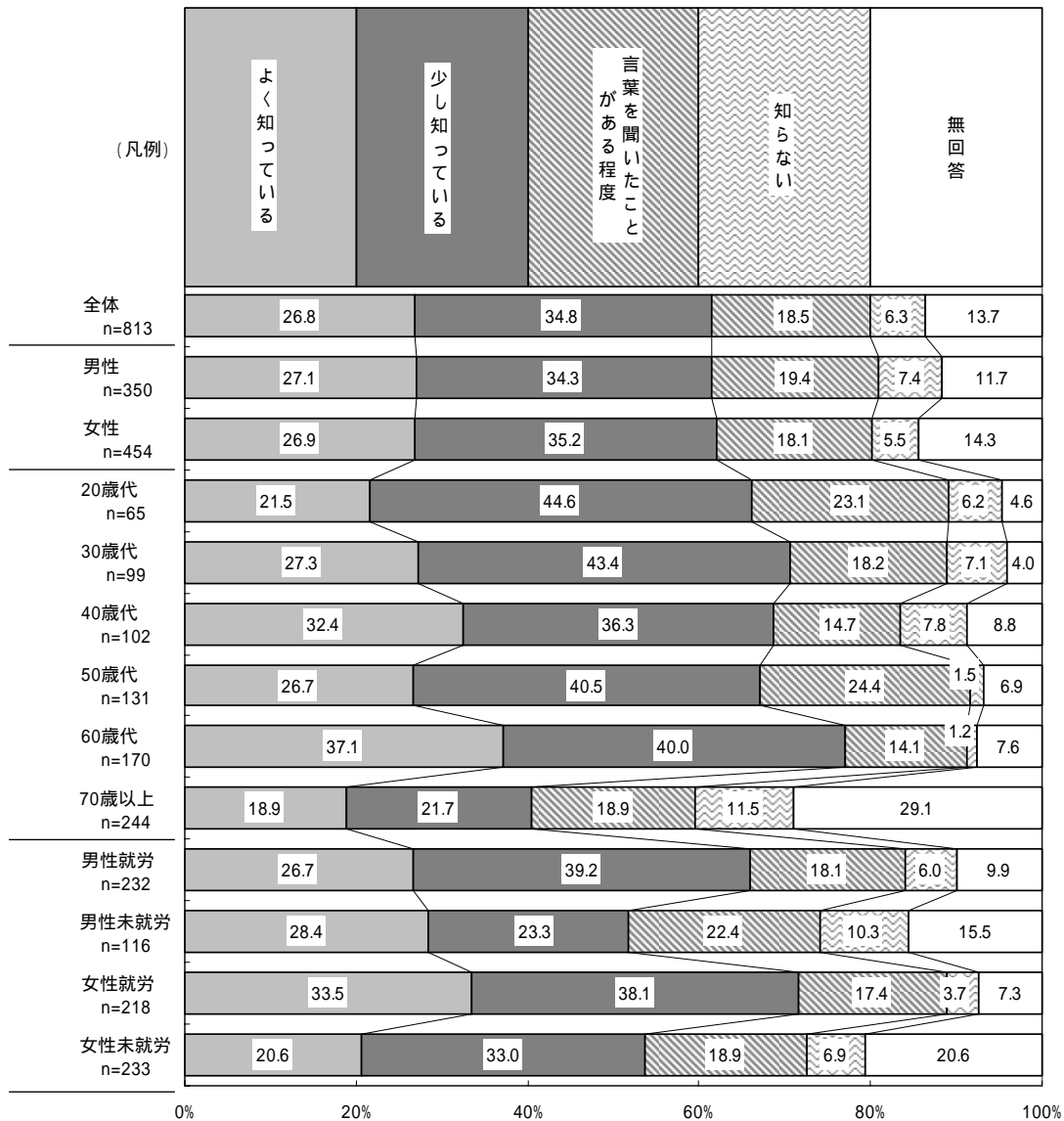


『知っている』は、本来の選択肢の「よく知っている」と「少し知っている」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 育児休業制度（認知度）】

- 「少し知っている」が34.8%と最も高く、以下「よく知っている」(26.8%)、「言葉を聞いたことがある程度」(18.5%)と続く。なお、『知っている』は61.6%である。
- 年齢別では、70歳以上を除く全ての年齢層で6割以上が『知っている』と回答している。特に、60歳代は77.1%と高い。
- 性別・就労別では、『知っている』は女性就労者が71.6%、男性就労者が65.9%となっており、男女とも就労者が未就労者を上回っている。

A 育児休業制度(認知度)

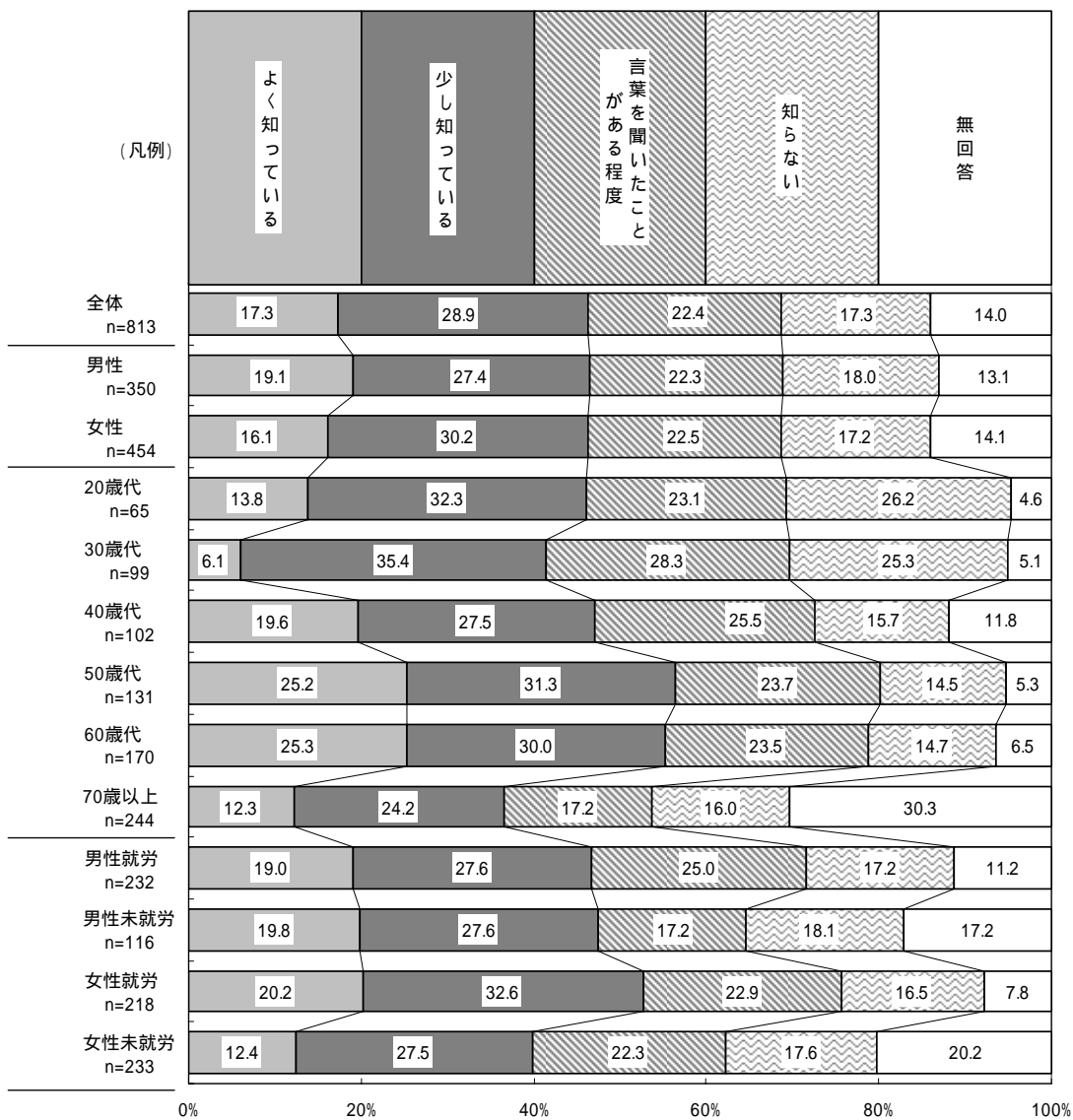


		A 育児休業制度(認知度)(%)					
		全体	よく知っている	少し知っている	言葉を聞いたことがある程度	知らない	無回答
全体		813	218	283	150	51	111
		100.0	26.8	34.8	18.5	6.3	13.7
性 年 齢 別	男性計	350	95	120	68	26	41
		100.0	27.1	34.3	19.4	7.4	11.7
	20歳代	25	6	10	6	1	2
		100.0	24.0	40.0	24.0	4.0	8.0
	30歳代	43	7	20	10	5	1
		100.0	16.3	46.5	23.3	11.6	2.3
	40歳代	41	11	15	5	5	5
		100.0	26.8	36.6	12.2	12.2	12.2
	50歳代	55	14	23	12	1	5
		100.0	25.5	41.8	21.8	1.8	9.1
	60歳代	79	33	29	12	-	5
		100.0	41.8	36.7	15.2	-	6.3
	70歳以上	107	24	23	23	14	23
		100.0	22.4	21.5	21.5	13.1	21.5
	女性計	454	122	160	82	25	65
		100.0	26.9	35.2	18.1	5.5	14.3
	20歳代	40	8	19	9	3	1
		100.0	20.0	47.5	22.5	7.5	2.5
	30歳代	55	20	22	8	2	3
		100.0	36.4	40.0	14.5	3.6	5.5
40歳代	58	21	20	10	3	4	
	100.0	36.2	34.5	17.2	5.2	6.9	
50歳代	76	21	30	20	1	4	
	100.0	27.6	39.5	26.3	1.3	5.3	
60歳代	91	30	39	12	2	8	
	100.0	33.0	42.9	13.2	2.2	8.8	
70歳以上	134	22	30	23	14	45	
	100.0	16.4	22.4	17.2	10.4	33.6	

【B 介護休業制度（認知度）】

- 「少し知っている」が 28.9%と最も高く、以下「言葉を聞いたことがある程度」(22.4%)、「よく知っている」(17.3%)、「知らない」(17.3%)と続く。なお、『知っている』は、46.2%となっており、前述の【育児休業制度】よりも『知っている』割合が15.4ポイント低い。
- 年齢別では、『知っている』は50歳代(56.5%)、60歳代(55.3%)で高く、70歳以上は36.5%と低い。
- 性別・就労別では、『知っている』は女性就労者が52.8%とやや高く、女性未就労者は39.9%と低い。

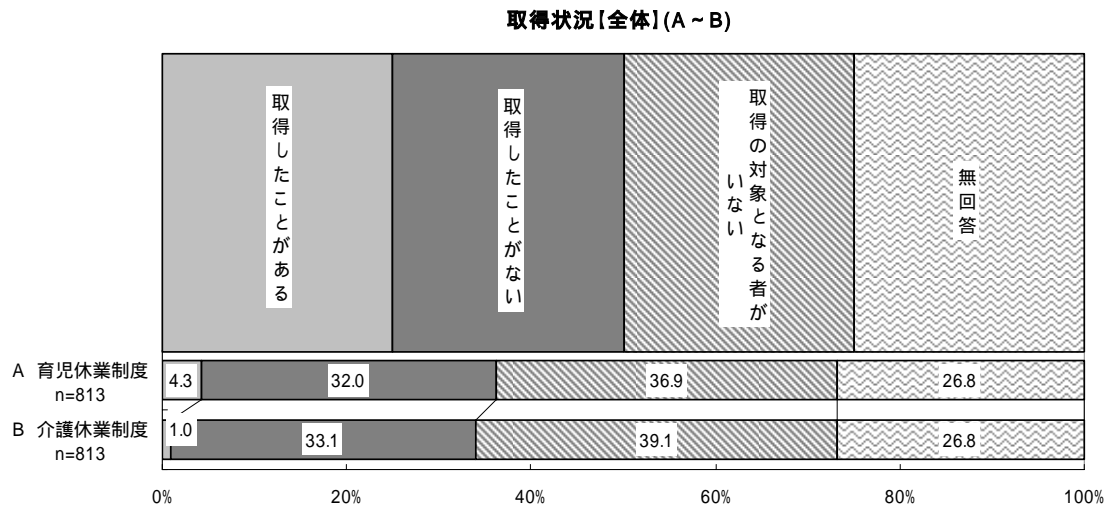
B 介護休業制度(認知度)



		B 介護休業制度(認知度) (%)					
		全体	よく知っている	少し知っている	言葉を聞いたことがある程度	知らない	
全体		813	141	235	182	141	114
		100.0	17.3	28.9	22.4	17.3	14.0
性 年 齢 別	男性計	350	67	96	78	63	46
		100.0	19.1	27.4	22.3	18.0	13.1
	20歳代	25	6	6	6	5	2
		100.0	24.0	24.0	24.0	20.0	8.0
	30歳代	43	-	15	13	14	1
		100.0	-	34.9	30.2	32.6	2.3
	40歳代	41	7	9	10	8	7
		100.0	17.1	22.0	24.4	19.5	17.1
	50歳代	55	14	18	13	7	3
		100.0	25.5	32.7	23.6	12.7	5.5
	60歳代	79	26	20	19	9	5
		100.0	32.9	25.3	24.1	11.4	6.3
	70歳以上	107	14	28	17	20	28
		100.0	13.1	26.2	15.9	18.7	26.2
	女性計	454	73	137	102	78	64
		100.0	16.1	30.2	22.5	17.2	14.1
	20歳代	40	3	15	9	12	1
		100.0	7.5	37.5	22.5	30.0	2.5
	30歳代	55	6	19	15	11	4
		100.0	10.9	34.5	27.3	20.0	7.3
40歳代	58	12	18	15	8	5	
	100.0	20.7	31.0	25.9	13.8	8.6	
50歳代	76	19	23	18	12	4	
	100.0	25.0	30.3	23.7	15.8	5.3	
60歳代	91	17	31	21	16	6	
	100.0	18.7	34.1	23.1	17.6	6.6	
70歳以上	134	16	31	24	19	44	
	100.0	11.9	23.1	17.9	14.2	32.8	

【全体】(A・B 取得状況)

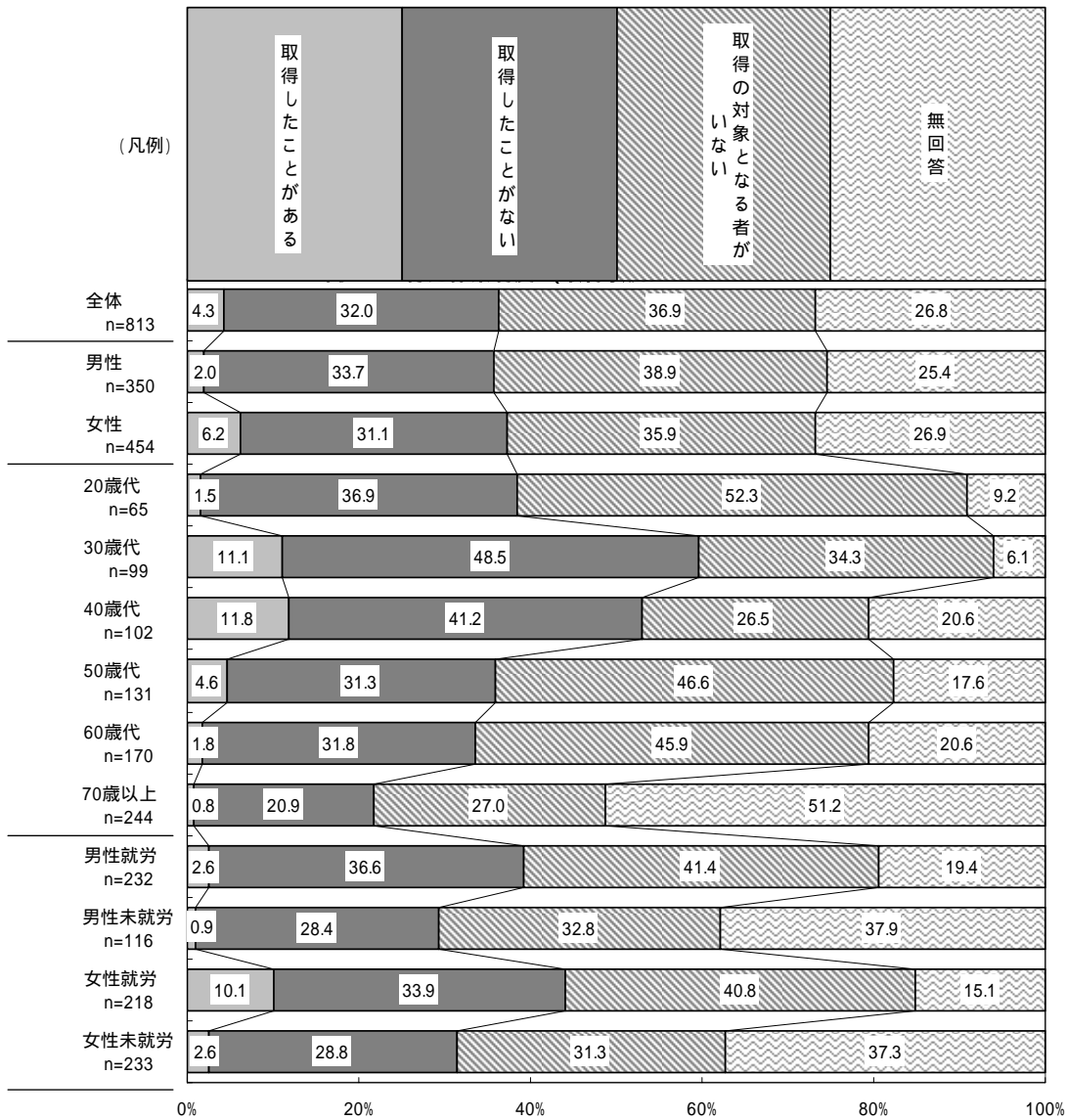
- 「取得したことがある」は、「A 育児休業制度」が4.3%、「B 介護休業制度」が1.0%であり、取得率はいずれも非常に低い。



【A 育児休業制度（取得状況）】

- 「取得したことがある」は4.3%と低い。また、「取得の対象となる者がいない」が36.9%、「取得したことがない」が32.0%となっている。
- 性別では、「取得したことがある」は女性が6.2%、男性が2.0%である。
- 年齢別では、「取得したことがある」は40歳代が11.8%、30歳代が11.1%とやや高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「取得したことがある」が10.1%と高い。

A 育児休業制度(取得状況)

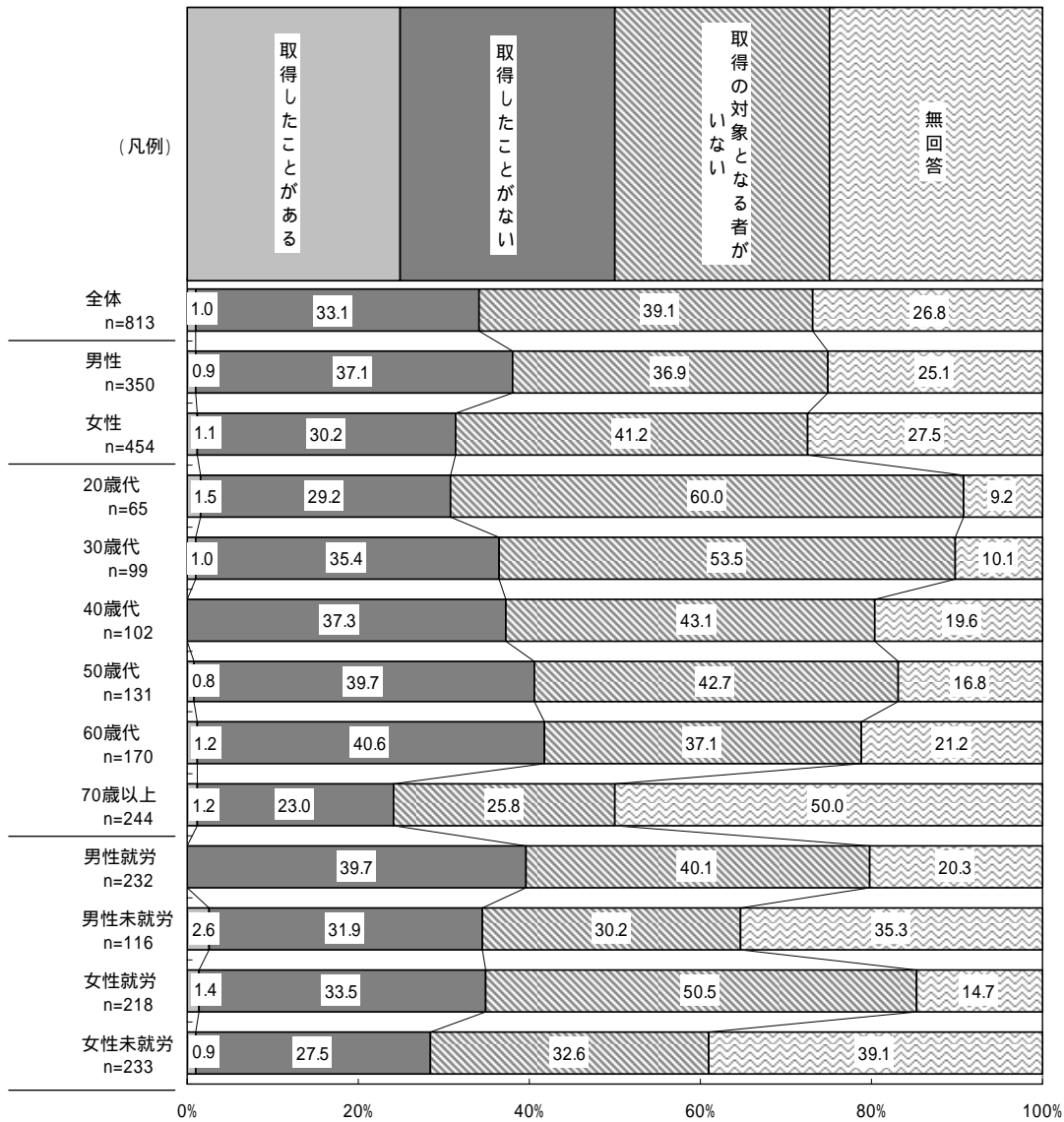


		A 育児休業制度(取得状況)(%)				
		全体	取得したことがある	取得したことがない	取得の対象となる者がいない	無回答
全体		813	35	260	300	218
		100.0	4.3	32.0	36.9	26.8
性 年 齢 別	男性計	350	7	118	136	89
		100.0	2.0	33.7	38.9	25.4
	20歳代	25	-	11	10	4
		100.0	-	44.0	40.0	16.0
	30歳代	43	2	20	18	3
		100.0	4.7	46.5	41.9	7.0
	40歳代	41	1	18	13	9
		100.0	2.4	43.9	31.7	22.0
	50歳代	55	2	19	22	12
		100.0	3.6	34.5	40.0	21.8
	60歳代	79	-	28	35	16
		100.0	-	35.4	44.3	20.3
	70歳以上	107	2	22	38	45
		100.0	1.9	20.6	35.5	42.1
	女性計	454	28	141	163	122
		100.0	6.2	31.1	35.9	26.9
	20歳代	40	1	13	24	2
		100.0	2.5	32.5	60.0	5.0
	30歳代	55	9	28	15	3
		100.0	16.4	50.9	27.3	5.5
	40歳代	58	11	23	14	10
		100.0	19.0	39.7	24.1	17.2
	50歳代	76	4	22	39	11
		100.0	5.3	28.9	51.3	14.5
60歳代	91	3	26	43	19	
	100.0	3.3	28.6	47.3	20.9	
70歳以上	134	-	29	28	77	
	100.0	-	21.6	20.9	57.5	

【B 介護休業制度（取得状況）】

- 「取得したことがある」は1.0%と極めて低い。
- 年齢別では、「取得したことがある」は20歳代（1.5%）、60歳代（1.2%）、70歳以上（1.2%）である。
- 性別・就労別では、「取得したことがある」は男性未就労者が2.6%、女性就労者が1.4%である。また、女性就労者は「取得の対象となる者がいない」が50.5%と高い。

B 介護休業制度（取得状況）



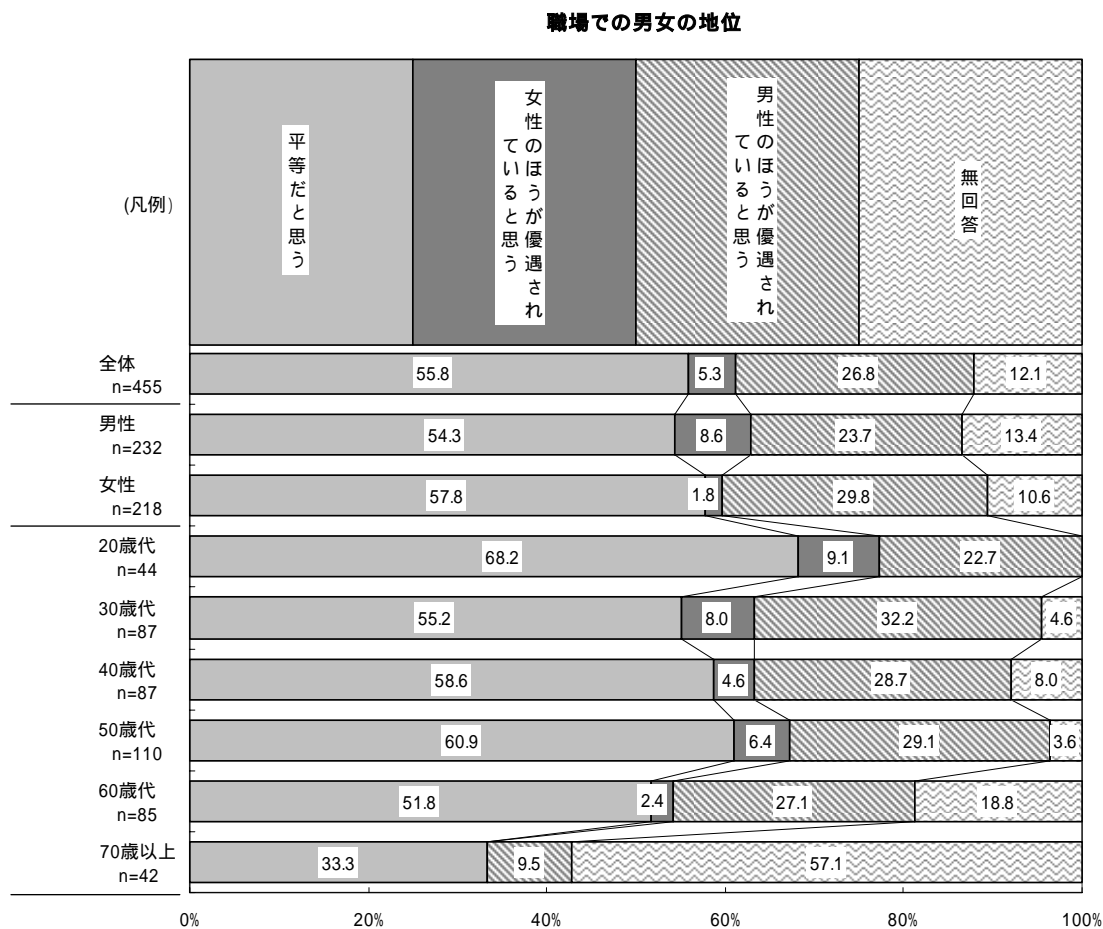
		B 介護休業制度(取得状況)(%)				
		全体	取得したことがある	取得したことがない	取得の対象となる者がいない	無回答
全体		813	8	269	318	218
		100.0	1.0	33.1	39.1	26.8
性 年 齢 別	男性計	350	3	130	129	88
		100.0	0.9	37.1	36.9	25.1
	20歳代	25	1	11	9	4
		100.0	4.0	44.0	36.0	16.0
	30歳代	43	-	17	21	5
		100.0	-	39.5	48.8	11.6
	40歳代	41	-	15	17	9
		100.0	-	36.6	41.5	22.0
	50歳代	55	-	23	21	11
		100.0	-	41.8	38.2	20.0
	60歳代	79	-	38	25	16
		100.0	-	48.1	31.6	20.3
	70歳以上	107	2	26	36	43
		100.0	1.9	24.3	33.6	40.2
	女性計	454	5	137	187	125
		100.0	1.1	30.2	41.2	27.5
	20歳代	40	-	8	30	2
		100.0	-	20.0	75.0	5.0
	30歳代	55	1	18	31	5
		100.0	1.8	32.7	56.4	9.1
	40歳代	58	-	22	27	9
		100.0	-	37.9	46.6	15.5
	50歳代	76	1	29	35	11
		100.0	1.3	38.2	46.1	14.5
	60歳代	91	2	31	38	20
		100.0	2.2	34.1	41.8	22.0
	70歳以上	134	1	29	26	78
		100.0	0.7	21.6	19.4	58.2

(5) 職場での男女の地位

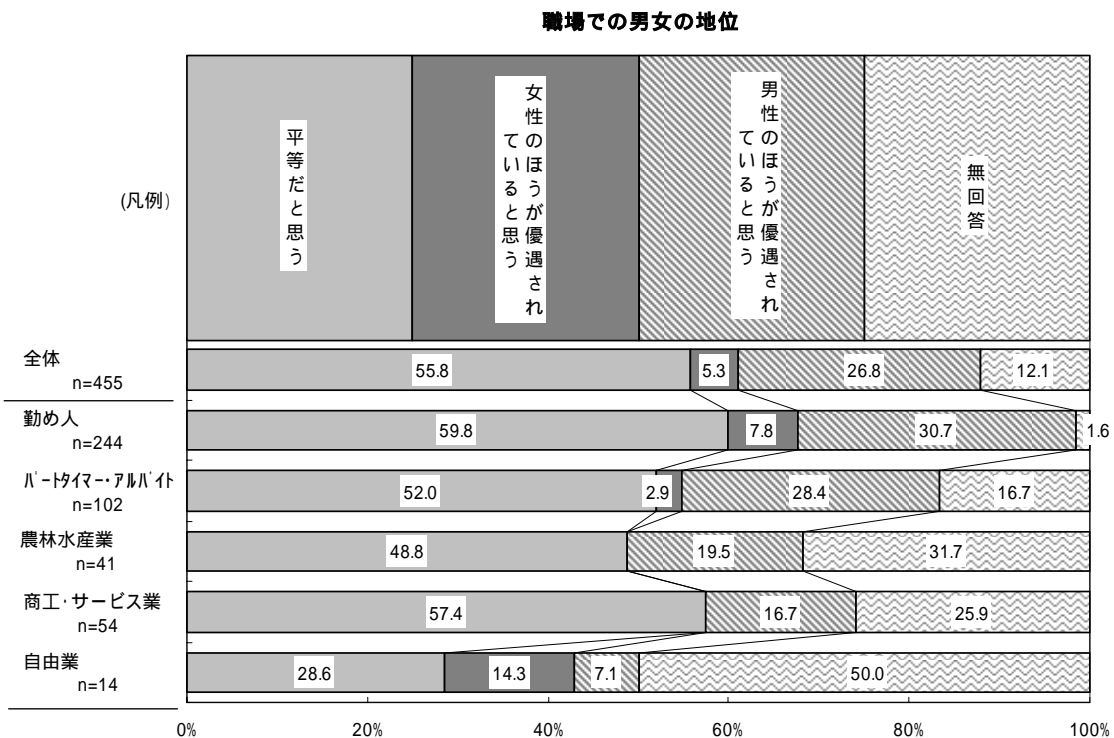
現在、働いている方を対象

問 13. あなたの働いているところでは、女性と男性は平等だと思いますか。

- 「平等だと思う」が 55.8%と最も高く、次いで「男性のほうが優遇されていると思う」が 26.8%となっている。
- 性別では、女性は「平等だと思う」が 57.8%と男性（54.3%）をやや上回る。
- 年齢別では、20歳代は「平等だと思う」が 68.2%とやや高く、「男性のほうが優遇されていると思う」が 22.7%とやや低い。
- 職業別では、勤め人は「平等だと思う」が 59.8%と高いが、「男性のほうが優遇されていると思う」も 30.7%とやや高くなっている。



		職場での男女の地位 [%]				
		全体	平等だと思 う	女性のほう が優遇され ていると思 う	男性のほう が優遇され ていると思 う	無回答
全体		455	254	24	122	55
		100.0	55.8	5.3	26.8	12.1
男性計		232	126	20	55	31
		100.0	54.3	8.6	23.7	13.4
20歳代		16	14	2	-	-
		100.0	87.5	12.5	-	-
30歳代		42	21	6	14	1
		100.0	50.0	14.3	33.3	2.4
40歳代		38	21	4	8	5
		100.0	55.3	10.5	21.1	13.2
50歳代		50	27	6	17	-
		100.0	54.0	12.0	34.0	-
60歳代		55	32	2	13	8
		100.0	58.2	3.6	23.6	14.5
70歳以上		31	11	-	3	17
		100.0	35.5	-	9.7	54.8
女性計		218	126	4	65	23
		100.0	57.8	1.8	29.8	10.6
20歳代		28	16	2	10	-
		100.0	57.1	7.1	35.7	-
30歳代		44	27	1	13	3
		100.0	61.4	2.3	29.5	6.8
40歳代		47	29	-	16	2
		100.0	61.7	-	34.0	4.3
50歳代		60	40	1	15	4
		100.0	66.7	1.7	25.0	6.7
60歳代		30	12	-	10	8
		100.0	40.0	-	33.3	26.7
70歳以上		9	2	-	1	6
		100.0	22.2	-	11.1	66.7



自由業の回答者は少数のため、分析から除いている。

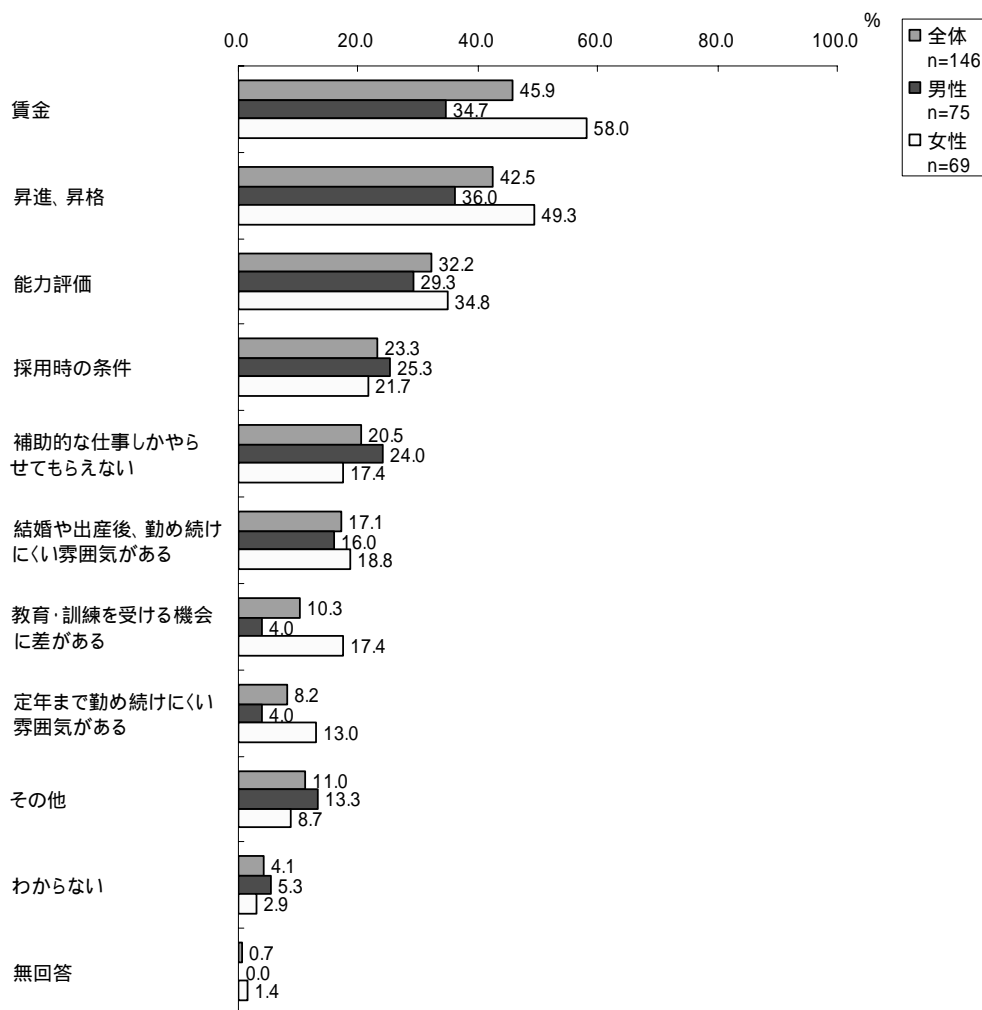
(6) 男女平等だと思わない理由

前問で「女性のほうが優遇されていると思う」若しくは「男性のほうが優遇されていると思う」と回答した方を対象

問 13 - 1. あなたの働いているところで男女が平等だと思わないのは、どのようなことですか。

- 「賃金」(45.9%) が最も高く、以下「昇進、昇格」(42.5%)、「能力評価」(32.2%)、「採用時の条件」(23.3%)である。
- 性別では、「賃金」は女性(58.0%)が男性(34.7%)を23.3ポイント上回るほか、「昇進、昇格」、「教育・訓練を受ける機会に差がある」においても、女性が男性をそれぞれ10ポイント以上上回っている。一方、男性は「補助的な仕事しかやらせてもらえない」、「採用時の条件」が女性をやや上回る。

男女平等だと思わない理由(複数回答)

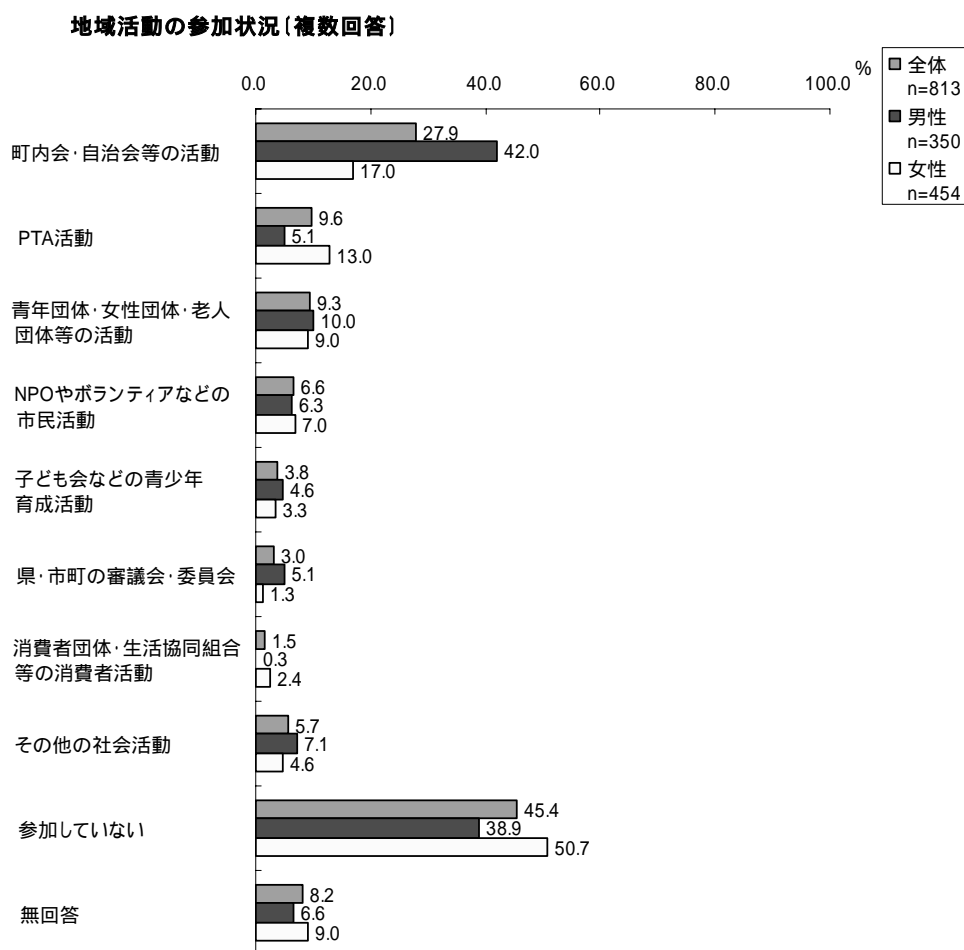


4 社会活動等について

(1) 地域活動の参加状況

問14. あなたは次のどのような活動をしていますか。

- 「参加していない」が45.4%と最も高いが、参加が多い地域活動としては、「町内会・自治会等の活動」(27.9%)、「PTA活動」(9.6%)、「青年団体・女性団体・老人団体等の活動」(9.3%)である。
- 性別では、男性は「町内会・自治会等の活動」が42.0%と女性(17.0%)よりも25.0ポイント上回る。女性は「PTA活動」が13.0%と男性(5.1%)を上回る。

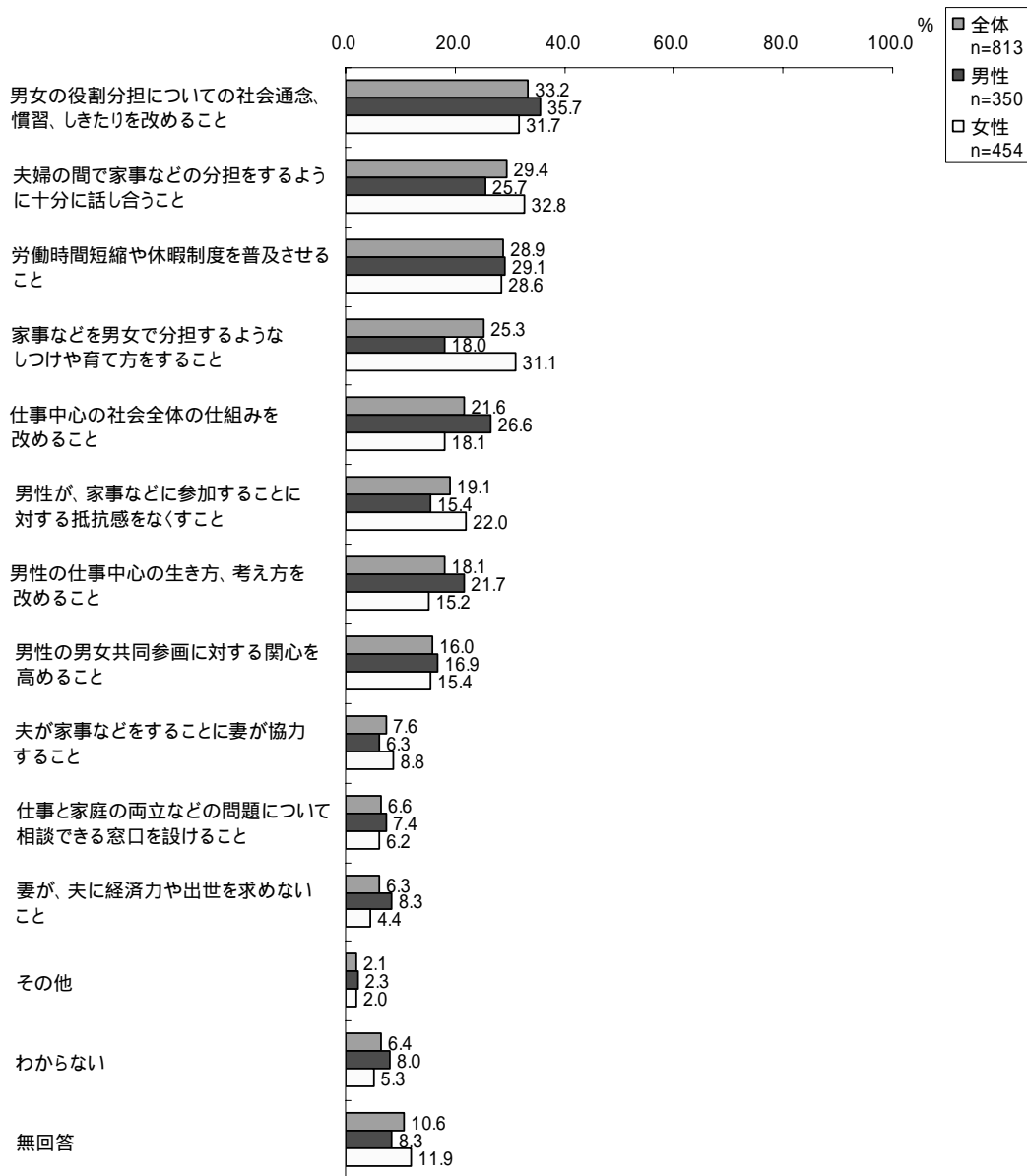


(2) 男性の参加促進に必要なこと

問15. 今後、男性が女性とともに家事、子育てや教育、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- 「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が33.2%と最も高く、以下「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」(29.4%)、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」(28.9%)、「家事などを男女で分担するようないしつけや育て方をする事」(25.3%)、「仕事中心の社会全体の仕組みを改めること」(21.6%)である。
- 性別では、男性は「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が35.7%、女性は「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」が32.8%と最も高い。また、「家事などを男女で分担するようないしつけや育て方をする事」は女性が31.1%となっており、男性(18.0%)を13.1ポイント上回る。

男性の参加促進に必要なこと(複数回答)

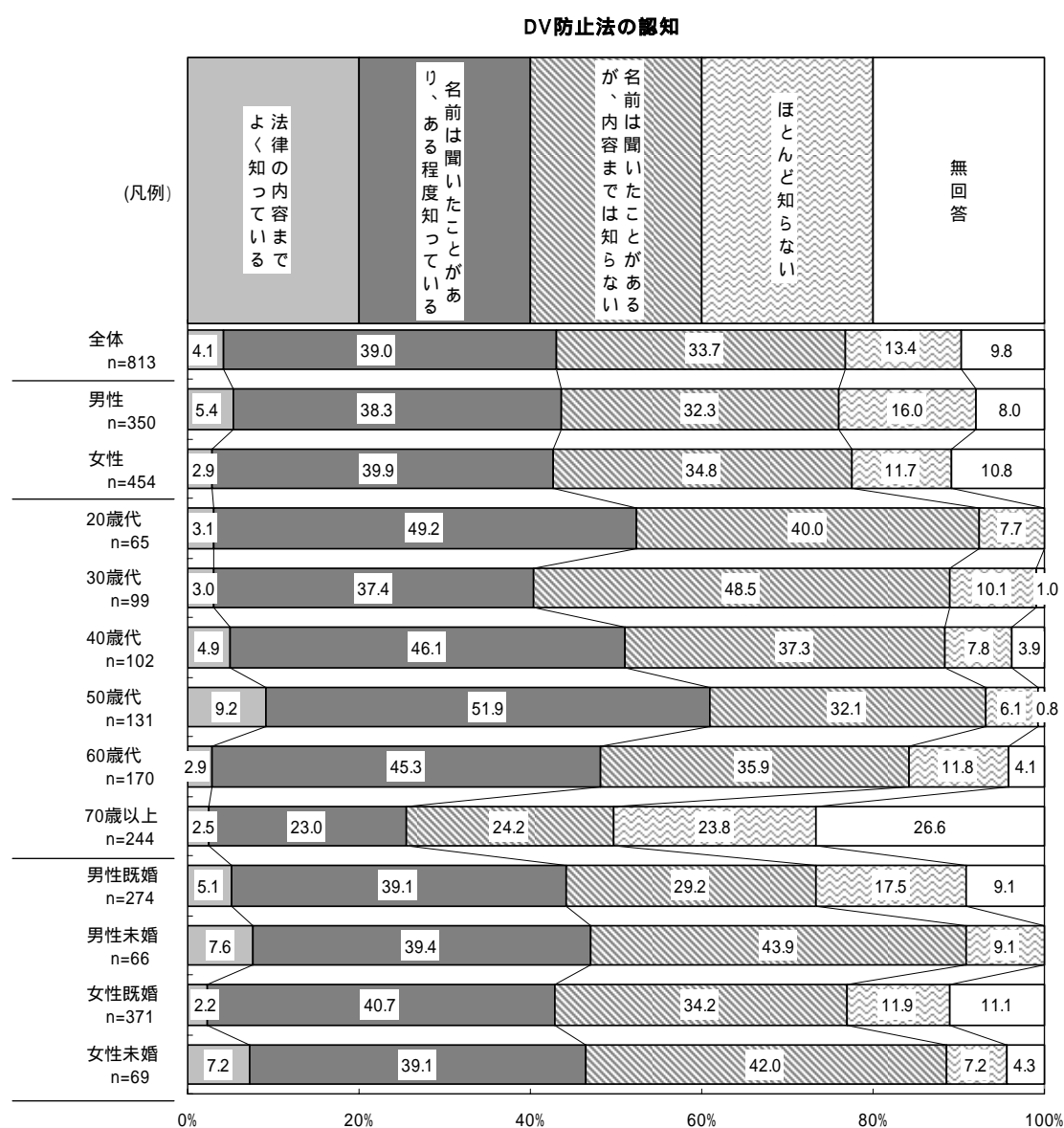


5 女性の人権、DVなどの男女間の暴力について

(1) DV防止法の認知

問16. あなたは、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(通称:DV防止法)をご存知ですか。

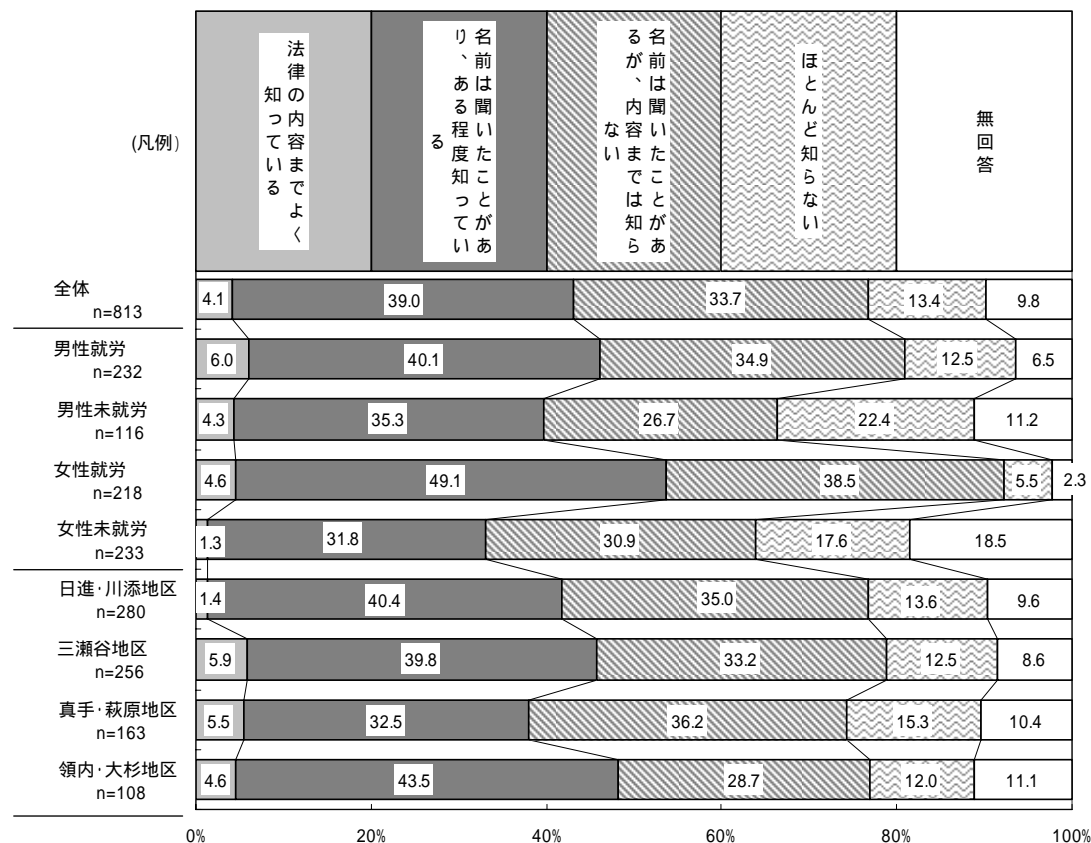
- 「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」(39.0%)が最も高く、以下「名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」(33.7%)、「ほとんど知らない」(13.4%)、「法律の内容までよく知っている」(4.1%)である。
- 年齢別では、『知っている』は50歳代で61.1%と最も高くなっており、70歳以上は25.5%にとどまる。
- 性別・就労別では、女性就労者は『知っている』が53.7%と高く、「ほとんど知らない」が5.5%と低い。



『知っている』は、本来の選択肢の「法律の内容までよく知っている」と「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」の割合を合計したものである。

		DV防止法の認知 [%]					
		全体	法律の内容 までよく知っ ている	名前は聞い たことがあ り、ある程 度知っている	名前は聞い たことがあ るが、内容 までは知ら ない	ほとんど知 らない	無回答
全体		813	33	317	274	109	80
		100.0	4.1	39.0	33.7	13.4	9.8
性 年 齢 別	男性計	350	19	134	113	56	28
		100.0	5.4	38.3	32.3	16.0	8.0
	20歳代	25	1	10	11	3	-
		100.0	4.0	40.0	44.0	12.0	-
	30歳代	43	2	14	22	5	-
		100.0	4.7	32.6	51.2	11.6	-
	40歳代	41	2	16	15	5	3
		100.0	4.9	39.0	36.6	12.2	7.3
	50歳代	55	6	29	16	3	1
		100.0	10.9	52.7	29.1	5.5	1.8
	60歳代	79	3	39	24	11	2
		100.0	3.8	49.4	30.4	13.9	2.5
	70歳以上	107	5	26	25	29	22
		100.0	4.7	24.3	23.4	27.1	20.6
	女性計	454	13	181	158	53	49
		100.0	2.9	39.9	34.8	11.7	10.8
	20歳代	40	1	22	15	2	-
	100.0	2.5	55.0	37.5	5.0	-	
30歳代	55	1	23	25	5	1	
	100.0	1.8	41.8	45.5	9.1	1.8	
40歳代	58	2	30	22	3	1	
	100.0	3.4	51.7	37.9	5.2	1.7	
50歳代	76	6	39	26	5	-	
	100.0	7.9	51.3	34.2	6.6	-	
60歳代	91	2	38	37	9	5	
	100.0	2.2	41.8	40.7	9.9	5.5	
70歳以上	134	1	29	33	29	42	
	100.0	0.7	21.6	24.6	21.6	31.3	

DV防止法の認知

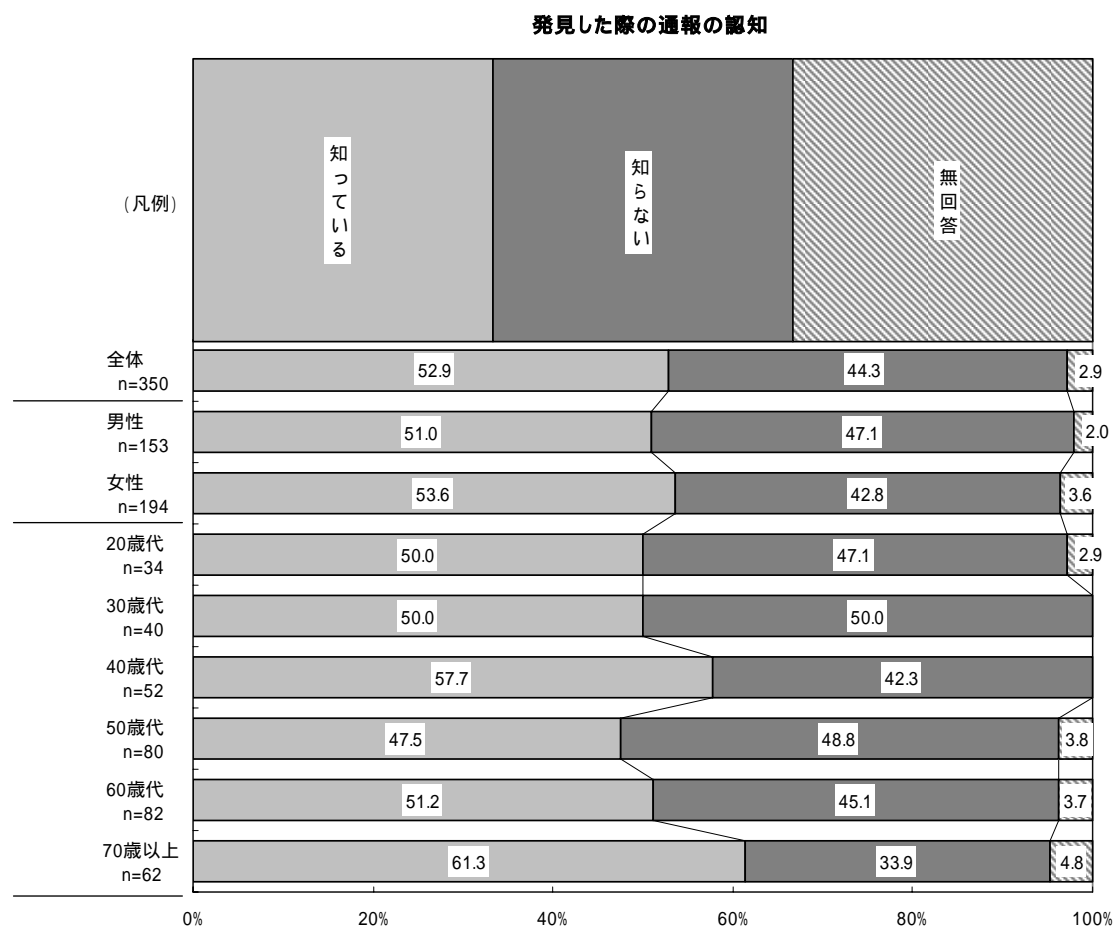


(2) 発見した際の通報の認知

前問で「法律の内容までよく知っている」若しくは「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」と回答した方を対象

問16 - 1. DV防止法では、配偶者からの暴力を受けている人を見つけた場合は配偶者暴力相談支援センター等へ通報するよう呼びかけていますが、このことをあなたはご存知ですか。

- 「知っている」が52.9%と、「知らない」(44.3%)よりもやや高い。
- 年齢別では、50歳代は「知っている」が47.5%とやや低くなっている。



		発見した際の通報の認知(%)			
		全体	知っている	知らない	無回答
全体		350	185	155	10
		100.0	52.9	44.3	2.9
性 年 齢 別	男性計	153	78	72	3
		100.0	51.0	47.1	2.0
	20歳代	11	4	6	1
		100.0	36.4	54.5	9.1
	30歳代	16	6	10	-
		100.0	37.5	62.5	-
	40歳代	18	9	9	-
		100.0	50.0	50.0	-
	50歳代	35	17	17	1
		100.0	48.6	48.6	2.9
	60歳代	42	24	18	-
		100.0	57.1	42.9	-
	70歳以上	31	18	12	1
		100.0	58.1	38.7	3.2
	女性計	194	104	83	7
		100.0	53.6	42.8	3.6
	20歳代	23	13	10	-
		100.0	56.5	43.5	-
	30歳代	24	14	10	-
		100.0	58.3	41.7	-
40歳代	32	19	13	-	
	100.0	59.4	40.6	-	
50歳代	45	21	22	2	
	100.0	46.7	48.9	4.4	
60歳代	40	18	19	3	
	100.0	45.0	47.5	7.5	
70歳以上	30	19	9	2	
	100.0	63.3	30.0	6.7	

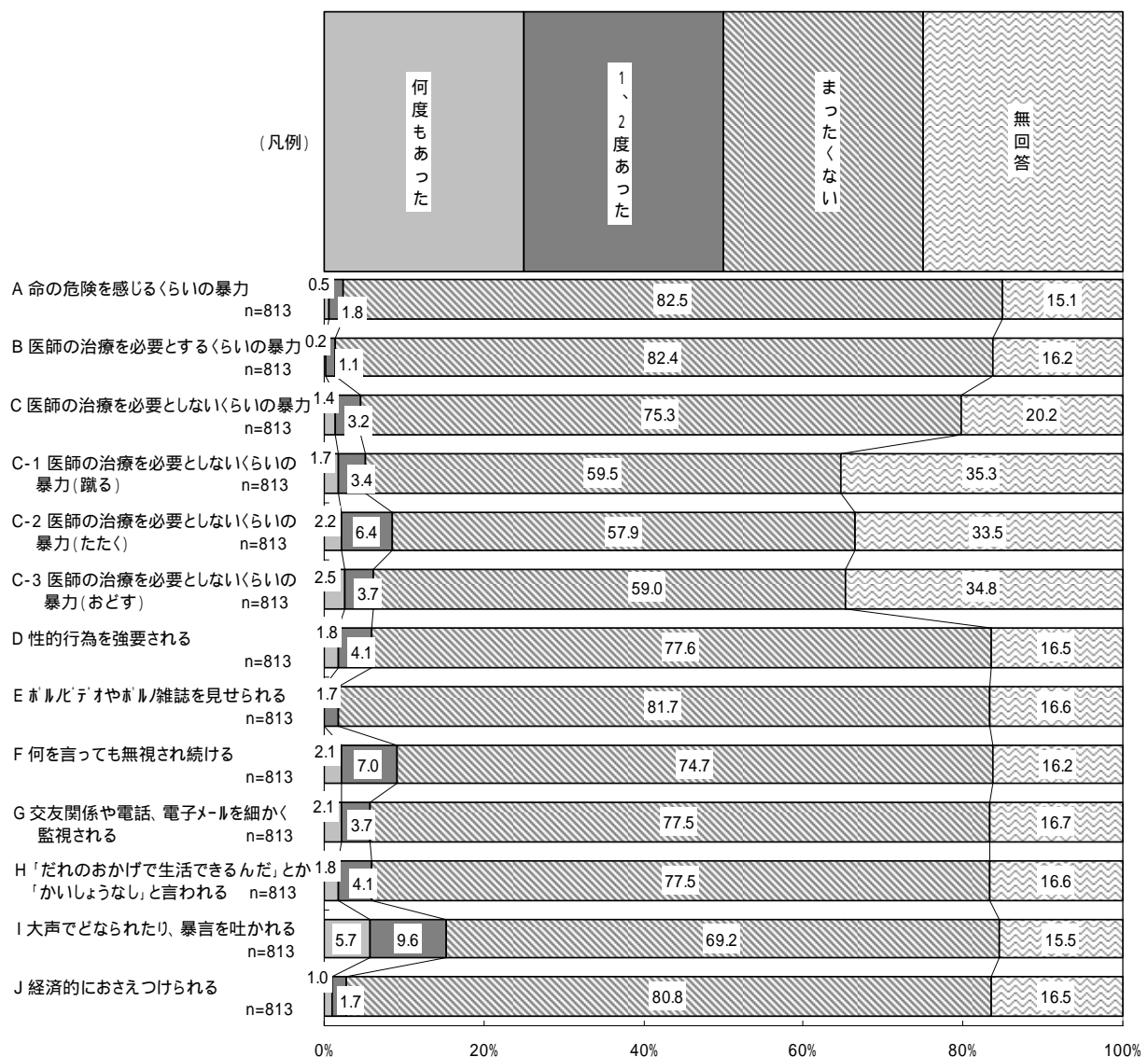
(3) 男女間の暴力を受けた経験の有無及び暴力の内容

問17. あなたはこれまでに、配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。

【全体】(A～J)

- A～Jの項目を比較すると、「I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる」では『経験がある』と答えた人の割合が15.3%と最も高い。以下「F 何を言っても無視され続ける」(9.1%)、「C 2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたく)」(8.6%)、「C 3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす)」(6.2%)、「D 性的行為を強要される」(5.9%)、「H だれのおかげで生活できるんだとかかいしようなしと言われる」(5.9%)と続く。また、「A 命の危険を感じるくらいの暴力」は2.3%、「B 医師の治療を必要とするくらいの暴力」は1.3%となっている。

男女間の暴力を受けた経験【全体】(A～J)

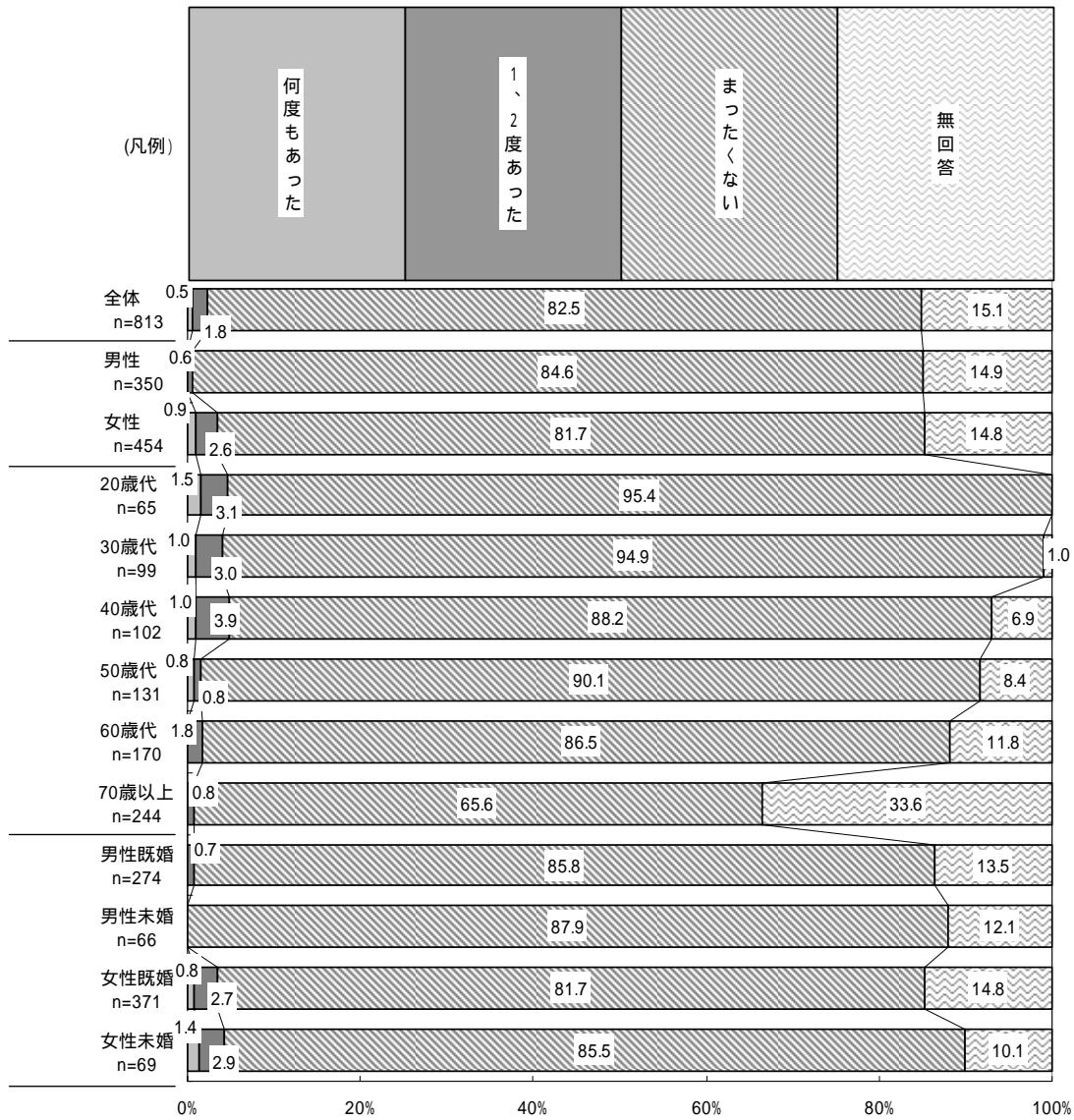


『経験がある』は本来の選択肢の「何度もあった」と「1、2度あった」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 命の危険を感じるくらいの暴力】

- 『経験がある』が2.3%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が3.5%、男性が0.6%である。そのうち「何度もあった」は女性が0.9%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が4.3%、女性既婚者が3.5%である。

A 命の危険を感じるくらいの暴力

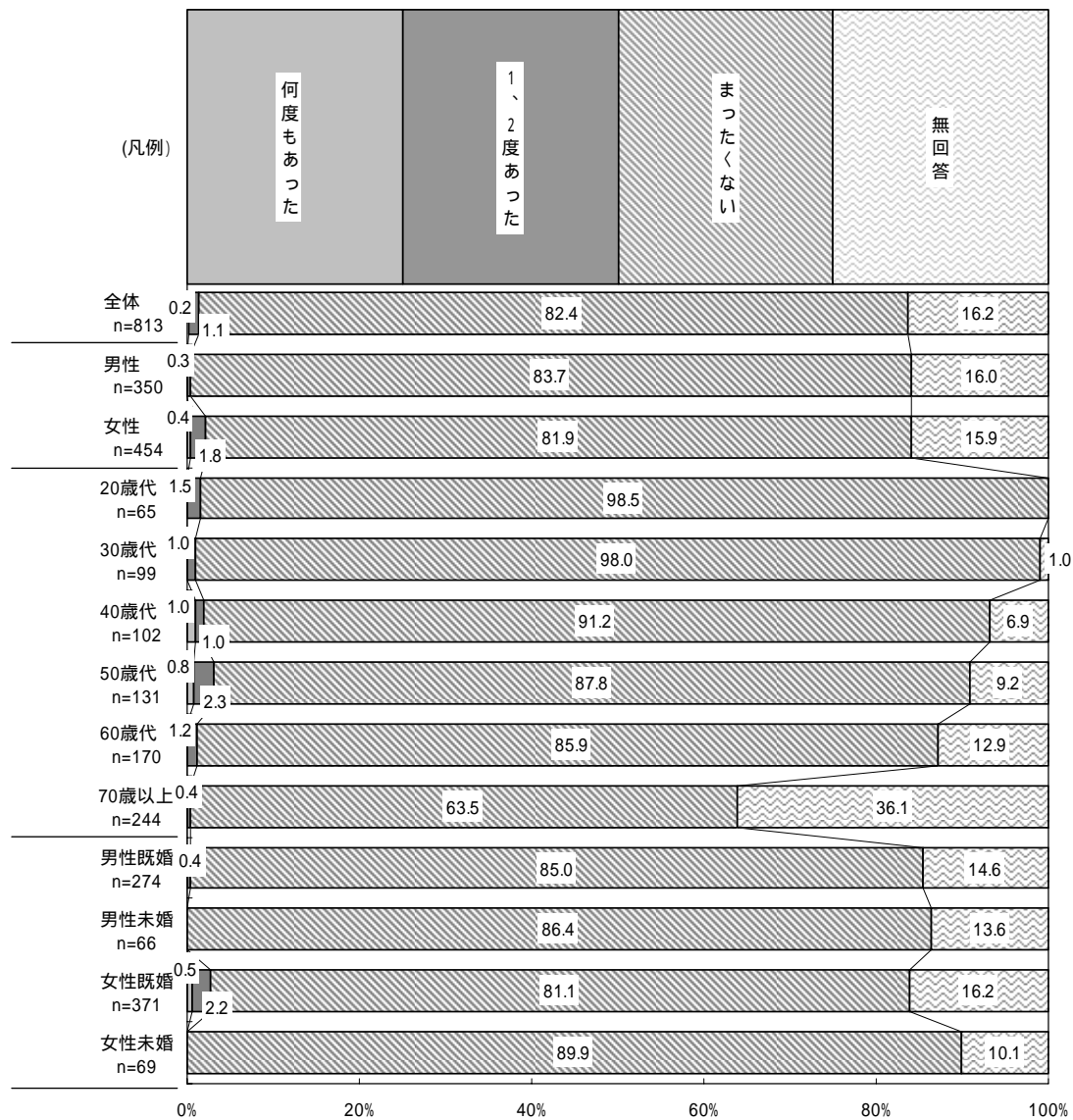


		A 命の危険を感じるくらいの暴力(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	4	15	671	123
		100.0	0.5	1.8	82.5	15.1
性 年 齢 別	男性計	350	-	2	296	52
		100.0	-	0.6	84.6	14.9
	20歳代	25	-	-	25	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	43	-	1	41	1
		100.0	-	2.3	95.3	2.3
	40歳代	41	-	-	36	5
		100.0	-	-	87.8	12.2
	50歳代	55	-	-	49	6
		100.0	-	-	89.1	10.9
	60歳代	79	-	-	70	9
		100.0	-	-	88.6	11.4
	70歳以上	107	-	1	75	31
		100.0	-	0.9	70.1	29.0
	女性計	454	4	12	371	67
		100.0	0.9	2.6	81.7	14.8
	20歳代	40	1	2	37	-
		100.0	2.5	5.0	92.5	-
	30歳代	55	1	2	52	-
		100.0	1.8	3.6	94.5	-
40歳代	58	1	3	52	2	
	100.0	1.7	5.2	89.7	3.4	
50歳代	76	1	1	69	5	
	100.0	1.3	1.3	90.8	6.6	
60歳代	91	-	3	77	11	
	100.0	-	3.3	84.6	12.1	
70歳以上	134	-	1	84	49	
	100.0	-	0.7	62.7	36.6	

【B 医師の治療を必要とするくらいの暴力】

- 『経験がある』が1.3%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が2.2%、男性が0.3%である。そのうち「何度もあった」は女性が0.4%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が2.7%、男性既婚者が0.4%である。

B 医師の治療を必要とするくらいの暴力

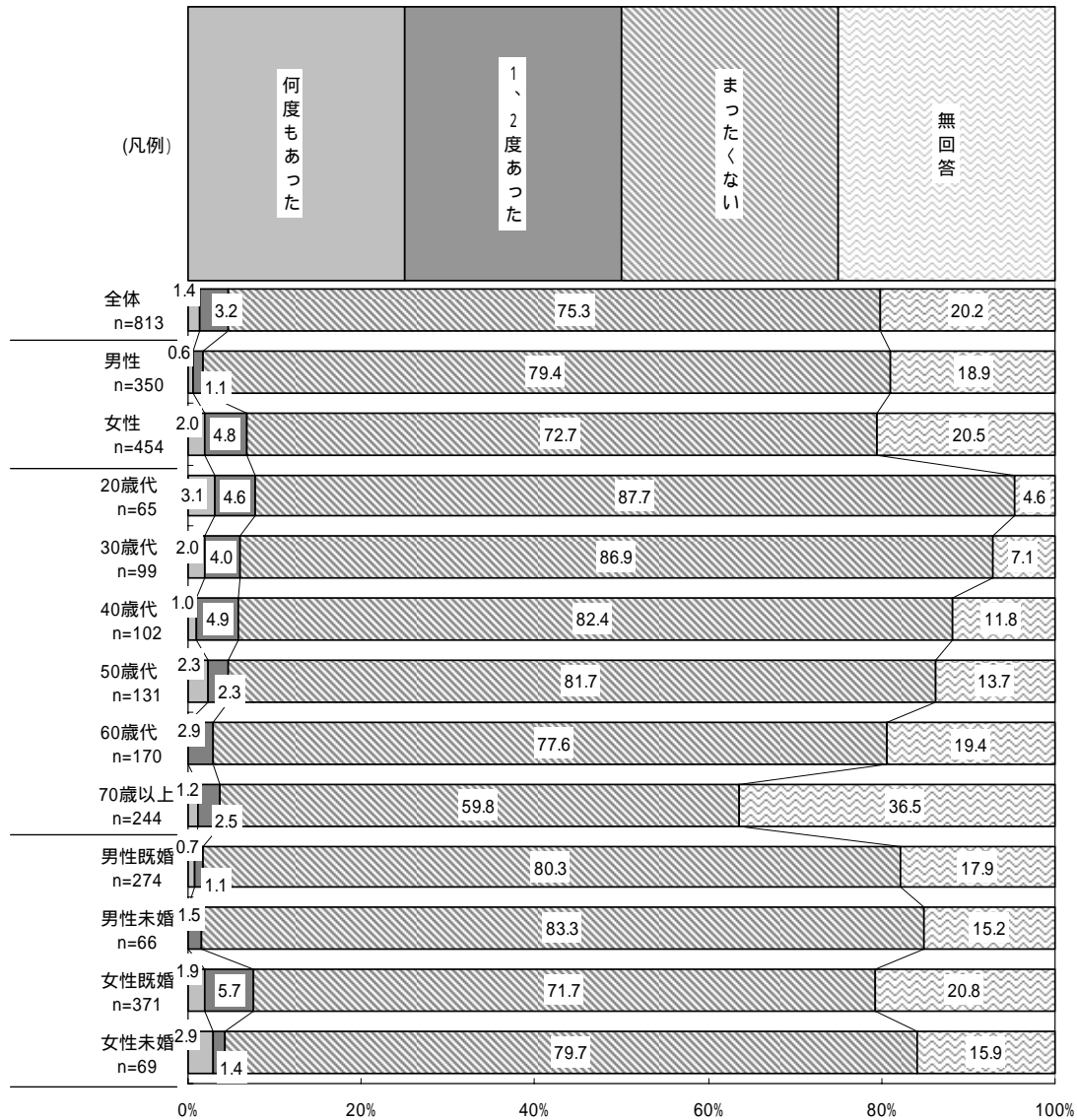


		B 医師の治療を必要とするくらいの暴力 [%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	2	9	670	132
		100.0	0.2	1.1	82.4	16.2
性 年 齢 別	男性計	350	-	1	293	56
		100.0	-	0.3	83.7	16.0
	20歳代	25	-	-	25	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	43	-	1	41	1
		100.0	-	2.3	95.3	2.3
	40歳代	41	-	-	36	5
		100.0	-	-	87.8	12.2
	50歳代	55	-	-	48	7
		100.0	-	-	87.3	12.7
	60歳代	79	-	-	70	9
		100.0	-	-	88.6	11.4
	70歳以上	107	-	-	73	34
		100.0	-	-	68.2	31.8
	女性計	454	2	8	372	72
		100.0	0.4	1.8	81.9	15.9
	20歳代	40	-	1	39	-
		100.0	-	2.5	97.5	-
	30歳代	55	-	-	55	-
		100.0	-	-	100.0	-
40歳代	58	1	1	54	2	
	100.0	1.7	1.7	93.1	3.4	
50歳代	76	1	3	67	5	
	100.0	1.3	3.9	88.2	6.6	
60歳代	91	-	2	76	13	
	100.0	-	2.2	83.5	14.3	
70歳以上	134	-	1	81	52	
	100.0	-	0.7	60.4	38.8	

【C 医師の治療を必要としないくらいの暴力】

- 『経験がある』が4.6%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が6.8%、男性が1.7%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.0%、男性が0.6%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が7.6%、女性未婚者が4.3%である。また、男性においても、既婚者（1.8%）が未婚者（1.5%）をやや上回る。

C 医師の治療を必要としないくらいの暴力

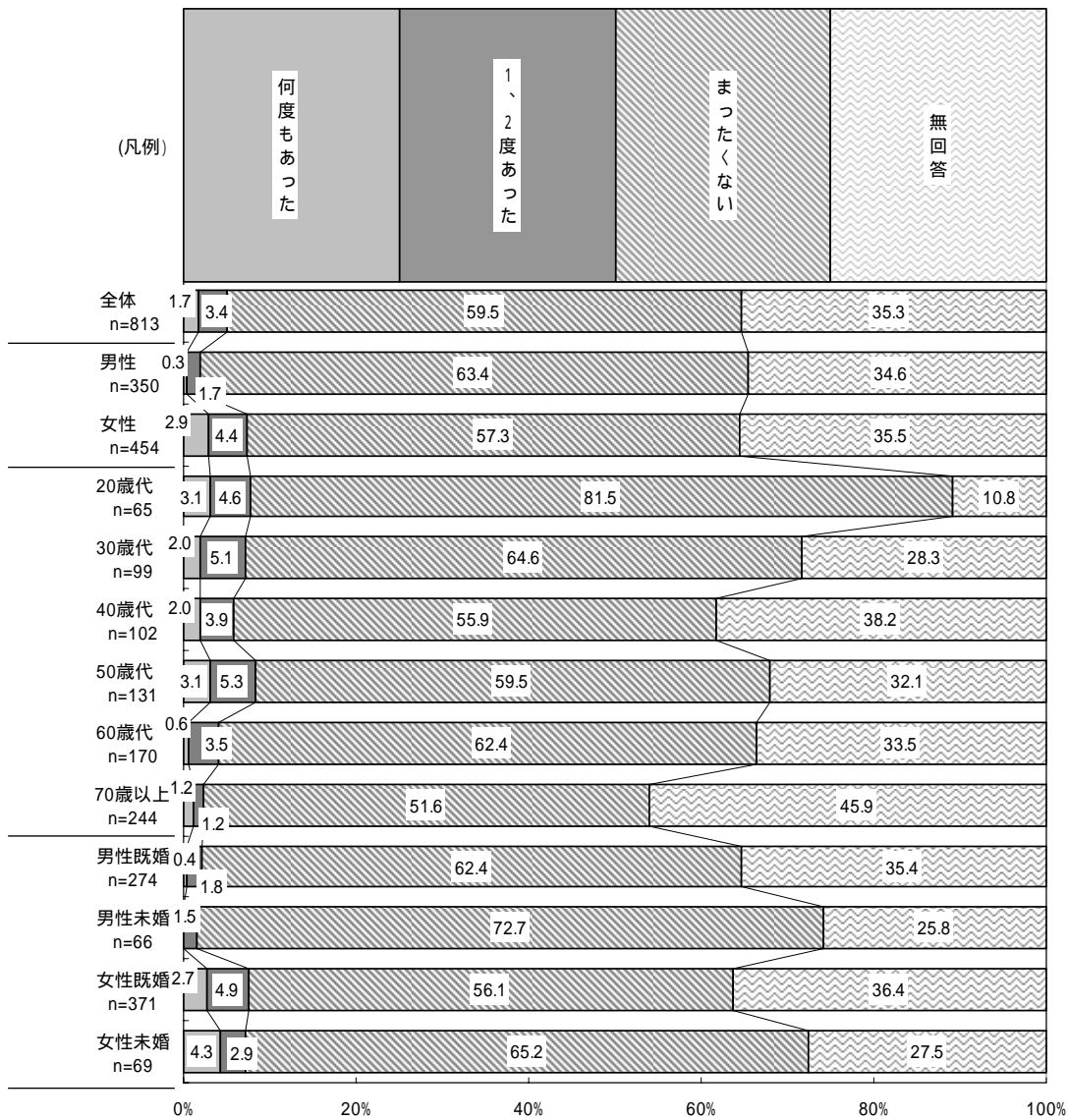


		C 医師の治療を必要としないくらいの暴力 (%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	11	26	612	164
		100.0	1.4	3.2	75.3	20.2
性 年 齢 別	男性計	350	2	4	278	66
		100.0	0.6	1.1	79.4	18.9
	20歳代	25	-	1	23	1
		100.0	-	4.0	92.0	4.0
	30歳代	43	1	-	39	3
		100.0	2.3	-	90.7	7.0
	40歳代	41	-	1	35	5
		100.0	-	2.4	85.4	12.2
	50歳代	55	-	-	46	9
		100.0	-	-	83.6	16.4
	60歳代	79	-	1	64	14
		100.0	-	1.3	81.0	17.7
	70歳以上	107	1	1	71	34
		100.0	0.9	0.9	66.4	31.8
	女性計	454	9	22	330	93
		100.0	2.0	4.8	72.7	20.5
	20歳代	40	2	2	34	2
		100.0	5.0	5.0	85.0	5.0
	30歳代	55	1	4	46	4
		100.0	1.8	7.3	83.6	7.3
40歳代	58	1	4	47	6	
	100.0	1.7	6.9	81.0	10.3	
50歳代	76	3	3	61	9	
	100.0	3.9	3.9	80.3	11.8	
60歳代	91	-	4	68	19	
	100.0	-	4.4	74.7	20.9	
70歳以上	134	2	5	74	53	
	100.0	1.5	3.7	55.2	39.6	

【C - 1 医師の治療を必要としないくらいの暴力(蹴る)】

- 『経験がある』が5.1%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が7.3%、男性が2.0%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.9%、男性が0.3%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が7.6%、女性未婚者が7.2%である。また、男性においても、既婚者(2.2%)が未婚者(1.5%)をやや上回る。

C-1 医師の治療を必要としないくらいの暴力(蹴る)

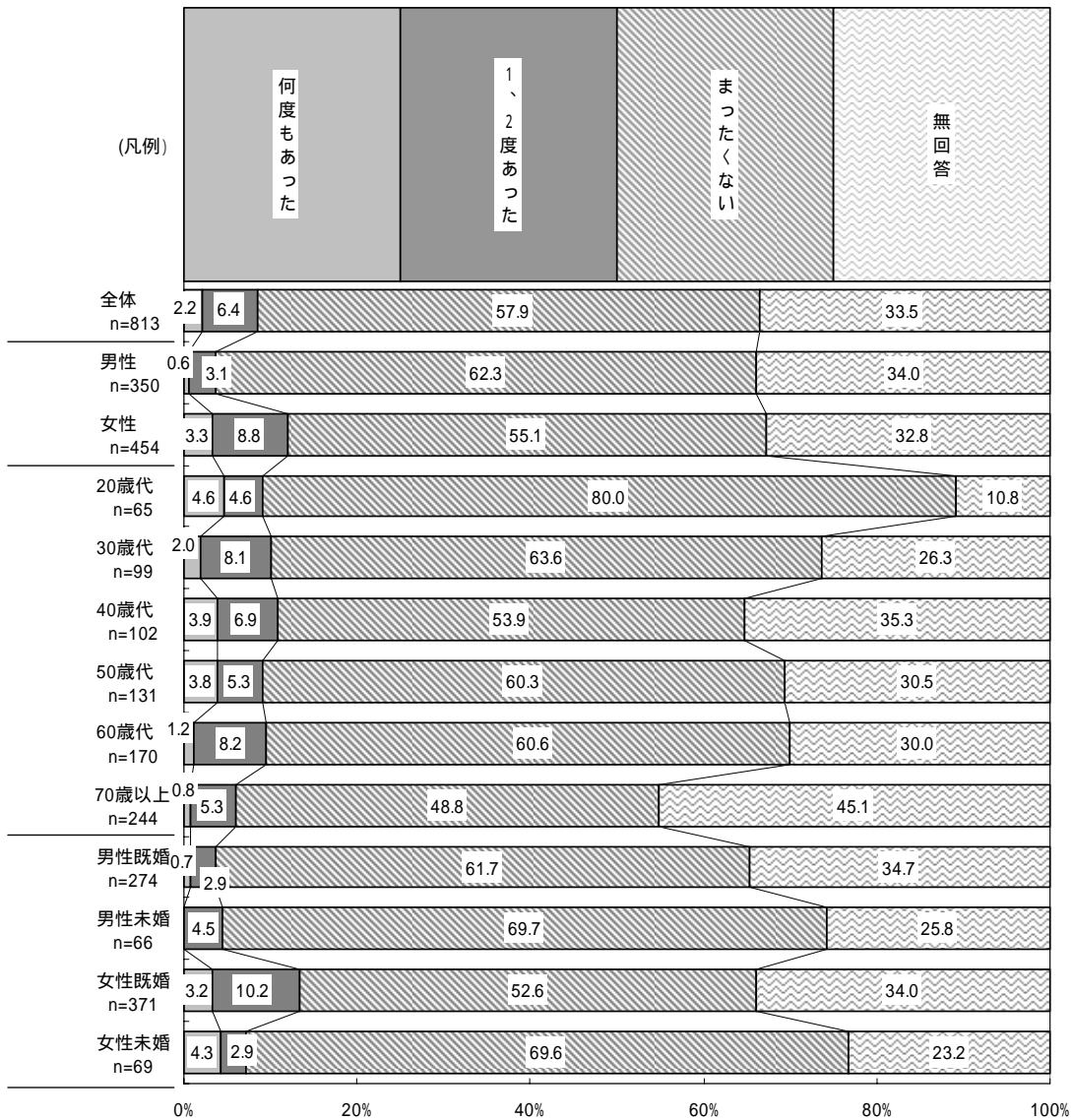


		C-1 医師の治療を必要としないくらいの暴力(蹴る) [%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	14	28	484	287
		100.0	1.7	3.4	59.5	35.3
性 年 齢 別	男性計	350	1	6	222	121
		100.0	0.3	1.7	63.4	34.6
	20歳代	25	-	1	20	4
		100.0	-	4.0	80.0	16.0
	30歳代	43	-	2	30	11
		100.0	-	4.7	69.8	25.6
	40歳代	41	-	1	26	14
		100.0	-	2.4	63.4	34.1
	50歳代	55	1	-	34	20
		100.0	1.8	-	61.8	36.4
	60歳代	79	-	2	48	29
		100.0	-	2.5	60.8	36.7
	70歳以上	107	-	-	64	43
		100.0	-	-	59.8	40.2
	女性計	454	13	20	260	161
		100.0	2.9	4.4	57.3	35.5
	20歳代	40	2	2	33	3
		100.0	5.0	5.0	82.5	7.5
	30歳代	55	2	3	33	17
		100.0	3.6	5.5	60.0	30.9
40歳代	58	2	2	30	24	
	100.0	3.4	3.4	51.7	41.4	
50歳代	76	3	7	44	22	
	100.0	3.9	9.2	57.9	28.9	
60歳代	91	1	4	58	28	
	100.0	1.1	4.4	63.7	30.8	
70歳以上	134	3	2	62	67	
	100.0	2.2	1.5	46.3	50.0	

【C - 2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたく)】

- 『経験がある』が8.6%である。
- 性別では、『経験がある』は女性が12.1%、男性が3.7%である。そのうち「何度もあった」は女性が3.3%、男性が0.6%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が13.4%、女性未婚者が7.2%である。

C-2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたく)

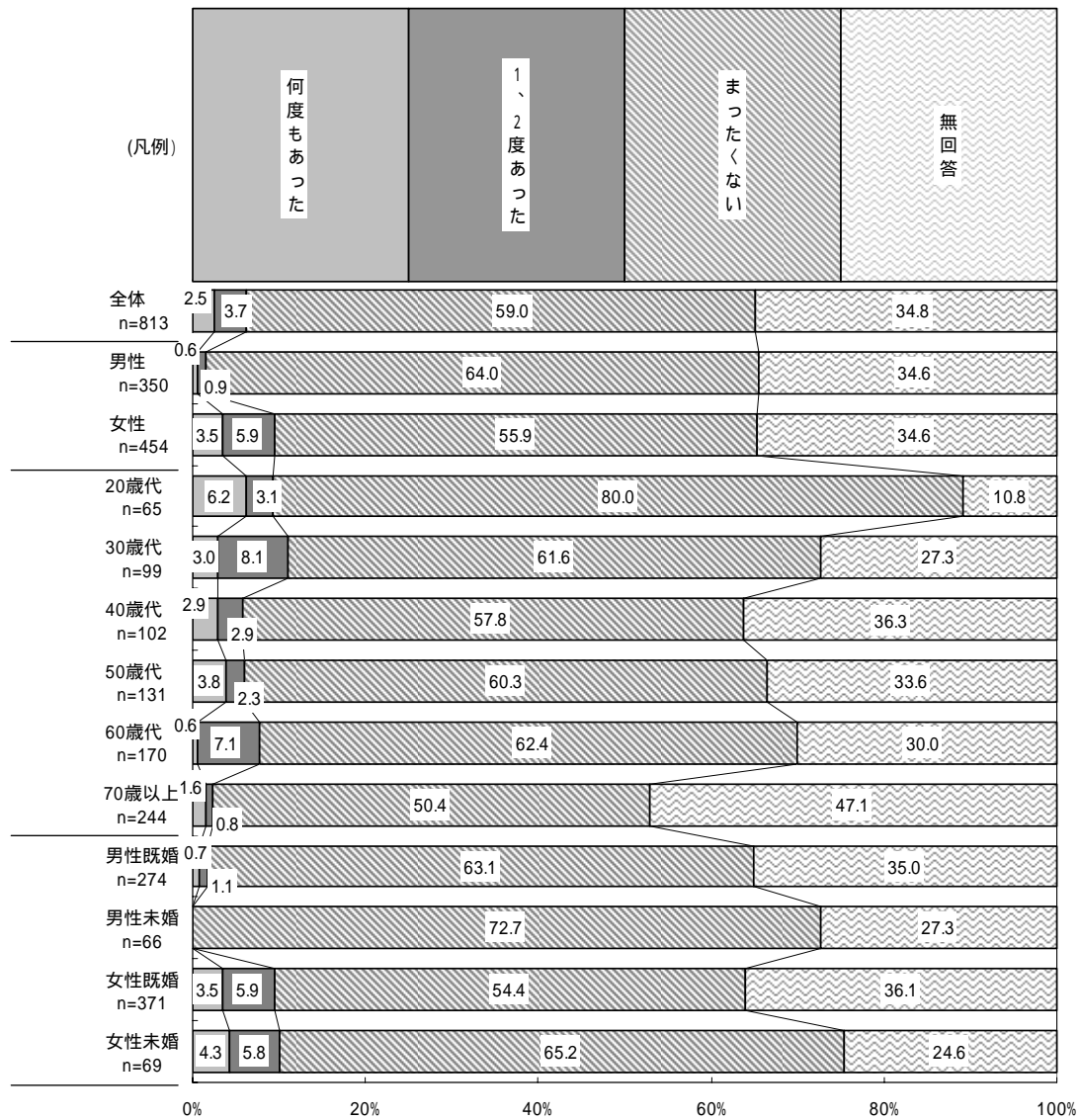


		C-2 医師の治療を必要としないくらいの暴力(たたき) [%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	18	52	471	272
		100.0	2.2	6.4	57.9	33.5
性 年 齢 別	男性計	350	2	11	218	119
		100.0	0.6	3.1	62.3	34.0
	20歳代	25	1	1	19	4
		100.0	4.0	4.0	76.0	16.0
	30歳代	43	-	2	30	11
		100.0	-	4.7	69.8	25.6
	40歳代	41	-	1	26	14
		100.0	-	2.4	63.4	34.1
	50歳代	55	1	1	33	20
		100.0	1.8	1.8	60.0	36.4
	60歳代	79	-	3	49	27
		100.0	-	3.8	62.0	34.2
	70歳以上	107	-	3	61	43
		100.0	-	2.8	57.0	40.2
	女性計	454	15	40	250	149
		100.0	3.3	8.8	55.1	32.8
	20歳代	40	2	2	33	3
		100.0	5.0	5.0	82.5	7.5
	30歳代	55	2	6	32	15
		100.0	3.6	10.9	58.2	27.3
40歳代	58	3	5	28	22	
	100.0	5.2	8.6	48.3	37.9	
50歳代	76	4	6	46	20	
	100.0	5.3	7.9	60.5	26.3	
60歳代	91	2	11	54	24	
	100.0	2.2	12.1	59.3	26.4	
70歳以上	134	2	10	57	65	
	100.0	1.5	7.5	42.5	48.5	

【C-3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす)】

- 『経験がある』が6.2%である。
- 性別では、『経験がある』は女性が9.4%、男性が1.5%である。そのうち「何度もあった」は女性が3.5%、男性が0.6%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が10.1%、女性既婚者が9.4%である。

C-3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす)

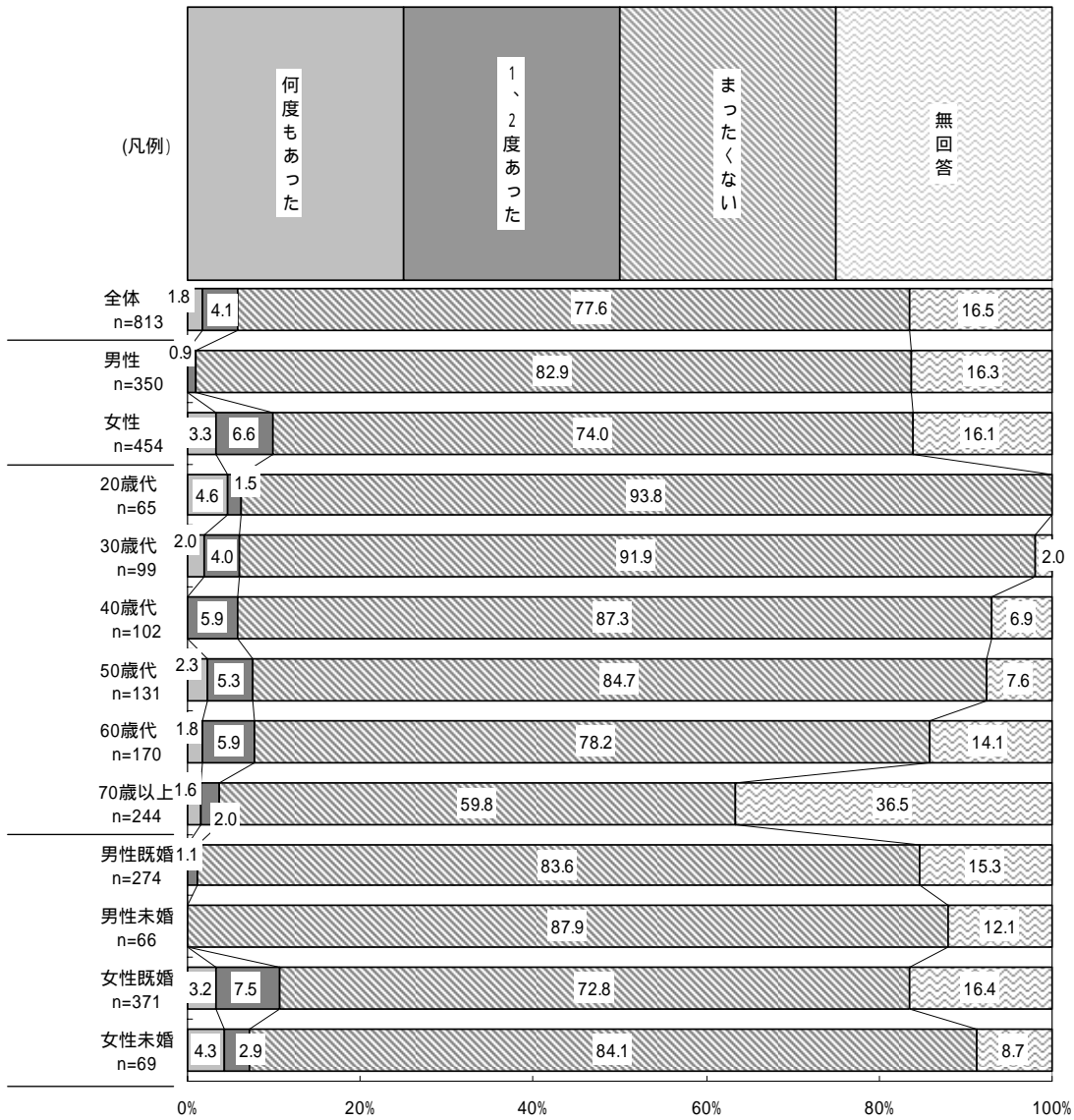


		C-3 医師の治療を必要としないくらいの暴力(おどす) (%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	20	30	480	283
		100.0	2.5	3.7	59.0	34.8
性 年 齢 別	男性計	350	2	3	224	121
		100.0	0.6	0.9	64.0	34.6
	20歳代	25	1	-	20	4
		100.0	4.0	-	80.0	16.0
	30歳代	43	-	-	32	11
		100.0	-	-	74.4	25.6
	40歳代	41	-	-	27	14
		100.0	-	-	65.9	34.1
	50歳代	55	-	-	34	21
		100.0	-	-	61.8	38.2
	60歳代	79	1	2	49	27
		100.0	1.3	2.5	62.0	34.2
	70歳以上	107	-	1	62	44
		100.0	-	0.9	57.9	41.1
	女性計	454	16	27	254	157
		100.0	3.5	5.9	55.9	34.6
	20歳代	40	3	2	32	3
		100.0	7.5	5.0	80.0	7.5
	30歳代	55	3	8	28	16
		100.0	5.5	14.5	50.9	29.1
40歳代	58	2	3	31	22	
	100.0	3.4	5.2	53.4	37.9	
50歳代	76	5	3	45	23	
	100.0	6.6	3.9	59.2	30.3	
60歳代	91	-	10	57	24	
	100.0	-	11.0	62.6	26.4	
70歳以上	134	3	1	61	69	
	100.0	2.2	0.7	45.5	51.5	

【D 性的行為を強要される】

- 『経験がある』が5.9%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が9.9%、男性が0.9%である。そのうち「何度もあった」は女性が3.3%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が10.7%、女性未婚者が7.2%である。

D 性的行為を強要される

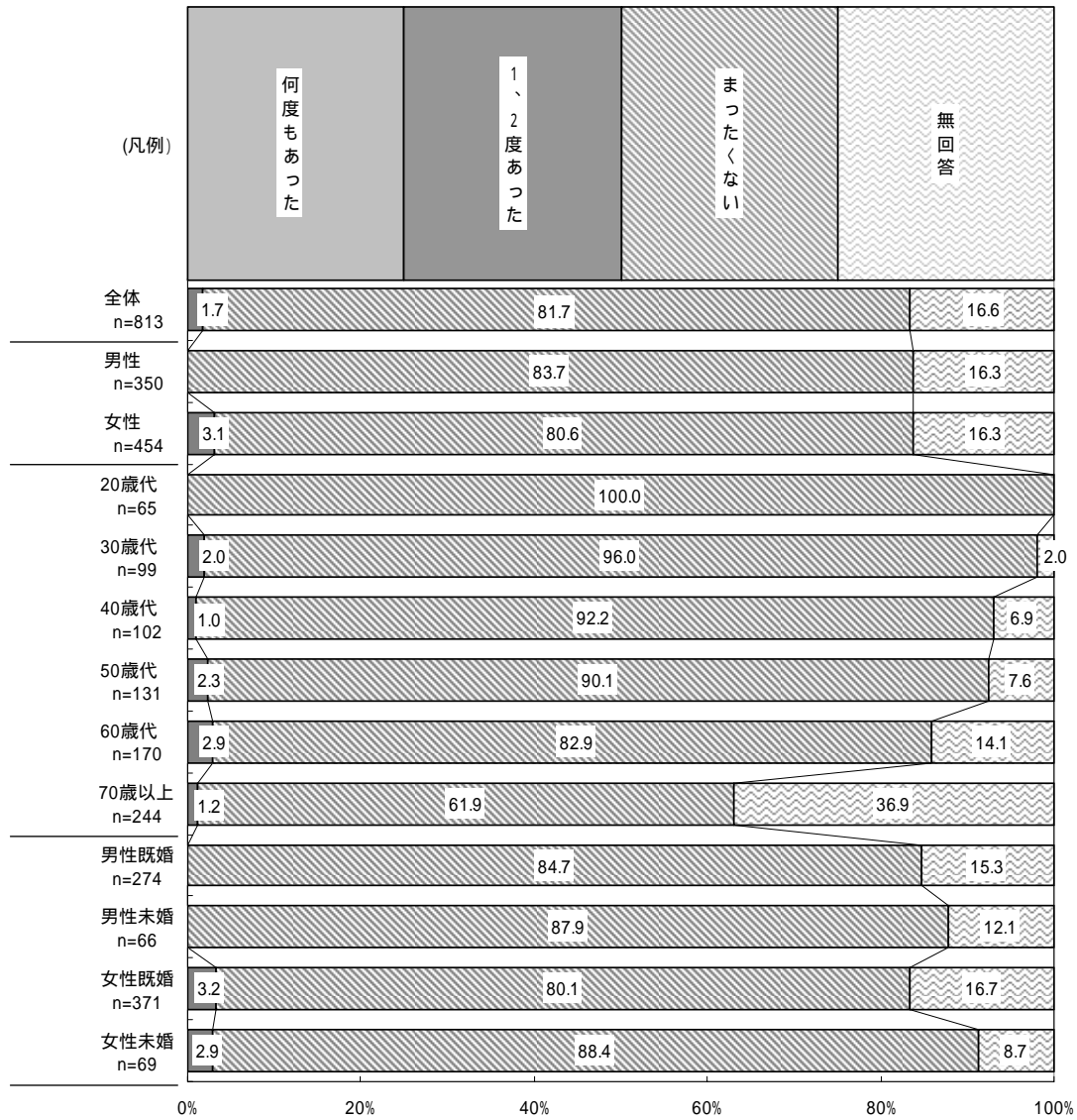


		D 性的行為を強要される(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	15	33	631	134
		100.0	1.8	4.1	77.6	16.5
性 年 齢 別	男性計	350	-	3	290	57
		100.0	-	0.9	82.9	16.3
	20歳代	25	-	-	25	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	43	-	-	41	2
		100.0	-	-	95.3	4.7
	40歳代	41	-	-	36	5
		100.0	-	-	87.8	12.2
	50歳代	55	-	-	49	6
		100.0	-	-	89.1	10.9
	60歳代	79	-	1	69	9
		100.0	-	1.3	87.3	11.4
	70歳以上	107	-	2	70	35
		100.0	-	1.9	65.4	32.7
	女性計	454	15	30	336	73
		100.0	3.3	6.6	74.0	16.1
	20歳代	40	3	1	36	-
		100.0	7.5	2.5	90.0	-
	30歳代	55	2	4	49	-
		100.0	3.6	7.3	89.1	-
40歳代	58	-	6	50	2	
	100.0	-	10.3	86.2	3.4	
50歳代	76	3	7	62	4	
	100.0	3.9	9.2	81.6	5.3	
60歳代	91	3	9	64	15	
	100.0	3.3	9.9	70.3	16.5	
70歳以上	134	4	3	75	52	
	100.0	3.0	2.2	56.0	38.8	

【E ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる】

- 『経験がある』が1.7%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が3.1%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が3.2%、女性未婚者が2.9%である。

E ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる

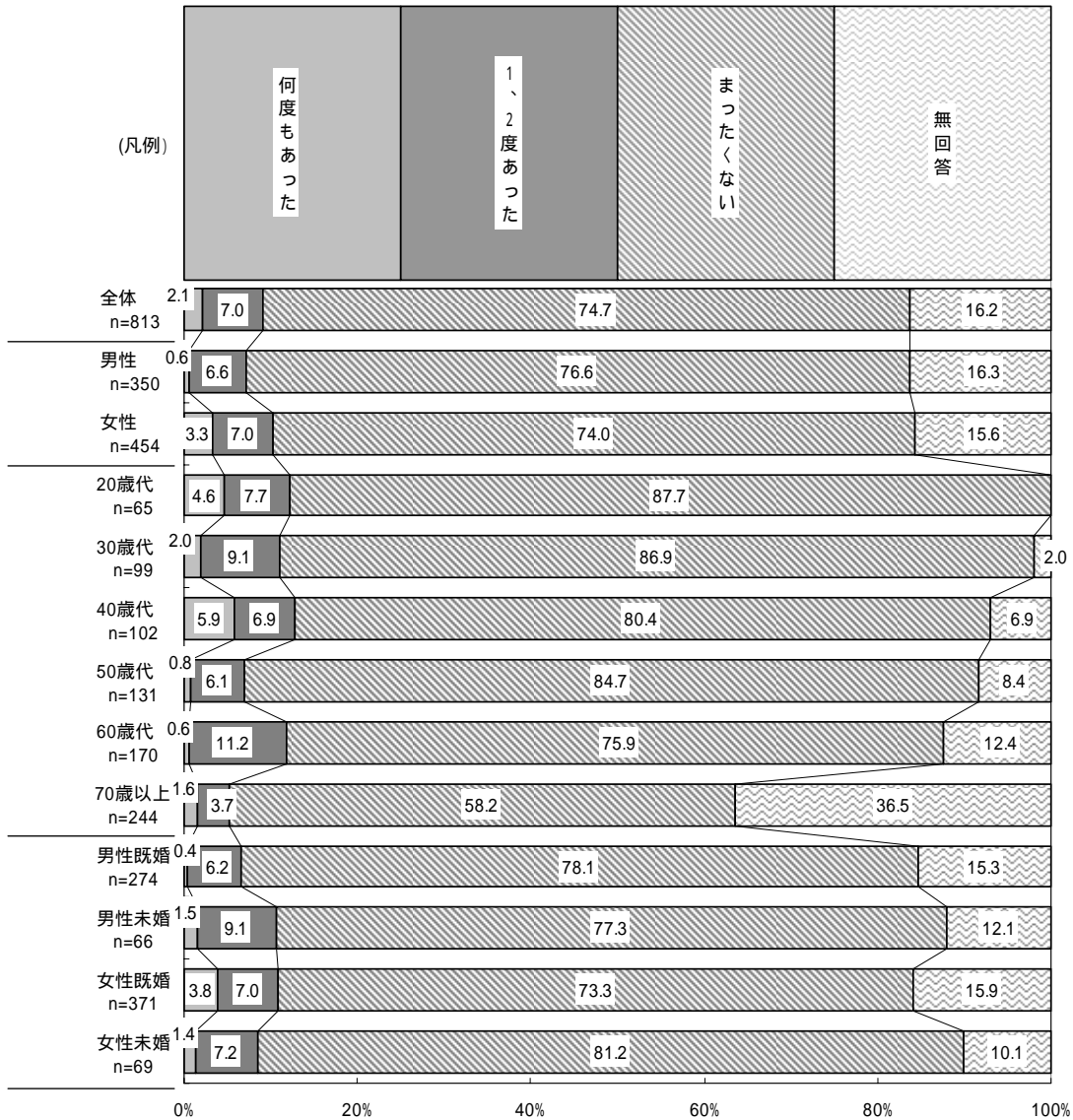


		E ホルビデオやホル/雑誌を見せられる(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	0	14	664	135
		100.0	0.0	1.7	81.7	16.6
性 年 齢 別	男性計	350	-	-	293	57
		100.0	-	-	83.7	16.3
	20歳代	25	-	-	25	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	43	-	-	41	2
		100.0	-	-	95.3	4.7
	40歳代	41	-	-	36	5
		100.0	-	-	87.8	12.2
	50歳代	55	-	-	49	6
		100.0	-	-	89.1	10.9
	60歳代	79	-	-	70	9
		100.0	-	-	88.6	11.4
	70歳以上	107	-	-	72	35
		100.0	-	-	67.3	32.7
	女性計	454	-	14	366	74
		100.0	-	3.1	80.6	16.3
	20歳代	40	-	-	40	-
		100.0	-	-	100.0	-
	30歳代	55	-	2	53	-
		100.0	-	3.6	96.4	-
40歳代	58	-	1	55	2	
	100.0	-	1.7	94.8	3.4	
50歳代	76	-	3	69	4	
	100.0	-	3.9	90.8	5.3	
60歳代	91	-	5	71	15	
	100.0	-	5.5	78.0	16.5	
70歳以上	134	-	3	78	53	
	100.0	-	2.2	58.2	39.6	

【F 何を言っても無視され続ける】

- 『経験がある』が9.1%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が10.3%、男性が7.2%である。そのうち「何度もあった」は女性が3.3%、男性が0.6%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者（10.8%）、男性未婚者（10.6%）で1割を超えるほか、女性未婚者が8.6%、男性既婚者が6.6%である。

F 何を言っても無視され続ける

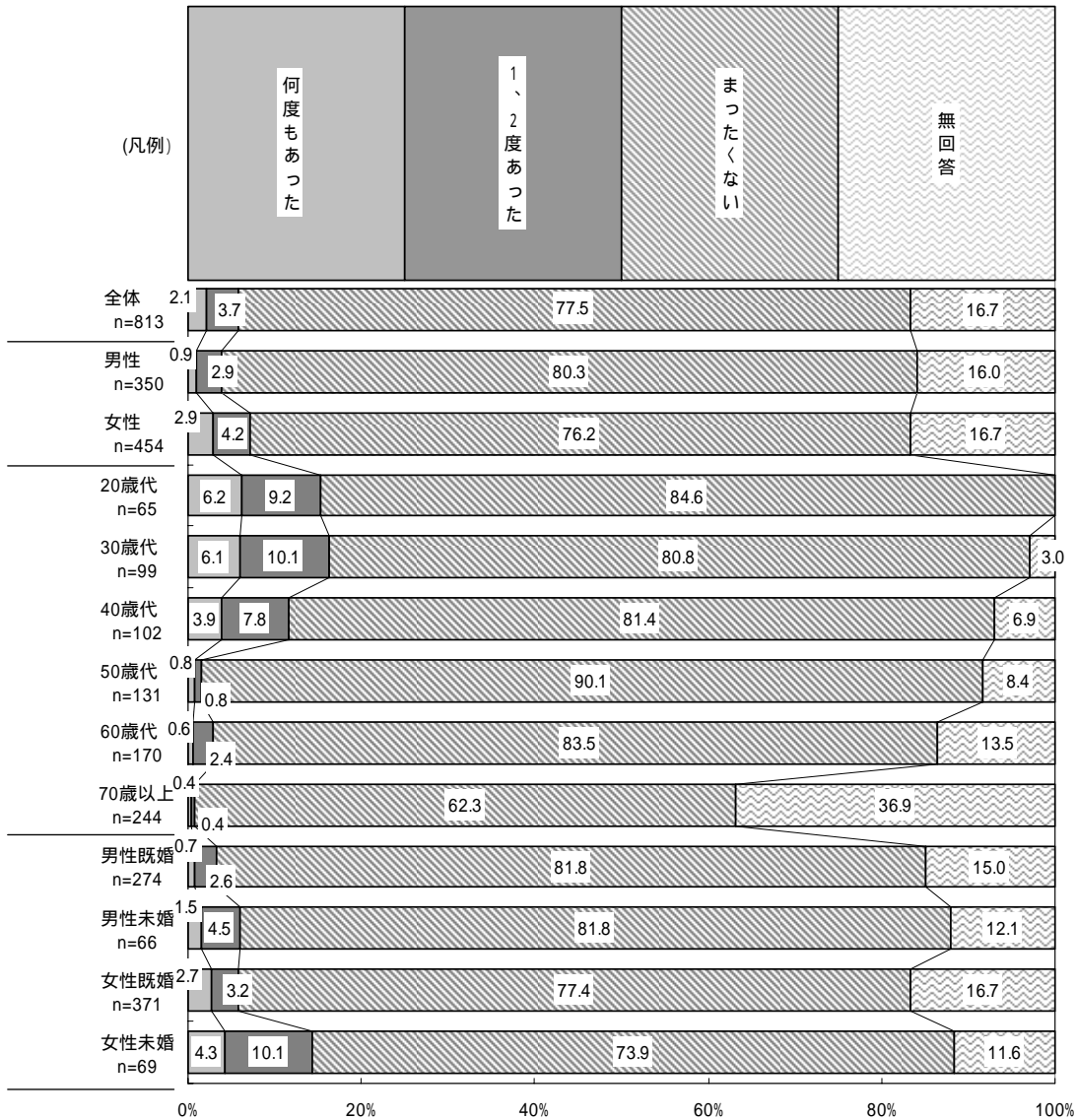


		F 何を言っても無視され続ける[%]				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	17	57	607	132
		100.0	2.1	7.0	74.7	16.2
性 年 齢 別	男性計	350	2	23	268	57
		100.0	0.6	6.6	76.6	16.3
	20歳代	25	1	2	22	-
		100.0	4.0	8.0	88.0	-
	30歳代	43	-	4	37	2
		100.0	-	9.3	86.0	4.7
	40歳代	41	-	4	32	5
		100.0	-	9.8	78.0	12.2
	50歳代	55	1	2	46	6
		100.0	1.8	3.6	83.6	10.9
	60歳代	79	-	7	63	9
		100.0	-	8.9	79.7	11.4
	70歳以上	107	-	4	68	35
		100.0	-	3.7	63.6	32.7
	女性計	454	15	32	336	71
		100.0	3.3	7.0	74.0	15.6
	20歳代	40	2	3	35	-
		100.0	5.0	7.5	87.5	-
	30歳代	55	2	5	48	-
		100.0	3.6	9.1	87.3	-
40歳代	58	6	2	48	2	
	100.0	10.3	3.4	82.8	3.4	
50歳代	76	-	6	65	5	
	100.0	-	7.9	85.5	6.6	
60歳代	91	1	12	66	12	
	100.0	1.1	13.2	72.5	13.2	
70歳以上	134	4	4	74	52	
	100.0	3.0	3.0	55.2	38.8	

【G 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される】

- 『経験がある』が5.8%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が7.1%、男性が3.8%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.9%、男性が0.9%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性未婚者が14.4%と最も高い。また、男性未婚者も6.0%となり、男女とも未婚者が既婚者を上回る。

G 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される

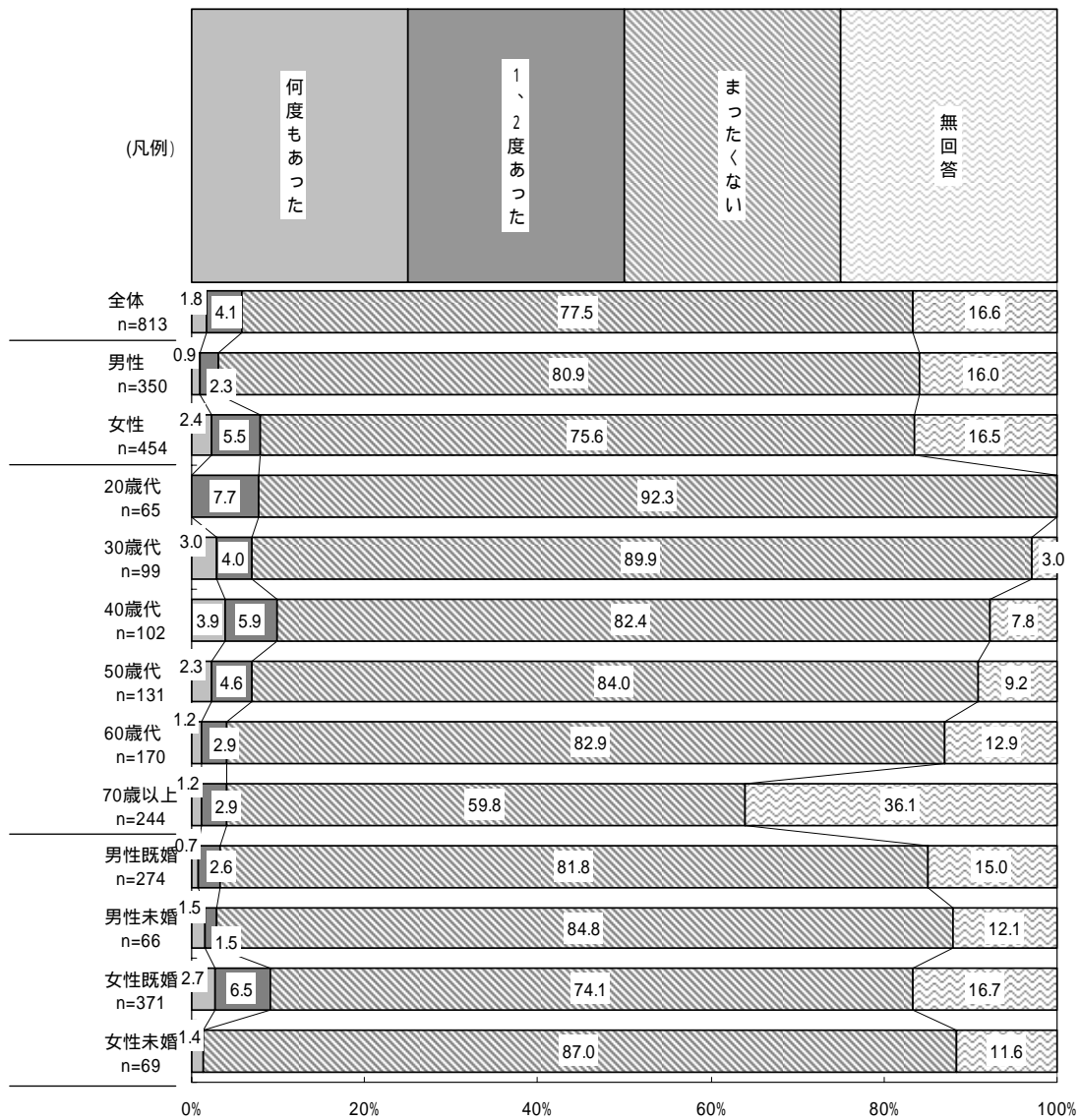


		G 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	17	30	630	136
		100.0	2.1	3.7	77.5	16.7
性 年 齢 別	男性計	350	3	10	281	56
		100.0	0.9	2.9	80.3	16.0
	20歳代	25	1	2	22	-
		100.0	4.0	8.0	88.0	-
	30歳代	43	2	4	35	2
		100.0	4.7	9.3	81.4	4.7
	40歳代	41	-	1	35	5
		100.0	-	2.4	85.4	12.2
	50歳代	55	-	-	49	6
		100.0	-	-	89.1	10.9
	60歳代	79	-	3	67	9
		100.0	-	3.8	84.8	11.4
	70歳以上	107	-	-	73	34
		100.0	-	-	68.2	31.8
	女性計	454	13	19	346	76
		100.0	2.9	4.2	76.2	16.7
	20歳代	40	3	4	33	-
		100.0	7.5	10.0	82.5	-
	30歳代	55	4	6	44	1
		100.0	7.3	10.9	80.0	1.8
40歳代	58	3	7	46	2	
	100.0	5.2	12.1	79.3	3.4	
50歳代	76	1	1	69	5	
	100.0	1.3	1.3	90.8	6.6	
60歳代	91	1	1	75	14	
	100.0	1.1	1.1	82.4	15.4	
70歳以上	134	1	-	79	54	
	100.0	0.7	-	59.0	40.3	

【H 「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われる】

- 『経験がある』が5.9%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が7.9%、男性が3.2%である。そのうち「何度もあった」は女性が2.4%、男性が0.9%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が9.2%と最も高い。また、男性既婚者も3.3%となり、男女とも既婚者が未婚者を上回る。

H 「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われる

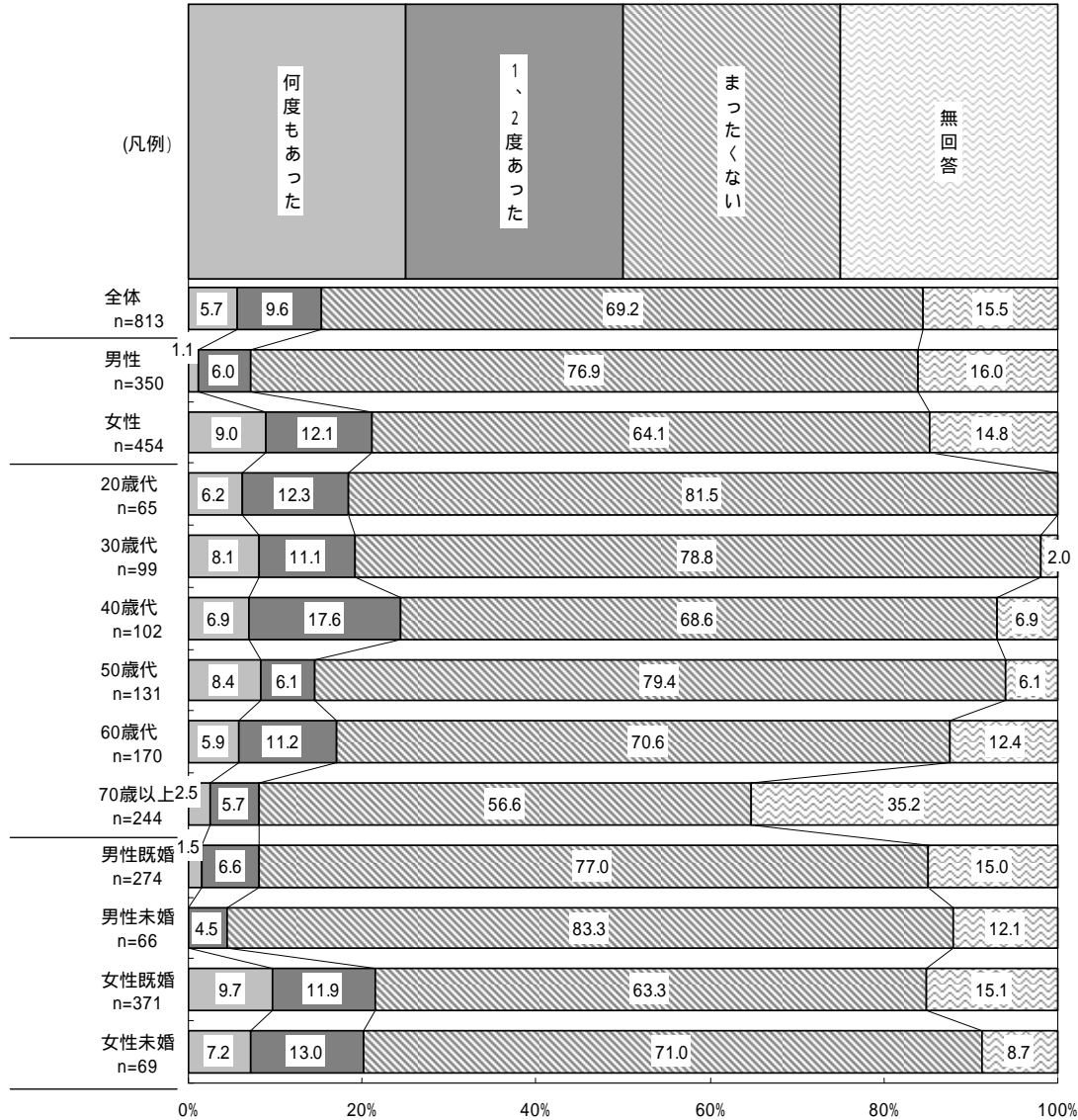


		H 「だれのおかげで生活できるんだ」とか 「かいしようなし」と言われる(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	15	33	630	135
		100.0	1.8	4.1	77.5	16.6
性 年 齢 別	男性計	350	3	8	283	56
		100.0	0.9	2.3	80.9	16.0
	20歳代	25	-	3	22	-
		100.0	-	12.0	88.0	-
	30歳代	43	1	-	40	2
		100.0	2.3	-	93.0	4.7
	40歳代	41	-	1	35	5
		100.0	-	2.4	85.4	12.2
	50歳代	55	-	1	48	6
		100.0	-	1.8	87.3	10.9
	60歳代	79	2	2	66	9
		100.0	2.5	2.5	83.5	11.4
	70歳以上	107	-	1	72	34
		100.0	-	0.9	67.3	31.8
	女性計	454	11	25	343	75
		100.0	2.4	5.5	75.6	16.5
	20歳代	40	-	2	38	-
		100.0	-	5.0	95.0	-
	30歳代	55	2	4	48	1
		100.0	3.6	7.3	87.3	1.8
40歳代	58	3	5	47	3	
	100.0	5.2	8.6	81.0	5.2	
50歳代	76	3	5	62	6	
	100.0	3.9	6.6	81.6	7.9	
60歳代	91	-	3	75	13	
	100.0	-	3.3	82.4	14.3	
70歳以上	134	3	6	73	52	
	100.0	2.2	4.5	54.5	38.8	

【 I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる 】

- 『経験がある』が15.3%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が21.1%と男性(7.1%)を14.0ポイント上回る。また、「何度もあった」は女性が9.0%、男性が1.1%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者(21.6%)が最も高く、男性既婚者(8.1%)を13.5ポイント上回る。また、女性未婚者も20.2%と男性未婚者(4.5%)を15.7ポイント上回る。

I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる

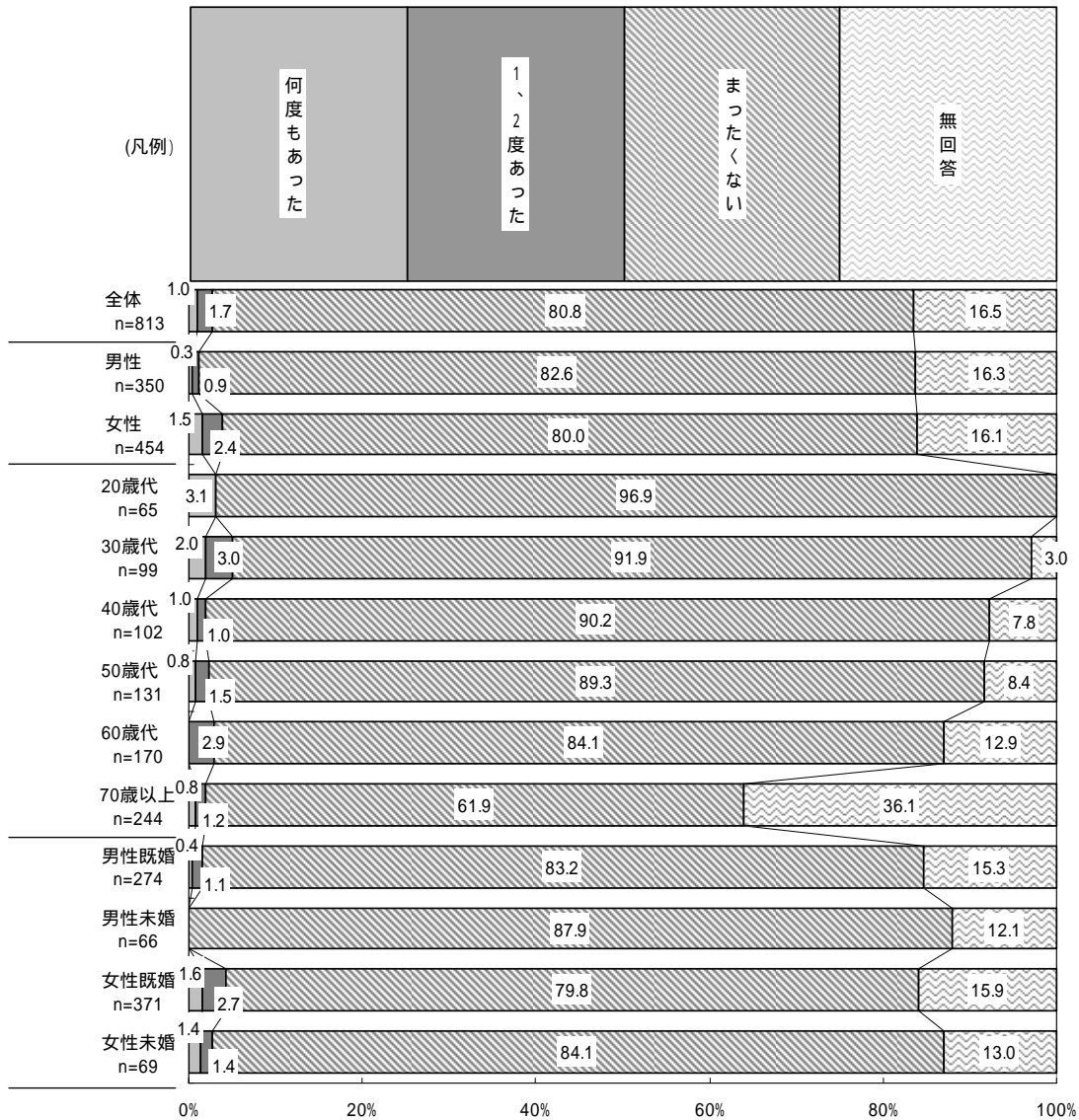


		I 大声でどなられたり、暴言を吐かれる〔%〕				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	46	78	563	126
		100.0	5.7	9.6	69.2	15.5
性 年 齢 別	男性計	350	4	21	269	56
		100.0	1.1	6.0	76.9	16.0
	20歳代	25	-	4	21	-
		100.0	-	16.0	84.0	-
	30歳代	43	1	2	38	2
		100.0	2.3	4.7	88.4	4.7
	40歳代	41	-	2	34	5
		100.0	-	4.9	82.9	12.2
	50歳代	55	-	2	47	6
		100.0	-	3.6	85.5	10.9
	60歳代	79	3	6	61	9
		100.0	3.8	7.6	77.2	11.4
	70歳以上	107	-	5	68	34
		100.0	-	4.7	63.6	31.8
	女性計	454	41	55	291	67
		100.0	9.0	12.1	64.1	14.8
	20歳代	40	4	4	32	-
		100.0	10.0	10.0	80.0	-
	30歳代	55	7	9	39	-
		100.0	12.7	16.4	70.9	-
40歳代	58	6	16	34	2	
	100.0	10.3	27.6	58.6	3.4	
50歳代	76	11	6	57	2	
	100.0	14.5	7.9	75.0	2.6	
60歳代	91	7	13	59	12	
	100.0	7.7	14.3	64.8	13.2	
70歳以上	134	6	7	70	51	
	100.0	4.5	5.2	52.2	38.1	

【 J 経済的におさえつけられる 】

- 『経験がある』が2.7%となっている。
- 性別では、『経験がある』は女性が3.9%、男性が1.2%である。そのうち「何度もあった」は女性が1.5%、男性が0.3%である。
- 婚姻状況別では、『経験がある』は女性既婚者が4.3%、女性未婚者が2.8%である。

J 経済的におさえつけられる



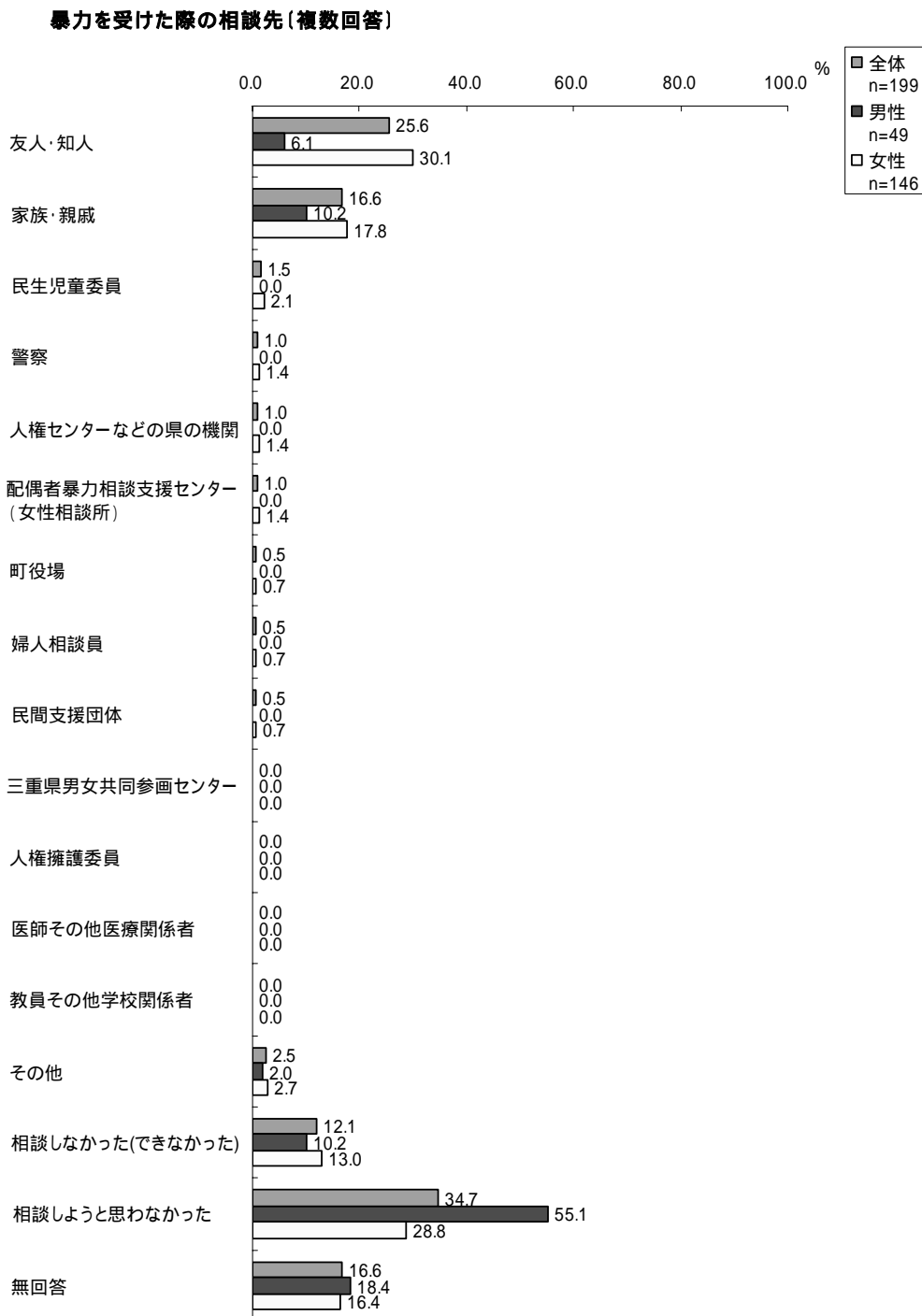
		J 経済的におさえつけられる(%)				
		全体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
全体		813	8	14	657	134
		100.0	1.0	1.7	80.8	16.5
性 年 齢 別	男性計	350	1	3	289	57
		100.0	0.3	0.9	82.6	16.3
	20歳代	25	1	-	24	-
		100.0	4.0	-	96.0	-
	30歳代	43	-	-	41	2
		100.0	-	-	95.3	4.7
	40歳代	41	-	-	36	5
		100.0	-	-	87.8	12.2
	50歳代	55	-	-	49	6
		100.0	-	-	89.1	10.9
	60歳代	79	-	2	68	9
		100.0	-	2.5	86.1	11.4
	70歳以上	107	-	1	71	35
		100.0	-	0.9	66.4	32.7
	女性計	454	7	11	363	73
		100.0	1.5	2.4	80.0	16.1
	20歳代	40	1	-	39	-
		100.0	2.5	-	97.5	-
	30歳代	55	2	3	49	1
		100.0	3.6	5.5	89.1	1.8
40歳代	58	1	1	53	3	
	100.0	1.7	1.7	91.4	5.2	
50歳代	76	1	2	68	5	
	100.0	1.3	2.6	89.5	6.6	
60歳代	91	-	3	75	13	
	100.0	-	3.3	82.4	14.3	
70歳以上	134	2	2	79	51	
	100.0	1.5	1.5	59.0	38.1	

(4) 暴力を受けた際の相談先

前問で「何度もあった」若しくは「1、2度あった」と回答した方を対象

問17 - 2. あなたはこれまでに、問17であげたような配偶者や恋人からの行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

- 「相談しようと思わなかった」が34.7%と最も高く、以下「友人・知人」(25.6%)、「家族・親戚」(16.6%)、「相談しなかった(できなかった)」(12.1%)となっている。
- 性別では、男性が「相談しようと思わなかった」が55.1%と女性(28.8%)を大きく上回っている。一方、女性は「友人・知人」が30.1%と男性(6.1%)を大きく上回るほか、「家族・親戚」(17.8%)、「相談しなかった(できなかった)」(13.0%)においても男性を上回っている。



(5) 暴力を受けた際に相談しなかった理由

前問で相談をしなかった方を対象

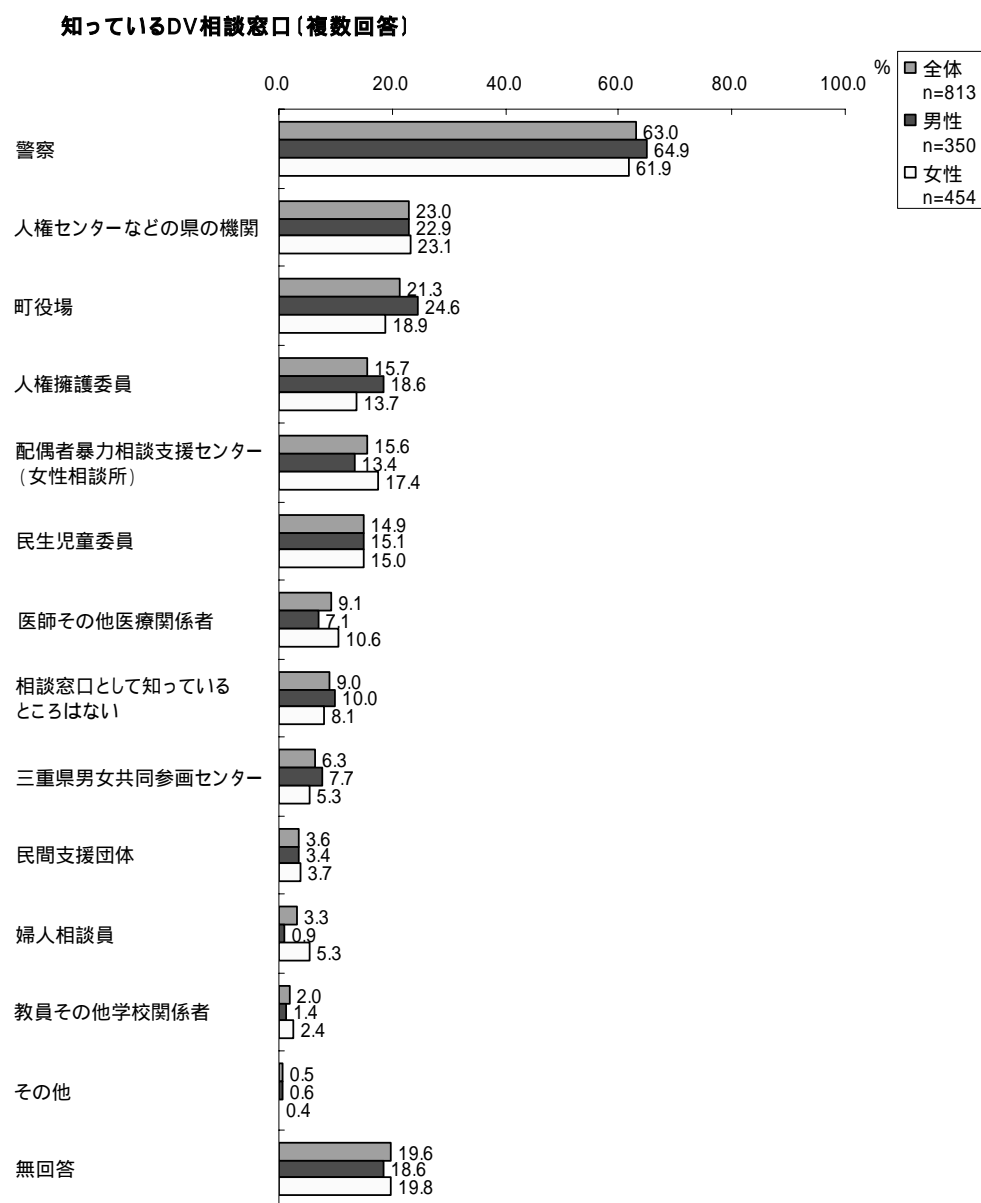
問17-3. 相談しなかった主な理由は何ですか。

	相談しなかった理由[%]													
	全体	誰に相談してよいかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると、仕返しされると思ったから	相談相手の言動から不快な思いをすと思ったから	自分さえ我慢すれば、何とかやっていたら	世間体が悪いと思ったから	他人を巻き込みたくなかったから	自分に悪いところがあると思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答	
全体	93	6	11	12	5	3	15	5	8	8	72	3	1	
	100.0	6.5	11.8	12.9	5.4	3.2	16.1	5.4	8.6	8.6	77.4	3.2	1.1	
性 年 齢 別	男性計	32	1	2	1	-	-	3	-	1	2	31	-	-
		100.0	3.1	6.3	3.1	-	-	9.4	-	3.1	6.3	96.9	-	-
	20歳代	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	30歳代	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
		100.0	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	40歳代	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	50歳代	4	-	-	-	-	-	1	-	1	1	4	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	25.0	100.0	-	-
	60歳代	9	-	1	1	-	-	1	-	-	1	9	-	-
		100.0	-	11.1	11.1	-	-	11.1	-	-	11.1	100.0	-	-
	70歳以上	4	1	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
		100.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	75.0	-	-
	女性計	61	5	9	11	5	3	12	5	7	6	41	3	1
		100.0	8.2	14.8	18.0	8.2	4.9	19.7	8.2	11.5	9.8	67.2	4.9	1.6
	20歳代	6	-	-	1	1	-	-	-	-	1	4	1	1
		100.0	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	66.7	16.7	16.7
	30歳代	6	1	2	3	-	-	1	-	2	-	4	-	-
		100.0	16.7	33.3	50.0	-	-	16.7	-	33.3	-	66.7	-	-
40歳代	10	2	1	3	-	1	2	1	3	-	4	1	-	
	100.0	20.0	10.0	30.0	-	10.0	20.0	10.0	30.0	-	40.0	10.0	-	
50歳代	11	1	2	-	2	-	2	-	1	1	8	-	-	
	100.0	9.1	18.2	-	18.2	-	18.2	-	9.1	9.1	72.7	-	-	
60歳代	17	-	2	1	-	1	3	2	-	1	15	-	-	
	100.0	-	11.8	5.9	-	5.9	17.6	11.8	-	5.9	88.2	-	-	
70歳以上	11	1	2	3	2	1	4	2	1	3	6	1	-	
	100.0	9.1	18.2	27.3	18.2	9.1	36.4	18.2	9.1	27.3	54.5	9.1	-	

(6) 知っているDV相談窓口

問18. 配偶者や恋人の間で、相手から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者のうち、知っているものを次の中からいくつでも選んでください。

- 「警察」が63.0%と最も高く、以下「人権センターなどの県の機関」(23.0%)、「町役場」(21.3%)、「人権擁護委員」(15.7%)、「配偶者暴力相談支援センター(女性相談所)」(15.6%)である。



6 自由意見

自由意見のまとめ（多かった意見の上位 10 位）

順位	内容	件数
1 位	男女の基本的な特性の相違を認め、男女がお互いを理解し敬意をはらうことが大切	10
2 位	子育て・介護支援の充実と運用改善（託児所の整備、父子家庭への支援、休暇取得しやすい雰囲気づくり、雇用側の理解など）	7
3 位	小さい頃からの教育が重要であり、家庭、学校、社会全体等で教育することが必要	6
3 位	男女間で基本的な特性に差があることから男女平等にはなりえない 男女の役割を変えるべきではない	6
3 位	女性は子育てや出産があるので、託児所のある仕事場を増やすなど結婚後も働ける環境づくりが必要であり、家庭や地域社会のサポートも不可欠	6
3 位	地域では古い考え方が根強く男女平等の意識は薄い 年代間のギャップも大きい	6
7 位	個々人の意識改革と社会全体の変革が必要	5
7 位	男性はもっとしっかりすべきであり、女性は強くなりすぎている	5
7 位	アンケートの設問が分かりにくい、該当しない、回答できない等	5
10 位	夫婦間や親子間でよく話し合うべきである	4
10 位	男女平等とは名ばかりであり、未だ女性の負担が大きかったり、意見を言えない等の状況にある	4

- 男女共同参画に関することについて、ご意見・ご要望をお聞きしたところ、計 124 件(15.3%)の記入があった。